

・令和2年度昼間スクーリング(後期) 開講講座一覧

曜日	時限	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	実施方法	受講制限	配当 学年	備考
月	1	AG11	行政学 C	関根 二三夫	2	L30100	行政学	×	オンデマンド		2年	
	2	AG21	広告論 B	雨宮 史卓	2	S30900	広告論	×	オンデマンド		2年	
	3	AG31	民法 I B	根本 晋一	2	K20200	民法 I	×	オンデマンド		※	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
	4	AG41	民法IV C	根本 晋一	2	K30300	民法IV	×	オンデマンド		2年	

令和2年度昼間スクーリング(後期) 開講講座一覧

曜日	時間	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	実施方法	受講制限	配当 学年	備考
火	1	AH11	心理学 A	白川 真裕	2	B12100	心理学	×	オンデマンド	100名	1年	
		AH12	心理学 B	芳賀 道匡	2	B12100	心理学	×	オンデマンド	100名	1年	
		AH13	英語 C	塚田 英博	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AH14	英語 S	小田井 勝彦	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド		1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
	1				C10200	英語 II	×					
	1				C10300	英語 III	×					
	1				C10400	英語 IV	×					
	AH15	政治学特殊講義 I・II	佐藤 高尚	2	L311S0	政治学特殊講義 I	×	オンデマンド	60名	2年	・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
	2	L312S0	政治学特殊講義 II	×								
	AH16	スピーチコミュニケーション II A	アレックス ブラウン	1	N31000	スピーチコミュニケーション II	×	オンデマンド		2年		
	2	AH21	心理学 C	白川 真裕	2	B12100	心理学	×	オンデマンド	100名	1年	
		AH22	英語 D	アレックス ブラウン	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド		1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AH23	英語 T	アレックス ブラウン	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド		1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
	1				C10300	英語 III	×					
	1				C10400	英語 IV	×					
	AH24	国文学基礎講義	野口 恵子	2	M20100	国文学基礎講義	×	オンデマンド		※	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AH25	英米文学演習 B	塚田 英博	1	N404S0	英米文学演習 I	×	対面	40名	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I ~ IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	N405S0	英米文学演習 II	×					
				1	N406S0	英米文学演習 III	×					
	AH26	情報概論 C	荒閑 仁志	2	R32300	情報概論	×	オンデマンド		2年		
	AH27	マーケティング B	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング	×	オンデマンド		2年		
3	AH31	英語 E	マイケル ギルロイ	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド, ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	C10200	英語 II	×					
				1	C10300	英語 III	×					
				1	C10400	英語 IV	×					
	AH32	日本政治史	石川 徳幸	2	L30400	日本政治史	×	オンデマンド	100名	2年		
	AH33	日本史演習 I・II	鍋本 由徳	1	Q401S0	日本史演習 I	×	オンデマンド, ZOOM	60名	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	Q402S0	日本史演習 II	×					
AH34	国際経済論	前野 高章	2	R31100	国際経済論	×	オンデマンド		2年			
AH35	中国経済論	崔 晨	2	R313S0	中国経済論	×	オンデマンド		2年			
AH36	広告論	雨宮 史卓	2	S30900	広告論	×	オンデマンド		2年			
4	AH41	英語 F	マイケル ギルロイ	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド, ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	C10200	英語 II	×					
				1	C10300	英語 III	×					
				1	C10400	英語 IV	×					
	AH42	国文学特殊講義 I・II	近藤 健史	2	M311S0	国文学特殊講義 I	×	オンデマンド, ZOOM	60名	2年	・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				2	M312S0	国文学特殊講義 II	×					
	AH43	科学哲学	江川 晃	2	P31300	科学哲学	×	オンデマンド		2年		
AH44	経済史総論 A	飯島 正義	2	R20200	経済史総論	×	オンデマンド, ZOOM	100名	※	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。		
AH45	金融論	谷川 孝美	2	R31800	金融論	×	オンデマンド, ZOOM		2年			
AH46	商学総論 C	小泉 徹	2	S20100	商学総論	×	ZOOM	60名	※	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		
5	AH51	哲学 A	江川 晃	2	B10700	哲学	×	オンデマンド		1年		
	AH52	文化史 C	渡邊 浩史	2	B11200	文化史	×	オンデマンド	100名	1年		
	AH53	英語 G	町田 純子	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド, ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	C10200	英語 II	×					
				1	C10300	英語 III	×					
				1	C10400	英語 IV	×					
	AH54	中国語 I・II	稲葉 明子	1	F10100	中国語 I	×	オンデマンド, ZOOM		1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	F10200	中国語 II	×					
	AH55	東洋史演習 I・II	高綱 博文	1	Q403S0	東洋史演習 I	×	ZOOM	40名	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				1	Q404S0	東洋史演習 II	×					
AH56	金融論 B	谷川 孝美	2	R31800	金融論	×	オンデマンド, ZOOM		2年			
AH57	商学総論 B	小泉 徹	2	S20100	商学総論	×	ZOOM	60名	※	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		

令和2年度昼間スクーリング(後期) 開講講座一覧

曜日	時間	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	実施方法	受講制限	配当 学年	備考
水	1	AJ11	政治学	関根 二三夫	2	B11700	政治学	×	オンデマンド		1年	
		AJ12	英語基礎 A	和泉 周子	1	C10600	英語基礎	×	ZOOM	60名	1年	・文学専攻(英文学)は申込不可。
		AJ13	日本史入門	鍋本 由徳	2	Q20100	日本史入門	×	オンデマンド、ZOOM	100名	※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
		AJ14	マーケティング	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング	×	オンデマンド		2年	
	2	AJ21	法学 C	武田 茂樹	2	B11500	法学(日本国憲法2単位を含む)	×	ZOOM		1年	
		AJ22	英語 H	森 晴代	1	C10100	英語 I	×	ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AJ23	英語 J	和泉 周子	1	C10100	英語 I	×	ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AJ24	英語 U	和泉 周子	1	C10100	英語 I	×	ZOOM	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AJ25	商法 II	南 健悟	2	K30600	商法 II	×	オンデマンド		2年	
		AJ26	西洋史演習 I・II	藤井 信行	1	Q405S0	西洋史演習 I	×	対面	40名	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	Q406S0	西洋史演習 II	×				
	AJ27	経済学概論 B	藤本 訓利	2	R20300	経済学概論	×	オンデマンド	100名	※	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。	
	AJ31	法学 A	武田 茂樹	2	B11500	法学(日本国憲法2単位を含む)	×	ZOOM		1年		
	3	AJ32	英語 K	北原 安治	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド	60名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					1	C10200	英語 II	×				
					1	C10300	英語 III	×				
					1	C10400	英語 IV	×				
		AJ33	国文学基礎演習	鈴木 雅裕	1	M317S0	国文学基礎演習	×	オンデマンド、ZOOM		2年	・文学専攻(国文学)のみ申込可。
		AJ34	英語音声学	森 晴代	2	N30600	英語音声学	×	オンデマンド、ZOOM	60名	2年	
	AJ35	経済学概論 A	藤本 訓利	2	R20300	経済学概論	×	オンデマンド	100名	※	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。	
	AJ36	アメリカ経済論	羽田 翔	2	R312S0	アメリカ経済論	×	オンデマンド、ZOOM		2年		
4	AJ41	文化史 A	渡邊 浩史	2	B11200	文化史	×	オンデマンド	100名	1年		
	AJ42	憲法	名雪 健二	2	K20100	憲法	×	オンデマンド	60名	※	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AJ43	日本思想史 I	島田 健太郎	2	P30800	日本思想史 I	×	オンデマンド		2年		
	AJ44	東洋史入門	綿貫 哲郎	2	Q202S0	東洋史入門	×	オンデマンド		2年		
	AJ45	考古学入門	浜田 晋介	2	Q20400	考古学入門	×	オンデマンド		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AJ46	東洋史特講 I	堀井 弘一郎	2	Q31000	東洋史特講 I	×	オンデマンド、ZOOM		2年		
5	AJ51	哲学 D	江川 晃	2	B10700	哲学	×	オンデマンド		1年		
	AJ52	歴史学 A	堀井 弘一郎	2	B11100	歴史学	×	オンデマンド、ZOOM		1年		
	AJ53	歴史学 C	堀井 弘一郎	2	B11100	歴史学	×	オンデマンド、ZOOM		1年		
	AJ54	国語学概論	保科 恵	2	M20300	国語学概論	×	ZOOM		※	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AJ55	東洋史概説/東洋史概論	高綱 博文	2	K32300	東洋史概論	×	ZOOM		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。 ・法学部のみ申込可。	
2				Q30300	東洋史概説	×						

・令和2年度昼間スクーリング(後期) 開講講座一覧

曜日	時間	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	実施方法	受講制限	配当 学年	備考			
木	1	AK11	文学	尾形 大	2	B11300	文学	×	オンデマンド	100名	1年				
		AK12	社会学 A	服部 慶亙	2	B11600	社会学	×	オンデマンド		1年				
		AK13	英語 L	鈴木 ふさ子	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド		60名	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
					1	C10200	英語 II	×							
					1	C10300	英語 III	×							
					1	C10400	英語 IV	×							
		AK14	TOEIC A	町田 純子	1	C10850	TOEIC	×	オンデマンド, ZOOM		60名	1年			
		AK15	行政学 B	関根 二三夫	2	L30100	行政学	×	オンデマンド			2年			
		AK16	スピーチコミュニケーション II B	アレックス ブラウン	1	N31000	スピーチコミュニケーション II	×	オンデマンド			2年			
		AK17	経済原論/経済学原論 A	藤本 訓利	2	L20200	経済学原論	×	オンデマンド		100名	※	1年	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。 ・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。	
					2	R20100	経済原論	×							
		AK18	情報概論 A	中村 典裕	2	R32300	情報概論	×	オンデマンド			100名	2年		
		AK21	哲学 B	中澤 瞳	2	B10700	哲学	×	オンデマンド				1年		
		AK23	民法 I	根本 晋一	2	K20200	民法 I	×	オンデマンド				※	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
		AK24	国文学演習	近藤 健史	1	M404S0	国文学演習 I	×	オンデマンド, ZOOM		60名	3年	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
					1	M405S0	国文学演習 II	×							
	1				M406S0	国文学演習 III	×								
	1				M407S0	国文学演習 IV	×								
	1				M408S0	国文学演習 V	×								
	1				M409S0	国文学演習 VI	×								
	AK25	英語文学概説/英米文学概説 B	鈴木 ふさ子	2	N20300	英米文学概説	×	オンデマンド			※	1年	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可, それ以外は2学年以上申込可。 ・平成30年度以前入学生のみ履修可。 ・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可, それ以外は2学年以上申込可。 ・令和元年度以降入学生のみ履修可。		
				2	N20400	英語文学概説	×								
	AK26	経済原論/経済学原論 B	藤本 訓利	2	L20200	経済学原論	×	オンデマンド		100名	※	1年	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。 ・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。		
				2	R20100	経済原論	×								
	AK27	情報概論 B	荒関 仁志	2	R32300	情報概論	×	オンデマンド				2年			
	AK31	英語基礎 B	中村 則子	1	C10600	英語基礎	×	オンデマンド			60名	1年	・文学専攻(英文学)は申込不可。		
	AK32	英語史	真野 一雄	2	N30300	英語史	×	オンデマンド				2年			
	AK33	史学概論 B	高綱 博文	2	Q30100	史学概論	×	オンデマンド, ZOOM			60名	2年			
	AK34	教育の方法・技術論	古賀 徹	2	T21700	教育の方法・技術論	×	オンデマンド				2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
	AK35	法学 B	根本 晋一	2	B11500	法学(日本国憲法2単位を含む)	×	オンデマンド				1年			
	AK41	歴史学 B	渡邊 浩史	2	B11100	歴史学	×	オンデマンド			100名	1年			
	AK42	英語N	中村 則子	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド		60名	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				1	C10200	英語 II	×								
				1	C10300	英語 III	×								
				1	C10400	英語 IV	×								
AK43	TOEIC B	八木 茂那子	1	C10850	TOEIC	×	オンデマンド, ZOOM		60名	1年					
AK44	TOEIC C	八木 茂那子	1	C10850	TOEIC	×	オンデマンド, ZOOM		60名	1年					
AK45	民法IV B	根本 晋一	2	K30300	民法IV	×	オンデマンド				2年				
AK46	西洋史特講 I	青山 由美子	2	Q31200	西洋史特講 I	×	オンデマンド				2年				
AK47	英語科教育法Ⅲ	小澤 賢司	2	T30300	英語科教育法Ⅲ	×	対面		40名	2年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				
5	AK51	文化史 B	渡邊 浩史	2	B11200	文化史	×	オンデマンド		100名	1年				
				AK52	英語 P	八木 茂那子	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド, ZOOM		60名	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
							1	C10200	英語 II	×					
							1	C10300	英語 III	×					
	1	C10400	英語 IV				×								
	AK53	哲学演習 B	中澤 瞳	1	P401S0	哲学演習 I	×	オンデマンド			3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				1	P402S0	哲学演習 II	×								
	AK54	経済史総論 B	下斗米 秀之	2	R20200	経済史総論	×	オンデマンド		60名	※	1年	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。		
AK55	商業政策 B	花田 哲郎	2	S31000	商業政策	×	オンデマンド				2年				
AK56	教育原論/教育の思想	古賀 徹	2	T10200	教育原論	×	対面		40名	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				
			2	T10300	教育の思想	×									

・令和2年度昼間スクーリング(後期) 開講講座一覧

曜日	時間	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	実施方法	受講制限	配当 学年	備考		
金	1	AL11	経済学 C	谷川 孝美	2	B11800	経済学	×	オンデマンド, ZOOM		1年			
		AL12	英語 Q	大庭 香江	1	C10100	英語 I	×	オンデマンド			1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
					1	C10200	英語 II	×				2年		
					1	C10300	英語 III	×						
					1	C10400	英語 IV	×						
		AL13	イギリス文学史 II	猪野 恵也	2	N30100	イギリス文学史 II	×	オンデマンド	60名	2年			
		AL14	東洋思想史 I	本間 直人	2	P20300	東洋思想史 I	×	オンデマンド		※	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		
		AL15	西洋史入門	高草木 邦人	2	Q20300	西洋史入門	×	Google Meet		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		
		AL16	日本史概説/日本史概論	鍋本 由徳	2	K32200	日本史概論	×	オンデマンド, ZOOM	100名	2年	・法学部のみ申込可。		
					2	Q30200	日本史概説	×			・文理/経済/商学部のみ申込可。			
	AL17	経営学 A	山田 敏之	2	S20200	経営学	×	オンデマンド		※	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
	AL21	経済学 B	谷川 孝美	2	B11800	経済学	×	オンデマンド, ZOOM			1年			
	AL22	英語基礎 C	大庭 香江	1	C10600	英語基礎	×	オンデマンド			1年	・文学専攻(英文学)は申込不可。		
	AL23	フランス語 I・II	大庭 克夫	1	E10100	フランス語 I	×	対面		40名	1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
				1	E10200	フランス語 II	×							
	AL24	英語学演習	小澤 賢司	1	N40150	英語学演習 I	×	オンデマンド		60名	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I ~ IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
				1	N40250	英語学演習 II	×							
				1	N40350	英語学演習 III	×							
	AL25	西洋思想史 I	関谷 雄磨	2	P20200	西洋思想史 I	×	オンデマンド, ZOOM		※	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
	AL26	道徳教育の理論と方法/道徳教育の研究	李 吉魯	2	T21300	道徳教育の理論と方法	×	オンデマンド, ZOOM		40名	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
				2	T21400	道徳教育の研究	×							
	AL31	英語 R	石川 勝	1	C10100	英語 I	×	対面		40名	1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
				1	C10200	英語 II	×							
				1	C10300	英語 III	×							
				1	C10400	英語 IV	×							
	AL32	刑法 I	南部 篤	2	K20300	刑法 I	×	ZOOM	60名	※	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
	AL33	政治学原論	吉野 篤	2	L20100	政治学原論	×	ZOOM	60名	※	・政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
	AL34	国文学講義 V(近代)	榎本 正樹	2	M30900	国文学講義 V(近代)	×	オンデマンド			2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
	AL35	英作文 I	大庭 香江	2	N30400	英作文 I	×	オンデマンド			2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
	AL36	哲学基礎講読	石井 友人	2	P20100	哲学基礎講読	×	オンデマンド	100名	※	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
AL37	宗教学概論 B	合田 秀行	2	P30400	宗教学概論	×	オンデマンド	100名	2年					
AL41	哲学 C	中澤 瞳	2	B10700	哲学	×	オンデマンド			1年				
AL42	ドイツ語 I・II	中島 伸	1	D10100	ドイツ語 I	×	対面		40名	1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			1	D10200	ドイツ語 II	×								
AL43	国文学概論	山崎 泉	2	M20200	国文学概論	×	オンデマンド	60名	※	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。				
AL44	宗教学概論	合田 秀行	2	P30400	宗教学概論	×	オンデマンド	100名	2年					
AL45	経営学 B	所 伸之	2	S20200	経営学	×	ZOOM	60名	※	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。				
AL46	市場調査論	最上 健児	2	S31750	市場調査論	×	オンデマンド, ZOOM			2年				
AL47	商業史	竹内 真人	2	S32100	商業史	×	オンデマンド	60名	2年					
AL51	社会学 B	服部 慶亙	2	B11600	社会学	×	オンデマンド				1年			
			AL52	日本史特講 I	坂口 太助	2	Q30800	日本史特講 I	×	オンデマンド	100名	2年		
			AL53	商業政策	花田 哲郎	2	S31000	商業政策	×	オンデマンド			2年	
			AL54	簿記論 I	青木 隆	2	S20300	簿記論 I	×	オンデマンド		※	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
土	2	AM21	財政学総論/財政学 B	楠谷 清	2	L31400	財政学	×	オンデマンド	60名	2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		
					2	R31500	財政学総論	×					・法学部のみ申込可。	

## 講座内容（シラバス）

### 〔行政学〕

関根 二三夫

- ◆**授業概要** 行政管理の機能及び原則、コミュニケーションの機能及び方向、リーダーシップ、稟議制、行政統制、情報公開、オンブズマン制度、行政相談、地方自治、戦前の官吏制と戦後の公務員制など、行政管理や行政統制を中心に学びます。
- ◆**学修到達目標** 行政の実施過程において、行政の目標を明確に定め、公務に従事する職員の実力を通して、当該目標を統一的に実現するためには如何なることが必要なのか、また行政の実施過程において、行政全体を外部から、そして内部においてどのように統制したらよいかを理解できるようにします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、行政に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：行政管理の原則 事前学修：テキストの第7章第1節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2回	授業内容：行政管理の機能 事前学修：テキストの第7章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3回	授業内容：コミュニケーションの機能 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4回	授業内容：コミュニケーションの方向 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5回	授業内容：リーダーシップ 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6回	授業内容：稟議制 事前学修：テキストの第8章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7回	授業内容：行政統制—外在的統制 事前学修：テキストの第5章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8回	授業内容：行政統制—内在的統制 事前学修：テキストの第11章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9回	授業内容：情報公開の意義及び沿革 事前学修：テキストの第10章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10回	授業内容：情報公開とプライバシーの保護 事前学修：テキストの第10章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11回	授業内容：オンブズマン制度 事前学修：テキストの第12章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12回	授業内容：行政相談 事前学修：テキストの第11章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13回	授業内容：地方自治 事前学修：テキストの第3章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14回	授業内容：戦前の官吏制から戦後の公務員制へ 事前学修：テキストの第5章第4節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15回	授業内容：講義内容の総括 事前学修：学修した内容を再度確認すること。 事後学修：テキストの記述とノートの記述とを比較し、内容を理解すること。

- ◆**教科書** 題材『行政学 L30100』通信教育教材（教材コード 000084）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては、欠席をしないように注意して下さい。
- ◆**授業相談（連絡先）**：sekine.fumio@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔広告論〕

雨宮 史卓

- ◆**授業概要** TVを見ない日はあっても広告を見ない日はないと言っても過言でないくらい、広告は我々の生活に深く浸透している。この事を踏まえ、企業の広告戦略を概観しながら、人々の欲求を創造するコミュニケーション活動である広告を生活全体や文化といった広い視点での理解を目指す。尚、ブランド戦略などは実務による経験からのものを具体例として解説する。
- ◆**学修到達目標**
  - 1 広告の意義とプロモーション戦略を理解する。
  - 2 新たな製品・サービスを発売する際に、どのような広告活動によって消費者に認知されるべきかを検討し、そのブランドをどのように育成していくかを立案できるようになる。
  - 3 ブランド力を強化し、当該ブランドを拡張する場合、どのような広告戦略を行うべきかを企画・検討できるようになる。
- ◆**授業方法** 前期の広告論での授業における広告の基本的機能を元に、企業の広告戦略の実態を解説する。授業の後半では、その日の主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。
- ◆**履修条件** 前期の広告論と継続履修が望ましい。
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容	後期授業の進め方 広告とは？ブランドとは？
	事前学修	前期の内容部分（テキスト第1章～第5章）を再読した上で、第6章を熟読し、広告コミュニケーションとブランド概念の関係性を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	ブランドの基本的概念と役割
	事前学修	テキスト133～144頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容	ブランドを軸としたマーケティング及び広告戦略の展開
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト153～161頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキスト157頁の表におけるブランドの9項目を理解しておくこと。
4回	授業内容	ブランド拡張と広告コミュニケーション
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通した上で、テキスト162～165頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料の「ブランド拡張概念図」をノートに書き写しておくこと。
5回	授業内容	製品ライフ・サイクル、ブランド・ライフサイクルと広告戦略
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト169～185頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容	広告コミュニケーションと経験価値
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト187～193頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキスト190頁の表をノートに書き写しておくこと。
7回	授業内容	経験価値と総称ブランドの概念
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト193～207頁を熟読し、197頁の図が意味する内容を把握しておくこと。
	事後学修	経済価値としての経験価値、及び総称ブランドの活用方法を理解した上で、205頁の図をノートに書き写して内容を理解しておくこと。
8回	授業内容	フード・ビジネスの分類と食に対するブランド性
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト211～217頁を熟読し、食の分類方法を理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容	ストア・ブランドの機能と役割
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト217～230頁を熟読し、218頁と220頁の図の違いを認識しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、製品ブランドとストア・ブランドの違いを確認した上で教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容	ロングセラー・ブランドに対する広告の役割
	事前学修	配布資料によく目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容	キャラクター・ビジネスと広告
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、キャラクター・ビジネスの事例を調べて理解しておくこと。
12回	授業内容	市場と広告
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、市場の種類を把握しておくこと。
13回	授業内容	広告の文化・社会的要素
	事前学修	後期の終りが近いので、今までのノートをよく読み返しておくこと。また、前期に学修した「ポストモダン・マーケティング」の意味を辞書やテキスト等で再度調べ、理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容	後期授業の総まとめ
	事前学修	配布資料の項目をテキスト、ノートで前もって確認しておくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容	テストと解説
	事前学修	配布資料の項目をテキスト、ノートで前もって確認しておくこと。
	事後学修	テキスト全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、広告理論・戦略、ブランド概念を理解すること。

- ◆**教科書** 丸沼 雨宮史卓『広告コミュニケーション』八千代出版  
事前資料送付 必要に応じて資料を配布する
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業初回時に案内します。

**注意**

## 講座内容 (シラバス)

## 〔民法 I (後半)〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 民法総則の後半部分を学修する。具体的には、民法の意義、法源（存在形式）、沿革、指導原理、私権の社会性、私権の主体、私権の客体、意思表示と法律行為、代理、無効と取消し、条件と期限、期間、時効、のうち、意思表示と法律行為から時効までを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における民法総則の位置づけ、民法総則の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所を示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法 I、および根本の民法 I（前半）との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容	法律行為と意思表示
	事前学修	民法 I（前半）最終授業時の板書事項の再確認（後半から履修する学生は、これをする必要なし）
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容	意思表示、サヴィニーの意思理論、意思の不存在と意思表示の瑕疵の区別、無効と取消し、意思主義と表示主義、改正民法による変更箇所など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容	【意思の不存在】心裡留保 第三者保護規定について
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容	通謀虚偽表示 改正点なし 民法 94 条 2 項の類推適用（判例理論）など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
5 回	授業内容	錯誤 無効から取消しへ 第三者保護規定について
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
6 回	授業内容	【意思表示の瑕疵】詐欺・強迫 第三者の詐欺についての変更点 第三者保護規定について
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
7 回	授業内容	法律行為と意思表示まとめ 心裡留保・通謀虚偽表示における第三者と錯誤・詐欺における第三者の保護要件の違い、詐欺と強迫における第三者保護規定の有無など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
8 回	授業内容	代理制度、私的自治の補充と拡大、顕名主義、代理の三面関係など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
9 回	授業内容	代理人の能力と権限、代理行為の効果帰属、任意代理と法定代理、復代理、自己契約と双方代理の禁止など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
10 回	授業内容	無権代理（広義）、狭義の無権代理、本人への効果不帰属、無権代理人の責任、表見代理は有権代理ではなく無権代理、表見代理の諸類型など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
11 回	授業内容	代理権授与の表示による表見代理、代理権濫越（代理権限外）の表見代理、代理権消滅後の表見代理など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
12 回	授業内容	狭義の無権代理と表見代理の関係、相手方の保護など。法律行為の付款について、条件と期限、条件と不確定期限の区別、期間計算など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
13 回	授業内容	時効、除斥期間との区別、取得時効と消滅時効、時効制度の趣旨、民法改正の影響など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
14 回	授業内容	時効の援用と放棄、時効の効果と私的自治の調和、時効の中断と停止、取得時効と登記、占有の承継など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
15 回	授業内容	消滅時効、民法改正との関係、民法 I（後半）全体の補遺とおさらいなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 民法 I（通信教育教材）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。
- ◆**授業相談（連絡先）**：

注意



# 講座内容（シラバス）

## 〔民法Ⅳ（後半）〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 債権各論の後半部分、すなわち、事務管理・不当利得・不法行為について学修する。これらは、契約と同じく債権発生原因であるが、契約が合意を発生原因とする約定債権（私的自治）であるのに対して、民法典が規定する一定の要件を備えると、当事者の合意なしに発生する法定債権である。各々、当事者の合意なしに債権債務を発生させる特別の政策的な理由（趣旨）がある点に特徴がある。
- ◆**学修到達目標** 民法学における債権法の位置づけ、債権総論と債権各論の関係、債権各論の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所を示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法Ⅳ、および根本の民法Ⅳ・前半との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容	【契約各論】典型契約と非典型契約、契約自由の原則と関係、典型契約の類型論、権利移転型、貸借型、労務供給型、互譲型、その他など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
2回	授業内容	権利移転型について、贈与・売買・交換、その異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
3回	授業内容	売買契約の意義、諾成不要式、有償双務、再売買の予約と買戻しの異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
4回	授業内容	手付の意義と効力など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
5回	授業内容	売買契約の有償性と担保責任、担保責任の種類、売買以外の有償契約への準用など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
6回	授業内容	改正民法の留意点、瑕疵担保責任から契約不適合責任へ、その解説
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
7回	授業内容	改正民法の留意点、契約不適合責任と債務不履行責任との関係、その解説
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
8回	授業内容	貸借型について、使用貸借、質貸借、消費貸借、その異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
9回	授業内容	質貸借の意義、不動産質貸借の特則としての借地借家法、不動産質借権の対抗力、売買は質貸借を破る（物権の債権に対する優先的効力）質借権の物権化現象、存続期間と更新、定期借家・定期借地、敷金・権利金の取扱い
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
10回	授業内容	売買は質貸借を破る（物権の債権に対する優先的効力）質借権の物権化現象など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
11回	授業内容	存続期間と更新、定期借家・定期借地、敷金・権利金の取扱いなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
12回	授業内容	労務供給型、雇用、委任、請負、その異同、その他の典型契約など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
13回	授業内容	【法定債権】事務管理、不当利得、その意義と効力など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
14回	授業内容	不法行為の意義、民事責任と刑事責任、過失責任主義と無過失責任論、一般的不法行為の成立要件と効果など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
15回	授業内容	特殊的不法行為の成立要件と効果、責任無能力者の監督者の責任、使用者責任、土地工作物責任、共同不法行為、債権各論全体の補遺とおさらいなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 民法Ⅳ（通信教育教材）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点80%、授業態度や質疑応答20%。
- ◆**授業相談（連絡先）**：

注意

# 講座内容 (シラバス)

## (心理学)

白川 真裕

◆**授業概要** 本講義では、心をどのようにとらえ、さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった、心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また、それぞれの日常生活の中で、心理学やそれに関連した学問の理論や知見について、考えを巡らせる機会をもってもらおう。

◆**学修到達目標** 心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また、人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで、人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し、説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、ノートを取りながら積極的に参加をするようつとめること。

◆**履修条件**

◆**授業計画** [各 90 分]

1回	<p>授業内容：ガイダンス、発達1 発達とは、発達の特徴</p> <p>事前学修：シラバスの内容をよく確認しておく。発達とは、どのようなものか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
2回	<p>授業内容：発達2：発達段階の特徴</p> <p>事前学修：前回の授業の内容を確認しておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
3回	<p>授業内容：感情：感情の種類とメカニズム</p> <p>事前学修：他者の感情状態を推測した、あるいは他者から自分の感情状態を推測された経験を思い出し、判断の手がかりはどのようなものだったと思うか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
4回	<p>授業内容：動機づけ1：欲求と欲求不満、葛藤</p> <p>事前学修：欲求にはどのような種類があるか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
5回	<p>授業内容：動機づけ2：動機づけの理論</p> <p>事前学修：動機づけを高めるために、どのような工夫ができるか(しているか)、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
6回	<p>授業内容：個人差1：パーソナリティの理論と測定</p> <p>事前学修：自分のパーソナリティにはどんな特徴があるか、環境の影響を受けて変わってきたことはあるか、考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
7回	<p>授業内容：個人差2：知能の理論と測定</p> <p>事前学修：「頭が良い」とはどのようなことを指すと思うか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
8回	<p>授業内容：ストレスと心の健康</p> <p>事前学修：自分がどのようなことにストレスを感じやすいか、またストレスを感じたときどのような対処ができるか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
9回	<p>授業内容：社会1：社会的認知(自己・他者・集団・対人関係に対する認知)</p> <p>事前学修：自分を良く見せようとしたり、他者を先入観や色眼鏡で見えたりするような現象にはどのようなものがあるか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
10回	<p>授業内容：社会2：社会的影響</p> <p>事前学修：人間の考えや態度、行動が他者や集団から影響を受けて変化するのとはどのような時か、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
11回	<p>授業内容：環境1：環境の知覚と認知、環境デザイン</p> <p>事前学修：「快適な環境」とはどのようなものだと思うか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
12回	<p>授業内容：環境2：対人・社会環境、さまざまな環境</p> <p>事前学修：自分が「居心地が良い(悪い)」、「好き(嫌い)」と思う場所には、どのような特徴があるか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
13回	<p>授業内容：環境3：環境と犯罪</p> <p>事前学修：自分が「安全(危険)」、「安心(不安)」と思う場所には、どのような特徴があるか、自分なりに考えておく。</p> <p>事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。</p>
14回	<p>授業内容：振り返りとまとめ</p> <p>事前学修：これまでの授業内容を再確認しておく。</p> <p>事後学修：試験に備えて授業内容を復習しておく。</p>
15回	<p>授業内容：理解度の確認(試験)</p> <p>事前学修：試験に備えて授業内容を復習しておく。</p> <p>事後学修：これまでの授業内容を復習し、自分の回答が適切か確認する。</p>

◆**教科書** [当日資料配布]

◆**参考書** [丸沼]『心理学』鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 第5版 東京大学出版会 2015

[丸沼]『心理学の基礎』山田一成・谷口明子 八千代出版 2014

[丸沼]『Next 教科書シリーズ 発達と学習』内藤佳津雄・北村世都・鏡直子 第2版 弘文堂 2020

[丸沼]『環境心理学 人間と環境の調和のために』羽生和紀 第2版 サイエンス社 2019

◆**成績評価基準** 試験(80%)、授業参加度(20%)により総合的に評価する。

◆**授業相談** (連絡先)：shirakawa.mayu2020@nihon-u.ac.jp

メールの件名には履修曜日・時間、授業名、氏名を、本文には履修曜日・時間、授業名、学科、学籍番号、氏名を必ず明記すること。

注意

## 講座内容（シラバス）

## 〔心理学B〕

芳賀 道匡

◆**授業概要** 心理学は、人の心とは何か、なぜあるのか、どのように働いているのか等の問いについて、科学的に検証する学問です。本講義では、私たちが自身や他者あるいは世間の問題として知っている他者とのコミュニケーション、発達障害、精神疾患、いじめなどにおける疑問に、心理学の立場から考えます。具体的には、第1回から第4回で遺伝子の乗り物としての人間と対人関係の親密化および解消について（第Ⅰ部）、第6回から第9回で臨床（発達障害、精神障害、心理療法）と教育について（第Ⅱ部）、第11回から第14回で社会環境（いじめ、同調、服従）と文化について（第Ⅲ部）概観しつつ、日々の経験と結びつけながら考えていきます。なお、第5回・第10回はそれぞれの日程までにおける学習内容の復習とテストを、第15回は本講義の全日程における学習内容すべての復習とテストを行います。

◆**学修到達目標** ①心理学の構成概念、理論に関する知識を想起することができる  
②経験している出来事と心理学の構成概念や理論とを結びつけることができる  
③他の知識と照らし合わせ、新たな問いを考えることができる

◆**授業方法** (1)配布する資料およびスライド、教科書に基づき講義します。  
(2)講義の一部では、模擬的な心理学実験や心理学の調査を体験してもらいます。

◆**履修条件** ・講義期間中、初回から休まず出席できること。  
・事前にテキストを購入して予習と復習ができること。また、参考書Aはテキストには無い分野を網羅しており、こちらも事前の購入、予習と復習を薦める。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：イントロダクション：生き物としての人間 事前学修：参考書A p.1-86を予習すること 事後学修：参考書A、配布資料を復習すること
2回	授業内容：対人関係1：家族や親類との絆と葛藤 事前学修：参考書A p.119-162を予習すること 事後学修：参考書A、配布資料を復習すること
3回	授業内容：対人関係2：新しい対人関係の開始、親密化、解消 事前学修：テキストp.181-190を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
4回	授業内容：対人関係3：恋愛と結婚、子育て 事前学修：参考書A p.207-252を予習すること 事後学修：参考書A、配布資料を復習すること
5回	授業内容：復習と小テスト1 事前学修：テキスト、参考書A、配布資料を復習すること 事後学修：テキスト、参考書A、配布資料を復習すること
6回	授業内容：臨床1：発達障害 事前学修：テキストp.201-208、p.179を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
7回	授業内容：臨床2：精神疾患 事前学修：テキストp.223-242を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
8回	授業内容：臨床3：カウンセリング、心理療法 事前学修：テキストp.208-222、p.284-289を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
9回	授業内容：教育：いじめ、リーダーシップ 事前学修：テキストp.190-196を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
10回	授業内容：復習と小テスト2 事前学修：テキスト、参考書A、配布資料を復習すること 事後学修：テキスト、参考書A、配布資料を復習すること
11回	授業内容：社会環境1：「空気を読め」の正体 事前学修：テキストp.187-189を予習すること 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
12回	授業内容：社会環境2：服従の実験（映画鑑賞） 事前学修：特になし 事後学修：テキスト、配布資料を復習すること
13回	授業内容：社会環境3：日本人は集団主義か？ 事前学修：テキストp.198-199、参考書A p.163-184、p.253-271を予習すること 事後学修：テキスト、参考書A、配布資料を復習すること
14回	授業内容：社会環境4：ソーシャル・キャピタル 事前学修：参考書B p.1-109を予習すること 事後学修：参考書B、配布資料を復習すること
15回	授業内容：復習と試験 事前学修：テキスト、参考書、配布資料を復習のこと 事後学修：テキスト、参考書、配布資料を復習のこと

◆**教科書** 『心理学概論』 巖島行雄・横田正夫 啓明書房 第二版 2016年

◆**参考書** 参考書A『進化と人間行動』長谷川寿一・長谷川真理子 東京大学出版会 初版 2000年  
参考書B『ソーシャル・キャピタル入門：孤立から絆へ』稲葉陽二 中公新書 初版 2011年

◆**成績評価基準** 試験（70%）、小テスト（20%）、コメントシート（10%）

◆**授業相談（連絡先）** 授業後10分程滞在しますので、相談して下さい。また、メール（mike.telepsy@gmail.com）の相談も可能です。

注意

## 講座内容（シラバス）

〔英語C〕 オープン受講：不可

塚田 英博

◆**授業概要** 英文を読む上での文法事項を確認し、その後、短文を和訳してもらう。

◆**学修到達目標** 1. 必須英文法を大理解できる。  
2. 必須英文法事項が盛り込まれた英文を正確に読解できる。

◆**授業方法** 毎回必須英文法を解説し、その後、文法問題の解答、短文和訳を行っていく。

◆**履修条件**

◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容：ガイダンス： 授業の進め方に関する説明をする。 事前学修：テキストの本書の構成とねらい「J」を読み、使用するテキストの概要を把握すること。 事後学修：次回からの予習方法と予習箇所を確認すること。
2回	授業内容：UNIT 5 の演習と解説 事前学修：Unit5 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
3回	授業内容：UNIT 6 の演習と解説 事前学修：Unit6 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
4回	授業内容：UNIT 7 の演習と解説 事前学修：Unit7 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
5回	授業内容：UNIT 10 の演習と解説 事前学修：Unit10 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
6回	授業内容：UNIT 12 の演習と解説 事前学修：Unit12 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
7回	授業内容：UNIT 14 の演習と解説 事前学修：Unit14 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
8回	授業内容：UNIT 15 の演習と解説 事前学修：Unit15 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
9回	授業内容：UNIT 16 の演習と解説 事前学修：Unit16 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
10回	授業内容：UNIT 20 の演習と解説 事前学修：Unit20 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
11回	授業内容：UNIT 23 の演習と解説 事前学修：Unit23 の解答をしておくこと。 事後学修：Power Point を見ながら確認すること。
12回	授業内容：最終試験 事前学修：これまでのUnitの総復習 事後学修：
13回	授業内容： 事前学修： 事後学修：
14回	授業内容： 事前学修： 事後学修：
15回	授業内容： 事前学修： 事後学修：

◆**教科書** 〔丸〕『読解力をみがく基本英文法』 朝日出版社 福井慶一郎

◆**参考書** 英和辞書（電子辞書も可）は持参すること。

◆**成績評価基準** 課題等への取り組み（40%）、小テスト（20%）、試験（40%） 毎回課題提出することを前提に評価する。

◆**授業相談**（連絡先）：

注意

# 講座内容 (シラバス)

(英語)

小田井 勝彦

◆**授業概要** 英語での表現力をつけるためには、まず、いくつかの基本的な文法事項に焦点をあてて、英文の構造を理解することが大切である。この授業では、下記の教科書を使用し、be 動詞や基本的な一般動詞の使い方、数の表現などの基本的な英文法に注目し、文法問題、ディクテーション問題などを通じて英語の表現を学ぶことで、総合的な英語力を身につけることを目指すものである。基本的な英文法と書いたが、中級（高等学校での英語はますます理解できた）レベルの学生向けである。翻訳実務に携わった経験を活かし、日本語と英語の違いなどを詳しく解説する。

◆**学修到達目標** ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙、表現を習得する  
 ・体系的に英文法を理解し、正確に英語の文章を理解できるようになる  
 ・英文におけるニュアンスを的確にとらえ、日本語に翻訳することができる  
 ・日本語と英語の違いについて理解する  
 ・英語圏の文化を知る

◆**授業方法** まず 30 分程度の解説動画を視聴する。辞書などフル活用してかまわないので、課題に挑戦し、オンラインで提出する。締め切り終了後、課題の模範解答と採点をしたフィードバックを受け取る。

◆**履修条件**

◆**授業計画** (各 90 分)

1 回	授業内容: Unit 1 Be 動詞 1 <同一性・属性> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、同一性・属性を表す Be 動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、同一性・属性を表す Be 動詞を用いた表現を覚える
2 回	授業内容: Unit 2 Be 動詞 2 <存在> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、存在を表す Be 動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、存在を表す Be 動詞を使用した表現を覚える
3 回	授業内容: Unit 3 一般動詞 1 <概説> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、英語の一般動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、一般動詞の使い方について理解する
4 回	授業内容: Unit 4 一般動詞 2 <Have> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、have という動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、have を使った様々な表現を覚える
5 回	授業内容: Unit 5 一般動詞 3 <Give> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、give という動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、give を使った様々な表現を覚える
6 回	授業内容: Unit 6 一般動詞 4 <Get> [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、get という動詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、get を使った様々な表現を覚える
7 回	授業内容: Unit 7 数量詞 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、英語での数に関する表現を考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、英語で様々な数字が表現できるようになる
8 回	授業内容: Unit 8 冠詞 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、冠詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、冠詞の使い方を習得する
9 回	授業内容: Unit 9 代名詞 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、代名詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、代名詞の使い分けができるようになる
10 回	授業内容: Unit 10 疑問詞・感嘆文 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、疑問詞・感嘆文について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、疑問文・感嘆文が作れるようになる
11 回	授業内容: Unit 11 分詞 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、分詞について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、分詞を使った表現が使えるようになる
12 回	授業内容: Unit 12 It の特殊用法 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、It の特殊用法について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、It の特殊な使い方についての理解を深める
13 回	授業内容: Unit 13 時制の一致・話法 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、時制と話法について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、時制と話法が正しく使えるようになる
14 回	授業内容: Unit 14 比喩表現 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、比喩表現について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、比喩表現を理解できるようにする
15 回	授業内容: Unit 15 日本語独特の表現 [解説動画を視聴し、課題に解答する] 事前学修: 教科書のチェックポイントに目を通し、日本語独特の表現について考察する 事後学修: 課題のフィードバックを受け取り、日本語にしかない表現を英語でどのように表現するかを体得する

◆**教科書** 船田秀佳『コミュニケーションのための書く英語表現法』(英宝社)

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 毎週提出する課題 80%、最終確認テスト 20% で評価する。

◆**授業相談 (連絡先)**: odai.katsuhiko2020@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## (政治学特殊講義 I・II)

佐藤 高尚

◆**授業概要** 現代の政治を評価する際には、その評価の基礎となる判断基準が不可欠となる。では、どのような判断基準が必要とされるべきなのか——本講では、これを考える手掛かりとなる古今の政治観や政治構想を共同体や国家という政治単位の観点を中心に取り上げ、各時代の問題状況とそれに対する政治的解決策を検討する。加えて、これらの議論が現代の政治を考える上でいかなる意味を持ちうるかを考察する。

◆**学修到達目標** 「政治」および「デモクラシー」の源流ともいえる古典古代の政治観を知り、説明することができる。  
 ・近代の政治観を学び、現代につながる要素を考察することにより、眼前の政治課題や社会問題を多角的に考察できるようになる。  
 ・既存の政治制度や政策の基盤となる考え方、およびその形成過程を知り、政治的選択の多様な可能性を考慮できるようになる。

◆**授業方法** 講義形式で行う。  
 また授業中に意見・感想を求める場合がある。直接発言をもとめたり、資料についてペーパーに書いてもらったりすることがある。ペーパーへの講評は、翌回に実施予定。  
 本授業の事前学習・事後学習は各2時間を目安としている。

◆**履修条件**

◆**授業計画 [各 90 分]**

1回	<p><b>授業内容</b> ガイダンス 講義の流れ、評価方法、および教科書・参考書に利用の仕方について説明する。</p> <p><b>事前学修</b> 事前にシラバスを熟読しておくこと。履修上確認しておきたい点をチェックしておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 講義内で紹介した文献を各自手取り、内容を確認すること。</p>
2回	<p><b>授業内容</b> イングランド内乱(ピューリタン革命)と近代の政治 イングランド内乱を概観した上で、ミルトンの自由論やハリントンの共和主義について考える。</p> <p><b>事前学修</b> イングランド内乱(ピューリタン革命)の概要を調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> ミルトンとハリントンの考えが、現代にどのように関連するのかを検討しておくこと。</p>
3回	<p><b>授業内容</b> ホブズと社会契約 ホブズの間人観の特徴を踏まえた上で、彼の社会契約論・主権論の特徴を中心に説明する。</p> <p><b>事前学修</b> ホブズの著書「リヴァイアサン」の本来の意味について調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> ボタンのホブズの主権論について、比較検討しておくこと。</p>
4回	<p><b>授業内容</b> ロックと統治 ロックの固有権(プロパティ)論の特徴を明らかにするとともに、彼の政治制度構想について講義を行う。</p> <p><b>事前学修</b> 加藤節「ジョン・ロック——神と人間との間」(岩波新書、2018)を読んでおくこと。</p> <p><b>事後学修</b> ロックの現代的意義について、日本国憲法との関連から考察しておくこと。</p>
5回	<p><b>授業内容</b> モンテスキューにおける法と自由 モンテスキューの法概念と政体論を考察し、それとの関連から彼の権力分立論を説明する。</p> <p><b>事前学修</b> モンテスキューの政治的自由、および一般的な「政治的自由」の具体的内容を調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> ロックとモンテスキューの権力分立論の異同を確認しておくこと。</p>
6回	<p><b>授業内容</b> 啓蒙と文明社会 ヴォルテールの啓蒙専制主義を考察するとともに、それが前提とする文明社会の認識が英国のヒュームにおいて政治とどう結びついたかを考える。</p> <p><b>事前学修</b> ヴォルテールとヒュームの略歴、主要著作などがどのようなものであるのか、調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 文明社会論の意義と問題点を確認しておくこと。</p>
7回	<p><b>授業内容</b> ルソーと自由 ルソーの文明社会観・人間観の特徴を考察するとともに、彼の社会契約論の独自性を、自由をめぐる議論を中心に考える。</p> <p><b>事前学修</b> ルソーの主張する「自愛心」と「一般意志」の内容を調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 3・4・7回の講義内容を整理し、異同を確認しておくこと。</p>
8回	<p><b>授業内容</b> アメリカの独立とその知的遺産 アメリカ独立を鼓舞したベインの「コモン・センス」と、独立後のアメリカ政治の在り方を議論した「フェデラリスト」を考察する。</p> <p><b>事前学修</b> アメリカ独立の史的経緯を確認しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 講義内容とデモクラシーとが、どのように関連するのかを確認しておくこと。</p>
9回	<p><b>授業内容</b> バークと保守主義 バークのフランス革命評価を概観し、そこから導出される彼の政党論・国制論について講義を行う。</p> <p><b>事前学修</b> バークが「保守主義の祖」とされる理由について調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> バークの保守思想と現代の保守思想との相違を比較検討しておくこと。</p>
10回	<p><b>授業内容</b> ヘーゲルと国家 ヘーゲルの市民社会認識を踏まえた上で、それへの対応としての国家構想を、ナショナリズムと関連付けて説明する。</p> <p><b>事前学修</b> ヘーゲルのキー・タームである「人倫」と「欲望の体系」について、調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> ヘーゲルの議論の問題点を、特に現代との関連で検討しておくこと。</p>
11回	<p><b>授業内容</b> 社会主義の生成と展開 初期社会主義誕生の背景を概観した上で、サン・シモン、フーリエ、オーウェンの政治構想を検討する。</p> <p><b>事前学修</b> サン・シモン、フーリエ、オーウェンについて、どのような人物であったのか、出自や経歴、主要著書などについて調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 現代の格差社会の観点から、初期社会主義思想をどのように評価できるのかを検討しておくこと。</p>
12回	<p><b>授業内容</b> マルクスと革命 マルクスの資本主義観を考察し、そのつながりのなかでプロレタリア革命の理論構成について考察する。</p> <p><b>事前学修</b> マルクス「共産党宣言」(翻訳多数あり)を読んでおくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 歴史上の社会主義革命の事例を調べ、それと講義内容との関連を確認しておくこと。</p>
13回	<p><b>授業内容</b> トクヴィルと自由 トクヴィルのアメリカ体験とデモクラシー観を検討した上で、自由を可能とする具体的な政治制度の検討する。</p> <p><b>事前学修</b> トクヴィル特有の「デモクラシー」観について、その内容を調べておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> トクヴィルの議論の現代的意義と限界について、講義内容と関連づけて検討すること。</p>
14回	<p><b>授業内容</b> J. S. ミルと主権の絶対性 ミルの功利主義観や「自由論」を中心に考察した上で、それ以後の現代政治思想がどのような課題と向き合ったかを考える。</p> <p><b>事前学修</b> ベンサムとJ. S. ミルの功利主義観の違いについて内容を確認しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b> 大衆社会とファシズムとの関係性について、講義内容を確認しておくこと。</p>
15回	<p><b>授業内容</b> 講義総括および試験</p> <p><b>事前学修</b> 期全体の講義内容を総復習しておく。</p> <p><b>事後学修</b> これまでの講義内容を振り返り、政治を学ぶ意義について考える。</p>

◆**教科書** 使用しない

◆**参考書** 通材「政治思想史 L30300」(通信教育教材)(教材コード 000082)

◆**成績評価基準** 期末試験(70%)、小テストやレポートなど(30%)を総合的に評価する。

◆**授業相談** (連絡先) :

注意

## 講座内容 (シラバス)

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕 オープン受講：不可

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** Speech Communication 2 has a topic based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used with each topic. Students will perform activities using the language covered in class in groups and 1 to 1 role plays.
- ◆**学修到達目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Students will try to use English in a natural context.
- ◆**授業方法** The instructor will introduce each topic by using examples and explaining strategies for communication. Students will prepare their tasks and share information in a group setting.
- ◆**履修条件** The course is open to all students and the language and activities are set at a pre-intermediate level.
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容: Welcome to Speech Communication 2. 事前学修: Orientation 事後学修: Study 'Classroom Language'
2回	授業内容: Prepare a greeting and self introduction. 事前学修: Speaking activities. 事後学修: Read over class notes.
3回	授業内容: Prepare 3 examples of Conditionals. 事前学修: Topic 1 Conditionals. 事後学修: Answer questions for the matching activity.
4回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Topic 1 cont. Pair-work and Predicaments. 事後学修: Create 3 new predicaments.
5回	授業内容: Practice for the speaking activity. 事前学修: CStudents create class surveys with the target language. 事後学修: Read over notes for Topic 2
6回	授業内容: List 3 things you have to do today. 事前学修: Topic 2 Suggestions and Obligations 事後学修: Write down 3 jobs you would like to do.
7回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Topic 2 Interviews and Vocabulary. 事後学修: Create 2 new interview questions.
8回	授業内容: Prepare ideas for your report. 事前学修: Introduction to mid-term report. 事後学修: Research your report.
9回	授業内容: Prepare for your presentation. 事前学修: Mid-term report presentations. 事後学修: Complete the evaluation sheet.
10回	授業内容: Submit the evaluation sheet. 事前学修: Suggestions; grammar practice. 事後学修: Review the new grammar points.
11回	授業内容: Prepare for Topic 3 事前学修: Topic 3 The Future 事後学修: Make 3 new predictions.
12回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Group discussion. Review word choices. 事後学修: Practice for the speaking activity.
13回	授業内容: Review role play parts. 事前学修: Short term vs. long term. 事後学修: Read over test preparation notes.
14回	授業内容: Prepare written answers. 事前学修: Study for the speaking test and writing test. 事後学修: Study for both tests
15回	授業内容: 1st - Speaking test; 2nd Writing Test 事前学修: Test Day 事後学修: Speech Communication 2 is complete.

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 当日資料配布
- ◆**成績評価基準** Grading will be based on active participation and in-class assignments (60%). Two tests (30%) and a midterm report (10%).
- ◆**授業相談 (連絡先)**: downtownalbrown@hotmail.com

注意

## 講座内容 (シラバス)

### (心理学)

白川 真裕

- ◆**授業概要** 本講義では、心をどのようにとらえ、さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった、心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また、それぞれの日常生活の中で、心理学やそれに関連した学問の理論や知見について、考えを巡らせる機会をもってもらう。
- ◆**学修到達目標** 心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また、人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで、人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し、説明できるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、ノートを取りながら積極的に参加をするようつとめること。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	<b>授業内容：ガイダンス、発達 1：発達とは、発達の特徴</b> 事前学修：シラバスの内容をよく確認しておく。発達とは、どのようなものが、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
2 回	<b>授業内容：発達 2：発達段階の特徴</b> 事前学修：前回の授業の内容を確認しておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
3 回	<b>授業内容：感情：感情の種類とメカニズム</b> 事前学修：他者の感情状態を推測した、あるいは他者から自分の感情状態を推測された経験を思い出し、判断の手がかりはどのようなものだったと思うか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
4 回	<b>授業内容：動機づけ 1：欲求と欲求不満、葛藤</b> 事前学修：欲求にはどのような種類があるか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
5 回	<b>授業内容：動機づけ 2：動機づけの理論</b> 事前学修：動機づけを高めるために、どのような工夫ができるか (しているか)、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
6 回	<b>授業内容：個人差 1：パーソナリティの理論と測定</b> 事前学修：自分のパーソナリティにはどんな特徴があるか、環境の影響を受けて変わってきたことはあるか、考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
7 回	<b>授業内容：個人差 2：知能の理論と測定</b> 事前学修：「頭が良い」とはどのようなことを指すと思うか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
8 回	<b>授業内容：ストレスと心の健康</b> 事前学修：自分がどのようなことにストレスを感じやすいか、またストレスを感じたときのような対処ができるか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
9 回	<b>授業内容：社会 1：社会的認知 (自己・他者・集団・対人関係に対する認知)</b> 事前学修：自分を良く見せようとしたり、他者を先入観や色眼鏡で見えたりするような現象にはどのようなものがあるか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
10 回	<b>授業内容：社会 2：社会的影響</b> 事前学修：人間の考えや態度、行動が他者や集団から影響を受けて変化するのとはどのような時か、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
11 回	<b>授業内容：環境 1：環境の知覚と認知、環境デザイン</b> 事前学修：「快適な環境」とはどのようなものだと思うか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
12 回	<b>授業内容：環境 2：対人・社会環境、さまざまな環境</b> 事前学修：自分が「居心地が良い (悪い)」、「好き (嫌い)」と思う場所には、どのような特徴があるか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
13 回	<b>授業内容：環境 3：環境と犯罪</b> 事前学修：自分が「安全 (危険)」、「安心 (不安)」と思う場所には、どのような特徴があるか、自分なりに考えておく。 事後学修：配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
14 回	<b>授業内容：振り返りとまとめ</b> 事前学修：これまでの授業内容を再確認しておく。 事後学修：試験に備えて授業内容を復習しておく。
15 回	<b>授業内容：理解度の確認 (試験)</b> 事前学修：試験に備えて授業内容を復習しておく。 事後学修：これまでの授業内容を復習し、自分の回答が適切か確認する。

◆**教科書** 当日資料配布

- ◆**参考書**
  - 丸沼『心理学』鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 第5版 東京大学出版会 2015
  - 丸沼『心理学の基礎』山田一成・谷口明子 八千代出版 2014
  - 丸沼 [Next 教科書シリーズ 発達と学習] 内藤佳津雄・北村世都・鏡直子 第2版 弘文堂 2020
  - 丸沼『環境心理学 人間と環境の調和のために』羽生和紀 第2版 サイエンス社 2019

◆**成績評価基準** 試験 (80%)、授業参画度 (20%) により総合的に評価する。

◆**授業相談 (連絡先)** shirakawa.mayu@nihon-u.ac.jp

メールの件名には履修曜日・時限、授業名、氏名を、本文には履修曜日・時限、授業名、学科、学籍番号、氏名を必ず明記すること。

注意



## 講座内容 (シラバス)

〔英語 I ~ IV (初級)〕 オープン受講：不可

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** In this course, students will engage in listening comprehension and discussion of scenes from the movie About a Boy starring Hugh Grant. The focus will be on learning new vocabulary and studying natural English and performing role plays of the material.
- ◆**学修到達目標** The goals of the course are to improve listening comprehension; following along with questions related to the scenes in the movie. Discussion of movie content and role plays of scenes will also be our focus.
- ◆**授業方法** Class time will be spent learning new vocabulary, performing role play and, modeling speech patterns. Your teacher will provide you with materials each class. You will be asked to hand in assignments from time to time.
- ◆**履修条件** This course is open to all students. Active participation is expected and pairwork/groupwork will be the norm.
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容：Search About a Boy on IMDB site 事前学修：Orientation and Ice breakers 事後学修：Complete your student profile for next class
2 回	授業内容：Pass in your student profile. 事前学修：Students will view the first half of the film 事後学修：Complete Scene 1 discussion questions
3 回	授業内容：Scene 1 viewing and questions 事前学修：Group work. British English studies. 事後学修：Review vocab of British English.
4 回	授業内容：Read Scene 2 script. 事前学修：Scene 2 viewing and comprehension questions. 事後学修：Complete Scene 2 questions.
5 回	授業内容：Research the characters in the film. 事前学修：Scene 3 viewing and comprehension questions. 事後学修：Complete discussion question for homework.
6 回	授業内容：Prepare questions for group discussions. 事前学修：Group discussions; review scenes 1 - 3. 事後学修：Skim through Scene 4 script.
7 回	授業内容：Prepare vocabulary of scenes 1 - 4. 事前学修：Script Role plays and view scene 5. 事後学修：Complete Scene 5 Questions.
8 回	授業内容：Prepare Scene 5 discussion questions. 事前学修：Discuss Scene 5. Your teacher will explain your Movie Report. 事後学修：Research Movie Report.
9 回	授業内容：Prepare your report for presentation in a group and submission. 事前学修：Movie Report 事後学修：Read through scene 6 script.
10 回	授業内容：Prepare for Scene 6 vocabulary. 事前学修：Scene 6 viewing and questions. 事後学修：Read over Scene 6 for review.
11 回	授業内容：Prepare to review scenes 4, 5, 6. 事前学修：Vocab quiz for Scenes 4 - 6. Complete discussion questions. 事後学修：Read over Scene 7.
12 回	授業内容：Make predictions for Scene 7. 事前学修：Scene 7 viewing and questions. 事後学修：Complete questions for homework.
13 回	授業内容：Research the soundtrack of the film. 事前学修：Soundtrack discussion. Viewing for Scene 8. 事後学修：Complete Scene 8 questions.
14 回	授業内容：Prepare answers of Scene 8 for group discussion. 事前学修：Discuss scene 8. Review all scenes. 事後学修：Study for test.
15 回	授業内容：Be ready for Multiple choice, true and false ans short answer questions. 事前学修：Test 事後学修：Herte's to a job well done.

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 当日資料配布
- ◆**成績評価基準** Grades are based on in class assignments and participation. (60%) A mid-term report (10%) and a final test (30%)
- ◆**授業相談 (連絡先)** : downtownalbrown@hotmail.com

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔国文学基礎講義〕

野口 恵子

- ◆**授業概要** 大学で学ぶ古典は、高等学校で学んだ古典とは大きく異なる。まずはその違いを理解し、大学では何をどのように学ぶべきかを考える。そのため、授業では『万葉集』の作品を取り上げながら、いかに両者が違っているのかを具体的に示す。文脈をきちんと読むことの重要性に、面白さに気付くことを心掛ける。同時に、大学の学修で必要とされる文献の調査方法や読み方、レポートの書き方についても修得する。
- ◆**学修到達目標** 文学作品の表現には、どのような特性があるのかを学ぶ。また、一つ一つの言葉の意味をつなぎ合わせるような読み方はしない。作品全体における表現の効用も考える。このような営みを通して、文学作品における読み方の基礎能力を身につける。
- ◆**授業方法** 講義形式で行う。板書はメモ程度しかしないので、自分にとって必要な情報はノートに書き、「自分」のノートを作成すること。学生自らの思考を促すために、不定期で「復習テスト」を実施する。なお、本授業の事前学習・事後学修の時間は各2時間を目安とする。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 [各 90分]**

1回	授業内容：授業内容と進め方の説明：大学で学ぶとはどのようなことか？ 事前学修：自宅にある高等学校の国語教科書や参考書等に書かれている「万葉集」の概要を確認する。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
2回	授業内容：渡来系氏族が出席した宴席について、その実態を学ぶ。 事前学修：『万葉集』で見られる渡来系氏族の特性を考えておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
3回	授業内容：宴席で歌を披露しなかった渡来系氏族による宴席の実態を学ぶ。 事前学修：『万葉集』で見られる渡来系氏族の特性を確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
4回	授業内容：石上朝臣宅嗣の宴席歌を読みながら、宴席での「梅の花」の効用を学ぶ 事前学修：『万葉集』で見られる「梅の花」の特性について確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
5回	授業内容：石上朝臣宅嗣の宴席歌を読みながら、ヤマトウタの歴史を学ぶ。 事前学修：ヤマトウタとは何かを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
6回	授業内容：葛井広成の宴席歌を読みながら、渡来系氏族の宴席での実態を学ぶ。 事前学修：葛井広成について、どのような歌人なのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
7回	授業内容：葛井広成の宴席歌を読みながら、歌の場の広がり学ぶ。 事前学修：渡来系氏族が歌を披露する場合は、どのようなものであったのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
8回	授業内容：文馬養の宴席歌を読みながら、宴席における歌の展開を学ぶ。 事前学修：文馬養について、どのような歌人なのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
9回	授業内容：文馬養の宴席歌を読みながら、社交の具としての宴席歌の効用を学ぶ。 事前学修：社交の具としての歌の効用について考えておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
10回	授業内容：秦八千鶴の宴席歌を読みながら、宴席における歌の展開を学ぶ。 事前学修：秦八千鶴について、どのような歌人なのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
11回	授業内容：秦八千鶴の宴席歌を読みながら、社交の具としての歌の効用を学ぶ。 事前学修：社交の具としての歌の効用を確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
12回	授業内容：大伴坂上郎女の宴席歌を読みながら、大伴坂上郎女の実態を学ぶ。 事前学修：大伴坂上郎女について、どのような歌人なのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
13回	授業内容：大伴坂上郎女の宴席歌を読みながら、宴席における女歌の効用を学ぶ。 事前学修：宴席における女歌の効用について確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
14回	授業内容：『梅花の宴』を読みながら、宴席での「梅の花」の効用を学ぶ。 事前学修：大伴旅人について、どのような歌人なのかを確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。
15回	授業内容：『梅花の宴』を読みながら、大宰府における宴席の実態を学ぶ。 事前学修：大宰府について確認しておく。 事後学修：授業内容をまとめたノートを整理し、確認しておく。

- ◆**教科書** 丸淵『訳文 万葉集』森淳司編 笠間書院 2007年 1,800円＋税
- ◆**参考書** 丸淵『新編日本古典文学全集 萬葉集①～④』小島憲之他校注・訳者 1996年 小学館
- ◆**成績評価基準** 復習テストの評価を含む平常点 (30%)・レポート試験 (70%) ※毎回出席することを前提としており、遅刻は認めない。
- ◆**授業相談 (連絡先)**：授業終了時、もしくはメールで受け付ける。noguchi.keiko@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英米文学演習Ⅰ～Ⅲ〕

塚田 英博

- ◆**授業概要** Ernest Hemingway の *The Old Man and the Sea* を読む。まず Ernest Hemingway の紹介をし、Hemingway の文学史上での位置付けを紹介する。そして難解な文章に出会った場合、英文法を駆使して内容を把握していく。その際に、内容を追うだけではなく、Ernest Hemingway 流の英文構成、時代背景を考慮しながら分析していく。
- ◆**学修到達目標** 1. 英文法を駆使しながら、文学作品を読むことができる。  
2. 作品鑑賞ができるようになる。  
3. Ernest Hemingway が置かれた「失われた世代」の背景に触れることができる。
- ◆**授業方法** 学生による和訳発表、問題点の発表が中心。ハンドアウトを作成してもらい、それを土台に授業を進行していく。授業計画はおおよその目安である。進捗によっては授業計画通りに進まない場合がある。翻訳でよいので『老人と海』は読んでおくこと。また、割り当て箇所以外の箇所も予習しておくこと。
- ◆**履修条件** 前期のみ、後期のみを受講も可能であるが、学習効果を上げるためには、前期及び後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容：Ernest Hemingway の紹介及び、ハンドアウト作成の割り当て。 事前学修：文学史などで <i>The Old Man and the Sea</i> の筋筋等を確認しておくこと。 事後学修：Ernest Hemingway の文学史上での位置づけを確認すること。
2回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 1頁から3頁。ハンドアウトのサンプルを配布し、作成の仕方を説明する。 事前学修：1頁から3頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
3回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 4頁から7頁。 事前学修：4頁から7頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
4回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 8頁から11頁。 事前学修：8頁から11頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
5回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 12頁から15頁。 事前学修：12頁から15頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
6回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 16頁から19頁。 事前学修：16頁から19頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
7回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 20頁から23頁。 事前学修：20頁から23頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
8回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 24頁から27頁。 事前学修：24頁から27頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
9回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 28頁から32頁。 事前学修：28頁から32頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
10回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 33頁から37頁。 事前学修：33頁から37頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
11回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 38頁から42頁。 事前学修：38頁から42頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
12回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 43頁から47頁。 事前学修：43頁から47頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
13回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> 読解 48頁から52頁。 事前学修：48頁から52頁までを文構造を把握しながら読むこと。 事後学修：授業で行った箇所を音読をしながら、内容を鑑賞すること。
14回	授業内容：試験、及び解説 事前学修：時間を十分かけ、前回授業で扱った箇所までの英文を読んでおくこと。 事後学修：複数の解釈を考えながら、此処までの箇所を鑑賞すること。
15回	授業内容： <i>The Old Man and the Sea</i> の映像を見ながら、原作との差異を分析する。さらにレポートを回収する。 事前学修：レポート課題に取り組み、完成させること。 事後学修：問題点の指摘を複数検討すること。

- ◆**教科書** 丸沼 THE OLD MAN AND THE SEA Ernest Hemingway 南雲堂 2006年 222刷
- ◆**参考書** 丸沼『老人と海』福田恒存訳 新潮文庫  
英和辞書（電子辞書可）は必ず持参すること。
- ◆**成績評価基準** 試験（50%）発表（30%）最終レポート（20%）毎回出席することを前提に評価する。
- ◆**授業相談**（連絡先）：

注意

## 講座内容 (シラバス)

〔情報概論〕 オープン受講：不可

荒関 仁志

- ◆**授業概要** 表計算ソフト (MS エクセル) を用いて、アンケート調査などに必要な仮説検定と多変量解析 (重回帰分析) の基礎を理解する。また、仮説検定の理論的前提条件 (大数の定理、中心極限定理、分散、正規性と線形性、信頼区間など) を理解する。統計学の課題を通じて表計算ソフトの活用法を学習していきます。
- ◆**学修到達目標** 仮説検定や多変量解析 (重回帰分析) の基礎を理解し、その前提条件を正確に説明できる。また、様々なデータの適切な統計処理を提案することができる。
- ◆**授業方法** 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、表計算ソフト (MS エクセル) の必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。
- ◆**履修条件** 表計算ソフトの基本的操作 (相対参照・絶対参照、ファイル操作、グラフ作成) を行えること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。令和元年度昼間・土曜スクーリング「情報概論」の前期、もしくは後期のみ受講も可能ですが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。令和元年度夜間スクーリング (秋期) 「情報概論」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1 回	<p>授業内容：統計計算の基本 (平均と分散) と利用範囲を理解します。</p> <p>事前学修：統計計算は何を目的としているかを各自調べてください。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき基本関数統計処理の必要性について理解すること。</p>
2 回	<p>授業内容：表計算ソフトの基本操作と表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。</p> <p>事前学修：表計算ソフトの基本 (相対参照・絶対参照) について確認しておくこと。また、表計算ソフトの基本関数 (平均、合計、順位等) について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき基本関数の使い方について理解すること。</p>
3 回	<p>授業内容：表計算ソフトを使った統計の基本を理解することを目指します。</p> <p>事前学修：大数の定理と中心極限定理について調べて、その内容を確認しておくこと。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき大数の定理と中心極限定理を理解すること。</p>
4 回	<p>授業内容：統計分布について理解することを目指します。</p> <p>事前学修：様々な統計分布について調査しておくこと。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、各統計分布の意味を理解すること。</p>
5 回	<p>授業内容：統計分布の信頼区間の考えを理解し、仮説検定の基本を習得すること。</p> <p>事前学修：統計分布における信頼区間と棄却域の考えを調査しておくこと。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、信頼区間と棄却域を理解し、仮説検定の基本的考えを習得すること。</p>
6 回	<p>授業内容：対応のある t 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p>事前学修：対応のある t 検定について調査し、帰無仮説の考え方を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、対応のある t 検定を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
7 回	<p>授業内容：対応のない t 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p>事前学修：対応のない t 検定について調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、対応のない t 検定を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
8 回	<p>授業内容：分散分析について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p>事前学修：分散分析について調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、分散分析を理解し、エクセルでの処理方法を習得すること。</p>
9 回	<p>授業内容：相関係数を理解し、その処理方法を取得する。また、無相関検定についても理解する。</p> <p>事前学修：相関係数を調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、相関係数を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
10 回	<p>授業内容：共分散を理解し、その処理方法を取得する。また、偏相関係数についても理解する。</p> <p>事前学修：共分散と偏相関係数を調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、共分散と偏相関係数を理解し、その処理方法を習得すること。</p>
11 回	<p>授業内容：重回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。</p> <p>事前学修：重回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。また、重回帰分析の背景にある最小二乗法についても調査しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、重回帰分析処理を取得する。</p>
12 回	<p>授業内容：重回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。</p> <p>事前学修：重回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。特に、偏相関係数との関係で、偏重回帰分析を理解しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、重回帰分析処理を取得する。</p>
13 回	<p>授業内容：主成分分析と因子分析について理解する。</p> <p>事前学修：主成分分析と因子分析とはどのような統計手法であるかを調査しておく。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、主成分分析と因子分析の違いを理解する。</p>
14 回	<p>授業内容：他の多変量解析について理解する。</p> <p>事前学修：多変量解析を調査し、どのような統計方法があるか理解する。</p> <p>事後学修：配布資料に基づき、目的に応じた適切な多変量解析の利用範囲を理解する。</p>
15 回	<p>授業内容：確認試験、および解説</p> <p>事前学修：前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：授業内容を確認、理解し、表計算ソフトの活用法について再確認すること。</p>

◆**教科書** [当日資料配布]

◆**参考書** 丸淵「統計学がわかる (ファーストブック)」 向後 千春, 富永 敦子 技術評論社 2007 年  
丸淵「統計学がわかる [回帰分析・因子分析編] (ファーストブック)」 向後 千春, 富永 敦子 技術評論社 2008 年

◆**成績評価基準** 授業参加度 (30%), 平常課題 (50%), 授業内試験 (20%) により総合的に評価します。  
※ 演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

◆**授業相談 (連絡先)**：通信教育部 3 号館 3 階 302 研究室  
E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。  
例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔マーケティング論〕

兩宮 史卓

- ◆**授業概要** 本講義は、企業が製品・サービスを売るための手段としてマーケティングを捉えるだけでなく、より広い視点でマーケティングを捉える事を心掛ける。そのため、社会情勢、経済状況の変化とともに消費者の嗜好がどのように変化し、市場に影響を及ぼしてきたかを詳しく解説する。実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき、各個人が分析し問題を解決する手法を学ぶ。また、実務経験を通して得た理論や分析方法も交えて解説するように心掛ける。
- ◆**学修到達目標**
  - 1 マーケティング戦略の理論と実際が理解できる。
  - 2 実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき、各個人が分析し問題を解決する手法を考案できるように心掛ける。
  - 3 データを分析し、市場動向を見極めながら的確に消費者ニーズを把握できるようにする。
- ◆**授業方法** ターム前半は前期を振り返りながら基礎事項を確認する。ターム後半はマーケティングの事例を中心として幅広い理論の習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。
- ◆**履修条件** 前期昼間スクーリングとの継続履修が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：後期授業の進め方 マーケティングの基本理念 事前学修：テキスト第 1 章を再読しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、今回の授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容：市場創造とマーケティング 事前学修：配布資料をよく読み、市場の種類を確認しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
3 回	授業内容：マーチャンダイジングと市場細分化 事前学修：配布資料と、テキスト 31 頁～ 33 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業全体を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容：製品開発と管理 事前学修：配布資料とテキスト第 7 章をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、今回の授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容：消費者視点の価値と価格 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
6 回	授業内容：プロモーションの種類と役割 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
7 回	授業内容：広告媒体と広告計画 事前学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
8 回	授業内容：取引と流通 事前学修：テキスト 209 頁～ 223 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を読んで、ノートにまとめておくこと。
9 回	授業内容：IT と流通の変化 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
10 回	授業内容：ブランド概念とコミュニケーション 事前学修：配布資料とテキスト 135 頁～ 137 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容：ブランド・マネジメント 事前学修：配布資料をよく読んで、ブランド概念を理解しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
12 回	授業内容：マーケティングとフード・サービス 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：配布資料を読み返し、食の種類をノートにまとめておくこと。
13 回	授業内容：環境とマーケティング 事前学修：配布資料と指示されたテキストの該当ページをよく読んでおくこと。 事後学修：後期の終りが近いので、今までのノートをよく読み返ししておくこと。
14 回	授業内容：後期授業の総復習 事前学修：配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修：要点項目として配布資料に挙げたものを、再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容：テストと解説 事前学修：配布資料の項目をテキスト、ノートで学習しておくこと。 事後学修：テキストの全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、後期の授業内容の全体像を理解すること。

- ◆**教科書** 教材 マーケティング S30500  
〔当日資料配布〕 必要に応じて資料を配布する
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業初回時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~IV〕

マイケル ギルロイ

- ◆**授業概要** To enhance students' reading, listening comprehension, writing skills, grammar, enlarge vocabulary and boost self confidence.
- ◆**学修到達目標** Help students' develop aural and oral fluency through engaging content and practical practices. Units are thematically structured, including topics which appear in daily conversations.
- ◆**授業方法** Students will work individually, in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, listening, role-plays and discussions.
- ◆**履修条件** 令和元年度夏間スクーリング (後期) 「英語A」「英語M」(マイケルギルロイ) とは積み重ね不可。
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容: Summer Review → Clothes. 事前学修: Preparation for farther discussion on "Clothes". 事後学修: W. B. D.
2回	授業内容: Clothes 2 事前学修: Consider the topic "Clothes" in more detail. 事後学修: W. B. D.
3回	授業内容: Traveling. 事前学修: What do you think / know about traveling? 事後学修: W. B. D.
4回	授業内容: Music 1 事前学修: Music → What is it to you? 事後学修: W. B. D.
5回	授業内容: Music 2 事前学修: What else can you say about music? 事後学修: W. B. D.
6回	授業内容: Movies. 事前学修: Do you like movies? 事後学修: W. B. D.
7回	授業内容: Shopping. 事前学修: Tell me about shopping. 事後学修: W. B. D.
8回	授業内容: Internet. 事前学修: Do you use the internet? 事後学修: W. B. D.
9回	授業内容: Weather 事前学修: How's the weather? 事後学修: W. B. D.
10回	授業内容: Feelings 1. 事前学修: How do you feel? 事後学修: W. B. D.
11回	授業内容: Feelings 2. 事前学修: Emotions vs. Physical feelings. 事後学修: W. B. D.
12回	授業内容: Art. 事前学修: What is art? 事後学修: W. B. D.
13回	授業内容: The Future. 事前学修: What are your hopes and dreams. 事後学修: Full course review.
14回	授業内容: Review / Warm up / Test. 事前学修: Review of all topics covered. 事後学修: New Year resolutions.
15回	授業内容: New Year / Hopes / Plans. 事前学修: Knowledge of all we have studied. 事後学修: Best of luck in your future.

- ◆**教科書** 丸沼 "English Listening and Speaking Patterns 2" Andrew E. Bennett, NAN' UN-DO  
当日資料配布 Supplementary handouts. Interactive games.
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** Grades will be allocated based on attendance, participation, completed assignments and a final exam.
- ◆**授業相談 (連絡先)** : The school

注意

# 講座内容（シラバス）

〔日本政治史〕 オープン受講：不可

石川 徳幸

- ◆**授業概要** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史のかたちで学んでいく。歴史的文脈を正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは必ずしも得策ではないが、便宜上、本講義では明治後期から大正期を対象とする。史料に基づいて通説を批判的に検証しながら、対外戦争に臨んだ歴史的背景や大正政変などの国内政治の過程を理解する。昼間スクーリング（前期）「日本政治史」を受講していることが望ましい（前期に受講していない場合は、教科書の該当部分を一読してから参加すること）。
- ◆**学修到達目標** 歴史を考察するための基本的な方法を理解し、批判的に史料を読むことができる。日本が世界の五大国に数えられるまでに発展していった過程を説明することができる。日本における議会政治の展開を説明することができる。
- ◆**授業方法** 基本的には、通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで、史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は、あくまでも初学者を対象として構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、かならずノートを用意すること。
- ◆**履修条件** 令和元年度昼間スクーリング（後期）「日本政治史」との積み重ね不可。  
※夏季スクーリングや昼間スクーリング（前期）との積み重ねは可能。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容：イントロダクション 事前学修：シラバスを読んでおくこと。 事後学修：ノートの取り方を確認しておくこと。
2回	授業内容：憲法制定と諸制度の改革・整備 事前学修：教科書第5章第1節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、大日本帝国憲法の制定過程と歴史的意義を理解する。
3回	授業内容：初期議会と日清戦争① 事前学修：教科書第5章第2節第1項～第2項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、帝国議会の開設と第1議会の展開を理解する。
4回	授業内容：初期議会と日清戦争② 事前学修：教科書第5章第2節第3項～第4項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、初期議会の展開を理解する。
5回	授業内容：初期議会と日清戦争③ 事前学修：教科書第5章第2節第5項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、日清戦争の歴史的意義を理解する。
6回	授業内容：政党政治の誕生 事前学修：教科書第6章第1節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、隈板内閣の歴史的意義を理解する。
7回	授業内容：帝国主義国家への歩み① 事前学修：教科書第6章第2節第1項～第3項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、政友会の創立過程や日英同盟の歴史的意義を理解する。
8回	授業内容：帝国主義国家への歩み② 事前学修：教科書第6章第2節第4項～第5項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、日露戦争の歴史的意義を理解する。
9回	授業内容：明治の終焉 事前学修：教科書第6章第3節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、桂園時代の歴史的意義を理解する。
10回	授業内容：大正の政変 事前学修：教科書第7章第1節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、第一次憲政擁護運動の展開と歴史的意義を理解する。
11回	授業内容：第一次世界大戦① 事前学修：教科書第7章第2節第1項～第3項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、参戦過程や対華 21 箇条要求の歴史的意義を理解する。
12回	授業内容：第一次世界大戦② 事前学修：教科書第7章第2節第4項～第5項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、米騒動の歴史的意義を理解する。
13回	授業内容：政党政治の展開① 事前学修：教科書第7章第3節第1項～第2項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、原敬内閣の歴史的意義を理解する。
14回	授業内容：政党政治の展開② 事前学修：教科書第7章第3節第3項～第5項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、国際会議や第2次護憲運動の展開を理解する。
15回	授業内容：後期の総括 事前学修：ノートの内容を確認し、教科書や参考文献で補う。 事後学修：大正末期までの日本政治の展開を振り返る。

- ◆**教科書** 随時『日本政治史 L30400』
- ◆**参考書** 〔当日資料配布〕スライドの一部を印刷し、資料として提供することがある  
〔別途〕※必要に応じて、授業のなかで紹介する
- ◆**成績評価基準** 筆記試験（95%）の結果をもとに成績評価を行う。なお、全体の3分の1を超える欠席がある場合は、試験を受けても評価の対象にはならない。小テストの内容や積極的な受講態度を加味する（5%）。
- ◆**授業相談（連絡先）**：通常の質疑応答のほかに、本講義では出席調査表の裏面に質問・感想などのコメントを記入してもらい、翌週の授業冒頭にフィードバックを行っている。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔日本史演習 I・II〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 史学専攻生に必要な技能に史料読解と論文作成があります。史料は、読んで訳すだけでなく、「読解」が必要です。本演習では、いくつかの課題史料を使って、読解力を養い、課題設定・作業・報告を通じて、歴史学論文執筆に必要な知識・技術、卒論に向かう姿勢の修得をめざします。史料専門調査員としての活動を活かし、史料の検索・収集・整理、史料から導かれる史実認定の方法を指導します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合もあります。

◆**学修到達目標** 1. 史料検索・史料の評価をおこなうための知識を獲得し、その技術を活かす方法を考える。  
2. 史料に描かれた内容から歴史事実を再現し、多様な解釈から検討する姿勢と技術を身につける。  
3. 日本史に関わる卒業論文作成技術を修得するための、基本的技術を身につける。  
4. 受講生が自ら卒業論文で使う史料を整理できる技術と姿勢を身につける。

◆**授業方法** 個人作業とグループワーク (G) の併用です。グループワークは、課題設定から課題解決までをおこなう問題解決型学習 (PBL) やピア評価・グループ内評価を基本形式とします。この演習では、事前学修で作成したシートを使ってグループワークをおこないますので、事前学修なしで参加したり、欠席するとグループ学修や成果発表準備に支障が生じます。受講 (オープン受講含む) の際は十分に注意してください。

◆**履修条件**

◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容：日本史演習の計画と到達目標 事前学修：シラバスを熟読し、自身の学修到達目標を考えておく。 事後学修：授業方針を踏まえて、事前に考えた目標を修正し、学修方針を立てる。
2 回	授業内容：史料読解に必要なスキル(1) 史料の種類 事前学修：事前シートに記された基本史料集の解題を記入する。 事後学修：図書館や公的サイトを通じて、現物確認する。
3 回	授業内容：史料読解に必要なスキル(2) 史料を読む際の基本文法・用法 事前学修：事前シートに記されている用例に取り組む。 事後学修：授業時に配付する短文の史料を全文読み下す。
4 回	授業内容：史料読解に必要なスキル(3) 現代語訳する 事前学修：第3回で配付した短文史料について現代語訳する。 事後学修：自身と他者の現代語訳の違いの要因を整理する。
5 回	授業内容：史料読解実践(1) 法律を読む 事前学修：【課題史料1】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
6 回	授業内容：史料読解実践(2) 農村文書を読む 事前学修：【課題史料2】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
7 回	授業内容：史料読解実践(3) 幕府史料を読む 事前学修：【課題史料3】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
8 回	授業内容：史料読解実践(4) 生活史料を読む 事前学修：【課題史料4】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
9 回	授業内容：史料読解実践(5) 外国史料を読む 事前学修：【課題史料5】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
10 回	授業内容：史料読解実践(6) 武家文書を読む 事前学修：【課題史料6】で指示された課題に取り組む。 事後学修：授業で読まなかった箇所を読み、発展課題に取り組む。
11 回	授業内容：史料カード作成の練習 資料整理法の実践 事前学修：第10回で配付する史料の書誌情報を調べ、まとめる。 事後学修：授業時のカードを参考にして、作成しきれなかったカードを作成する。
12 回	授業内容：史料を比較検討する(1) 史料比較の実践とテーマ案策定 事前学修：配付資料に目を通しておく。 事後学修：それぞれに決まった個人テーマについて、何が必要かを整理する。
13 回	授業内容：史料を比較検討する(2) グループ内相互評価 事前学修：各自でその史料の作成背景を考え、簡単な発表資料を作成する。 事後学修：討論・質疑での結果を踏まえて、発表資料を修正する。
14 回	授業内容：史料を比較検討する(3) グループ間相互評価 事前学修：発表資料を作り、修正箇所を説明できるように準備する。 事後学修：自身の研究テーマについて、同じような作業を実施する。
15 回	授業内容：報告講評、史料に対する評価、課題の発見 事前学修：各回の学修内容を整理する。 事後学修：授業全体の方法を振り返り、自身の弱点克服に向けての方策を考える。

◆**教科書** **【当日資料配布】** 随時必要な資料を配付します ※初回到課題史料集を配付する予定です。

◆**参考書** **【当日資料配布】** 配布プリントで適宜紹介します  
丸沼『日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法』 芥川一志著 吉川弘文館 2015年

◆**成績評価基準** グループ発表 (20%)、最終課題レポート (40%)、授業内小課題 (20%)、グループ活動評価 (20%) の総合評価  
※ 15 回全出席を前提とした評価です。

◆**授業相談 (連絡先)**：原則として講義終了後の休憩時間あるいはメール (初回授業で告知します) で受け付けます。

注意



# 講座内容 (シラバス)

## (国際経済論)

前野 高章

- ◆**授業概要** グローバル化の進展に伴い、国際マクロ経済政策や国際通貨制度の在り方の重要性が増している。本講義では、国際収支の基本的な考え方や基礎理論、開放経済体系下の経済政策、ならびに為替相場決定の理論や国際通貨制度等について学び、グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。
- ◆**学修到達目標** 本講義では、現実の国際経済の動きを念頭に置きながら、国際収支の基本的な考え方や基礎理論や開放経済体系下の経済政策の在り方、国際通貨制度などの国際ルールについて学び、国際経済現象をモデル化し分析する能力を養い、変化の激しいグローバル経済の特徴や課題を理解し説明することができるようになることを目的とする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき、板書とパワーポイントで講義を行う。必要に応じて講義関連資料および経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。また、講義内で課題を設ける場合、その解説は講義内で行うようにする。学修方法については、初回授業時に説明する。
- ◆**履修条件** 経済学概論、経済原論、経済学などでマクロ経済学の基礎理論を学修してから履修する方が望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 国際経済論とは何かについて 講義の進め方について確認し、国際経済論とはどのような学問であるのかなどについて学修する。	事前学修 経済学における国際経済論の位置づけについて確認する。	事後学修 講義の内容を整理し、配布資料を読んで、講義内容を理解する。
2回	授業内容 グローバル化する経済 国際経済の理論と方法の概略を確認し、国際経済と統計データからグローバル市場の特徴学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから現代の国際取引の特徴について確認する。	事後学修 講義内容や統計データから国際取引の変遷を整理する。
3回	授業内容 グローバル経済の分析視点 世界市場での国際取引の拡大要因について学修する。	事前学修 配布資料、参考書などからモノとカネの国際取引について確認する。	事後学修 講義内容をもとにモノとカネの国際取引の拡大要因について整理する。
4回	授業内容 国際収支表構造と国際収支統計 - 基本的な考え方 - 国際収支統計の基本的知識を学修する。	事前学修 第1回から第3回までの内容を整理する。	事後学修 講義内容をもとに、国際収支の基本的な考え方を整理する。
5回	授業内容 国際収支表構造と国際収支統計 - 具体例から考える - 国際収支統計の基本的知識をもとに、国際収支表統計を確認する。	事前学修 配布資料、参考書などから、国際収支表構造を確認する。	事後学修 講義内容をもとに、日本の国際収支の特徴を整理する。
6回	授業内容 マクロ経済モデル 対外収支と貯蓄投資バランスについて学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから、マクロ経済モデルを確認する。	事後学修 講義内容をもとに、マクロ経済モデルと国際収支の関連性を整理する。
7回	授業内容 為替の変動と貿易の変化の関係性 ML 条件と Jカーブ効果について学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから、為替市場と弾力性アプローチについて確認する。	事後学修 講義内容をもとに、ML 条件と Jカーブ効果について整理する。
8回	授業内容 国際マクロ経済政策① 財市場の均衡と IS 曲線について学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから、財市場の均衡について確認する。	事後学修 講義内容をもとに、IS 曲線の導出について整理する。
9回	授業内容 国際マクロ経済政策② 貨幣市場の均衡と LM 曲線	事前学修 配布資料、参考書などから、貨幣市場の均衡について確認する。	事後学修 講義内容をもとに、LM 曲線の導出について整理する。
10回	授業内容 国際マクロ経済政策③ IS-LM-BP 分析	事前学修 配布資料、参考書などから、IS-LM 分析を確認する。	事後学修 講義内容をもとに、IS-LM-BP 分析について整理する。
11回	授業内容 国際マクロ経済政策④ 固定相場制下の財政政策と金融政策の効果について学修する。	事前学修 配布資料、参考書などからマンデル=フレミング・モデルを確認する。	事後学修 講義内容をもとに、固定相場制下の政策効果を整理する。
12回	授業内容 国際マクロ経済政策⑤ 変動相場制下の固定相場制下の財政政策と金融政策の効果について学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから第10回の内容を確認する。	事後学修 講義内容をもとに、為替相場と政策効果の関係性を整理する。
13回	授業内容 金融のグローバル化 国際通貨制度の概観を学修する。	事前学修 配布資料、参考書などから国際通貨制度の変遷を確認する。	事後学修 講義内容をもとに、国際通貨制度の経済的意義を整理する。
14回	授業内容 理解度の確認 国際マクロ経済モデルの特徴と開放経済下での経済政策の効果について再確認する。	事前学修 これまで配布した資料や教科書および参考書を熟読し、要点をノートにまとめる。	事後学修 講義内容の要点項目を再確認し、講義内容をノートに整理する。
15回	授業内容 試験および総まとめ 講義で学修した内容の総確認を行う。	事前学修 全配布資料および教科書から講義の要点をまとめる。	事後学修 講義および試験をふまえ、開放経済体制下の経済政策の在り方について再確認する。

- ◆**教科書** **【当日資料配布】** 各回で必要な講義資料を配布する。
- ◆**参考書** **【凡例】**『基礎から学ぶ国際経済と地域経済』若杉隆平編著 文真堂 2020年  
**【選1】**『国際経済論 [改訂版] 737』日本大学通信教育部教材  
**【凡例】**『国際金融の教科書』川野祐司 文真堂 2019年  
**【凡例】**『国際金融論をつかむ』橋本・小川・熊本 有斐閣 2007年
- ◆**成績評価基準**
- ◆**授業相談 (連絡先) :**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔中国経済論〕

崔 農

◆**授業概要** 米中経済摩擦や貿易の報復合戦による両国の経済へのマイナス影響は明らかになっていると同時に、世界経済に対して大きな影響を与えているのも事実である。

このような状況の中、本講義では、中国はさまざまな国や地域との関わりを取り上げることによって、グローバル経済の視点から中国経済を理解することを目的とする。また、グローバル経済において中国経済はどのような状況にあるのかを認識し、中国経済の今後の予測などを含めて、グローバル視点から中国経済への理解を深めることを目標とする。

◆**学修到達目標** 本講義では改革開放政策から 40 年間、中国経済発展の歩み、産業の発展における政府や企業の役割、経済減速の背景や 経済発展を制約する要因などを取り上げる。中国経済を中心に、中国経済の特徴や現状、課題などについて理解することを目的とする。また経済問題の背景にある社会的、政治的な側面にも留意することで、包括的な中国経済を理解すること、自ら分析できることを目標としている。

◆**授業方法** パワーポイントと黒板を両方使用します。授業への理解を深めるため、映像を用いて授業するときもあります。

◆**履修条件** 中国経済、国際経済に関心があること。また前期の「中国経済論理」を履修済みであることが望ましい。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 後期講義内容の概説—グローバル経済中の中国
事前学修	グローバル化の意味やグローバル経済のメリット、デメリット、最近の中国と米国の経済のグローバル化への対応を分析し、グローバル化の意義を考える。
事後学修	授業内容を整理し、理解しておくこと。
2 回	授業内容 香港・台湾の経済と中国との関係
事前学修	2000 年代以降、中国の経済大国化に伴って、香港と台湾は中国との経済関係を拡大と深まっている。今回は香港・台湾の経済発展プロセス紹介し、中国経済にとって香港の役割の変化、台湾の対中経済の姿勢などについて取り上げる。また、中国との関係において香港・台湾経済の課題を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
3 回	授業内容 中国経済発展と華僑華人資本
事前学修	華僑華人主に東南アジア華僑華人資本の概況と実力を概説し、中国の経済発展において華僑華人資本の役割及び「一帯一路」構想において華僑華人の仲介的な役割を分析し、彼たちの資本は今後どのような動きになるかを検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
4 回	授業内容 「一帯一路」の構想と意義
事前学修	「一帯一路」構想の概念やビジョン、行動プランを紹介し「一帯一路」の経済戦略、主要ルート及び主なプロジェクト進捗の状況、沿線国との経済関係を分析し、「一帯一路」の問題点を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
5 回	授業内容 「中国製造 2025」
事前学修	「中国製造 2025」を打ち出す背景や内容を紹介し、世界主要国の製造業の動向、「中国製造 2025」の戦略目標と方針、「中国製造 2025」の重点戦略を概説し、中国の次世代デジタル産業政策や「中国製造 2025」の課題を分析する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
6 回	授業内容 日中経済関係
事前学修	戦後の日本経済のあゆみを紹介し、日中双方の貿易と直接投資を中心に取り上げ、投資や経営の問題点を分析する。また米中貿易摩擦による日系企業への影響や「一帯一路」構想に関する日中企業の協力を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
7 回	授業内容 米中経済摩擦
事前学修	歴史上の貿易摩擦の事例をとりあげ、米中貿易の現状や米中貿易摩擦の経緯、貿易不均衡問題の要因を分析する。米関税の引き上げや制裁などによる米国の真意を探り、米中経済摩擦における双方応酬の動き、米中両国経済及び世界経済に及ぼす影響や今後の予測を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
8 回	授業内容 東南アジアに南進する中国
事前学修	東南アジア歴史の歩み、「ASEAN (東南アジア諸国連合)」設立した背景や ASEAN 共同体の構築などについて概説し、中国と ASEAN 関係の歩み、貿易と直接投資の拡大の現状を分析し、地政学からみる「一帯一路」の「一路」であると東南アジア地域の重要性、また中国対 ASEAN 投資の問題点などを検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
9 回	授業内容 中国と EU との経済関係
事前学修	EU・中国との関係の歩み、双方の貿易や最近の投資の現状を概説する。「一帯一路」構想において、EU の立場と動きを分析する上で、EU・中国経済関係の問題点を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
10 回	授業内容 中国のアフリカ進出の拡大
事前学修	アフリカの経済概況や豊富な資源、アフリカ潜在的な市場を概説し、中国とアフリカとの関係の歩みや中国とアフリカとの貿易構造、アフリカにおける中国のエネルギー・インフラ分野への投資を取り上げる。さらに一帯一路関連の開発投資プロジェクトの進捗状況や債務など中国の対アフリカ投資の問題点を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
11 回	授業内容 深化する中国と中東諸国との経済関係
事前学修	世界のエネルギー資源における中東地域の重要性を概説し、エネルギー資源を中心に中国と中東主要国との間の貿易や投資を取り上げる。米国を超え、中東地域への首位投資国としての中国との経済関係を深まる一方、指摘される中東への投資の問題点を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
12 回	授業内容 中国とロシア及び上海協力機構諸国との経済
事前学修	上海協力機構 (SCO) 設立の背景や内容を紹介し、中国と中央アジア諸国及びロシアとの経済関係、中国の国境地域協力をとりあげ、天然ガスなどの資源についての取引の現状や貿易、直接投資を分析し、SCO の直面する新たなチャンス及び問題点を検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
13 回	授業内容 拡大する中国と中南米諸国との経済
事前学修	中南米主要国の経済概況や資源などについて概説する。中国と中南米との経済関係について米国と日本との比較視点で主に貿易と直接投資の特徴を分析し、中南米主要国への投資の問題点などを検討する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと。
14 回	授業内容 2050 年の中国
事前学修	社会主義の現代化戦略や 2020 年・2035 年の発展戦略目標、中国の産業構造 (2015-2035 年) をとりあげ、2050 年の中国—社会主義現代化強國の全面的建設の目標及び中国のリスクなどについて分析する。
事後学修	授業の内容を整理し、理解しておくこと
15 回	授業内容 授業のまとめと補足説明
事前学修	授業のまとめとレポートの提出
事後学修	授業内容を整理し、理解して、中国経済を再確認すること

◆**教科書** 特にありません。授業中に資料を配布します。

〔丸印〕

◆**参考書** 〔丸印〕 参考書：『現代中国経済論』梶谷懐・藤井大輔編著 第 2 版第 1 刷発行 ミネルヴァ書房 2018/05/10

〔丸印〕 参考書：『中国・新興国ネクサス』末広昭・田島駿雄・丸川知雄編 東京大学出版社 2018/12/20

〔丸印〕 参考書：『現代中国を知るための 44 章』藤野彰・曾根康雄著 明石書店 2016/12/31

◆**成績評価基準** テストはないかわりに、レポートを提出することになります。成績の評価はレポート 60 点、出席率 30 点、授業態度 10 点という配分で総合的に評価します。

◆**授業相談 (連絡先)**：初回授業時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔広告論〕

雨宮 史卓

- ◆**授業概要** TVを見ない日はあっても広告を見ない日はないと言っても過言でないくらい、広告は我々の生活に深く浸透している。この事を踏まえ、企業の広告戦略を概観しながら、人々の欲求を創造するコミュニケーション活動である広告を生活全体や文化といった広い視点での理解を目指す。尚、ブランド戦略などは実務による経験からのものを具体例として解説する。
- ◆**学修到達目標**
  - 1 広告の意義とプロモーション戦略を理解する。
  - 2 新たな製品・サービスを発売する際に、どのような広告活動によって消費者に認知されるべきかを検討し、そのブランドをどのように育成していくかを立案できるようになる。
  - 3 ブランド力を強化し、当該ブランドを拡張する場合、どのような広告戦略を行うべきかを企画・検討できるようになる。
- ◆**授業方法** 前期の広告論での授業における広告の基本的機能を元に、企業の広告戦略の実態を解説する。授業の後半では、その日の主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。
- ◆**履修条件** 前期の広告論と継続履修が望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容	後期授業の進め方 広告とは？ブランドとは？
	事前学修	前期の内容部分（テキスト第1章～第5章）を再読した上で、第6章を熟読し、広告コミュニケーションとブランド概念の関係性を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	ブランドの基本的概念と役割
	事前学修	テキスト133～144頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容	ブランドを軸としたマーケティング及び広告戦略の展開
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト153～161頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキスト157頁の表におけるブランドの9項目を理解しておくこと。
4回	授業内容	ブランド拡張と広告コミュニケーション
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通した上で、テキスト162～165頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料の「ブランド拡張概念図」をノートに書き写しておくこと。
5回	授業内容	製品ライフ・サイクル、ブランド・ライフサイクルと広告戦略
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト169～185頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容	広告コミュニケーションと経験価値
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、テキスト187～193頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキスト190頁の表をノートに書き写しておくこと。
7回	授業内容	経験価値と総称ブランドの概念
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト193～207頁を熟読し、197頁の図が意味する内容を把握しておくこと。
	事後学修	経済価値としての経験価値、及び総称ブランドの活用方法を理解した上で、205頁の図をノートに書き写して内容を理解しておくこと。
8回	授業内容	フード・ビジネスの分類と食に対するブランド性
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト211～217頁を熟読し、食の分類方法を理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容	ストア・ブランドの機能と役割
	事前学修	前期の授業のノートを確認した上で、テキスト217～230頁を熟読し、218頁と220頁の図の違いを認識しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、製品ブランドとストア・ブランドの違いを確認した上で教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容	ロングセラー・ブランドに対する広告の役割
	事前学修	配布資料によく目を通してくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容	キャラクター・ビジネスと広告
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、キャラクター・ビジネスの事例を調べて理解しておくこと。
12回	授業内容	市場と広告
	事前学修	前期の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、市場の種類を把握しておくこと。
13回	授業内容	広告の文化・社会的要素
	事前学修	後期の終りが近いので、今までのノートをよく読み返しておくこと。また、前期に学修した「ポストモダン・マーケティング」の意味を辞書やテキスト等で再度調べ、理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容	後期授業の総まとめ
	事前学修	配布資料の項目をテキスト、ノートで前もって確認しておくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容	テストと解説
	事前学修	配布資料の項目をテキスト、ノートで前もって確認しておくこと。
	事後学修	テキスト全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、広告理論・戦略、ブランド概念を理解すること。

- ◆**教科書** 丸沼 雨宮史卓『広告コミュニケーション』八千代出版  
事前資料送付 必要に応じて資料を配布する
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業初回時に案内します。

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~IV〕

マイケル ギルロイ

- ◆**授業概要** To enhance students' reading, listening comprehension, writing skills, grammar, enlarge vocabulary and boost self confidence.
- ◆**学修到達目標** Help students' develop aural and oral fluency through engaging content and practical practices. Units are thematically structured, including topics which appear in daily conversations.
- ◆**授業方法** Students will work individually, in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, listening, role-plays and discussions.
- ◆**履修条件** 令和元年度夏間スクーリング (後期) 「英語A」「英語M」(マイケルギルロイ) とは積み重ね不可。
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容: Summer Review → Clothes. 事前学修: Preparation for farther discussion on "Clothes". 事後学修: W. B. D.
2回	授業内容: Clothes 2 事前学修: Consider the topic "Clothes" in more detail. 事後学修: W. B. D.
3回	授業内容: Traveling. 事前学修: What do you think / know about traveling? 事後学修: W. B. D.
4回	授業内容: Music 1 事前学修: Music → What is it to you? 事後学修: W. B. D.
5回	授業内容: Music 2 事前学修: What else can you say about music? 事後学修: W. B. D.
6回	授業内容: Movies. 事前学修: Do you like movies? 事後学修: W. B. D.
7回	授業内容: Shopping. 事前学修: Tell me about shopping. 事後学修: W. B. D.
8回	授業内容: Internet. 事前学修: Do you use the internet? 事後学修: W. B. D.
9回	授業内容: Weather 事前学修: How's the weather? 事後学修: W. B. D.
10回	授業内容: Feelings 1. 事前学修: How do you feel? 事後学修: W. B. D.
11回	授業内容: Feelings 2. 事前学修: Emotions vs. Physical feelings. 事後学修: W. B. D.
12回	授業内容: Art. 事前学修: What is art? 事後学修: W. B. D.
13回	授業内容: The Future. 事前学修: What are your hopes and dreams. 事後学修: Full course review.
14回	授業内容: Review / Warm up / Test. 事前学修: Review of all topics covered. 事後学修: New Year resolutions.
15回	授業内容: New Year / Hopes / Plans. 事前学修: Knowledge of all we have studied. 事後学修: Best of luck in your future.

- ◆**教科書** 丸沼 "English Listening and Speaking Patterns 2" Andrew E. Bennett, NAN' UN-DO  
当日資料配布 Supplementary handouts. Interactive games.
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** Grades will be allocated based on attendance, participation, completed assignments and a final exam.
- ◆**授業相談 (連絡先)** : The school

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕

近藤 健史

- ◆**授業概要** 童謡「赤とんぼ」で知られ、北原白秋と並んで明治末期に「白露時代」を築いた三木露風の作品を読む。露風の詩、短歌、紀行文などの読解を通じて、基本的な作品分析方法を学ぶ。また、時代背景や詩壇との関係などの問題についても考える。さらに未公開のままであった『山崎新聞』に記載された作品についても触れる。
- ◆**学修到達目標** 文学作品の読解・分析の方法を学び、自ら調査・研究をするようになる。作品内容と社会的背景や文壇との関係を知り、明治から昭和に活躍した露風の文学について説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 三木露風の生涯や作品について、基本的には教科書を用いて講義形式で行う。露風の初期作品から昭和初期までの作品を社会的背景などと関わらせて読み解く。未公開作品については、プリントを用いる。また、受講者数によっては、未公開作品の初出についての確認作業を予定している。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 授業の進め方, オリエンテーション。 事前学修: 教科書の「三木露風年譜」を読んでおくこと。 事後学修: 事前学修と授業内容を踏まえ、露風の文学活動について理解を深める。
2回	授業内容: 露風の幼年時代から少年時代まで、誕生の地たつの市の風土について学ぶ。 事前学修: 教科書の第1章を読んでおくこと。 事後学修: 露風の生い立ち、風土や文学的環境について理解を深める。
3回	授業内容: 露風の青年時代を学ぶ。 事前学修: 教科書の第2章を読んでおくこと。 事後学修: 露風の大学時代と作品集刊行について理解を深める。
4回	授業内容: 修道院・信仰への道を歩む露風を学ぶ。 事前学修: 北海道上磯郡のトラピスト修道院での生活について調べておくこと。 事後学修: 露風のカトリック信仰と作品について理解を深める。
5回	授業内容: 大正14年6月末にトラピスト修道院を出てからの露風の活躍について学ぶ。 事前学修: 「年譜」により修道院を出てからの生活と作品について調べておくこと。 事後学修: 教科書にあげてある作品を読み、特徴などを理解する。
6回	授業内容: 詩壇と露風の関係について学ぶ。 事前学修: 象徴主義、北原白秋一派との確執、詩壇論争について調べておくこと。 事後学修: 露風と詩壇との関わりについて理解を深める。
7回	授業内容: 大正15年以降の公開されていない露風の文学活動を学ぶ。 事前学修: 「年譜」により、大正15年以降の露風の文学的活動について調べておくこと。 事後学修: 「年譜」に載らない露風の文学活動について理解を深める。
8回	授業内容: 露風の処女歌集「夏姫」の作品を読む。 事前学修: 教科書に載る作品を読んでおくこと。 事後学修: 第1歌集「夏姫」の特性を理解する。
9回	授業内容: 露風の代表作である第二詩集「廃園」の作品を読む。 事前学修: 教科書に載る「廃園」の作品を読んでおくこと。 事後学修: 代表作となった「廃園」の特性を理解する。
10回	授業内容: 露風の『寂しき囃』の作品を読む。 事前学修: 教科書に載る『寂しき囃』(1・2・3)の作品を読んでおくこと。 事後学修: 第3詩集『寂しき囃』の特性について理解する。
11回	授業内容: 露風の『白き手の獵人』の作品を読む。 事前学修: 教科書に載る『白き手の獵人』の作品を読んでおくこと。 事後学修: 『白き手の獵人』の特性を理解する。
12回	授業内容: 信仰の道における『良心』の詩を読む。 事前学修: 教科書に載る『良心』の作品を読んでおくこと。 事後学修: カトリック信仰に基づく『良心』の特性について理解する。
13回	授業内容: 信仰の道における『蘆間の幻影』の詩を読む。 事前学修: 教科書に載る『蘆間の幻影』の詩について読んでおくこと。 事後学修: 修道院時代に編んだ『蘆間の幻影』の特性について理解する。
14回	授業内容: 露風の未公開作品である『山崎新聞』掲載の作品を読む。 事前学修: 前回配布した資料を読んで『山崎新聞』について理解しておくこと。 事後学修: 露風と『山崎新聞』、配布したシプリントにある作品について理解する。
15回	授業内容: 『山崎新聞』掲載の作品を読む。 事前学修: 配布したプリントにある作品について読んでおくこと。 事後学修: 露風の人と文学について再確認する。

- ◆**教科書** 『三木露風』(作家の自伝62)、三木露風、日本図書センター、1998年
- ◆**参考書** 『三木露風 人と作品』福島朝治、教育出版センター、1985年  
『三木露風全集』(全3巻)、日本図書センター(高額のため図書館を利用)
- ◆**成績評価基準** リポート80%、授業参画20%
- ◆**授業相談(連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔科学哲学〕

江川 晃

- ◆**授業概要** 科学は技術と結びつくことにより、正・負両面に、莫大な影響を与えている。地球温暖化問題、遺伝子操作、再生医療、原発事故等は、科学技術によりもたらされた、人類の存亡に関わる重大な問題であろう。このような科学と社会との関係および科学者の倫理的規範について、科学社会学の知見から考えてみよう。
- ◆**学修到達目標** 科学が技術と結合して「科学技術」へと変貌していく過程において、科学社会学は生じてきた。この講座の目標は、科学技術の先端化と社会的リスクの増大とが表裏一体であることに言及しつつ、科学技術の実践に必要な不可欠な「倫理」あるいは「社会的説明責任」について考察できる能力を養うことにある。
- ◆**授業方法** 教科書とパワポによる講義、小レポート、発表、討論しながら、ダイナミックに行こう。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 1 科学哲学とは何か 事前学修: シラバスと教科書の前書きをよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の復習。
2回	授業内容: 2 科学社会学の展開 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
3回	授業内容: (1) 科学社会学の成立 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
4回	授業内容: (2) 科学知識の社会学 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
5回	授業内容: (3) サイエンス・ウォーズ 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
6回	授業内容: 3 科学の変貌と科学技術革命 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
7回	授業内容: (1) 「科学技術」という言葉 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
8回	授業内容: (2) 科学技術革命 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
9回	授業内容: (3) 科学の変貌と再定義 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
10回	授業内容: 4 科学技術の倫理 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
11回	授業内容: (1) 地球環境問題 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
12回	授業内容: (2) 科学技術の社会的責任 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
13回	授業内容: (3) 科学技術と公共性 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
14回	授業内容: 5 3・11 以後の科学技術と人間 事前学修: 配布プリントと教科書を読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントと教科書を復習しておくこと。
15回	授業内容: まとめと試験 事前学修: 課題を把握し、的確にレポートすること。 事後学修: レポートの反省。

- ◆**教科書** 藤田『科学哲学への招待』、野家啓一著 (ちくま学芸文庫)、筑摩書房、2015年  
[当日資料配布] パワポ教材を配布します。

◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** 平常点・課題 (50%) レポート (50%)、毎回出席を前提として評価します。

- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

K④

# 講座内容 (シラバス)

## 〔経済史総論〕

飯島 正義

- ◆**授業概要** 18世紀のイギリス産業革命から20世紀の第1次世界大戦までの世界資本主義の発展・変化について学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 1. 18世紀以降の世界資本主義の発展・変化について説明することができるようになる。  
2. イギリスを中心とする資本主義的世界体制に経済発展段階が異なる国・地域がどのように組み込まれていったのかを説明することができるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式。授業は、当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、理解を確認するために何回か「確認プリント」を実施する予定です。「確認プリント」を実施した場合には、プリントは翌週返却します。
- ◆**履修条件** 2019(令和元)年度昼間スクーリング(後期)との積み重ね不可。
- ◆**授業計画**〔各90分〕

1回	<b>授業内容</b> ：経済史で何を学ぶのか、資本制生産の発展段階(1) 小営業段階 <b>事前学修</b> ：シラバスで全体の授業内容を確認しておくこと。 <b>事後学修</b> ：資本制生産の発展段階の第1段階である「小営業段階」の特徴についてまとめておくこと。
2回	<b>授業内容</b> ：資本制生産の発展3段階(2) マニュファクチュア段階・機械制大工業段階 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：資本制生産の発展段階の第2段階である「マニュファクチュア段階」と第3段階の「機械制大工業段階」の特徴についてまとめておくこと。
3回	<b>授業内容</b> ：産業革命の意義 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：産業革命の経済的意義についてまとめておくこと。
4回	<b>授業内容</b> ：イギリスの産業革命 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：イギリスの産業革命の過程と特徴についてまとめておくこと。
5回	<b>授業内容</b> ：イギリスを中心とする資本主義的世界体制の構築 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：イギリスが資本主義的世界体制をどのように構築しようとしたのかをまとめておくこと。
6回	<b>授業内容</b> ：後発国の資本主義化(1) フランス <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：後発資本主義国であるフランスは、イギリスに対してどのように対応し、資本主義化していったのか、その特徴をまとめておくこと。
7回	<b>授業内容</b> ：後発国の資本主義化(2) アメリカ <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：後発資本主義国であるアメリカは、イギリスに対してどのように対応し、資本主義化していったのか、その特徴をまとめておくこと。
8回	<b>授業内容</b> ：後発国の資本主義化(3) ドイツ <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：後発資本主義国であるドイツは、イギリスに対してどのように対応し、資本主義化していったのか、その特徴をまとめておくこと。
9回	<b>授業内容</b> ：大不況と第2次産業革命 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：1870年代から第1次世界大戦までの世界経済の変化についてまとめておくこと。
10回	<b>授業内容</b> ：日本の資本主義化 <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：後発資本主義国である日本は、欧米列強に対してどのように対応し、資本主義化していったのか、その特徴をまとめておくこと。
11回	<b>授業内容</b> ：資本主義的世界体制と植民地・従属地域(1) インド <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：イギリスはインドをどのように植民地化していったのか、その統治方法についてまとめておくこと。
12回	<b>授業内容</b> ：資本主義的世界体制と植民地・従属地域(2) 東南アジア <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：欧米列強は東南アジアをどのように植民地化していったのか、その統治方法についてまとめておくこと。
13回	<b>授業内容</b> ：資本主義的世界体制と植民地・従属地域(3) アフリカ <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：欧米列強はアフリカをどのように植民地化していったのか、その統治方法についてまとめておくこと。
14回	<b>授業内容</b> ：帝国主義とは何か <b>事前学修</b> ：前回の授業内容を再度確認するとともに、プリント資料を中心に参考図書等で今回の授業内容の関係するところを予め理解しておくこと。 <b>事後学修</b> ：これまで主張されてきた帝国主義について整理しまとめておくこと。
15回	<b>授業内容</b> ：試験及び解説 <b>事前学修</b> ：これまでの全体としての内容について再度確認しておくこと。 <b>事後学修</b> ：設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 授業時にプリント資料を配布します。
- ◆**参考書** 関淵『エレメンタル欧米経済史』馬場哲他著 晃洋書房 2012年
- ◆**成績評価基準** 授業内における確認プリントの提出(40%)、試験(60%)
- ◆**授業相談**(連絡先)：

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 日本銀行の物価安定目標や非伝統的金融政策の効果などが話題になっています。この講義では、金融機関、金融市場の中心である日本銀行の機能や役割、また、物価目標を達成するための手段である金融政策、さらには、現在実施されている非伝統的金融政策などについて、その基礎的知識や理論を学び、理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** この講義では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能、役割および金融政策に対する基礎的な理解を目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 銀行などの金融仲介機関の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
2. 中央銀行の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
3. 日本の金融政策の目的、手段を理解し、説明できるようになる。
4. 非伝統的金融政策を理解し、現在の金融問題を適切に考えることができるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、貨幣の定義や金利、金融制度などの詳細については取り扱いません。

◆**履修条件** 後期のみを受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。また、令和元年度夏間スクーリング(後期)「金融論」(谷川孝美)との積み重ね不可。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・金融、金融市場とは何か 事前学修：テキスト「はじめに」をよく読んでおくこと。 事後学修：授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	授業内容：金融政策を理解するための貨幣の定義 事前学修：テキスト第1章貨幣をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料を参考に、専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容：金融政策を理解するための金利の基礎 事前学修：テキスト第2章金利をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容：長短金利の決定 事前学修：前回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に金利計算をして理解を深めること。
5回	授業内容：銀行の機能と役割 事前学修：テキスト第7章、第1節銀行をよく読み、確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6回	授業内容：信用創造とは何か 事前学修：テキスト第7章、第1節銀行をよく読むこと。また、第2回、第5回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に信用乗数を計算して理解を深めること。
7回	授業内容：中央銀行とは何か 事前学修：テキスト第8章、第1節中央銀行をよく読むこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
8回	授業内容：発券銀行としての日本銀行 事前学修：テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また、第2回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
9回	授業内容：銀行の銀行としての日本銀行 事前学修：テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また、第5、6回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10回	授業内容：政府の銀行としての日本銀行 事前学修：テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
11回	授業内容：金融政策の目的、手段 事前学修：テキスト第8章、第3節、第9章、第1節をよく読むこと。また、第3、4回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12回	授業内容：非伝統的金融政策（ゼロ金利政策、量的緩和と金融政策） 事前学修：テキスト第9章、第1～3節をよく読むこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
13回	授業内容：非伝統的金融政策（量的質的金融緩和と政策など） 事前学修：テキスト第9章、第4～6節をよく読むこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
14回	授業内容：金融政策の理論 事前学修：テキスト第4章マクロ経済と金融政策をよく読むこと。また、第11回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：後期の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 教材『金融論 R31800』通信教育教材(教材コード 000540)

(当日資料配布) 必要に応じてプリントを配布します。

◆**参考書** ①『ベーシックプラス 金融論 第2版』家森信善, 中央経済社, 2018年

②『ベーシックプラス 金融政策』小林照義, 中央経済社, 2015年

③『日本銀行の機能と業務』日本銀行金融研究所編 有斐閣, 2011年

(日本銀行ホームページ <http://www.imes.boj.or.jp/japanese/pf.html> に同じものがあります)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。

◆**授業相談 (連絡先)** 講義前後 10 分程度、講義室にて対応します。また、それ以外の時間ではメールにて対応します。

[tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp](mailto:tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp)

注意



## 講座内容（シラバス）

### 〔商学総論〕

小泉 徹

- ◆**授業概要** 商学は、ビジネスと社会経済との融合領域の学問であるため、ビジネス活動が集約する「市場」について多面的な観点から総合的に学ぶ。全体的には、商品（財、サービス、アイデア）の取引と卸・小売システムの基礎的・体系的知識の習得を目指す。この講義では、前期に続き、おもに流通・マーケティングの仕組みをビジネス基礎・経済の観点で学習する。なるべく取りつきやすく、理解しやすいように具体的なケースを交えて解説する。
- ◆**学修到達目標** 1 現在の日本市場における流通の諸問題を自分で分析し、理解できるようになる。  
2 生産と消費の間を架橋する流通を理解し、流通の社会的機能や意義を解説できるようになる。
- ◆**授業方法** 商学を初めて学ぶ学生向けに、基礎知識を習得することを目的に授業を行う。そのためにテキスト以外の入門書や解説書を読むこと、テキストの予習と復習を欠かさないことが重要である。また理解を深めるためにプリントを配布するので、それを使って予習と復習を必ず行うこと。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス 授業の概要、目的、到達目標、および授業の方法などについて 事前学修：テキスト2～7頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
2 回	授業内容：流通機構と卸売機構 事前学修：テキスト79～86頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
3 回	授業内容：卸売商の存在意義 事前学修：テキスト87～96頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
4 回	授業内容：卸売構造の動向 事前学修：テキスト97～106頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
5 回	授業内容：卸売業の展望 事前学修：テキスト107～115頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
6 回	授業内容：価格形成と商品取引所 事前学修：テキスト117～128頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
7 回	授業内容：マーケティング 事前学修：テキスト129～134頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
8 回	授業内容：マーケティング戦略 事前学修：テキスト135～142頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
9 回	授業内容：サービス・マーケティング 事前学修：テキスト142～143頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
10 回	授業内容：取引 事前学修：テキスト144～151頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
11 回	授業内容：物流の役割 事前学修：テキスト153～162頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
12 回	授業内容：物流効率化 事前学修：テキスト163～172頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
13 回	授業内容：金融と危険負担 事前学修：テキスト173～185頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
14 回	授業内容：授業の総復習 事前学修：配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修：要点項目をノートや配布資料をよく読んで確認しておくこと
15 回	授業内容：復習及びテスト 事前学修：配布資料の項目をテキスト、ノートで学習 事後学修：テキストの前期箇所を読み返し、ノートを確認し、配布資料をよく読んで授業内容の全体像を理解すること。

- ◆**教科書** 丸岡『商学通論』久保村隆祐編（九訂版）同文館出版 平成29年  
▶前資料送付 事前にプリント配布
- ◆**参考書** 丸岡『商学総論 S20100』通信教育教材（教材コード000356）
- ◆**成績評価基準** 期末テスト（80%）、小テスト・授業への取り組み・受講態度（20%）などを総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）：**

注意

# 講座内容（シラバス）

〔哲学〕

江川 晃

◆**授業概要** この授業の内容は、論理的思考について考え、さらに、それを具体的に養うことである。論理的思考については、哲学において、論理学という分野で探究されてきた。論理学は、古代ギリシャのアリストテレスに始まる伝統的論理学と、19世紀のフーレーゲの論理学革命に基づく記号論理に大別される。この授業では、両者の論理学の基礎を理解し、具体的な練習問題を通じて演習を行う。

◆**学修到達目標** 自分の考えを、飛躍の少ない、理解しやすい表現にするには、論理力が必要である。論理力とは、考えをしっかりと伝える力であり、伝えられたものをしっかりと受け取るである。したがって、力論理力がつけば、深い思考力、すばやい判断力、鋭い分析力、明解な読解力が養われ、議論に積極的に参加できる自信がつく。現代に必要とされるコミュニケーション能力である「論理力」を付けることが、この授業の目標である。

◆**授業方法** 講義と演習を交互に行います。

◆**履修条件**

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容: 論理力(学)とは何か 事前学修: シラバスをよく読んできてください。 事後学修: 配布プリント1の復習。
2回	授業内容: エレア学派のパラドックス 事前学修: 配布プリント2の予習。 事後学修: 配布プリントの復習。(うそつきのパラドックス)
3回	授業内容: アリストテレスの論理学(対当推理と変形推理) 事前学修: 配布プリント3の予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
4回	授業内容: 直接推理(1) 対当推理 事前学修: 配布プリント4の予習。(対当推理) 事後学修: 配布プリントの復習。
5回	授業内容: 演習1 事前学修: 配布プリント(演習1)の予習。 事後学修: 配布プリント(演習1)の復習。
6回	授業内容: (2)変形推理 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
7回	授業内容: 演習2 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
8回	授業内容: 間接推理 定言三段論法の構造 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
9回	授業内容: ヴェン図による妥当性の判定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
10回	授業内容: 演習3 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
11回	授業内容: ド・モルガンの法則「かつ」と「または」の否定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
12回	授業内容: ド・モルガンの法則「すべて」と「存在する」の否定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
13回	授業内容: 条件法(PならばQ) 逆・裏・対偶 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
14回	授業内容: 条件法による推理(連鎖式) 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
15回	授業内容: 試験 事前学修: 今までの総復習。 事後学修: 反省。

◆**教科書**  当日資料配布  プリント配布します。

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験(90%)、授業参画度(10%)

◆**授業相談(連絡先):**

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔文化史A〕

渡邊 浩史

- ◆**授業概要** はじめに近世の各時代の文化の概観を各々述べた上で、各論的にいくつかのトピックについて講義する。その後、各地に残る日本の伝統文化について、いくつかを選んで講義する。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: はじめに 近世の文化 (安土桃山文化) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容: 近世の文化 (江戸時代) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容: 聖地巡礼 (富士信仰) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東大寺お水取りと名張市の松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (長者伝説と松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進ルート) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進と東大寺支配の記憶) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りとは) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの実際) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの継承) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (西日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容: まとめと試験 事前学修: 1～14回の内容をよく復習すること 事後学修: 試験の内容を含めてよく復習し理解を深めること

- ◆**教科書** 当日資料配布 適宜授業中に資料プリントを配布する。
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%, 試験 80%
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~ IV (中級)〕

町田 純子

- ◆**授業概要** 英語の communicative competence (言語運用能力) を習得する為の reading を中心とした英語で書かれた文章を読解力と語彙力を身に付け、正確に理解できるようにする。それと同時にスマホでもできる E-Learning を使用し、listening の基礎を理解し運用できるようにする。
- ◆**学修到達目標** 易しい英文記事、VOA (Voice of America) Science Report を読む為に必要な知識の構築と、読解問題でその内容理解の確認をし、その内容を正しく説明することができる。又英語リズムや音声現象に慣れることを目標とする。
- ◆**授業方法** ニュースを網羅した教科書の Reading 部分を中心に task ベースで、ペアやグループ中心に進行します。毎回実施の各ユニット毎の E-Learning や、語彙力確認テストを含む授業の事前学修、事後学修は、各2時間を目安としています。受講人数により変更がありますが、課題に対するフィードバックは個別にします。質問等は授業前後又は、リアクションペーパーに記入してください。次回の授業で回答します。

- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 授業の進め方、評価方法を説明をする。 事前学修: シラバス内容を確認の上授業に臨み、授業計画を確認する。 事後学修: ガイダンスのおさらいをする。テキストを購入して備える。
2回	授業内容: Unit 1 Can Cameras and Machines Recognize Lying in Your Face? /s/, /z/, /iz/ の発音 イントネーション Understanding what is unknown in the planning stage Unit 2 How Will Machines and AI Change the Future of Work? "th" (/θ /ð/) の発音 ポーズを入れて発音 Identifying sub-tasks or sub-problems of the project を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 1 & 2の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 1, 2の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
3回	授業内容: Unit 3 Doctors Use Virtual Reality to Prepare for Surgeries ライト L, ダーク L の発音 強弱のリズム Proposing necessary steps in performing the plan Unit 4 US Businesses Making Farming Technologies for Cities and の発音の変化 ニュアンスで変わる and の発音 Exchanging ideas at the planning stage を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 3 & 4の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 3, 4の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
4回	授業内容: Unit 5 Origami Space Technology Combines Art, Design, Science 日本の伝統芸が NASA で大活躍 /t/ の発音 名詞 + of のリンキングの発音 Planning a new product using origami based technology Unit 6 Toyota Plans to Offer a Robotic Leg to Help the Disabled ロボットが高齢社会をアシスト "y", "y-" の発音 文中における "y-" の音の変化 Deciding on the framework of a project を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 5 & 6の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 5, 6の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
5回	授業内容: Unit 7 Metal Recycling Businesses Prepare for More Electric Cars /b/, /v/ の発音 口の形や舌の位置が近い単語が続く場合の発音(1) Clarifying detailed information concerning the project p.37 Unit 8 Smart Cameras to Help You Capture Better Photos /n/ の発音 弱母音 /ə/ の発音 Allotting responsibility in the project を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 7 & 8の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 7, 8の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
6回	授業内容: Unit 9 Scientists Uncover Mystery of Mosquito Flight /s/, /ʃ/ の発音 リダクションの発音 Giving instructions to the members of a project Unit 10 Scientists Praise Developments in Smell Technology /ŋ/ の発音 子音と母音のリンキングの発音 Developing a new product using smell technology を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 9 & 10の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 9, 10の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
7回	授業内容: Unit 1 ~ 10 までの中間テスト 事前学修: Unit 1 ~ 10 までの中間テスト対策をする。 事後学修: Unit 1 ~ 10 までのテストの間違いを確認する。
8回	授業内容: Unit 1 ~ 10 までの中間テスト解説 事前学修: Unit 11 & 12の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 1 ~ 10 までのテストの間違いを確認する。
9回	授業内容: Unit 11 Is a Nap after Lunch Good or Bad? 母音 /i:/, /u:/ の発音 前置詞句のつながる音 Identifying problems Unit 12 Smart Mirrors Show What You Would Look Like Wearing Those Earrings "t" の flapping and や or を含む文章のイントネーション Discussing solutions を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 11 & 12の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 11, 12の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
10回	授業内容: Unit 13 Glowing Cancer Cells Easier to Find and Remove 母音 /e/, /æ/ の発音 冠詞や前置詞のリンキング Making suggestions for improvement Unit 14 Meet CIMON, a "Floating" Space Assistant for Astronauts "y" 以外のつづり字の /j/ の発音 リズミカルに英語を読む Reporting how the plan is progressing を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 13 & 14の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 13, 14の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
11回	授業内容: Unit 15 Do Bats Hold the Secret to Long Life? /r/, とライト L の発音 口の形や舌の位置が近い単語が続く場合の発音(2) Checking the process of experimental procedures using specimens Unit 16 New Battery-Free Cellphone Is Powered by Radio Signals もう電池残量を気にしなくていい? /h/, /hw/ の発音 シャドーイングについて Checking the operation of the equipment を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 15 & 16の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 15, 16の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
12回	授業内容: Unit 17 Distant Star Refuses to Die 口の形や舌の位置が同じ有声音と無声音 リベーターンについて Implementing the revised plan Unit 18 Coffee to Help Power London's Buses コーヒーがロンドンを変える 二重母音 /au/, /ou/ の発音 意味の区切りを意識して文を読む Testing the revised plan を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 17 & 18の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 17, 18の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
13回	授業内容: Unit 19 British Start-Up Uses Feathers to Make Building Materials 二重母音 /ei/ の発音 分からない単語は辞書を調べて発音 Checking the results of the plan Unit 20 As Web Turns 30, Creator Calls for Big Changes to Make it Better /w/ の発音 身に付けてきたスキルを使って発音 Confirming the performance of a new software program CONTENTS VII INPUT OUTPUT Reading Practicing pronunciation Talking about it (Stage target focus) を理解し、問題を解答できる。 事前学修: Unit 19 & 20の問題を解いてくる。 事後学修: Unit 19, 20の語彙を確認し、Readingの要約を書いてみる。
14回	授業内容: Unit 11 ~ 20 までの期末テスト 事前学修: Unit 11 ~ 20 までの期末テスト対策をする。 事後学修: Unit 11 ~ 20 までの期末テスト間違いを確認する。
15回	授業内容: Unit 11 ~ 20 までの期末テスト解説 事前学修: Unit 11 ~ 20 までの期末テストの間違いを確認する。 事後学修: 後期範囲の総復習をする。

- ◆**教科書** 夙淵『Science & Technology Report』村尾純子他 成美堂 2020年 [当日資料配布] 一部、当日プリント配布もあります。
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、毎回実施の単語選択問題小テスト (30%) 及び中間試験 + 期末試験 (70%) により総合的に評価します。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 初回授業時に直接ご案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕

稲葉 明子

- ◆**授業概要** 漢字の意味がわかることは大きな強みでもありますが、初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し、漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。初級文法は今期でほぼ網羅されます。(前期夏間スクーリング内容程度の基礎があることが望ましい)
- ◆**学修到達目標** 前期同様、ピンインを用いて徹底的に発音の構造を座標から理解するとともに、年度内の声調の安定を目指します。語順・時量・アスペクト等、中国語特有の独特な世界観を、実際の場面から把握し、文法的理解へ繋げていくことで、自立学習の素地を作ります。
- ◆**授業方法** 授業は Zoom で行います。接続するだけでなく、声の出せる環境で受講してください。毎回冒頭で教科書本文についてディクテーション小テストを行い、その場で撮影して Google Classroom に提出します。また、数字と時計の聞き取りテストを行い、これもその場で入力します。Zoom を接続しながら可能です。テスト対策はポータルで。あと一歩というひとも、毎回発音記号から始めますので挽回する時間は十分にあります。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 数字と時計 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
2 回	授業内容: 第 6 課 1 「在」 動詞の重ね型 時を表す語の位置 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
3 回	授業内容: 第 6 課 2 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
4 回	授業内容: 第 7 課 量詞 完了を表す「了」 助動詞「想」 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
5 回	授業内容: 第 8 課 連動文 前置詞「在」「是」の省略 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
6 回	授業内容: 復習 2 鈴木君の一日 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
7 回	授業内容: 第 9 課 助動詞「会」「能」「可以」 前置詞「給」 主述述語文 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
8 回	授業内容: 第 10 課 様態補語 経験を表す「過」 比較を表す「比」 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
9 回	授業内容: 第 11 課 1 進行を表す「在」 方向補語 選択疑問文 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
10 回	授業内容: 第 11 課 2 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
11 回	授業内容: 第 12 課 1 「是～的」の文 結果補語 時間の長さ・動作の回数 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
12 回	授業内容: 第 12 課 2 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
13 回	授業内容: 補遺: 存現文 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
14 回	授業内容: 復習 3 阿部さんのメール /リスニングテスト 1 事前学修: リスニングテスト 1 の対策を WEB 上で行う 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
15 回	授業内容: 教場試験 (リスニングテスト 2・ディクテーションテスト・筆記) 事前学修: 各試験の対策を行う 事後学修: 出題箇所を教科書で確認する

- ◆**教科書** 『はじめまして! 中国語』 喜多山幸子・鄭幸枝 白水社
- ◆**参考書** WEB 上のポータルに様々なトレーニング用コンテンツを UP しています。音声を用いた復習が必要になります。(YouTube 動画)  
発音記号学習時に、鉛筆と同じ太さに書ける赤・青・黄のペンがあると便利です。単語シートは印刷して紙の上で集中するほうが効果が高いです。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、毎回の小テストなどにより総合的に評価します。試験は、あらかじめ WE サイトで練習して取り組むリスニングが中心となります。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 質問は授業時や授業後にチャットで声をかけてください。その後ミュート解除して話することも可能です。法定伝染病などで出席できない場合のやむを得ない連絡には以下のアドレスを用いてください。  
chinaba00-2020z@yahoo.co.jp

注意

## 講座内容 (シラバス)

### 〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 本演習では、「日中友好の架け橋」として有名な内山完造の自伝『花甲録』を講読する。特に、『花甲録』の日中戦争期の記述に焦点を当て、上海おける邦字新聞『大陸新報』と対照しながら批判的に検証する。
- ◆**学修到達目標** 戦時上海に生きた内山完造の活動と意識を取り上げ、彼の<グレーゾーン>問題を検証するところの歴史学の方法論を修得する。
- ◆**授業方法** テキスト『花甲録』を講読しながら、受講生による研究発表と討論を中心としたゼミナール形式で行います。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修：テキスト：1937～45年を学修しておくこと。 事後学修：ガイダンスの要点を確認しておくこと。
2回	授業内容：戦時上海における内山完造（講義1） 事前学修：配布論文を学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
3回	授業内容：戦時上海における内山完造（講義2） 事前学修：配布論文を学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
4回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(1) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
5回	授業内容：東洋文庫見学 事前学修：東洋文庫で調べる文献をPCで検索しておくこと。 事後学修：東洋文庫の利用法を確認しておくこと。
6回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(2) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
7回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(3) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
8回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(4) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
9回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(5) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
10回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(6) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
11回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(7) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
12回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(8) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
13回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(9) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
14回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(10) 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：演習内容の要点を確認しておくこと。
15回	授業内容：内山完造の<グレーゾーン>について（講義）。 事前学修：テキストを学修しておくこと。 事後学修：講義の要点を確認しておくこと。

- ◆**教科書** 凡例『花甲録』内山完造、平凡社、2011年  
当目資料配布『大陸新報』は日本上海史研究会のHPに掲載。
- ◆**参考書** 凡例『歴史学0015』第四部 日本人民衆の上海体験  
凡例『「国際都市」上海のなかの日本人』高綱博文 研文出版、2009年
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表・討論等）により総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）** takatsuna.hirofumi@nihon-u.ac.jp（連絡する際には学科・学生番号・氏名を明記）

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 【金融論】

谷川 孝美

◆**授業概要** 日本銀行の物価安定目標や非伝統的金融政策の効果などが話題になっています。この講義では、金融機関、金融市場の中心である日本銀行の機能や役割、また、物価目標を達成するための手段である金融政策、さらには、現在実施されている非伝統的金融政策などについて、その基礎的知識や理論を学び、理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** この講義では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能、役割および金融政策に対する基礎的な理解を目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 銀行などの金融仲介機関の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
2. 中央銀行の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
3. 日本の金融政策の目的、手段を理解し、説明できるようになる。
4. 非伝統的金融政策を理解し、現在の金融問題を適切に考えることができるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、貨幣の定義や金利、金融制度などの詳細については取り扱いません。

◆**履修条件** 後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。また、令和元年度履修スクーリング(後期)「金融論」(谷川孝美)との積み重ね不可。

◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション・金融、金融市場とは何か 事前学修: テキスト「はじめに」をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	授業内容: 金融政策を理解するための貨幣の定義 事前学修: テキスト第1章貨幣をよく読んでおくこと。 事後学修: 配付資料を参考に、専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容: 金融政策を理解するための金利の基礎 事前学修: テキスト第2章金利をよく読んでおくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容: 長短金利の決定 事前学修: 前回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に金利計算をして理解を深めること。
5回	授業内容: 銀行の機能と役割 事前学修: テキスト第7章、第1節銀行をよく読み、確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6回	授業内容: 信用創造とは何か 事前学修: テキスト第7章、第1節銀行をよく読むこと。また、第2回、第5回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に信用乗数を計算して理解を深めること。
7回	授業内容: 中央銀行とは何か 事前学修: テキスト第8章、第1節中央銀行をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
8回	授業内容: 発券銀行としての日本銀行 事前学修: テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また、第2回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
9回	授業内容: 銀行の銀行としての日本銀行 事前学修: テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また、第5、6回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10回	授業内容: 政府の銀行としての日本銀行 事前学修: テキスト第8章、第2節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
11回	授業内容: 金融政策の目的、手段 事前学修: テキスト第8章、第3節、第9章、第1節をよく読むこと。また、第3、4回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12回	授業内容: 非伝統的金融政策(ゼロ金利政策、量的緩和金融政策) 事前学修: テキスト第9章、第1～3節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
13回	授業内容: 非伝統的金融政策(量的質的金融緩和政策など) 事前学修: テキスト第9章、第4～6節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
14回	授業内容: 金融政策の理論 事前学修: テキスト第4章マクロ経済と金融政策をよく読むこと。また、第11回の講義内容を良く確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 後期の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 関関【金融論 R31800】通信教育教材(教材コード000540)  
(当日資料配布) 必要に応じてプリントを配布します。

◆**参考書** 関関【ベーシックプラス 金融論 第2版】家森信善, 中央経済社, 2018年  
関関【ベーシックプラス 金融政策】小林照義, 中央経済社, 2015年  
関関【日本銀行の機能と業務】日本銀行金融研究所編 有斐閣, 2011年  
(日本銀行ホームページ <http://www.imes.boj.or.jp/japanese/pf.html> に同じものがあります)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。

◆**授業相談(連絡先)**: 講義前後10分程度、講師室にて対応します。また、それ以外の時間ではメールにて対応します。  
tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔商学総論〕

小泉 徹

◆**授業概要** 商学は、ビジネスと社会経済との融合領域の学問であるため、ビジネス活動が集約する「市場」について多面的な観点から総合的に学ぶ。全体的には、商品（財、サービス、アイデア）の取引と卸・小売システムの基礎的・体系的知識の習得を目指す。この講義では、前期に続き、おもに流通・マーケティングの仕組みをビジネス基礎・経済の観点で学習する。なるべく取りつきやすく、理解しやすいように具体的なケースを交えて解説する。

◆**学修到達目標** 1 現在の日本市場における流通の諸問題を自分で分析し、理解できるようになる。  
2 生産と消費の間を架橋する流通を理解し、流通の社会的機能や意義を解説できるようになる。

◆**授業方法** 商学を初めて学ぶ学生向けに、基礎知識を習得することを目的に授業を行う。そのためにテキスト以外の入門書や解説書を読むこと、テキストの予習と復習を欠かさないことが重要である。また理解を深めるためにプリントを配布するので、それを使って予習と復習を必ず行うこと。

◆**履修条件**

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス 授業の概要、目的、到達目標、および授業の方法などについて 事前学修: テキスト2～7頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
2 回	授業内容: 流通機構と卸売機構 事前学修: テキスト79～86頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
3 回	授業内容: 卸売商の存在意義 事前学修: テキスト87～96頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
4 回	授業内容: 卸売構造の動向 事前学修: テキスト97～106頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
5 回	授業内容: 卸売業の展望 事前学修: テキスト107～115頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
6 回	授業内容: 価格形成と商品取引所 事前学修: テキスト117～128頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
7 回	授業内容: マーケティング 事前学修: テキスト129～134頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
8 回	授業内容: マーケティング戦略 事前学修: テキスト135～142頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
9 回	授業内容: サービス・マーケティング 事前学修: テキスト142～143頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
10 回	授業内容: 取引 事前学修: テキスト144～151頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
11 回	授業内容: 物流の役割 事前学修: テキスト153～162頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
12 回	授業内容: 物流効率化 事前学修: テキスト163～172頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
13 回	授業内容: 金融と危険負担 事前学修: テキスト173～185頁、配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、配布資料をよく読んでおくこと
14 回	授業内容: 授業の総復習 事前学修: 配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修: 要点項目をノートや配布資料をよく読んで確認しておくこと
15 回	授業内容: 復習及びテスト 事前学修: 配布資料の項目をテキスト、ノートで学習 事後学修: テキストの前期箇所を読み返し、ノートを確認し、配布資料をよく読んで授業内容の全体像を理解すること。

◆**教科書** 〔丸〕『商学通論』久保村隆祐編（九訂版）同文館出版 平成29年  
〔罫〕『事前資料配布』事前にプリント配布

◆**参考書** 〔罫〕『商学総論 S20100』通信教育教材（教材コード000356）

◆**成績評価基準** 期末テスト（80%）、小テスト・授業への取組み・受講態度（20%）などを総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）:**

注意



## 講座内容 (シラバス)

### 〔政治学〕

関根 二三夫

- ◆**授業概要** 基礎教育としての講義を行います。選挙、政党、圧力団体、コミュニケーション、リーダーシップ、地方自治、政治と行政など、政策の立案や政策の決定に影響を及ぼす要因を基礎から学びます。
- ◆**学修到達目標** 政策立案や政策決定に影響を及ぼす要因を学ぶことにより、政治過程を理解できるようにするとともに、政治が我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：講義全体の概要の説明 事前学修：テキストを熟読し、概要を理解すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容：選挙制度 事前学修：テキストの第3章第3節及び参考書の第5章第1節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3 回	授業内容：選挙区 事前学修：テキストの第3章第3節及び参考書の第5章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容：代表選出の形態 事前学修：テキストの第3章第3節及び参考書の第5章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容：政党の概念及び特徴 事前学修：テキストの第3章第4節及び参考書の第4章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容：政党の形態及び機能 事前学修：テキストの第3章第4節及び参考書の第4章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容：政党の問題点 事前学修：テキストの第3章第4節及び参考書の第4章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容：圧力団体の概念及び特徴 事前学修：テキストの第3章第5節及び参考書の第4章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容：圧力団体の活動及び問題点 事前学修：テキストの第3章第5節及び参考書の第4章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容：わが国の圧力団体 事前学修：テキストの第3章第5節及び参考書の第4章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容：コミュニケーションの機能及び類型 事前学修：参考書の第6章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容：コミュニケーションの方向 事前学修：参考書の第6章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容：リーダーシップ 事前学修：参考書の第2章第5節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容：地方自治の沿革 事前学修：参考書の第4章第1節などを熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容：政治と行政 事前学修：テキストの第1章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。

- ◆**教科書** 随材『政治学 B11700』通信教育教材 (教材コード 000279)
- ◆**参考書** 関根『改訂 教養政治学』岩井幸信、黒川貢三郎、関根二三夫他、南窓社、2012年
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。
- ◆**授業相談 (連絡先)** : sekine.fumio@nihon-u.ac.jp

注意

水①

# 講座内容 (シラバス)

## 【英語基礎】

和泉 周子

- ◆**授業概要** 本授業では文法を基礎から学びます。多種多様な演習問題に取り組むことを通して、基礎力の定着と応用力の養成を行います。英語4技能の中では特に「リーディング」の技能の向上を目指します。  
【前期開講の昼間スクーリング「英語基礎」(和泉周子担当)と併せて受講することが望ましい】
- ◆**学修到達目標** 文法を理解し、その知識を運用して英文を和訳できるようになる。
- ◆**授業方法** 該当ユニットの文法事項と Mini-Point を解説した後、STEP 1 から答えを確認していきます。STEP 1 と 2 は演習問題ごとにすべての英文を、STEP 3 は設問の答えの確認に加えて長文の英文を一文ごとに、音読し和訳してもらいます。その際に文法や文構造、語彙についても確認します。  
なお、授業計画はあくまでの目安であり、授業計画通りの進捗で進まない場合があります。  
本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1回	授業内容: ガイダンス: 授業内容や進め方, 成績評価基準等の説明, Unit 11 受動態: 1 受動態の疑問文と否定文・2 助動詞を含む受動態・3 進行形の受動態の文法解説 事前学修: シラバスを確認し, P.46 の該当箇所の説明を読む。 事後学修: P.46 の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
2回	授業内容: Unit 11 受動態: 4「第4文型」の受動態・5「第5文型」の受動態・6 By 以外の前置詞を用いる受動態と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.46 と P.48 の該当箇所の説明を読む (第4文型・第5文型については P.18 の Unit 4 5文型: 1 基本の文型・2 自動詞と他動詞, P.14 の Unit 3 動詞: 2 自動詞 or 他動詞で確認してください)。 事後学修: P.46 と P.48 (必要に応じて P.18 と P.14 も) の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
3回	授業内容: Unit 11 受動態: 演習問題 事前学修: P.47-49 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.46 と P.48 (必要に応じて P.18 と P.14 も) の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
4回	授業内容: Unit 8 不定詞と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.34 と P.36 の該当箇所の説明を読む。 事後学修: P.34 と P.36 の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
5回	授業内容: Unit 8 不定詞: 演習問題 事前学修: P.35-37 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.34 と P.36 の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
6回	授業内容: Unit 9 動名詞と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.38 と P.40 の該当箇所の説明を読む。 事後学修: P.38 と P.40 の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
7回	授業内容: Unit 9 動名詞: 演習問題 事前学修: P.39-41 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.38 と P.40 の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
8回	授業内容: Unit 10 分詞と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.42 の説明を読む。 事後学修: P.42 の内容をノート等に整理し, 復習する。
9回	授業内容: Unit 10 分詞: 演習問題 事前学修: P.43-45 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.42 の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
10回	授業内容: Unit 12 形容詞・副詞・比較と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.50 と P.52 の該当箇所の説明を読む。 事後学修: P.50 と P.52 の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
11回	授業内容: Unit 12 形容詞・副詞・比較: 演習問題 事前学修: P.51-53 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.50 と P.52 の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
12回	授業内容: Unit 13 関係詞と Mini-Point の文法解説 事前学修: P.54 と P.56 の該当箇所の説明を読む。 事後学修: P.54 と P.56 の該当箇所の内容をノート等に整理し, 復習する。
13回	授業内容: Unit 13 関係詞: 演習問題 事前学修: P.55-57 の問題を解く。 事後学修: STEP 1 と 2 で間違えた問題は P.54 と P.56 の該当箇所と照らし合わせて復習する。STEP 3 は長文の各英文の文法や文構造, 語彙を確認しながら全体の内容を理解し, 設問で間違えた問題は長文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
14回	授業内容: 総復習とまとめ 事前学修: 13 回目までの授業内容を確認し, 理解する。 事後学修: 試験に備え, 13 回目までの授業内容を整理する。
15回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 14 回目までの授業内容を確認し, 理解する。 事後学修: 全授業内容をノート等にまとめる。

◆**教科書** 河淵『Starting Gate —An Introduction to English Grammar— 基礎から始める英語演習』山田 久美 / 川尻 徳 / マイケル・デーリィ 南雲堂 2019 年

◆**参考書** 指定しない

◆**成績評価基準** 試験 (70%), 発表等の授業への参画度 (30%)  
毎回出席することを前提とします。また、発表等の授業への参画度には予習状況が含まれます。

◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔日本史入門〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目は、今後、主に史学専攻での研究方法を学ぶ専門性の高い科目です。①日本史学修の意義、②原始・古代～現代へのアプローチ、③資料による学修・研究方法を通じて、日本史を学修し、また研究するための方法を学びます。第一部では日本史で使う基本単位や制度、第二部で各時代の主要な史料・叢書類・デジタル＝アーカイブズなどを紹介し、第三部で実際に史料を使った読解を試みて、日本史の学修・研究の基礎を学びます。また、史料専門調査員としての経験を活かし、史料の収集・整理、歴史的考察の方法について指導します。

◆**学修到達目標**

1. 日本史でよく使う単位を理解するため、各時代特有の制度について説明できるようにする。
2. 古代から近代を学ぶ方法を理解するため、各時代の基本的史料集を説明できるようにする。
3. 各時代の史料の特徴や収集・整理の方法、歴史的考察の基礎的方法を身につける。
4. 将来卒業論文を書く、あるいは教壇に立つ者としての必要な知識と姿勢を身につける。

◆**授業方法** 原則としてプリントを使います。プリント、スクリーン投影資料、音声・映像資料、文献資料の原本、デジタル・アーカイブズなどを併用しながら、プリントの内容を説明します。各回終了前に理解度チェック(小テスト)と理解度自己評価をおこない、次回授業の冒頭でテストと自己評価を踏まえて講評します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合があります。

◆**履修条件** 令和元年度夏間スクーリング(後期)「日本史入門」修得済の学生は履修不可

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	<p>授業内容：日本史を学ぶ意味</p> <p>事前学修：「参考文献」の定義と「歴史資料」の定義を調べ、その違いを考えておく。</p> <p>事後学修：紹介本の数冊を読んで、文献一覧を確認する。辞典で歴史用語を調べる。</p>
2回	<p>授業内容：日本史の基礎知識(1) ～単位・国制～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された単位などを調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
3回	<p>授業内容：日本史の基礎知識(2) ～政治・経済～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された制度などを調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
4回	<p>授業内容：日本史の時代区分 ～日本史での区分の問題～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された区分の課題に取り組む。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
5回	<p>授業内容：日本史の基本文献(1) ～入門・概説書～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された図書を調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
6回	<p>授業内容：日本史の基本文献(2) ～基本論集～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された図書を調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
7回	<p>授業内容：日本史の資料 ～非文献資料の特徴～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された資料区分を調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
8回	<p>授業内容：日本史の基本史料(1) ～古代・中世～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示されたデータベースを閲覧する。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
9回	<p>授業内容：日本史の基本史料(2) ～近世～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された史料の解題を調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
10回	<p>授業内容：日本史の基本史料(3) ～近代～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示されたデータベースを閲覧する。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
11回	<p>授業内容：古代・中世の史料を読んでみる ～疫病・幕府・惣村～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された史料を読み、課題に取り組む。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
12回	<p>授業内容：近世・近代の史料を読んでみる ～法度・ロンドン海軍軍縮会議～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された史料を読み、課題に取り組む。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
13回	<p>授業内容：随筆から日本史へのアプローチ ～騒ぎ歌・噂話～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された随筆の解題を調べる。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
14回	<p>授業内容：外国人日記から日本史へのアプローチ ～「観光」と旅～</p> <p>事前学修：事前学修シートで指示された史料を読み、課題に取り組む。</p> <p>事後学修：ノートとプリントを見返し、参考書や歴史事典などを使って、自己理解が低い箇所を重点的に復習する(事後学修シートの利用)。</p>
15回	<p>授業内容：講義総括 日本史の学修に向けて</p> <p>事前学修：第1回から第14回の学修内容の要点をまとめておく。</p> <p>事後学修：当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する。</p>

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 参照プリントを1～2枚配付  
**〔当日資料配布〕**

◆**参考書** **〔当日資料配布〕** 配布プリントで適宜紹介します

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート(60%)、授業内小テスト(30%)、授業への参画度(10%)の総合評価  
※15回全出席を前提とした評価です。

◆**授業相談(連絡先)**：原則として講義終了後の休憩時間あるいはメール(初回授業で告知します)で受け付けます。

### 注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔マーケティング論〕

雨宮 史卓

- ◆**授業概要** 本講義は、企業が製品・サービスを売るための手段としてマーケティングを捉えるだけでなく、より広い視点でマーケティングを捉える事を心掛ける。そのため、社会情勢、経済状況の変化とともに消費者の嗜好がどのように変化し、市場に影響を及ぼしてきたかを詳しく解説する。実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき、各個人が分析し問題を解決する手法を学ぶ。また、実務経験を通して得た理論や分析方法も交えて解説するように心掛ける。
- ◆**学修到達目標**
  - 1 マーケティング戦略の理論と実務が理解できる。
  - 2 実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき、各個人が分析し問題を解決する手法を考案できるように心掛ける。
  - 3 データを分析し、市場動向を見極めながら的確に消費者ニーズを把握できるようになる。
- ◆**授業方法** ターム前半は前期を振り返りながら基礎事項を確認する。ターム後半はマーケティングの事例を中心として幅広い理論の習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。
- ◆**履修条件** 前期履修スクーリングとの継続履修が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：後期授業の進め方 マーケティングの基本理念 事前学修：テキスト第1章を再読しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、今回の授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容：市場創造とマーケティング 事前学修：配布資料をよく読み、市場の種類を確認しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
3回	授業内容：マーチャライジングと市場細分化 事前学修：配布資料と、テキスト31頁～33頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業全体を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容：製品開発と管理 事前学修：配布資料とテキスト第7章をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、今回の授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容：消費者視点の価値と価格 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
6回	授業内容：プロモーションの種類と役割 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
7回	授業内容：広告媒体と広告計画 事前学修：授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
8回	授業内容：取引と流通 事前学修：テキスト209頁～223頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を読んで、ノートにまとめておくこと。
9回	授業内容：ITと流通の変化 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
10回	授業内容：ブランド概念とコミュニケーション 事前学修：配布資料とテキスト135頁～137頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容：ブランド・マネジメント 事前学修：配布資料をよく読んで、ブランド概念を理解しておくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
12回	授業内容：マーケティングとフード・サービス 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：配布資料を読み返し、食の種類をノートにまとめておくこと。
13回	授業内容：環境とマーケティング 事前学修：配布資料と指示されたテキストの該当ページをよく読んでおくこと。 事後学修：後期の終りが近いので、今までのノートをよく読み返しておくこと。
14回	授業内容：後期授業の総復習 事前学修：配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修：要点項目として配布資料に挙げたものを、再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15回	授業内容：テストと解説 事前学修：配布資料の項目をテキスト、ノートで学習しておくこと。 事後学修：テキストの全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、後期の授業内容の全体像を理解すること。

- ◆**教科書** 随時 マーケティング S30500  
〔当日資料配布〕 必要に応じて資料を配布する

◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

- ◆**授業相談（連絡先）**：授業初回時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔法学〕

武田 茂樹

- ◆**授業概要** (◆法の歴史を学び、法の未来を考えよう) その中で後期は、法の未来を考えます。  
法は、人類の文化のあらゆる領域に深く関わるものです。従って、この講義では、一定の学問的研究の重要性を提示しますが、法の未来というテーマから生まれる問題は、それに尽きるとは思われません。ぜひ、学生諸君も自己の味や問題意識を大切に、法の未来を考える準備をしてください。
- ◆**学修到達目標** 法学・前期では、法の歴史を学ぶことによって、法の全体像を考察しました。歴史を学ぶことは、法の世界を過去という時間軸から考えるだけでなく、現在そして未来の法のあり方を考えていく上でも、非常に大切な意味をもちます。そこで、後期の法学では、時間軸を現在から未来にシフトさせて、法の未来を考えて見たいと思います。まだ、未来の姿は見えないのですが、すでに始まっていると思われる。学問的な推論を柱にしなが、想像力を働かせて、法の未来に迫りたいと思います。
- ◆**授業方法** 法学・前期と同じように、講義を中心に授業を進めます。しかし、法の未来に関しては、学問的見解が確立していないので、多様な角度からの見方が成立すると思います。その多様性を大切に講義を進めたいと思っていますので、学生諸君の積極的な質疑応答への参加を期待します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画** (各 90 分)

1回	授業内容 事前学修 事後学修	現代世界の法について考える。法の未来を考える出発点は現代世界にあります。 現代世界が抱える法的問題をいろいろと考えてみよう。 それらの法的問題の未来的な解決方法を考えよう。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	法的課題が、主に何に起因しているのかを考える。法的課題の重要な要因は何かを考えることは大切です。 現在および未来に考えられる法的課題を思い浮かべてみよう。 その課題の原因および解決方法を研究してみよう。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	現代世界の法的課題を検討します。現在と未来の文化の連続と非連続の可能性も考えて見たいと思います。 激動の現代世界の中で、過去や現在だけでなく、未来の世界も考えてみよう。 未来予想に関する学問的な方法論を研究してみよう。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	世界的に急激に進展しているグローバリズムとそれがもたらす法への影響について検討します。 現在のグローバリズムの進展について学ぼう。 グローバリズムの進展によって法の未来がどうなっていくのか考えてみよう。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	地球環境と法について。人類の文化は、人間社会を超えて地球環境やそこに生存する生物の生存環境に強い影響を及ぼす段階に入っています。人類の文明を見つめ、未来の法がどのような役割を果たせるか考えます。 人類の文明の未来を考えよう。 未来の世界において、人類がどのような役割を果たせるか考えよう。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	地球全体の未来を見通した法の在り方を考えよう。未来の国際法を考えましょう。 国際法を学ぼう。 未来の国際法を考えて見よう。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	宇宙と法の関係について。私たちは、宇宙法の研究に積極的に取り組むべき時期にきているといえます。 宇宙について考えてみよう。 宇宙法を学ぼう。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文明において、法が科学の発展とどう向かい合うかは非常に大切な問題です。 科学史を学び、科学の発展について考えよう。 人類の文化において、科学の発展がどういう意味をもつのか考えよう。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文明の未来が技術の在りかたに大きく関わっていることは否定できません。技術と法の間関係を研究する学問的構築が必要です。 技術の発展について学んでみよう。 技術の発展が人類の文化にどのような影響をもたらすかを考えよう。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	生命科学の発展と法の間関係について考えます。DNA解析や脳科学の発展によって、人類の文明そのものが、本質的な変化を受ける可能性が高く、法の果たす役割が問われます。 現代の生命科学の発展について学んでみよう。 法と生命の間関係について考えよう。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文化そして生活は、科学技術の発展によって、予想を超えた状況をもたらす可能性があります。それに対する法の果たすべき役割を考える必要があります。 未来の世界を考えてみよう。 未来の世界における法の役割を考えよう。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	科学技術の発展は、未来において、AIやサイボークという従来はSFの世界でしか考えられなかった新たな生命体を現実化する可能性があります。 AIやサイボークに対する研究をしてみよう。 AIやサイボークの文化的な意味を考えよう。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	未来において、平和で豊かな世界を形成するために必要なことを考えよう。 法の未来を考えよう。 法の普遍的価値を考えよう。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	後期の講義をまとめます。学問は、今後、未来に対する学問研究が重要な役割を果たしていくと考えられます。 学問的に未来を研究するには何が必要かを考えてみよう。 学問的な未来学にチャレンジしよう。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験

- ◆**教科書** なし。
- ◆**参考書** 授業中に提示する。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、試験(80%)、平常点(20%)で評価します。
- ◆**授業相談(連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~IV (中級)〕

森 晴代

- ◆**授業概要** CNN ニュースを使用しアンカーや特派員の生きた英語の直聴直解を目指します。英語の4技能のうち、理解言語である「読む、聞く」を繰り返し練習することにより、英語そのものに慣れ、自然とシャドーイングができるようにします。表現言語である「話せる、書ける」は、理解言語を相対していることが上達の前提となりますので、扱うニュースについて事前に調べておき、周辺の言葉はある程度知っておく必要があります
- ◆**学修到達目標** 1. ネイティブスピーカーが日常使用する 5000 語を身につける。スペルのミスなく。  
2. 1 分間に 150 語の音読ができる。棒読みではなく、自分の言葉として英語が出るようにする。  
3. 音読文章の内容を正確に把握することができる。
- ◆**授業方法** 2 回の授業で 1 unit 進めます。本文のリスニング、要約、内容のディスカッション、質疑応答、音読 (オーバーラッピング、シャドーイング) をグループワークを取り入れて行います。グループはクラスの人数により変更しますが 4~6 名で 1 グループを予定しています。辞典は必ず毎回持参してください。小テストは各 unit 終了時にその unit の書き取り、もしくはパッセージの要約のいずれかを行います。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: リスニングと音読の関係性の説明。Unit 8: Teaching English as a Second Language 内容に関するディスカッション、単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 8の内容を予習しておくこと 事後学修: トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
2 回	授業内容: Unit 8: Teaching English as a Second Language リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
3 回	授業内容: Unit 8の補足 小テスト、Unit 9: Burgers and Antibiotics 内容に関するディスカッション、単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 8の小テストに備えること、Unit 9の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
4 回	授業内容: Unit 9: Burgers and Antibiotics リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
5 回	授業内容: Unit 9の補足 小テスト、Unit 10: Ikigai 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 9の小テストに備えること、Unit 10の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
6 回	授業内容: Unit 10: Ikigai リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
7 回	授業内容: Unit 10の補足 小テスト、Unit 11: Workers in South Korea 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 10の小テストに備えること、Unit 11の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
8 回	授業内容: Unit 11: Workers in South Korea リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
9 回	授業内容: Unit 11の補足 小テスト、Unit 12: Smart Park in Dubai 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 11の小テストに備えること、Unit 12の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
10 回	授業内容: Unit 12: Smart Park in Dubai リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
11 回	授業内容: Unit 12の補足 小テスト、Unit 13: Ice Palaces 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 12の小テストに備えること、Unit 13の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
12 回	授業内容: Unit 13: Ice Palaces リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
13 回	授業内容: Unit 13の補足 小テスト、Unit 14: A New Way of Farming 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習 事前学修: Unit 13の小テストに備えること、Unit 14の内容を予習しておくこと 事後学修: 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
14 回	授業内容: Unit 14: A New Way of Farming リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング 事前学修: 本文のリスニングを解いて、内容を把握しておくこと 事後学修: スムースな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: これまでの音読訓練の成果を確認、単語の暗記、直聴直解ができているかを確認しておくこと 事後学修: これまでのトピックの内容、スムーズなシャドーイング、単語のスペルの再確認をしておくこと

- ◆**教科書** 丸函『CNN 10 Student News vol.8』関戸冬彦 他4名著 朝日出版社
- ◆**参考書** 授業時に紹介します
- ◆**成績評価基準** 平常点 (20%)、小テスト (20%)、発音テスト (10%)、試験 (50%)
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 初回の授業時に、授業相談方法をお伝えします。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## [英語 I ~IV (初級)]

和泉 周子

- ◆**授業概要** 本授業では英文の読解の仕方を学びます。文法や語彙の理解に重点を置き、辞書を丁寧に引きながら、英文を正確に読むことができるようになることを目指します。  
【前期開講の昼間スクーリング「英語 I ~IV」(和泉周子担当)と併せて受講することが望ましい】
- ◆**学修到達目標** 1. 文法や文構造、語彙を理解し、運用して英文を和訳できるようになる。  
2. 英文の内容を正確に把握することができるようになる。
- ◆**授業方法** READING の英文と SUMMARY は一文ずつ、VOCABULARY PREVIEW・COMPREHENSION・PRACTICE は問題ごとに (COMPREHENSION は質問文と答えを両方とも)、英文を音読し和訳してもらいます。その際に文法や文構造、語彙の意味も確認します。  
授業計画通りに進めますが、進度はあくまでの目安であり、授業計画通りの進度で進まない場合があります。  
本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	<b>授業内容</b> : ガイダンス : 授業内容や進め方、成績評価基準等の説明と Unit 8 How English Grew & Grows : 疑問文の文法確認及び演習 <b>事前学修</b> : ①シラバスを確認する。 ② GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 疑問文の内容をノート等に整理し、間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。
2回	<b>授業内容</b> : Unit 8 How English Grew & Grows : READING の読解と内容把握問題 <b>事前学修</b> : ① VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ② READING の英文を読み、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : ① VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ② READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解し、間違えた問題は該当箇所と照らし合わせて復習する。
3回	<b>授業内容</b> : Unit 9 Hudson River Miracle : 否定の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①否定の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
4回	<b>授業内容</b> : Unit 9 Hudson River Miracle : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
5回	<b>授業内容</b> : Unit 10 Odd Crimes : 可算・不可算名詞の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①可算・不可算名詞の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
6回	<b>授業内容</b> : Unit 10 Odd Crimes : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
7回	<b>授業内容</b> : Unit 11 The Lucky Traveler : 名詞の複数形の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①名詞の複数形の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
8回	<b>授業内容</b> : Unit 11 The Lucky Traveler : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
9回	<b>授業内容</b> : Unit 12 Are Men Losing? : 比較級の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①比較級の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
10回	<b>授業内容</b> : Unit 12 Are Men Losing? : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
11回	<b>授業内容</b> : Unit 13 Super-Sized Dream : 不定詞の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①不定詞の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
12回	<b>授業内容</b> : Unit 13 Super-Sized Dream : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
13回	<b>授業内容</b> : Unit 14 It's Against the Law : 動名詞の文法確認及び演習と READING の読解 <b>事前学修</b> : ① GRAMMAR & USAGE (TEXT HIGHLIGHT!) を含むの説明を読み、PRACTICE の問題を解く。 ② VOCABULARY PREVIEW の問題を解く。 ③ READING の英文を読む。 <b>事後学修</b> : ①動名詞の内容をノート等に整理し、PRACTICE の間違えた問題は整理した内容と照らし合わせて復習する。 ② VOCABULARY PREVIEW の間違えた問題を復習する。 ③ READING の各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら READING 全体の内容を理解する。
14回	<b>授業内容</b> : Unit 14 It's Against the Law : READING の内容把握問題 <b>事前学修</b> : READING の英文の内容を確認後、COMPREHENSION と SUMMARY の問題を解く。 <b>事後学修</b> : 間違えた問題を READING の英文の該当箇所と照らし合わせて復習する。
15回	<b>授業内容</b> : 試験及び解説 <b>事前学修</b> : 14 回目までの授業内容を確認し、理解する。 <b>事後学修</b> : 全授業内容を整理し、ノート等にまとめる。

- ◆**教科書** 『Premium Reader Elementary 英語リーディングとの出会い：初級編』 Robert Juppe・馬場幸雄 金星堂 2019年
- ◆**参考書** 指定しない
- ◆**成績評価基準** 試験 (70%)、発表等の授業への参画度 (30%)  
毎回出席することを前提とします。また、発表等の授業への参画度には予習状況が含まれます。
- ◆**授業相談 (連絡先)** :

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔商法Ⅱ〕

南 健悟

- ◆**授業概要** この講義では会社法について扱う。現代の経済社会において、欠かすことのできない会社制度について、法的な側面から説明を行い、会社の全体像及び法的論点について解説する。会社法は多くの会社を取り巻く関係者の利害を調整する法的仕組みを用意している。特に、前期ではコーポレート・ファイナンスと呼ばれる、会社の機関にまつわる法的問題について講義を行う。
- ◆**学修到達目標** この講義では、現在の日本において最も利用されている株式会社に関する法的紛争について、条文や判例等に従って解決する能力を養成することを目的とする。したがって、この講義において、受講生は、株式会社に関する法的諸問題について、どのように考えればよいのか、どのように解決すればよいのかを理解し、それを適切に説明できるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 基本的にはレジュメ等を配布した講義形式に夜が、事前の予習を踏まえての積極的な発言を求められることがある。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	<p><b>授業内容:</b> 【オリエンテーション・前期の振り返り】前期の講義概要と会社法のうちコーポレート・ファイナンスと呼ばれる分野とはどのような分野かを説明する。</p> <p><b>事前学修:</b> 前期受講生はその復習、後期のみ受講生は教科書に目を通しておく。</p> <p><b>事後学修:</b> 会社法とはどのような法律かを講義を踏まえてまとめる。</p>
2回	<p><b>授業内容:</b> 【株式制度と株主平等原則】株主の権利や株主平等原則とはどのようなものなのかについて講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第3章 株式」のうち、「1 株式の意義」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 株主の権利にはどのような権利があるのか、具体的に表にまとめる。</p>
3回	<p><b>授業内容:</b> 【種類株式制度】種類株式制度について、具体的な種類株式の内容や用途について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第3章 株式」のうち、「Column 3-1」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 実際に発行されている種類株式についてニュース等で調べてみる。</p>
4回	<p><b>授業内容:</b> 【株式の譲渡(1)―株式譲渡自由の原則とその例外】株式譲渡自由の原則の理論的根拠とその例外について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第3章 株式」のうち、「2 株式譲渡自由の原則とその例外」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 株式譲渡自由の原則の例外に反した場合の法的問題について、どのように考えられているのかまとめる。</p>
5回	<p><b>授業内容:</b> 【株式の譲渡(2)―株式の譲渡方法】株式の譲渡手続について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第3章 株式」のうち、「3 株式の譲渡と権利行使の方法」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 振替株式制度についても教科書の該当ページを読むなどして理解しておく。</p>
6回	<p><b>授業内容:</b> 教科書の「第4章 資金調達」のうち、「1 株式会社の資金調達方法の概要」「2 募集株式の発行等」を読んでおく。</p> <p><b>事前学修:</b> 【資金調達(1)―募集株式の発行手続】募集株式の発行手続とその理論的背景について講義する。</p> <p><b>事後学修:</b> 募集株式の発行手続の概要をまとめておく。</p>
7回	<p><b>授業内容:</b> 【資金調達(2)―違法な募集株式の発行① 有利発行規制違反】有利発行規制違反の募集株式の発行の効力について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第4章 資金調達」のうち、「いわゆる有利発行の問題」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 有利発行規制違反の募集株式の発行が行われた場合の効果をまとめる。</p>
8回	<p><b>授業内容:</b> 【資金調達(3)―違法な募集株式の発行② 募集株式の発行の瑕疵】募集株式発行の瑕疵があった場合の株式の事前事後措置について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第4章 資金調達」のうち、「募集株式の発行等の瑕疵をめぐる争い」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 新株発行の差止請求や新株発行無効の訴えなどについてまとめる。</p>
9回	<p><b>授業内容:</b> 【資金調達(4)―新株予約権・社債】新株予約権と社債について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第4章 資金調達」のうち、「3 新株予約権」「4 社債」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 募集株式と新株予約権・社債による資金調達の違いをまとめる。</p>
10回	<p><b>授業内容:</b> 【会社の計算】会社の計算書類や剰余金の配当手続について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第5章 計算」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 会社の計算書類の役割等についてまとめておく。</p>
11回	<p><b>授業内容:</b> 【組織再編(1)―組織再編手続総説】会社の組織再編である、合併、分割、株式移転、株式交換の意義や手続について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第6章 組織再編」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 合併、分割、株式移転、株式交換の手続の概要をまとめておく。</p>
12回	<p><b>授業内容:</b> 【組織再編(2)―株式買取請求・事業譲渡】組織再編時の既存株主保護のための株式買取請求と、事業の譲渡手続について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第6章 組織再編」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 株式買取請求や事業譲渡手続において問題となる法的問題を確認する。</p>
13回	<p><b>授業内容:</b> 【株式会社の設立(1)―設立手続総説】株式会社の設立手続の概要を講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第7章 設立・解散」のうち、「1 設立」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 会社の設立手続について作図して、その概要を把握する。</p>
14回	<p><b>授業内容:</b> 【株式会社の設立(2)―払込手続】会社設立時の払込手続と払込仮装行為としての預合及び見せ金の効力について講義する。</p> <p><b>事前学修:</b> 教科書の「第7章 設立・解散」のうち、「1 設立」及び「第4章 資金調達」のうち、「出資の履行」を読んでおく。</p> <p><b>事後学修:</b> 払込仮装行為の効力について復習する。</p>
15回	<p><b>授業内容:</b> 【まとめと試験】知識の確認のための試験を行う。</p> <p><b>事前学修:</b> 配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、自分自身の知識を確認しておく。</p> <p><b>事後学修:</b> 演習本等を利用して、会社法上の法的問題についてアウトプットしておく。</p>

- ◆**教科書** 丸沼『会社法(有斐閣ストゥディア)』中東正文ほか 有斐閣 2015年
- ◆**参考書** 丸沼『会社法判例百選(第3版)』岩原紳作ほか編 有斐閣 2016年
- ◆**成績評価基準** 定期試験において、択一・論述式による問題を出し、講義で扱った会社法上の問題について適切に理解しているかを確認し(80%)、また、講義での参画度等に応じた評価を行う(20%)。
- ◆**授業相談(連絡先):**

**注意**



## 講座内容 (シラバス)

## 〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

藤井 信行

- ◆**授業概要** 歴史学の論文を書くためのステップの後半部分(研究史の整理・資料の収集・論証とは?)を取り上げます(前半部分の論文のテーマ決定・文献目録の作成・文献の解読・事実の解釈は前期授業)。学生各自が自身のテーマで研究史の整理を行い、それによってテーマに関する論争点や解釈の変遷などを理解します。また学生の報告を聞くことをとおして、西洋史における幅広い知識を身につける。
- ◆**学修到達目標** 学生各自が自己のテーマについて研究史の整理を行うことによって、様々な解釈が存在することを知り、それによって事実とは1つかもされないが、その解釈は多様であることを学ぶ。したがって、歴史とは、事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく、歴史家がいくつもの事実を解釈することをとおして創られていくものであることを理解する。それをとおして学生各自が自己のテーマを考察することにより、論文としてまとめる(歴史を書く)ことができる。
- ◆**授業方法** 1つ1つのステップをゼミナール形式で進めます。3年次生は、これをモデルにして同じステップを各自の論文テーマで行います。4年次生は、これを今一度自分の論文で確認しつつ論文を完成させてください。また3年・4年次生ともに、自己のテーマの研究史の整理を授業内で報告してもらいます。報告内容についてディスカッションを行いますので、今後の自身の論文作成につなげてください。
- ◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容 事前学修 事後学修	歴史学の論文を書く： まずこの授業の全体像と具体的な進め方を説明する。つづいて歴史学の論文を書く上でno後半の重要ポイント「研究史の整理」と「論証」について説明する。 テキスト第2章(41～78頁)をよく読んでおくこと。 2つのポイントについて、授業内容とテキストをノートにまとめ、それぞれを確認し理解する。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	3年次生の卒業論文テーマの決定： 卒業論文のテーマを決定し、その要旨・章立てなどの概要を報告する。報告の内容についてのディスカッションも行う。 学生各自、報告要旨を整理し、A4版1枚にまとめる。 ディスカッションでの議論を整理して、今後の論文作成につなげる。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	4年次生の卒業論文中間報告： テーマ・章立て・内容を簡潔にまとめて報告する。報告の内容についてのディスカッションも行う。 報告要旨を整理し、A4版1枚にまとめる。 ディスカッションでの議論を整理して、今後の論文作成につなげる。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(1)： 研究史の整理にも様々な形があることを、具体的にいくつかの論文を読みながら解説する。 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 自身のテーマの研究史の整理(未完の学生は自身の解釈)と配布資料と照らし合わせて確認する。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(2)： 「時代3区分法と古代ギリシャ」をテーマにして、関係する資料を読みながら、古代ギリシャに関する研究史の整理を解説する。それをとおして、西洋史における古代・中世・近代という時代3区分法も理解する。 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 授業内容を配布資料でよく確認し、古代ギリシャに関する研究史が時代の変遷とともに変わってきたことを確認する。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(3)： 「ルネサンスと中世」をテーマにして、関係する資料を読みながら、ルネサンスおよび中世に関する研究史の整理を解説する。それをとおして、西洋史における古代・中世・近代という時代3区分法も理解する。 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 授業内容を配布資料でよく確認し、ルネサンスおよび中世に関する研究史が時代の変遷とともに変わってきたことを確認する。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(4)： 「第一次世界大戦原因論」をテーマにして、関係する資料を読みながら、大戦原因論に関する研究史の整理を解説する。それをとおして、新たな事実の公表によって歴史解釈も必然的に変化してきたことを理解する。 参考書『歴史学』第8部(187～211ページ)をよく読んでおくこと。 参考書と授業ノートを整理し、内容を確認・理解する。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(5)： 4年次生の卒業論文のテーマから選ぶ①-報告とディスカッション 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 報告とディスカッションの内容をまとめ、西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(6)： 4年次生の卒業論文のテーマから選ぶ②-報告とディスカッション 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 報告とディスカッションの内容をまとめ、西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(7)： 3年次生の卒業論文のテーマから選ぶ①-報告とディスカッション 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 報告とディスカッションの内容をまとめ、西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	研究史の整理(8)： 3年次生の卒業論文のテーマから選ぶ②-報告とディスカッション 配布資料(前回授業終了時に配布)をよく読んでおくこと。 報告とディスカッションの内容をまとめ、西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	4年次生の卒業論文報告とディスカッション(1)： 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	4年次生の卒業論文報告とディスカッション(2)： 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	3年次生のテーマ決定報告とディスカッション(1)： 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	3年次生のテーマ決定報告とディスカッション(2)： 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。

◆**教科書** 通信教育教材 『西洋史入門 Q20300』(000047)◆**参考書** 通信教育教材 『西洋史特講Ⅰ Q31200』(000156)

通信教育教材 『歴史学 B11100』(000393)

◆**成績評価基準** レポート2回(授業中・前期最終授業時)各30%×2、報告40% 毎回出席することを前提に評価します。◆**授業相談**(連絡先)：授業初回時にお知らせします。

注意

## 講座内容（シラバス）

〔経済学概論〕 オープン受講：不可

藤本 訓利

- ◆**授業概要** マクロ経済学の基礎理論を平易に説明します。あわせて、数値例（計算問題）を解き理解度を深めます。
- ◆**学修到達目標** マクロ経済学の基礎理論を修得することによって、今日の経済の動きや経済政策について考察する力を身につけることができるようになります。
- ◆**授業方法** 講義レジメを配布してパワーポイントを用いて、テキストに沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。学習範囲は、テキストの第1・2・4・5章です（ただし、一部除く）。
- ◆**履修条件** 経済原論（経済学原論）を履修する予定がある学生は、経済原論の講義内容の理解度をあげるために、この講義をできるだけ受講して下さい。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容 マクロ経済学とはどのような学問か：経済学の歴史・マクロ経済学の誕生・ミクロ経済学との違い・マクロ経済学の分析ツールについて
	事前学修 テキストの第1章を読み、専門用語をノートに書き出し、その意味を事前に調べておきましょう。
	事後学修 経済学の歴史、マクロ経済学とミクロ経済学の違い・マクロ経済学独特の分析ツール、重要な専門用語についてノートに整理しておきましょう。
2回	授業内容 国民経済計算：GDPやGNPなどの国民所得の諸概念について説明します。
	事前学修 テキストの29－34ページを予習しておきましょう。
	事後学修 国民経済計算に関する重要な専門用語を理解すると同時に、それらが簡単な計算問題でも解けるようにしておきましょう。
3回	授業内容 マクロ経済循環と三面等価の原則：三面等価の原則とISバランス方程式の意味について説明します。
	事前学修 テキストの34－43ページを予習しておきましょう。
	事後学修 三面等価の原則が簡単な数値例でもできるようにしましょう。
4回	授業内容 物価指数：物価水準を表す指標について説明します。
	事前学修 テキストの43－47ページを予習しておきましょう。
	事後学修 GDPデフレーター、消費者物価指数、企業物価指数の違いについて理解しましょう。
5回	授業内容 国民所得はどのように決まるか①：ケインズ型消費関数・貯蓄関数について説明します。
	事前学修 テキストの75－80ページを予習しておきましょう。
	事後学修 ケインズ型消費関数の特徴を理解すると同時に、簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。
6回	授業内容 国民所得はどのように決まるか②：ケインズ型投資関数と有効需要の原理について説明します。
	事前学修 テキストの76－84ページを予習しておきましょう。
	事後学修 均衡国民所得の求め方、有効需要の原理の特徴を理解するとともに、計算問題も解けるようにしておきましょう。
7回	授業内容 デフレギャップ・インフレギャップ：これらの用語の意味と、これらのギャップを解消させる政策の必要性について説明します。
	事前学修 テキストの90－91、93－94ページを予習しておきましょう。
	事後学修 二つの用語の意味を理解し、数値例でも計算できるようにしておきましょう。
8回	授業内容 財政政策と乗数：総需要管理政策、とくに政府支出乗数の効果について説明します。
	事前学修 テキストの84－90ページを予習しておきましょう。
	事後学修 乗数効果の意味を理解すると同時に、簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。
9回	授業内容 貨幣の機能と貨幣の定義：貨幣の三大機能を説明し、今日の貨幣を定義します。
	事前学修 テキストの99－104ページを予習しておきましょう。
	事後学修 貨幣の3大機能について理解しておきましょう。
10回	授業内容 貨幣の保有動機と貨幣需要関数：貨幣の保有動機や貨幣需要関数、債券価格と利子率の関係について説明します。
	事前学修 テキストの104－110ページを予習しておきましょう。
	事後学修 3つの貨幣の保有動機と2つの貨幣需要関数をノートに整理し、さらに債券価格と利子率の関係について理解しておきましょう。
11回	授業内容 マネーサプライ：通貨供給量（マネーサプライ）の概念とハイパワードマネー（マネタリーベース）について説明します。
	事前学修 テキストの111－114ページを予習しておきましょう。
	事後学修 通貨の種類についてきちんと整理し、また、ハイパワードマネー（マネタリーベース）の意味を理解しておきましょう。
12回	授業内容 通貨乗数と金融政策：マネーサプライが変動する要因について、金融政策の手段と関係づけて説明します。
	事前学修 テキストの114－120ページを予習しておきましょう。
	事後学修 マネーサプライが変化する要因を金融政策と関係づけて理解しておきましょう。
13回	授業内容 貨幣の需要と利子率の決定：市場利子率の決定メカニズムに説明します。
	事前学修 テキストの126－127ページを予習しておきましょう。
	事後学修 利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や、「流動性のわな」について理解しましょう。
14回	授業内容 まとめ
	事前学修 これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習し、理解できていない箇所を各自確認しましょう。
	事後学修 再度、このスクーリングで学習した範囲における重要な専門用語や簡単な計算問題など、チェックしておきましょう。
15回	授業内容 筆記試験
	事前学修 これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習しておきましょう。
	事後学修

- ◆**教科書** 丸沼『入門マクロ経済学（第5版）』中谷巖 日本評論社
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点（練習問題等30%）と筆記試験（70%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提に評価します。練習問題を3回行う予定ですので、2回以上の提出がない場合には平常点が0点になります。
- ◆**授業相談（連絡先）**：最初に授業時にお知らせします。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔法学〕

武田 茂樹

- ◆**授業概要** (◆法の歴史を学び、法の未来を考えよう) その中で後期は、法の未来を考えます。  
法は、人類の文化のあらゆる領域に深く関わるものです。従って、この講義では、一定の学問的研究の重要性を提示しますが、法の未来というテーマから生まれる問題は、それに尽きるとは思われません。ぜひ、学生諸君も自己の味や問題意識を大切に、法の未来を考える準備をしてください。
- ◆**学修到達目標** 法学・前期では、法の歴史を学ぶことによって、法の全体像を考察しました。歴史を学ぶことは、法の世界を過去という時間軸から考えるだけでなく、現在そして未来の法のあり方を考えていく上でも、非常に大切な意味をもちます。そこで、後期の法学では、時間軸を現在から未来にシフトさせて、法の未来を考えて見たいと思います。まだ、未来の姿は見えないのですが、すでに始まっていると思われる。学問的な推論を柱にしなが、想像力を働かせて、法の未来に迫りたいと思います。
- ◆**授業方法** 法学・前期と同じように、講義を中心に授業を進めます。しかし、法の未来に関しては、学問的見解が確立していないので、多様な角度からの見方が成立すると思います。その多様性を大切に講義を進めたいと思っていますので、学生諸君の積極的な質疑応答への参加を期待します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画** (各 90 分)

1回	授業内容 事前学修 事後学修	現代世界の法について考える。法の未来を考える出発点は現代世界にあります。 現代世界が抱える法的問題をいろいろと考えてみよう。 それらの法的問題の未来的な解決方法を考えよう。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	法的課題が、主に何に起因しているのかを考える。法的課題の重要な要因は何かを考えることは大切です。 現在および未来に考えられる法的課題を思い浮かべてみよう。 その課題の原因および解決方法を研究してみよう。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	現代世界の法的課題を検討します。現在と未来の文化の連続と非連続の可能性も考えて見たいと思います。 激動の現代世界の中で、過去や現在だけでなく、未来の世界も考えてみよう。 未来予想に関する学問的な方法論を研究してみよう。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	世界的に急激に進展しているグローバリズムとそれがもたらす法への影響について検討します。 現在のグローバリズムの進展について学ぼう。 グローバリズムの進展によって法の未来がどうなっていくのか考えてみよう。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	地球環境と法について。人類の文化は、人間社会を超えて地球環境やそこに生存する生物の生存環境に強い影響を及ぼす段階に入っています。人類の文明を見つめ、未来の法がどのような役割を果たせるか考えます。 人類の文明の未来を考えよう。 未来の世界において、人類がどのような役割を果たせるか考えよう。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	地球全体の未来を見通した法の在り方を考えよう。未来の国際法を考えましょう。 国際法を学ぼう。 未来の国際法を考えて見よう。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	宇宙と法の関係について。私たちは、宇宙法の研究に積極的に取り組むべき時期にきているといえます。 宇宙について考えてみよう。 宇宙法を学ぼう。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文明において、法が科学の発展とどう向かい合うかは非常に大切な問題です。 科学史を学び、科学の発展について考えよう。 人類の文化において、科学の発展がどういう意味をもつのか考えよう。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文明の未来が技術の在りかたに大きく関わっていることは否定できません。技術と法との関係を研究する学問的構築が必要です。 技術の発展について学んでみよう。 技術の発展が人類の文化にどのような影響をもたらすかを考えよう。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	生命科学の発展と法との関係について考えます。DNA解析や脳科学の発展によって、人類の文明そのものが、本質的な変化を受ける可能性が高く、法の果たす役割が問われます。 現代の生命科学の発展について学んでみよう。 法と生命の関係について考えよう。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	人類の文化そして生活は、科学技術の発展によって、予想を超えた状況をもたらす可能性があります。それに対する法の果たすべき役割を考える必要があります。 未来の世界を考えてみよう。 未来の世界における法の役割を考えよう。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	科学技術の発展は、未来において、AIやサイボークという従来はSFの世界でしか考えられなかった新たな生命体を現実化する可能性があります。 AIやサイボークに対する研究をしてみよう。 AIやサイボークの文化的な意味を考えよう。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	未来において、平和で豊かな世界を形成するために必要なことを考えよう。 法の未来を考えよう。 法の普遍的価値を考えよう。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	後期の講義をまとめます。学問は、今後、未来に対する学問研究が重要な役割を果たしていくと考えられます。 学問的に未来を研究するには何が必要かを考えてみよう。 学問的な未来学にチャレンジしよう。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験

- ◆**教科書** なし。
- ◆**参考書** 授業中に提示する。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、試験(80%)、平常点(20%)で評価します。
- ◆**授業相談(連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~IV (初級)〕

北原 安治

- ◆**授業概要** 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになる。前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**学修到達目標** 全体的に英文の構造が理解できるようになり、文の構造に基づいた正しい和訳ができるようになる。五文型の基本理解、自動詞と他動詞の区別、目的語と補語の区別、完了形の理解、仮定法の理解など基本文法が理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義の最初に映像教材を使い口語英語や英米中心に文化について学ぶ。テキストについては本文のみやり練習問題はやらない。板書事項を少なくして学生にあてて読みと訳をやらせる。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ノートの書き方は指示するので必ず指示どおりに書く。自己流ノートは不可。教科書への書き込みはノートではない。ルーズリーフでもよいが必ず書いたものを毎回持ってくる。単語を調べてくること。電子辞書でもよいので辞書を持ってくる。教科書は必ず購入して毎回持ってくる。15 回目の試験は辞書やノートの持ち込み不可。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。
- ◆**履修条件** 受講人数が多い場合、初日に来た学生のみ受講を許可する。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：講義の進め方の説明。映像資料。第2章の英文構造と和訳 事前学修：英文をノートに書き写す（8行ほど）。単語を調べて自分なりの和訳をする。 事後学修：予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。
2回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。現在進行形の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。現在進行形の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。現在進行形の復習。
3回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。過去進行形の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。過去進行形の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。過去進行形の復習。
4回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。未来表現の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。未来表現の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。未来表現の復習。
5回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。知覚動詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。知覚動詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。知覚動詞の復習。
6回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。使役動詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。使役動詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。使役動詞の復習。
7回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。受動態の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。受動態の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。受動態の復習。
8回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。冠詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。冠詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。冠詞の復習。
9回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。形容詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。形容詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。形容詞の復習。
10回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。副詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。副詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。副詞の復習。
11回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。比較構文の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。比較構文の確認。の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。比較構文の確認。の復習。
12回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。接続詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。接続詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。接続詞の復習。
13回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。語法の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。語法の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。語法の復習。
14回	授業内容：映像資料。第2章の英文構造と和訳。仮定法の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。仮定法の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違っていたか確認する。仮定法の復習。
15回	授業内容：持ち込み不可の試験および解説 事前学修：学習した範囲の単語を覚えて、和訳ができるようにする。 事後学修：学んだ文法事項を参考書などで再確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『Major Countries in the World～世界の主要国～』小泉和弘編、鳳書房 (Tel/Fax (03) 3483 - 3723)
- ◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』綿貫陽 旺文社 2000年 1,890円。この本は講義では使わない。辞書は使い慣れたものでよいので毎回持ってくる。電子辞書でもよい。
- ◆**成績評価基準** 期末試験、小テストなどの総合評価。皆出席を望む。出席点とノート点は加算しない。出席してノートを取るの当然のことだからである。抜き打ちの実力テストを行う場合がある。ノート検査をして不備の者は不合格。テキストを買っていないものも不可とする。
- ◆**授業相談 (連絡先)** : fra 3in 5@yahoo.co.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔国文学基礎演習〕

鈴木 雅裕

- ◆**授業概要** 現存する最古の歌集『万葉集』を取り上げる。1首ずつ精読することを通じて、古典読解に必要な基礎的な作業を身につける。また、自分の考え方を論理的に説明できるようにする。
- ◆**学修到達目標** 文学作品を扱うためには、本文の確定・一語一語の注釈という作業が必要不可欠である。また、読解を行うためには、作品の校本、現在までに刊行されている注釈書に目配りをするのが肝要である。そうした研究方法を学ぶことで、作品の特徴を知ると同時に、その他の作品研究に応用できる力を身につける。
- ◆**授業方法** 会議システム、Zoomを用いたオンライン授業で実施する。本講座は演習形式であるため、各自に発表箇所を割り当てた上で、口頭発表を行う。発表者は、担当箇所の調査、問題点等をまとめたレジュメを作成する。また、口頭発表では、参加者を含め質疑応答の時間を設け、討論を行う。
- ◆**履修条件** 授業資料 (3日目)
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	<b>授業内容</b> 授業内容と進め方の説明 <b>事前学修</b> 『万葉集』がどのような作品か調べておく。 <b>事後学修</b> 『万葉集』がどのような作品か復習しておく。
2回	<b>授業内容</b> 対象作品・箇所の概要と時代状況の解説 <b>事前学修</b> 八世紀の時代状況・律令国家とはどのようなものかを調べる。 <b>事後学修</b> 八世紀の時代状況・律令国家について復習しておく。
3回	<b>授業内容</b> 発表にあたっての基本作業の説明 1 <b>事前学修</b> 図書館にどのような本があるかを確認しておく。 <b>事後学修</b> 実際に図書館に行き、発表に必要な資料を収集する。
4回	<b>授業内容</b> 発表にあたっての基本作業の説明 2 <b>事前学修</b> 図書館で集めた資料に目を通し、どのように注釈されているかを確認する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 A 担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を考えておく。
5回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 A <b>事前学修</b> 口頭発表 A 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 A 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
6回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 B <b>事前学修</b> 口頭発表 B 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 B 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
7回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 C <b>事前学修</b> 口頭発表 C 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 C 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
8回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 D <b>事前学修</b> 口頭発表 D 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 D 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
9回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 E <b>事前学修</b> 口頭発表 E 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 E 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
10回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 F <b>事前学修</b> 口頭発表 F 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 F 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
11回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 G <b>事前学修</b> 口頭発表 G 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 G 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
12回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 H <b>事前学修</b> 口頭発表 H 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 H 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
13回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 I <b>事前学修</b> 口頭発表 I 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 I 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
14回	<b>授業内容</b> 受講者による口頭発表 J <b>事前学修</b> 口頭発表 J 担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。 <b>事後学修</b> 口頭発表 J 担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質疑事項を作成する。
15回	<b>授業内容</b> 総評と今後の学修に向けて <b>事前学修</b> これまでの発表内容を踏まえた上での提出課題を作成する。 <b>事後学修</b> 発表・提出課題を作成した際の反省点を考え、今後の学修に活かせるようにする。

- ◆**教科書** 因沼『訳文 万葉集』森淳司編 笠間書院 2007年 1,800円+税
- ◆**参考書** 因沼『(新編)日本古典文学全集』萬葉集①～④』小島憲之他校注・訳者 1996年 小学館
- ◆**成績評価基準** 発表 60% レポート 30% 授業参画度 10%
- ◆**授業相談 (連絡先)** : メールにて受け付ける。suzuki.masahiro53@nihon-u.ac.jp

**注意**

## 講座内容（シラバス）

## 〔国文学基礎演習〕

野口 恵子

- ◆**授業概要** 日本文学史の始まりとされる『古事記』は、八世紀、律令国家を形作るために作成された史書である。本講座では、そうした史書の中から、倭建物の物語を対象として読解を行う。現在の国語教科書でも定番と言える題材だが、精読することを通じて、教科書との違いに目を向けながら、実際に古典作品を読むための作業工程を学ぶ。
- ◆**学修到達目標** 文学作品を扱うためには、本文の確定・一語一語の注釈という作業が必要不可欠である。また、読解を行うためには、作品の校本、現在までに刊行されている注釈書に目配りをするのが肝要である。そうした研究方法を学ぶことで、作品の特徴を知ると同時に、その他の作品研究に応用できる力を身につける。
- ◆**授業方法** 本講座は演習形式であるため、各自に発表箇所を割り当てた上で、口頭発表を行う。発表者は、担当箇所の調査、問題点をまとめたレジュメを作成する。また、口頭発表では、参加者を含め質疑応答の時間を設け、討論を行う。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス（授業方法の確認・担当箇所の検討を行う） 事前学修：指定された教科書を基に、『古事記』がどのような作品か調べてみる。 事後学修：それぞれの担当箇所および作品の全体像を確認する。
2回	授業内容：対象作品・箇所の概要と時代状況の解説 事前学修：八世紀の時代状況・律令国家とはどのようなものを調べる。 事後学修：『古事記』倭建物の物語に目を通しておく。
3回	授業内容：発表にあたっての基本作業の説明1 事前学修：図書館にどのような本があるかを確認しておく。 事後学修：実際に図書館に行き、発表に必要な資料を収集する。
4回	授業内容：発表にあたっての基本作業の説明2 事前学修：図書館で集めた資料に目を通し、どのように注釈されているかを確認する。 事後学修：口頭発表A担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を考えておく。
5回	授業内容：受講者による口頭発表A 事前学修：口頭発表A担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表A担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
6回	授業内容：受講者による口頭発表B 事前学修：口頭発表B担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表B担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
7回	授業内容：受講者による口頭発表C 事前学修：口頭発表C担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表C担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
8回	授業内容：受講者による口頭発表D 事前学修：口頭発表D担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表D担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
9回	授業内容：受講者による口頭発表E 事前学修：口頭発表E担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表E担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
10回	授業内容：受講者による口頭発表F 事前学修：口頭発表F担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表F担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
11回	授業内容：受講者による口頭発表G 事前学修：口頭発表G担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表G担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
12回	授業内容：受講者による口頭発表H 事前学修：口頭発表H担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表H担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
13回	授業内容：受講者による口頭発表I 事前学修：口頭発表I担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表I担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
14回	授業内容：受講者による口頭発表J 事前学修：口頭発表J担当箇所の予習。担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。 事後学修：口頭発表J担当者は討論事項を踏まえたブラッシュアップ。次回担当者はレジュメの作成、その他の受講生は質問事項を作成する。
15回	授業内容：総評と今後の学修に向けて 事前学修：これまでの発表内容を踏まえた上での提出課題を作成する。 事後学修：発表・提出課題を作成した際の反省点を考え、今後の学修に活かせるようにする。

- ◆**教科書** 丸沼『新版 古事記 現代語訳付き』中村啓信 KADOKAWA 平成21年
- ◆**参考書** 丸沼『古事記〈新編日本古典文学全集1〉』山口佳紀・神野志隆光 小学館 1997年
- ◆**成績評価基準** 発表60% レポート30% 授業参画度10%
- ◆**授業相談（連絡先）**：メールにて対応する。Noguchi.keiko@nihon-u.ac.jp

## 注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔英語音声学〕

森 晴代

- ◆**授業概要** 発声器官の説明から始めて、子音については細かい音声現象の説明、日本語と英語の違い、英米の違いの理解の徹底及び発音練習を行います。プロソディでは音声変化（脱落現象、連結現象、同化現象）、イントネーションについて説明し、総合的な発音練習を行います。発音試験に備え、授業時に各自発音発表をしてもらいます。また、毎週理論に関する小テストを課して習熟度の確認を行います。テキストには専門用語が多数出てくるので、前もって読んでおいてください。
- ◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解することができる。  
2. 英語のプロソディの学びを通して、英語らしい発音を実現することができる。
- ◆**授業方法** 子音、音声変化、イントネーションの詳細な説明を行います。毎週小テストを課して習得状況を確認します。練習問題を適宜配布し問題を解きながら難しい箇所を補足説明します。6名から8名のグループを作り、発音練習への取り組みやプリント作成を行います。全員参加型の授業を目指します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：子音の分類説明 事前学修：音声学の学問領域について各自調べておくこと。母音、発声器官の名称、発音記号が一通り書けるか確認しておくこと 事後学修：英語の子音の分類基準を覚え、子音の発音記号を書けるようにしておくこと
2回	授業内容：閉鎖音の説明及び発音練習 事前学修：閉鎖音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：閉鎖音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
3回	授業内容：摩擦音の説明及び発音練習 事前学修：摩擦音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：摩擦音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
4回	授業内容：破擦音の説明及び発音練習 事前学修：破擦音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：破擦音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
5回	授業内容：鼻音の説明及び発音練習 事前学修：鼻音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：鼻音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
6回	授業内容：流音、半母音の説明及び発音練習 事前学修：流音、半母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：流音、半母音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
7回	授業内容：子音連続の発音練習 事前学修：子音連続について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：英語の子音連続の発音練習をしておくこと、母語干渉を理解しておくこと
8回	授業内容：子音の演習問題配布及び解答 事前学修：英語と日本語の子音の違いを理解しておくこと 事後学修：解答したプリントの復習をしておくこと
9回	授業内容：音声変化：脱落現象の説明及びリスニング演習 事前学修：脱落について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：脱落現象を理解できたか、リスニング練習と発音練習をしておくこと
10回	授業内容：音声変化：連結現象の説明及びリスニング演習 事前学修：連結について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：連結現象を理解できたか、リスニング練習と発音練習をしておくこと
11回	授業内容：音声変化：同化現象の説明及びリスニング演習 事前学修：同化について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：同化現象を理解できたか、リスニング練習と発音練習をしておくこと
12回	授業内容：イントネーションの説明及び文の発音練習（長文） 事前学修：文強勢の復習とイントネーションの箇所を読んでおくこと 事後学修：英語のイントネーションを理解し、発音練習につなげる
13回	授業内容：文（長文）の発音練習及び練習問題 事前学修：これまで勉強した子音、音声変化、イントネーションを考慮した発音練習をしておくこと 事後学修：練習において指摘された箇所を理解しておくこと
14回	授業内容：発音試験及び解説、指導 事前学修：発音試験に備え、これまでの総復習をしておくこと 事後学修：試験後に、指導されたことを理解しておくこと
15回	授業内容：筆記試験及び解説 事前学修：試験に備え、理論と発音の総復習をしておくこと 事後学修：英語音声学における諸事象を理解できたか復習すること

- ◆**教科書** 当日資料配布 プリント使用
- ◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』川越いつえ著 大修館書店
- ◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、発音テスト（10%）、試験（50%）
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回の授業時に、授業相談方法をお伝えします。

注意

水 3

# 講座内容 (シラバス)

〔経済学概論〕 オープン受講：不可

藤本 訓利

- ◆**授業概要** マクロ経済学の基礎理論を平易に説明します。あわせて、数値例(計算問題)を解き理解度を深めます。
- ◆**学修到達目標** マクロ経済学の基礎理論を修得することによって、今日の経済の動きや経済政策について考察する力を身につけることができるようになります。
- ◆**授業方法** 講義レジメを配布してパワーポイントを用いて、テキストに沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。学習範囲は、テキストの第1・2・4・5章です(ただし、一部除く)。
- ◆**履修条件** 経済原論(経済学原論)を履修する予定がある学生は、経済原論の講義内容の理解度をあげるために、この講義をできるだけ受講して下さい。
- ◆**授業計画(各90分)**

1回	授業内容: マクロ経済学とはどのような学問か: 経済学の歴史・マクロ経済学の誕生・ミクロ経済学との違い・マクロ経済学の分析ツールについて 事前学修: テキストの第1章を読み、専門用語をノートに書き出し、その意味を事前に調べておきましょう。 事後学修: 経済学の歴史、マクロ経済学とミクロ経済学の違い・マクロ経済学独特の分析ツール、重要な専門用語についてノートに整理しておきましょう。
2回	授業内容: 国民経済計算: GDPやGNPなどの国民所得の諸概念について説明します。 事前学修: テキストの29-34ページを予習しておきましょう。 事後学修: 国民経済計算に関わる重要な専門用語を理解すると同時に、それらが簡単な計算問題でも解けるようにしておきましょう。
3回	授業内容: マクロ経済循環と三面等価の原則: 三面等価の原則とISバランス方程式の意味について説明します。 事前学修: テキストの34-43ページを予習しておきましょう。 事後学修: 三面等価の原則が簡単な数値例でもできるようにしましょう。
4回	授業内容: 物価指数: 物価水準を表す指標について説明します。 事前学修: テキストの43-47ページを予習しておきましょう。 事後学修: GDPデフレーター、消費者物価指数、企業物価指数の違いについて理解しましょう。
5回	授業内容: 国民所得はどのように決まるか①: ケインズ型消費関数・貯蓄関数について説明します。 事前学修: テキストの75-80ページを予習しておきましょう。 事後学修: ケインズ型消費関数の特徴を理解すると同時に、簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。
6回	授業内容: 国民所得はどのように決まるか②: ケインズ型投資関数と有効需要の原理について説明します。 事前学修: テキストの76-84ページを予習しておきましょう。 事後学修: 均衡国民所得の求め方、有効需要の原理の特徴を理解するとともに、計算問題も解けるようにしておきましょう。
7回	授業内容: デフレギャップ・インフレギャップ: これらの用語の意味と、これらのギャップを解消させる政策の必要性について説明します。 事前学修: テキストの90-91, 93-94ページを予習しておきましょう。 事後学修: 二つの用語の意味を理解し、数値例でも計算できるようにしておきましょう。
8回	授業内容: 財政政策と乗数: 総需要管理政策、とくに政府支出乗数の効果について説明します。 事前学修: テキストの84-90ページを予習しておきましょう。 事後学修: 乗数効果の意味を理解すると同時に、簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。
9回	授業内容: 貨幣の機能と貨幣の定義: 貨幣の三大機能を説明し、今日の貨幣を定義します。 事前学修: テキストの99-104ページを予習しておきましょう。 事後学修: 貨幣の3大機能について理解しておきましょう。
10回	授業内容: 貨幣の保有動機と貨幣需要関数: 貨幣の保有動機や貨幣需要関数、債券価格と利子率の関係について説明します。 事前学修: テキストの104-110ページを予習しておきましょう。 事後学修: 3つの貨幣の保有動機と2つの貨幣需要関数をノートに整理し、さらに債券価格と利子率の関係について理解しておきましょう。
11回	授業内容: マネーサプライ: 通貨供給量(マネーサプライ)の概念とハイパワードマネー(マネタリーベース)について説明します。 事前学修: テキストの111-114ページを予習しておきましょう。 事後学修: 通貨の種類についてきちんと整理し、また、ハイパワードマネー(マネタリーベース)の意味を理解しておきましょう。
12回	授業内容: 通貨乗数と金融政策: マネーサプライが変動する要因について、金融政策の手段と関係づけて説明します。 事前学修: テキストの114-120ページを予習しておきましょう。 事後学修: マネーサプライが変化する要因を金融政策と関係づけて理解しておきましょう。
13回	授業内容: 貨幣の需要と利子率の決定: 市場利子率の決定メカニズムに説明します。 事前学修: テキストの126-127ページを予習しておきましょう。 事後学修: 利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や、「流動性のわな」について理解しましょう。
14回	授業内容: まとめ 事前学修: これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習し、理解できていない箇所を各自確認しましょう。 事後学修: 再度、このスクーリングで学習した範囲における重要な専門用語や簡単な計算問題など、チェックしておきましょう。
15回	授業内容: 筆記試験 事前学修: これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習しておきましょう。 事後学修:

- ◆**教科書** 関函『入門マクロ経済学(第5版)』中谷巖 日本評論社
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点(練習問題等30%)と筆記試験(70%)で総合的に評価します。毎回出席することを前提に評価します。練習問題を3回行う予定ですので、2回以上の提出がない場合には平常点が0点になります。
- ◆**授業相談(連絡先)**: 最初に授業時にお知らせします。

注意



# 講座内容 (シラバス)

## 〔アメリカ経済論〕

羽田 翔

- ◆**授業概要** 本講義においてはミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学等の手法を用い、主に政治と経済政策に焦点を当てる形でアメリカ経済について学修する。最終的に、他国との関係や時事問題を理解する力を養う。
- ◆**学修到達目標** アメリカ経済について包括的に研究するために必要な世界の経済・社会システムについて説明する力及び日本を含む世界とアメリカに関係する経済的問題及び解決策を提示して相手に伝えることができる力（コミュニケーション能力）を習得するために、アメリカ経済の歩んできた道に関する考えを経済学及び政治学の考えを理解する。
- ◆**授業方法** 教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。また、 Semester 中、グループでのディスカッション及びリアクション・ペーパーを数回実施する。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	<b>授業内容</b> ：アメリカ経済論を学ぶ意味： アメリカ経済論（前期）の復習、講義概要、成績評価等について説明します <b>事前学修</b> ：アメリカ経済 I を受講していた場合はその復習、受講していなかった場合は教科書第 1 章を読んでおくこと <b>事後学修</b> ：第二次世界大戦後のアメリカ経済が進んだ道を、時系列で簡単にまとめること
2 回	<b>授業内容</b> ：戦後バックス・アメリカナ①：戦後の「持続的成長」システム ニューディール政策では成しえなかった持続可能な成長システムについて説明する <b>事前学修</b> ：ニューディール政策について再度確認しておくこと（教科書第 3 章） <b>事後学修</b> ：持続的成長システムの特徴を簡潔にまとめること
3 回	<b>授業内容</b> ：戦後バックス・アメリカナ②：国際通貨体制と通商体制 IMF と GATT 体制について説明する <b>事前学修</b> ：国際通貨基金と世界貿易機構について簡単に調べておくこと（教科書第 4 章の該当箇所も熟読すること） <b>事後学修</b> ：現代的な IMF と WTO の役割をまとめること
4 回	<b>授業内容</b> ：戦後バックス・アメリカナの転換期 労働組合および IMF-GATT 体制の問題について説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特に労働組合と雇い主の関係の変化に関して熟読すること <b>事後学修</b> ：レーガン大統領が目指すアメリカ経済についてポイントまとめる
5 回	<b>授業内容</b> ：1980 年代のアメリカ経済と「レーガノミクス」 レーガノミクスとその効果について説明する <b>事前学修</b> ：教科書第 7 章を熟読すること <b>事後学修</b> ：レーガノミクスの特徴をまとめること
6 回	<b>授業内容</b> ：金融の変貌と企業体制の転換 金融システムの変化と企業体制の転換について説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特に金融システムの変化に関して熟読すること <b>事後学修</b> ：現在のアメリカ経済との比較を行い、主な違いをまとめること
7 回	<b>授業内容</b> ：1990 年代の長期好況：IT 革命とその限界 クリントン政権と IT 産業の台頭に関して説明する <b>事前学修</b> ：教科書第 8 章を熟読すること <b>事後学修</b> ：IT 革命の重要性を理解し、特徴をまとめる
8 回	<b>授業内容</b> ：グローバル化とアメリカ経済 グローバル化の意味とアメリカ経済との関係を説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特にグローバル化の定義について熟読すること <b>事後学修</b> ：ケインズの有効需要の原理についてまとめること
9 回	<b>授業内容</b> ：グローバル金融危機とアメリカ経済①：サブプライムローン問題 サブプライムローン問題の本質的な問題点を説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、サブプライムローンのシステムに関して熟読すること <b>事後学修</b> ：サブプライムローン問題のシステムと証券の関係性についてまとめること
10 回	<b>授業内容</b> ：グローバル金融危機とアメリカ経済②：リーマンショック リーマンショック時のアメリカ政府の対応について説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特にどのような企業が被害にあったかに関して熟読すること <b>事後学修</b> ：第二次世界大戦時のアメリカのポジションを再確認すること
11 回	<b>授業内容</b> ：アメリカ経済の不況と世界経済への影響 アメリカから発生した金融危機が世界経済へ与えた影響を概観する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特に経済データに関して熟読すること <b>事後学修</b> ：国別・地域別の影響をまとめること
12 回	<b>授業内容</b> ：アメリカの通商政策①：北米自由貿易協定（NAFTA） NAFTA 締結の経緯とその効果について説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特に自由貿易と地域統合について熟読すること <b>事後学修</b> ：経済に関する新たな制度およびシステムの特徴をまとめること
13 回	<b>授業内容</b> ：アメリカの通商政策②：環太平洋連携協定（TPP）とアメリカ経済 アメリカが脱退した TPP および今後の二国間協定に関して説明する <b>事前学修</b> ：事前に配布する資料を、特に多国間協定と二国間協定に関して熟読すること <b>事後学修</b> ：通商政策に対する各国の姿勢をまとめること
14 回	<b>授業内容</b> ：政策から考えるオバマ政権とトランプ政権の比較 オバマ政権とトランプ政権の政策の違いを説明する <b>事前学修</b> ：教科書第 9 章を熟読すること <b>事後学修</b> ：両社の政策の違いをまとめること
15 回	<b>授業内容</b> ：まとめ：アメリカ経済と世界経済の行方 今後のアメリカ経済と世界経済について考える <b>事前学修</b> ：後期の内容を総合的に理解できるよう準備すること <b>事後学修</b> ：今後のアメリカ経済および世界経済が進む道について自分なりの意見をまとめる

- ◆**教科書** 凡淵『アメリカ経済の歩み』 榊原胖夫・加藤一誠 文真堂 2011 年
- ◆**参考書** 凡淵『現代アメリカ経済』 河村哲二 有斐閣アルマ 2003 年  
凡淵『現代アメリカ経済分析』 中本悟・宮崎礼二 日本評論社 2013 年
- ◆**成績評価基準** 期末試験（70%）、小テストおよびレポート（20%）、授業への積極的参加（質問や意見）（10%）により、総合的に評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔文化史A〕

渡邊 浩史

- ◆**授業概要** はじめに近世の各時代の文化の概観を各々述べた上で、各論的にいくつかのトピックについて講義する。その後、各地に残る日本の伝統文化について、いくつかを選んで講義する。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: はじめに 近世の文化 (安土桃山文化) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容: 近世の文化 (江戸時代) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容: 聖地巡礼 (富士信仰) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東大寺お水取りと名張市の松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (長者伝説と松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進ルート) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進と東大寺支配の記憶) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りとは) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの実際) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの継承) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (西日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容: まとめと試験 事前学修: 1～14回の内容をよく復習すること 事後学修: 試験の内容を含めてよく復習し理解を深めること

- ◆**教科書** 当日資料配布 適宜授業中に資料プリントを配布する。
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%, 試験 80%
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

## 講座内容（シラバス）

〔憲法〕 オープン受講：不可

名雪 健二

◆**授業概要** 後期では、国会（国会の憲法上の地位、不逮捕特権、免責特権、衆議院の解散、議院の自律権など）、内閣（内閣の組織、内閣総理大臣の地位および権能、内閣の権能など）、裁判所（司法権の概念と帰属、最高裁判所の権能、司法権の独立など）を中心にみていく。

◆**学修到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で憲法を知ることが、極めて重要である。

憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法判例をみることで、生きた憲法を理解することができ、さらに、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆履修条件

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容	ダイダダス、国会の性格
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。憲法第41条にいう最高機関と立法機関の意味をよく理解しておくこと。
2回	授業内容	国会の組織（二院相互の関係）、国会議員の特典
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、不逮捕特権と免責特権について、それぞれ問題点があるのでまとめておくこと。
3回	授業内容	国会の活動（衆議院の解散）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。解散の性格、解散権の主体と根拠規定、解散の原因などについてよく理解しておくこと。
4回	授業内容	国会の活動（会期、会期の種類、召集、参議院の緊急集会、会議の諸原則）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、会期の種類や召集、また、参議院の緊急集会を求める権能、緊急集会の請求などについてまとめておくこと。さらに、定足数、表決数、一事不再議などについてもまとめておくこと。
5回	授業内容	国会の権能（憲法改正）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。憲法改正とは、いかなる行為であるのか、憲法の廃棄、憲法の廃止などと区別してよく理解しておくこと。また、内閣が、憲法改正案を提出することができるかどうかについてもよく理解しておくこと。さらに、憲法改正に限界があるのかどうかについてもまとめておくこと。
6回	授業内容	国会の権能（法律の制定、条約の承認、内閣総理大臣の指名、弾劾裁判所の設置）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、法律の制定については、法律の概念を理解した上で、法律の制定手続についてまとめておくこと。
7回	授業内容	議院の権能（議院の自律権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。議院の自律的事項をあげて、それぞれの問題点をまとめておくこと。
8回	授業内容	議院の権能（国政調査権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。国政調査権の意義・性格・範囲と限界（行政権との関係、司法権との関係、検察権との関係）についてよく理解しておくこと。
9回	授業内容	内閣の性格・組織
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、行政権の帰属、内閣の組織と内閣構成員の資格についてまとめておくこと。
10回	授業内容	内閣総理大臣の地位および権能
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。内閣総理大臣の憲法上の地位と権能について、とりわけ、国務大臣の任免権、内閣代表権、法律・政令への連署権、国務大臣の訴追同意権について、それぞれ問題点があるのでまとめておくこと。
11回	授業内容	内閣の総辞職、内閣の権能
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、内閣の総辞職の意義、内閣が総辞職しなければならない場合をまとめておくこと。また、内閣の権能では、国会の承認をえることができなかった条約の効力についてよく理解しておくこと。
12回	授業内容	内閣の責任、裁判所の性格
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、内閣の責任については、責任の範囲、責任の相手方、責任の内容などについてよく理解しておくこと。また、司法権の概念と帰属について、とりわけ、司法権の帰属のところをよく理解しておくこと。
13回	授業内容	最高裁判所の構成、最高裁判所の権能（規則制定権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、規則制定権では、規則制定権の趣旨、規則制定権の範囲についてまとめておくこと。また、最高裁判所規則と法律との関係についてよく理解しておくこと。
14回	授業内容	最高裁判所の権能（違憲審査権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。違憲審査権の意義、違憲審査権の性格、違憲審査の対象、違憲判決の効力について、それぞれ学説が対立しているののでまとめておくこと。また、判例もあるので、よくみておくこと。
15回	授業内容	下級裁判所、司法権の独立、試験の説明
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたところを整理しておくこと。とくに、下級裁判所裁判官の任命および司法権の独立（裁判官の職権の独立と裁判官の身分保障）についてまとめておくこと。なお、後期の講義における重要な問題点を整理しておくこと。

◆教科書 関沼『日本国憲法』名雪健二 有信堂

◆参考書 関沼 参考書を希望する者は、『憲法第7版』芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店を購入されたい。

◆成績評価基準 受講回数と課題を含めて、スクーリングの試験を中心に総合的に判断する。

◆授業相談（連絡先）：

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔日本思想史Ⅰ〕

島田 健太郎

- ◆**授業概要** 前期に引き続き「日本中世の思想②」と題して、院政期の思想について考えていきます。後期では、修行不要論を説く天台本覚思想と、新しい浄土教を打ち立てた法然の思想を取り上げます。これらの思想は、院政期という時代に対応し、当時の人々の不安に対する1つの解答を示しています。両者がどのような論理で人々の不安を解消しようとしたのか、「末世」、「煩惱」、「心」をキーワードに見ていきたいと考えています。
- ◆**学修到達目標** 1. 院政期の人々のものの考え方を学ぶことで、当時の思想的営為についての理解を深めるとともに、日本文化に対するより広い視野を獲得することができる。  
2. 日本人の宗教観について理解を深め、現代の日本人の宗教観・人間観を捉える1つの視点を得ることができる。  
3. 日本思想に対する自己の問題意識をより明確にし、それについて主体的に考察できるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。仏教の専門的な用語が頻出しますが、適宜説明しますので、仏教語をほとんど知らなくても大丈夫です。またプリントには振り仮名と現代語訳を付けるので、古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。質問は、授業後はもちろん、授業中でも大歓迎です。また適宜授業内容についてのリアクション・ペーパーの提出を考えています。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：前期の内容の復習と後期の内容の概説 事前学修：前期の内容について、また院政期という時代について復習しておく。 事後学修：授業中に出てきた用語などを調べ、確認しておく。
2回	授業内容：天台本覚思想(1) 仏性、悟り、修行などの仏教の基礎的用語を説明する。 事前学修：仏教の基本的考え方について一通り調べておく。 事後学修：授業で出て来た用語の確認と内容の理解を深める。
3回	授業内容：天台本覚思想(2) 止観、実相などの天台教学の概要について説明する。 事前学修：天台教学の用語(止観、諸法実相、一念三千など)について一通り調べておく。 事後学修：できれば天台教学の概説書などに目を通し、内容のより深い理解に努める。
4回	授業内容：天台本覚思想(3) 【本覚論】と【本覚講釈】 事前学修：天台本覚思想について一通り調べておく。 事後学修：授業内容を復習し、わからなかった所をチェックしておく。
5回	授業内容：天台本覚思想(4) 真如の理と凡夫の心 事前学修：前回の復習と事前にプリントが配られている場合は該当箇所目を通しておく。 事後学修：院政期の天台本覚思想の特徴がどこにあるか、自分なりに考えておく。
6回	授業内容：天台本覚思想(5) 煩惱即菩提、生死即涅槃 事前学修：「煩惱」、「菩提」、「涅槃」などの仏教用語の意味を確認しておくこと。 事後学修：「煩惱即菩提」の論理について自分なりに理解し、それに対する自分の見解をまとめてみる。
7回	授業内容：天台本覚思想(6) 修行不要論 事前学修：仏教の修行論についてもう一度確認しておくこと。 事後学修：ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておくこと。
8回	授業内容：法然の思想(1) 浄土教について、日本における浄土信仰 事前学修：浄土教について、どのような思想なのか一通り調べておく。 事後学修：プリントを再読し、わからなかった所を確認しておくこと。
9回	授業内容：法然の思想(2) 法然以前の浄土信仰、観想念仏と称名念仏 事前学修：空也、源信の生涯と思想について簡単な知識を得ておくこと。 事後学修：プリントを再読し、特に源信の思想について、その特徴を確認しておくこと。
10回	授業内容：法然の思想(3) 法然の生涯 事前学修：法然の生涯について、事前にある程度調べておくことよい。 事後学修：善導について、その思想の特徴を調べておく。
11回	授業内容：法然の思想(4) 聖道門と浄土門、選択本願 事前学修：法蔵菩薩の四十八願についておさえておく。 事後学修：授業の復習をし、法然の言う「選択」の意味について、理解した所、わからない所を書き出しておく。
12回	授業内容：法然の思想(5) 往生の論理 事前学修：仏教の修行論についてもう一度確認しておくこと。 事後学修：源信との違いがどこにあるか自分なりに考えて、まとめておくことよい。
13回	授業内容：法然の思想(6) 念仏の「心」 事前学修：前回の復習と事前にプリントが配られている場合は該当箇所目を通しておく。 事後学修：ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておくこと。
14回	授業内容：法然の思想(7) 南都仏教からの批判 事前学修：【興福寺衰状】、貞慶について一通り調べておく。 事後学修：両者の立場の違いについて理解を深めること。
15回	授業内容：まとめと試験 事前学修：各自の問題意識に基づいて、自分の見解を考えておくこと。 事後学修：興味を持った事柄について、他の文献などを読み、問題関心と視野をさらに広げるようにする。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書は使用しません。当日プリントを配布します。
- ◆**参考書** 授業中に適宜指示します。
- ◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して、総合的に評価します。
- ◆**授業相談 (連絡先)** :

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔東洋史入門〕

綿貫 哲郎

- ◆**授業概要** 「外国史 (東洋史)」の地理的特徴を明らかにし、研究史を整理することを通じて、学修の意義や現代までの史実や解釈へのさまざまなアプローチが身につくようになります。そのなかでも東北アジア、とくに現在の黒龍江 (アムール川) 下流域から樺太・北海道にかけて居住した先住民は、平和で変化がないと思われてきましたが、13世紀以降にはダイナミックな動きと運動し変化に富む時代を経験します。本講義では東北アジアの民族と交流について学びます。
- ◆**学修到達目標** 日本を含んだこの地域の歴史や文化を学ぶことで、全15回の授業終了時には、「国家」や「民族」について、高校までに学んだ時とは異なるアプローチ、また他民族や異文化接触についてステレオタイプではない考え方がもてるようになります。
- ◆**授業方法** 以下の授業計画 (学生の理解度により変更あり) に沿って、講義及び実習形式でおこないます。講義の理解を深めるため、視覚教材を適宜併用します。授業時間内外でレポートを課する予定です。
- ◆**履修条件** 平成30年度昼間スクーリング (後期) 「東洋史入門」 (綿貫哲郎) とは積み重ね不可。
- ◆**授業計画** [各90分]

1回	授業内容: ガイダンス, 導入 事前学修: シラバスをよく読んでおくこと 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
2回	授業内容: モンゴルの樺太遠征—「元寇」との関係 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
3回	授業内容: 明朝とヌルガン都司—アムール川下流域と樺太支配(1) 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
4回	授業内容: 東北アジアから見た安東氏と蝦夷—国際貿易港「十三澳」 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
5回	授業内容: 東北アジアにおける女真社会と交易—狩猟漁労民社会の実態 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
6回	授業内容: 清朝と辺民制度—中国王朝とは別な顔を持つ清朝 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
7回	授業内容: ロシアとの接触とネルチンスク条約—アムール川下流域と樺太支配(2) 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
8回	授業内容: 蝦夷島主蠣崎 (松前) 氏 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
9回	授業内容: イエズス会宣教師アンジェリスの蝦夷報告とアイヌ人社会 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
10回	授業内容: 松前藩と江戸幕府による北方調査 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
11回	授業内容: 間宮林蔵が見たアムール川下流域の人々 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
12回	授業内容: 辺民の朝貢とナヨロアイヌ—多様性をもつアイヌ人社会 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
13回	授業内容: サンタン交易と清朝・日本 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
14回	授業内容: サンタン交易の終焉 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
15回	授業内容: まとめ, 試験 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 自分がまとめた内容を再確認しておくこと

- ◆**教科書** [当日資料配布]
- ◆**参考書** ① 丸沼『北方から来た交易民—絹と毛皮とサンタン人』佐々木史郎, 日本放送出版協会, 1996年 (1,068円+税) [購入義務はありません]  
② 丸沼『北方世界の交流と変容—中世の北東アジアと日本列島』天野哲也・白杵勲・菊池俊彦 [編], 山川出版社, 2006年 (1,900円+税) [購入義務はありません]
- ◆**成績評価基準** 試験 (60%)・平常点 (40%)。毎回出席することを前提として総合的に評価します。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: mianguan@hotmail.com

## 注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔考古学入門〕

浜田 晋介

- ◆**授業概要** 考古学とはどのようなものを対象にし、どのような研究方法によって、何を明らかにする学問なのかについて、研究の具体的な事例を取り上げて解説する。後期はこれまでの考古学研究上での論争や事件を通して考古学資料の解釈の問題点を説明する。加えて、考古学が現代社会とどのような繋がりや役割を果たしているのかを説明し、考古学の現代的意義について、理解が深まるように心がける。
- ◆**学修到達目標** 考古学が隣接する諸学問（文献史学・人類学・民俗学・古生物学など）とどのように異なるのか、考古学行われてきた研究や論争を通して、考古学の学問内容とその問題点、また、現代にこうした考古学的成果がいかされていることを理解することができる。
- ◆**授業方法** 毎回 OneDrive にアップするプリントと動画をもとに、説明を加えて必要な箇所をノートに書き取る授業形態をとる。授業内容に関する質問は、メールを通してやり取りを行う。また、数回分の授業を要約させる課題を3回行う。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	考古学とは何か？ 考古学と、古生物学・文献史学・文化（社会）人類学・自然（形質）人類学・民族学・民族学の違いを説明する。 考古学はどのような学問かを調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（人種論争） 明治期から行われていた、縄文時代と弥生時代の人種・民族をめぐる論争について解説する。 前回配布した、第2回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（ミネルヴァ論争） 昭和戦前に行われた、縄文文化と弥生文化に時間的な差が存在するのか、という論争について解説する。 事前に配布した、第3回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（日本の農業開始問題） 昭和戦前に行われた、日本の農業開始時期についての論争について解説する。 事前に配布した、第4回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（縄文時代農耕論） 縄文時代に植物栽培が存在したのか、その論争について解説する。 事前に配布した、第5回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	第2回～第5回のみまとめと解説 第2～第5回の授業で事前に調べた内容、事後に要約したノートを読み返し、理解しておくこと。 今回の授業を受けて理解不足であった点を、整理しておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（ピルトダウン人事件） 1908年に当時類人猿と人類を繋ぐ化石人口が発見された骨が、1949年に捏造であったことが判明した事件を解説する。 事前に配布した、第7回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（前期旧石器遺跡捏造事件） 1970年代から行われ2000年11月に発覚した、前期旧石器遺跡捏造事件について解説する。 事前に配布した、第8回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（理化学的方法による捏造と問題） 旧石器遺跡事件で明らかになった、脂肪酸分析結果の捏造とそこから読み取れる捏造を疑う方法を解説する。 事前に配布した、第9回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	論争と事件（日本での遺物の捏造） これまで日本で確認できている遺物の贋作について解説し、出土資料の見極めについて説明します。 事前に配布した、第10回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	第7回～第10回のみまとめと解説 第7回～第10回の授業で事前に調べた内容、事後に要約したノートを読み返し、理解しておくこと。 今回の授業を受けて理解不足であった点を、整理しておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代と考古学（陵墓治定論） 現在宮内庁によって古代天皇陵として治定されている古墳の、治定にいたる経緯と問題点について解説する。 事前に配布した、第12回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代と考古学（埋蔵文化財と開発） 考古学が現実と直面している課題を、特に開発に伴う遺跡破壊との関係について、解説する。 事前に配布した、第13回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代と考古学（遺跡は誰のものか） 遺跡保存の歴史に対するこれまでの官民の対応を解説する。 事前に配布した、第14回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	第12～第14回のみまとめと解説 第12～第14回の授業で事前に調べた内容、事後に要約したノートを読み返し、理解しておくこと。 今回の授業を受けて理解不足であった点を、整理しておくこと。

◆**教科書**◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** 3回提出する課題の内容（第1回・第2回課題 35%、第3回課題 30%= 100%）。また、毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔東洋史特講Ⅰ〕

堀井 弘一郎

- ◆**授業概要** 徴兵, 移民, 特攻, 政治運動, 捕虜, 慰安婦, シベリア抑留, 留用など, 日中戦争やアジア太平洋戦争の戦中・戦後期に日本国内や, 中国, 台湾, 朝鮮など各地の民衆がどのように戦争に動員され, どのような生き方を強いられていたのかという視点から日中戦争史・アジア太平洋戦争史を再構成し, 民衆と戦争, 権力, メディア, ナショナリズム等の関係性を考察する。
- ◆**学修到達目標** 戦後 75 年, 戦争の記憶も薄らいでいき, また近隣諸国との摩擦も絶えない状態が続いている。そんな中, 戦争の前線や戦後に動員された各国民衆の生き様をたどりながら, 民衆動員のシステムを考察し, 民衆と戦争, 権力, メディア, ナショナリズム等の関係性について多面的, 複眼的な理解ができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 毎回レジュメや資料プリントを用意し, それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際, 受講者からの質疑 や希望者による研究発表等を取り入れていく。また, 視聴覚教材を活用したり, 史資料にも多く触れたりすることで, 歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法, 卒業論文等の作成方法についても解説する。
- ◆**履修条件** 令和元年度履修スクーリング (後期)『東洋史特講Ⅱ』(堀井弘一郎担当)とは積み重ね不可。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス&満州事変と開拓移民 事前学修: 満州事変とはどのような「事変」だったのか, その経緯をおさえておこう。 事後学修: 満州事変の経緯や背景, 開拓移民の歴史, 戦後の事態などをまとめよう。
2 回	授業内容: 満州国協和会と陸軍宣撫班 事前学修: 日本は満州国をどのような国にしていこうとしたのか, 調べてみよう。 事後学修: 協和会結成の意味, 軍の宣撫班活動の目的などを整理しておこう。
3 回	授業内容: 東亜聯盟とアジア主義 事前学修: アジア主義とはどのような「主義」なのか, 調べておこう。 事後学修: 東亜聯盟の理念と実態, アジア主義との関係などについて整理しておこう。
4 回	授業内容: 汪兆銘政権下の中国民衆 事前学修: 汪兆銘 (汪精衛) とは誰なのか, 何をした人物なのか, 調べておこう。 事後学修: 汪政権の理念と実態, 汪政権下の民衆動員システムなどをまとめておこう。
5 回	授業内容: 蒋介石, 毛沢東統治下の中国民衆 事前学修: 日中戦争について, その経緯をおさえておこう。 事後学修: 国民党, 共産党両陣営の下にある民衆の動態について整理しておこう。
6 回	授業内容: 植民地台湾・朝鮮の民衆 事前学修: 台湾や朝鮮が日本の植民地となった経緯について調べておこう。 事後学修: 日本が両地域の民衆をどのように統治, 動員したのか, まとめてみよう。
7 回	授業内容: 戦時性暴力と従軍慰安婦 事前学修: 従軍慰安婦とは誰が, どのような経緯でそうされたのか調べておこう。 事後学修: 慰安婦の歴史的経緯や背景, 戦時性暴力問題についてまとめておこう。
8 回	授業内容: 戦場の日本兵たち 事前学修: 日中戦争・アジア太平洋戦争の経緯について復習しておこう。 事後学修: 徴兵, 内務班生活, 戦病死, 特攻, 玉碎など兵たちの語状況を整理してみよう。
9 回	授業内容: 銃後の日本の民衆 事前学修: 銃後の民衆の生活, 軍事教練, 慰問袋, 千人針などのことを調べておこう。 事後学修: 戦時下の民衆生活の様子やメディアの役割を整理しておこう。
10 回	授業内容: 捕虜となった日本兵たち 事前学修: 捕虜となった日本兵の人数や地域, 処遇などについて調べてみよう。 事後学修: 捕虜処遇に関する国際法規, 捕虜となった日本兵の境遇, 日本の捕虜などをまとめてみよう。
11 回	授業内容: 戦前・戦後の沖縄の民衆 事前学修: 沖縄の民衆が戦前・戦後, どのような体験をしてきたのか調べてみよう。 事後学修: 沖縄の民衆が迎った歴史と現代の諸問題とを関連させて整理しておこう。
12 回	授業内容: 「引き揚げ」る民衆, 「復員」する兵士たち 事前学修: 「引き揚げ」「復員」とは何なのか, その意味や経緯を調べておこう。 事後学修: 戦後の在外日本人がおかれた境遇をまとめておこう。
13 回	授業内容: 「留用」された日本人 事前学修: 「留用」とは何なのか, その意味や経緯を調べておこう。 事後学修: 「留用」の経緯や背景, 影響などについて整理しておこう。
14 回	授業内容: シベリアに抑留された人びと 事前学修: シベリア抑留とはどのような事態であったのか, その経緯を調べておこう。 事後学修: シベリア抑留の歴史や背景, その後の補償問題の経緯などをまとめよう。
15 回	授業内容: 後期のまとめ 事前学修: ノートや配布したレジュメ・資料などを使って授業内容を総まとめしておこう。 事後学修: この期間中に学んだことを整理, 理解し, 今後の学習につなげよう。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 〔丸沼〕『シリーズ日本近現代史⑥ 満州事変から日中戦争へ』加藤陽子 岩波新書 2007 年  
〔丸沼〕『シリーズ日本近現代史⑥ アジア・太平洋戦争』吉田裕 岩波新書 2007 年  
〔丸沼〕『日本軍兵士—アジア・太平洋戦争の現実』吉田裕 中公新書 2017 年  
〔丸沼〕『「大日本帝国」崩壊—東アジアの 1945 年—』加藤聖文 中公新書 2009 年
- ◆**成績評価基準** 試験 80%, 授業への参画度 20%。毎回出席することを前提として評価します。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

# 講座内容（シラバス）

〔哲学〕

江川 晃

◆**授業概要** この授業の内容は、論理的思考について考え、さらに、それを具体的に養うことである。論理的思考については、哲学において、論理学という分野で探究されてきた。論理学は、古代ギリシャのアリストテレスに始まる伝統的論理学と、19世紀のフーレーの論理学革命に基づく記号論理に大別される。この授業では、両者の論理学の基礎を理解し、具体的な練習問題を通じて演習を行う。

◆**学修到達目標** 自分の考えを、飛躍の少ない、理解しやすい表現にするには、論理力が必要である。論理力とは、考えをしっかりと伝える力であり、伝えられたものをしっかりと受け取るである。したがって、力論理力がつけば、深い思考力、すばやい判断力、鋭い分析力、明解な読解力が養われ、議論に積極的に参加できる自信がつく。現代に必要とされるコミュニケーション能力である「論理力」を付けることが、この授業の目標である。

◆**授業方法** 講義と演習を交互に行います。

◆**履修条件**

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容: 論理力(学)とは何か 事前学修: シラバスをよく読んでください。 事後学修: 配布プリント1の復習。
2回	授業内容: エレア学派のパラドックス 事前学修: 配布プリント2の予習。 事後学修: 配布プリントの復習。(うそつきのパラドックス)
3回	授業内容: アリストテレスの論理学(対当推理と変形推理) 事前学修: 配布プリント3の予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
4回	授業内容: 直接推理(1) 対当推理 事前学修: 配布プリント4の予習。(対当推理) 事後学修: 配布プリントの復習。
5回	授業内容: 演習1 事前学修: 配布プリント(演習1)の予習。 事後学修: 配布プリント(演習1)の復習。
6回	授業内容: (2)変形推理 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
7回	授業内容: 演習2 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
8回	授業内容: 間接推理 定言三段論法の構造 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
9回	授業内容: ヴェン図による妥当性の判定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
10回	授業内容: 演習3 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
11回	授業内容: ド・モルガンの法則「かつ」と「または」の否定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
12回	授業内容: ド・モルガンの法則「すべて」と「存在する」の否定 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
13回	授業内容: 条件法(PならばQ) 逆・裏・対偶 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
14回	授業内容: 条件法による推理(連鎖式) 事前学修: 配布プリントの予習。 事後学修: 配布プリントの復習。
15回	授業内容: 試験 事前学修: 今までの総復習。 事後学修: 反省。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリント配布します。

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験(90%)、授業参画度(10%)

◆**授業相談(連絡先):**

注意



# 講座内容（シラバス）

## 〔歴史学〕

堀井 弘一郎

- ◆**授業概要** 幕末から今日に到るまで近代日本は隣国中国と時に厳しく対峙し、時に友好を深めつつ、複雑な二国間関係を形成してきた。本講座ではそうした歴史的過程と、同時代を生きた日中両国民の足跡をたどりながら、世界史、東アジア史の中に日中関係史を位置づけて考察する。歴史を先入観でとらえるのではなく、史資料の収集と読解によって確かな史実にもとづく歴史像を自ら描くことができることを心がける（後期は満洲事変～現代の時期）
- ◆**学修到達目標** 「歴史とは現代と過去との対話である」（E・H・カー）。戦後 75 年を迎えた今日だが、日中関係は必ずしも良好な関係とはいえない状態が続いている。そんな今日にあって、日本・中国の近現代史や日中関係に関する書物・新聞記事・ニュースを読み解き、自らの歴史像と確かな歴史的教養をもって現代の日中関係を考え語れるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 毎回レジュメや資料プリントを用意し、それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際、受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また、視聴覚教材を活用したり、史資料にも多く触れたりすることで、歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法、卒業論文等の作成方法についても解説する。
- ◆**履修条件** 令和元年度昼間スクーリング（後期）『歴史学』（堀井弘一郎担当）とは積み重ね不可。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス&満洲事変から日中戦争へ 事前学修：満洲事変から日中戦争、終戦までの歴史について概略を調べておこう。 事後学修：この間の日中関係史について、世界的視野の中で整理しておこう。
2 回	授業内容：汪兆銘「対日協力政権」と日本 事前学修：汪兆銘とは誰なのか、日中戦争とどう関わったのか、まとめておこう。 事後学修：汪兆銘の人物と、その対日協力政権の歴史・背景について理解しよう。
3 回	授業内容：アジア太平洋戦争と中国 事前学修：アジア太平洋戦争の経緯について調べ、ノートにまとめてみよう。 事後学修：アジア太平洋戦争と中国はどう関わったのか、理解を深めよう。
4 回	授業内容：戦争・メディア・プロバガンダ 事前学修：太平洋戦争の中でどのようなプロバガンダが行われたか、調べておこう。 事後学修：戦争とメディア・プロバガンダとの関係についてまとめてみよう。
5 回	授業内容：終戦前後の東アジア 事前学修：アジア太平洋戦争の終戦前後の日本中国朝鮮の様子を調べておこう。 事後学修：終戦前後の東アジア情勢についてまとめ、現代との繋がりを理解しよう。
6 回	授業内容：国共内戦から中華人民共和国成立へ 事前学修：戦後、中国政治にはどのような事態が進行していたのかを確認しておこう。 事後学修：中華人民共和国成立の経緯や世界的影響について整理しておこう。
7 回	授業内容：農業の集団化から「大躍進」の失敗へ 事前学修：農業の集団化や「大躍進」とは何か、調べておこう。 事後学修：1950年代の中国はどのような困難に直面したかを理解しよう。
8 回	授業内容：文化大革命と日本 事前学修：文化大革命とはどのような事態であったのか、調べてみよう。 事後学修：文革の経緯、中国社会への影響、その後の政策転換についてまとめよう。
9 回	授業内容：中国の国連代表権獲得と日本 事前学修：国連代表権問題とは何か、その概略を理解しておこう。 事後学修：代表権問題をめぐる経緯や意味について整理しておこう。
10 回	授業内容：日中国交回復 事前学修：日中国交回復とはどのような意味なのか、経緯も含めてまとめておこう。 事後学修：国交回復の経緯と結果、その歴史的背景などについて整理してみよう。
11 回	授業内容：改革開放政策と日本 事前学修：改革開放政策とは何のことか、誰が主導したのか、調べておこう。 事後学修：改革開放政策の背景や影響、現代との繋がりについてまとめておこう。
12 回	授業内容：香港の盛衰と「一国二制度」 事前学修：香港とは何なのか、中国とどのような関係にあるのか、調べてみよう。 事後学修：香港と中国をめぐる情勢について、理解を深めておこう。
13 回	授業内容：台頭する現代中国の政治と経済 事前学修：現代中国はどのような国内的問題をかかえているか調べておこう。 事後学修：現代中国をめぐる国内外の諸問題を整理しておこう。
14 回	授業内容：領土問題・歴史認識・戦後補償 事前学修：領土問題・歴史認識・戦後補償の各問題の概略を把握しておこう。 事後学修：各問題の基本事項について整理し、解決の方途を考えてみよう。
15 回	授業内容：まとめ 事前学修：ノートや配布したレジュメ・資料などを使って授業内容を総まとめておこう。 事後学修：後期期間中に学んだことを整理、理解し、今後の学習につなげよう。

### ◆教科書

- ◆**参考書** 〔丸〕『シリーズ中国近現代史④ 社会主義への挑戦 1945 - 1971』久保亨 岩波新書 2011年
- 〔丸〕『シリーズ中国近現代史⑤ 開発主義の時代へ 1972 - 2014』高原明生・前田宏子 岩波新書 2014年
- 〔丸〕『日中関係―戦後から新時代へ―』毛利和子 岩波新書 2006年
- 〔丸〕『〈満洲〉の歴史』小林英夫 講談社現代新書 2008年

◆**成績評価基準** 試験 80%、授業への参画度 20%。毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔国語学概論〕

保科 恵

- ◆**授業概要** ひと口に「国語学」と言っても、様々な対象・方法があります。国語学がどのような学問なのかをひと通り見渡すことによって、国語学に対する知識を身につけることを目標とします。
- ◆**学修到達目標** 国語（日本語）とはどのような言語であるのか。歴史的にどのような変遷をたどり、どのように用いられているのか。普段国語（日本語）を使用していても意識することの少ない様々な事象を知ること、その特質を理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義を中心として授業を進めますが、適宜指名してテキストを読んでもらったり、各項目についての小テストを行ったりします。受講者数や各自の興味の持ち方によって変更する適宜場合があります。

◆**履修条件**

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：ガイダンス（国語学概論の概要） 事前学修：特になし。 事後学修：授業内容の復習。
2回	授業内容：ガイダンス（国語の諸現象） 事前学修：特になし。 事後学修：授業内容の復習。
3回	授業内容：文法（文法と文法論） 事前学修：特になし。 事後学修：当日の授業範囲における文法についての復習。
4回	授業内容：文法（文・文節・単語） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文法についての復習。
5回	授業内容：文法（品詞） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文法についての復習。
6回	授業内容：文法（文の構成と種類・文法史） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文法についての復習。
7回	授業内容：文法（敬語法） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文法についての復習。
8回	授業内容：語彙（語彙・語彙量 / 語形） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における語彙についての復習。
9回	授業内容：語彙（語義 / 外来語） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における語彙についての復習。
10回	授業内容：語彙（位相・語彙史・辞書） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における語彙についての復習。
11回	授業内容：文体（文体と文体論） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文体についての復習。
12回	授業内容：文体（文体の種類と文文体史） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文体についての復習。
13回	授業内容：言語生活 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における言語生活についての復習。
14回	授業内容：方言・系統 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における方言・系統についての復習。
15回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：前期授業範囲の復習。 事後学修：授業内容の復習。

◆**教科書** 丸沼 福島邦道『国語学要論』（笠間書院）

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験 80%。平常点 20%。

◆**授業相談（連絡先）**：出講日に講師室または教室で行なう。

注意

水⑤

# 講座内容 (シラバス)

## 〔東洋史概説 / 東洋史概論〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 西欧の衝撃による中華帝国の解体から 20 世紀の革命と戦争の時代を経て超大国中国が台頭する歴史を明らかにする。
- ◆**学修到達目標** 近現代中国の歴史と社会を概観しながら中華帝国の解体と再生を理解しながら中国とは何かを考える。
- ◆**授業方法** 近現代中国の歴史と社会を概観した資料を配布し、要点を明示しながら講義を行う。事前学修では参考書「中国の歴史」の予習を行い、事後学修では配布資料で復習を行う。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容：近現代中国を考える視点 事前学修：参考書「中国の歴史」の 1～185 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
2 回	授業内容：アヘン戦争 事前学修：「中国の歴史」の 186～205 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
3 回	授業内容：太平天国運動 事前学修：「中国の歴史」の 186～205 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
4 回	授業内容：洋務運動と変法運動 事前学修：「中国の歴史」の 186～205 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
5 回	授業内容：辛亥革命 事前学修：「中国の歴史」の 206～221 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
6 回	授業内容：五・四運動 事前学修：「中国の歴史」の 222～236 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
7 回	授業内容：中国国民革命 事前学修：「中国の歴史」の 222～236 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
8 回	授業内容：満洲事変 事前学修：「中国の歴史」の 237～254 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
9 回	授業内容：日中全面戦争 事前学修：「中国の歴史」の 237～257 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
10 回	授業内容：「毛沢東とその時代 (前)」(映像視聴) 及び講義 事前学修：毛沢東について調べておくこと。 事後学修：映像内容を確認しておくこと。
11 回	授業内容：「毛沢東とその時代 (後)」(映像視聴) 及び講義 事前学修：毛沢東について調べておくこと。 事後学修：映像内容を確認しておくこと。
12 回	授業内容：中華人民共和国の誕生 事前学修：「中国の歴史」の 255～271 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
13 回	授業内容：文化大革命の悲劇 事前学修：「中国の歴史」の 255～271 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
14 回	授業内容：改革開放の時代 事前学修：「中国の歴史」の 272～292 頁までを読んでおくこと。 事後学修：配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：中国近現代史研究の要点をよく確認しておくこと。 事後学修：本授業を踏まえて現代中国のあり方を考えること。

- ◆**教科書** **【当日資料配布】** 授業時間中に適宜、資料を配布します。
- ◆**参考書** **【教材】**「東洋史概説」通信教育部 (新) 教材＝「中国の歴史」岸本美緒 ちくま学芸文庫
- ◆**成績評価基準** 試験 (70%)、レポート (30%)。
- ◆**授業相談 (連絡先)**：takatsuna.hirofumi@nihon-u.ac.jp (連絡する際には学科・学生番号・氏名を明記)

### 注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔文学〕

尾形 大

◆**授業概要** 「文学」とは、けっして作家個人によってのみ作られるものではありません。そこには実に多様な文化的・社会的・歴史的な背景がともないます。本授業は、戦争の時代に足を踏み入れていく1925年から45年頃の文学を取り上げ、それぞれが内包する諸要素を整理・分析することを通して、同時代状況と文学の交錯の実態について考察していきます。

◆**学修到達目標** 1. 文学を専門的に読むために必要な知識について学び、説明することができる。  
2. 1925年から45年頃の文学動向の中で各テキストの位置付けを説明できるようになる。

◆**授業方法** 基本的に講義形式で行いますが、定期的に小レポートを課して授業内容の理解度を測り、同時に各人の考えを言葉に表してもらいます。受講生は指定されたテキストを通読した上で問題意識を持って授業に臨んでください。毎時リアクションペーパーを記入してもらい、次の時間に回答することで双方向的な授業を作っていきたいと思えます。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：ガイダンス／1920～40年代の社会状況と同時代の文学状況について 事前学修：教科書 63～75ページを読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
2回	授業内容：井伏鱒二「鯉」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「鯉」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
3回	授業内容：井伏鱒二「鯉」②—「改稿」をめぐる問題 事前学修：「鯉」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
4回	授業内容：佐多稲子「キャラメル工場から」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「キャラメル工場から」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
5回	授業内容：佐多稲子「キャラメル工場から」②—プロレタリア文学と女性作家 事前学修：「キャラメル工場から」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
6回	授業内容：横光利一「機械」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「機械」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
7回	授業内容：横光利一「機械」②—「心理」を描く方法 事前学修：「機械」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
8回	授業内容：前半の振り返りと小レポートの作成 事前学修：教科書 76～103ページを読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
9回	授業内容：北條民雄「いのちの初夜」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「いのちの初夜」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
10回	授業内容：北條民雄「いのちの初夜」②—文学の「素人」性 事前学修：「いのちの初夜」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
11回	授業内容：岡本かの子「家霊」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「家霊」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
12回	授業内容：岡本かの子「家霊」②—戦争と「いのち」 事前学修：「家霊」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
13回	授業内容：太宰治「待つ」①—作者に関する解説および本文の精読 事前学修：「待つ」を読んでおく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
14回	授業内容：太宰治「待つ」②—女性独白体と「戦争」 事前学修：「待つ」に関して自分の考えをノートにまとめておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられたテキストを実際に読む。
15回	授業内容：試験 事前学修：これまでの授業内容をノートにまとめ、全体を見直しておく。また、教科書 104～129ページを読んでおく。試験では授業で扱った以外の1920～40年代に発表された文学をひとつ選び分析を行ってもらうので、事前に候補を考えてメモをとりながら読んでおくこと。 事後学修：これまでの授業内容を確認した上で、自身が選んだテキストの特徴について同時代状況と重ね合わせながらもう一度読み直しておく。

◆**教科書** 国文学講義Ⅵ+ M31000 (『現代日本文学史』)  
丸沼『日本近代短編小説選 昭和編1』岩波書店 2012年  
当日資料配布 必要に応じて当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『原色 新日本文学史 [増補版]』文英堂 2016年

◆**成績評価基準** 授業への参画度+毎時のリアクションペーパー+小レポート (50%) および試験 (50%)

◆**授業相談 (連絡先)** : ogata.dai@nihon-u.ac.jp

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔社会学A〕

服部 慶巨

- ◆**授業概要** 前期の講義内容を応用し、日本における人間関係の特徴について解説する。日本人特有の社会観の現実や基礎的部分を、できるだけ具体例を挙げて説明する。なお、前期同様に担当者が中学・高校の教員として接してきた生徒たちの学校生活や進路選択、および担当者自身の人生経験をふまえた上で、受講者自身がその人生や人間関係を理論的に分析できるよう講義を進めてゆく。展開は、後期から履修開始する学生にも配慮される。
- ◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、社会(科)学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。
- ◆**授業方法** 教科書・プリント・板書(パワーポイント)などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料(CD、DVD、マンガ、その他)を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が求められる。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は、各2時間を目安とする。
- ◆**履修条件** 同時期(後期)開講の「社会学B」との積み重ね履修不可。
- ◆**授業計画** (各90分)

1回	授業内容：後期ガイダンス(講義の方針、展開方法、目標などを確認する) 事前学修：シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。 事後学修：キストを入手し、「もくじ」に目を通しておく。
2回	授業内容：「社会」とは何か？(前期の振り返り) 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
3回	授業内容：場の理論 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
4回	授業内容：農耕民族と狩猟民族 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
5回	授業内容：タテ社会① 序列 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、自身の「今まで」を振り返っておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
6回	授業内容：タテ社会② 資格性 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
7回	授業内容：タテ社会③ we と they 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
8回	授業内容：日本(人)的社会観① 人間主義 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
9回	授業内容：日本(人)的社会観② 縁(えにし) 事前学修：日常生活において「気にしていること」「気になること」を説明できるようにしておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
10回	授業内容：日本(人)的社会観③ 日本人と異人 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
11回	授業内容：日本(人)的社会観④ 外国人とガイジン 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
12回	授業内容：日本(人)的社会観⑤ 相互依存理論 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
13回	授業内容：日本(人)的社会観⑥ 浪花節的人間関係 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。その際、日本で生活してく上で「人間関係」の何を重視すべきか考えてみる。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
14回	授業内容：理解度確認(まとめ) 事前学修：これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。 事後学修：試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：これまでの講義内容について、テキストやノート、資料を読んで、自身でまとめておく。 事後学修：今後の受講、または日常生活改善に向けて、講義内容を再確認する。

- ◆**教科書** 〔汎用〕『人間生活の理論と構造』夏川康男(ほか) 学文社  
〔汎用〕『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社  
(他の講座でこの本を入手済みの人は、それを使います。なお、再販時期が未定のため、未入手の人には後日指示します)
- ◆**参考書** 〔当日資料配布〕必要に応じてプリント配布
- ◆**成績評価基準** 終講試験(70%)、授業参加度(20%)、レポート類(10%)で評価する。なお、全講義回数の3分の2以上の出席が原則(公欠などは申し出ること)。
- ◆**授業相談(連絡先)**：講義の前後、および hattori.yoshinobu11@nihon-u.ac.jp にて

## 注意

# 講座内容（シラバス）

〔英語〕

鈴木 ふさ子

- ◆**授業概要** TOEIC スコア 550 点相応の英語力を目指すクラスです。TOEIC の教材を用いて、基本的な文法の復習、場面に応じたボキャブラリーや表現を紹介し、リスニングの練習、英語の文章を読み、内容を短時間で把握する練習をします。TOEIC の形式や出題傾向を紹介し、授業で学んだことを実践で生かせるように応用問題も行う。
- ◆**学修到達目標** TOEIC スコア 550 点を目標に、TOEIC に出やすい基本的な文法事項、場面に応じたボキャブラリーや表現を覚え、リスニングの概要、英語の文章を短時間で把握することができるようになる。TOEIC の形式や出題傾向、コツを身につけることができる。応用問題を解いて、実際の試験に対応できるようになる。
- ◆**授業方法** テキストを用いて授業を進行するので、必ず授業開始時までテキストを揃えておくこと。オンデマンド型の授業なので、動画で各 Chapter の説明をした後に復習のテスト付き課題を受けてもらいます。その翌週はリスニングやリーディングの問題をテスト付き課題で受けてもらい、解説を動画で行います。最終週には全体の復習の試験を行います。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法、TOEIC テストの説明など） 事前学修：TOEIC とはどのようなテストなのか調べておく 事後学修：TOEIC がどのようなテストなのか確認し、それぞれの Part の特徴などをつかむ。
2 回	授業内容：Chapter 1 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 1 のボキャブラリーを確認しておく。空港に関する単語を調べておく。 事後学修：空港に関するボキャブラリーを覚え、文型の復習をする。
3 回	授業内容：Chapter 1 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
4 回	授業内容：Chapter 2 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題（復習） 事前学修：Chapter 2 のボキャブラリーを確認し、ホテルに関する単語も調べておく。 事後学修：ホテルに関するボキャブラリーを覚え、修飾語の復習をする。
5 回	授業内容：Chapter 2 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
6 回	授業内容：Chapter 3 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 3 のボキャブラリーを確認し、通りに関する単語も調べておく。 事後学修：通りに関するボキャブラリーを覚え、接続詞の復習をする。
7 回	授業内容：Chapter 3 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
8 回	授業内容：Chapter 4 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 4 のボキャブラリーを確認し、レストランに関する単語も調べておく。 事後学修：食べ物に関するボキャブラリーを覚え、知覚動詞・使役動詞の復習をする。
9 回	授業内容：Chapter 4 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
10 回	授業内容：Chapter 5 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 5 のボキャブラリーを確認し、ショッピングに関する単語も調べておく。 事後学修：ショッピングに関するボキャブラリーを覚え、助動詞の復習をする。
11 回	授業内容：Chapter 5 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
12 回	授業内容：Chapter 6 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 6 のボキャブラリーを確認し、銀行に関する単語も調べておく。 事後学修：銀行に関するボキャブラリーを覚え、助動詞の復習をする。
13 回	授業内容：Chapter 6 のテスト付き課題の解説・テスト付き課題 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。
14 回	授業内容：Chapter 7 の解説（ボキャブラリー・文法・Warming Up）・テスト付き課題 事前学修：Chapter 7 のボキャブラリーを確認し、旅行に関する単語も調べておく。 事後学修：旅行に関するボキャブラリーを覚え、時制の復習をする。
15 回	授業内容：Chapter 7 のテスト付き課題の解説・最終試験 事前学修：テスト付き課題で間違ったところ、わからなかった点を自分なりに把握し、復習をする。前期の授業全体を復習する。 事後学修：解説を聞いて、できなかった理由を再点検し、同じ問題を解いて復習をする。最終試験を受けて全体を振り返る。

- ◆**教科書** 『Kick off for the TOEIC Test』 Noboru Matsuoka, 金星堂
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** テスト付き課題（50%）、最終試験（50%）
- ◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom のストリームでご質問下さい。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔TOEIC (中級)〕

町田 純子

- ◆**授業概要** TOEIC L&R の出題傾向の傾向を探り、慣れることで、戦略的に又実践的に、リーディングとリスニングの英語運用能力 (Communicative Competence) を習得するようにします。TOEIC 企業内研修講座実績や、アメリカの大学での ESL や TOEFL 講座の教育経験をもとに検定試験対策をより実践的に取り組めるよう授業に反映します。
- ◆**学修到達目標** TOEIC L&R 公開テストで大学生の平均点 568 点以上をクリアすることを目標とします。その為の基礎文法、速読速聴力、読解力、語彙力強化を図ります。又、音声の基礎知識を整理し、特有の話言葉に慣れます。頻出会話表現等を身につけることで、日常生活やビジネス現場で必要とされる基礎的な英語力をもブラッシュアップできます。
- ◆**授業方法** 前期後期の連続受験が望ましいです。リスニング (Part 1～Part 4) 及びリーディング (Part 5～Part 7) の練習問題形式のテキストに沿い、ペアやグループでタスクベースで進みます。毎回単語力確認テストを行います。シャドウイング練習や語彙テスト対策等を含む授業の事前学修、事後学修は各 2 時間を目安としています。質問等は授業前後又は、リアクションペーパーに記入してください。次の授業で回答します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	<b>授業内容:</b> 授業の進め方、評価方法、TOEIC 概要説明をする。 <b>事前学修:</b> シラバス内容を確認の上授業に臨み、授業計画を確認する。TOEIC L & R の概要について Web サイトで調べてみる。 <b>事後学修:</b> ガイダンスのおさらいをする。12 回実施予定の英単語確認テストの準備として、初回講義前にテキストを購入してテキストに備える。
2 回	<b>授業内容:</b> Unit 1 GOING OVERSEAS Sentence Patterns (文型) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> Unit 1 の問題を解いてくる。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 語彙テスト Level 1 の準備をする。
3 回	<b>授業内容:</b> Unit 2 GOING SHOPPING Interrogative Words (疑問詞の種類) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 1 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
4 回	<b>授業内容:</b> Unit 3 FOOD AND HEALTH Adjectives and Adverbs (形容詞と副詞) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 2 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
5 回	<b>授業内容:</b> Unit 4 SPORTS AND GAMES Tricky Prepositions (まちがいがやすい前置詞) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 2 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
6 回	<b>授業内容:</b> Unit 5 DIRECTIONS AND TRANSPORTATION Auxiliary Verbs (助動詞) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 3 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
7 回	<b>授業内容:</b> Review Test 1 (Units 1 - 5) を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 3 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
8 回	<b>授業内容:</b> Unit 6 SALES CAMPAIGN Causative Verbs and Verbs of Perception (使役動詞と知覚動詞) を理解し、対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 4 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
9 回	<b>授業内容:</b> Unit 7 EMPLOYMENT Relative Clauses (関係詞) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 4 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
10 回	<b>授業内容:</b> Unit 8 COMMUNICATIONS Tenses (時制) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 5 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
11 回	<b>授業内容:</b> Unit 9 ECOLOGY Conditional Sentences (条件文/仮定法) を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 5 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
12 回	<b>授業内容:</b> Unit 10 TROUBLESHOOTING Verb+ ~ ing, Verb+to+Stem Verb を理解し、それに対応する問題を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 6 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
13 回	<b>授業内容:</b> Review Test 2 (Units 6-10) を解答できる。 <b>事前学修:</b> 語彙テスト Level 6 の準備をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた問題を解き直す。
14 回	<b>授業内容:</b> TOEIC テスト練習 <b>事前学修:</b> Unit 1～Unit 10 までの復習をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 間違えた箇所を確認する
15 回	<b>授業内容:</b> 前期授業内試験と解説、学習内容のまとめ <b>事前学修:</b> Unit 1～Unit 10 までの復習をする。シャドウイング練習をする。 <b>事後学修:</b> 前期授業の学習内容を確認する。

- ◆**教科書** 丸潤『TOEIC® L&R Test: On Target <Book 1>』 [Revised Edition] 大賀 リエ William J. Benfield Ann N. Gleason Terry L. Browning Shelley Hastings David Thayne 南雲堂 2017  
 [当日資料配布] 一部、当日プリント配布もあります。  
 丸潤『DataBase4500』 第5版 桐原書店 2018

◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、毎回実施の単語選択問題小テスト (40%) 及び期末試験 (60%) により総合的に評価します。
- ◆**授業相談 (連絡先):** 初回授業時に直接ご案内します。

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔行政学〕

関根 二三夫

- ◆**授業概要** 行政管理の機能及び原則、コミュニケーションの機能及び方向、リーダーシップ、稟議制、行政統制、情報公開、オンブズマン制度、行政相談、地方自治、戦前の官吏制と戦後の公務員制など、行政管理や行政統制を中心に学びます。
- ◆**学修到達目標** 行政の実施過程において、行政の目標を明確に定め、公務に従事する職員の努力を通して、当該目標を统一的に実現するためには如何なることが必要なのか、また行政の実施過程において、行政全体を外から、そして内部においてどのように統制したらよいかを理解できるようにします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、行政に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：行政管理の原則 事前学修：テキストの第7章第1節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容：行政管理の機能 事前学修：テキストの第7章第2節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3 回	授業内容：コミュニケーションの機能 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容：コミュニケーションの方向 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容：リーダーシップ 事前学修：テキストの第7章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容：稟議制 事前学修：テキストの第8章第3節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容：行政統制—外在的統制 事前学修：テキストの第5章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容：行政統制—内在的統制 事前学修：テキストの第11章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容：情報公開の意義及び沿革 事前学修：テキストの第10章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容：情報公開とプライバシーの保護 事前学修：テキストの第10章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容：オンブズマン制度 事前学修：テキストの第12章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容：行政相談 事前学修：テキストの第11章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容：地方自治 事前学修：テキストの第3章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容：戦前の官吏制から戦後の公務員制へ 事前学修：テキストの第5章第4節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容：講義内容の総括 事前学修：学修した内容を再度確認すること。 事後学修：テキストの記述とノートの記述とを比較し、内容を理解すること。

- ◆**教科書** 関根『行政学 L30100』通信教育教材（教材コード 000084）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては、欠席をしないように注意して下さい。
- ◆**授業相談（連絡先）**：sekine.fumio@nihon-u.ac.jp

注意



## 講座内容 (シラバス)

【スピーチコミュニケーションⅡ】 オープン受講：不可

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** Speech Communication 2 has a topic based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used with each topic. Students will perform activities using the language covered in class in groups and 1 to 1 role plays.
- ◆**学修到達目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Students will try to use English in a natural context.
- ◆**授業方法** The instructor will introduce each topic by using examples and explaining strategies for communication. Students will prepare their tasks and share information in a group setting.
- ◆**履修条件** The course is open to all students and the language and activities are set at a pre-intermediate level.
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Welcome to Speech Communication 2. 事前学修: Orientation 事後学修: Study 'Classroom Language'
2回	授業内容: Prepare a greeting and self introduction. 事前学修: Speaking activities. 事後学修: Read over class notes.
3回	授業内容: Prepare 3 examples of Conditionals. 事前学修: Topic 1 Conditionals. 事後学修: Answer questions for the matching activity.
4回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Topic 1 cont. Pair-work and Predicaments. 事後学修: Create 3 new predicaments.
5回	授業内容: Practice for the speaking activity. 事前学修: Students create class surveys with the target language. 事後学修: Read over notes for Topic 2
6回	授業内容: List 3 things you have to do today. 事前学修: Topic 2 Suggestions and Obligations 事後学修: Write down 3 jobs you would like to do.
7回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Topic 2 Interviews and Vocabulary. 事後学修: Create 2 new interview questions.
8回	授業内容: Prepare ideas for your report. 事前学修: Introduction to mid-term report. 事後学修: Research your report.
9回	授業内容: Prepare for your presentation. 事前学修: Mid-term report presentations. 事後学修: Complete the evaluation sheet.
10回	授業内容: Submit the evaluation sheet. 事前学修: Suggestions; grammar practice. 事後学修: Review the new grammar points.
11回	授業内容: Prepare for Topic 3 事前学修: Topic 3 The Future 事後学修: Make 3 new predictions.
12回	授業内容: Prepare to verbalize your answers. 事前学修: Group discussion. Review word choices. 事後学修: Practice for the speaking activity.
13回	授業内容: Review role play parts. 事前学修: Short term vs. long term. 事後学修: Read over test preparation notes.
14回	授業内容: Prepare written answers. 事前学修: Study for the speaking test and writing test. 事後学修: Study for both tests
15回	授業内容: 1st - Speaking test; 2nd Writing Test 事前学修: Test Day 事後学修: Speech Communication 2 is complete.

◆**教科書** [当日資料配布]

◆**参考書** [当日資料配布]

◆**成績評価基準** Grading will be based on active participation and in-class assignments (60%). Two tests (30%) and a midterm report (10%).

◆**授業相談 (連絡先)**: downtownalbrowns@hotmail.com

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔経済原論 / 経済学原論〕 オープン受講：不可

藤本 訓利

- ◆**授業概要** マクロ経済学の基礎理論をベースにして、IS-LMモデルやAD-AS曲線を用いて、財政金融政策の効果について考察します。
- ◆**学修到達目標** マクロ経済学の理論を学習し、いわゆる「経済を見る目」を養い、今日の経済の動きや経済政策について自分なりの考えを述べるができるようになります。
- ◆**授業方法** パワーポイントを用いて、講義レジメを配付し、テキストに沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。（テキストの第6章と第9章を中心に講義しますが、そこでの理論を理解できるようにするために、第4章と第5章の必要な箇所について、まず説明をします。）
- ◆**履修条件** この講義では、「経済学」や「経済学概論」等でマクロ経済学の基礎理論をすでに学習したことのある学生を対象に講義を進めます。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	<b>授業内容</b> ：マクロ経済学とはどのような学問か：経済学の歴史、マクロ経済学の誕生、マクロ経済学の分析手法について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの第1章を予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：専門用語をノートに整理し、理解しましょう。
2回	<b>授業内容</b> ：国民所得の決定理論(1)：消費関数・貯蓄関数について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの75～80ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：消費関数・貯蓄関数の数値列が解けるように復習しておきましょう。
3回	<b>授業内容</b> ：国民所得の決定理論(2)：有効需要の原理とその特徴について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの76～84ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：均衡国民所得の求め方を理解し、計算問題も解けるようにしておきましょう。
4回	<b>授業内容</b> ：財政政策と乗数理論：総需要管理政策、とくに政府支出乗数の効果について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの84～91ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：乗数効果の意味を理解すると同時に、簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。
5回	<b>授業内容</b> ：投資量の決定：民間企業の投資決定理論（ケインズ型投資関数）について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの80～82ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：投資の決定メカニズムとケインズ型投資関数の特徴について理解しましょう。
6回	<b>授業内容</b> ：貨幣の需給と利子率(1)：貨幣の機能と定義、マネーサプライの概念、通貨乗数など、貨幣の供給面に焦点をあて説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの99～120ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：貨幣の3大機能や通貨乗数にマネーサプライの変化について理解しましょう。
7回	<b>授業内容</b> ：貨幣の需給と利子率(2)：貨幣の保有動機や貨幣需要関数と、貨幣市場の均衡（利子率の決定）メカニズムについて説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの126～127ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や、「流動性のわな」について理解しましょう。
8回	<b>授業内容</b> ：IS-LM分析と財政金融政策(1)：IS曲線の導出とシフト、LM曲線の導出とシフトについて説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの131～137ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：IS曲線やLM曲線の定義・特徴・シフト要因について整理しておきましょう。
9回	<b>授業内容</b> ：IS-LM分析と財政金融政策(2)：利子率と国民所得の同時決定、IS-LMモデルを用いて財政政策の効果について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキストの137～142ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：拡張的財政政策の効果（とくに、「クラウディング・アウト効果」）についてIS-LMモデルで説明できるように整理しておきましょう。
10回	<b>授業内容</b> ：IS-LM分析と財政金融政策(3)：IS-LMモデルを用いて金融政策の効果について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキスト143～145ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：金融政策が無効のケースについて理解しておきましょう。
11回	<b>授業内容</b> ：物価水準の決定(1)：労働者錯覚モデルを用いて総供給曲線を導出します。総需要曲線の導出とシフトについて説明します。 <b>事前学修</b> ：テキスト207～213ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：総供給曲線の定義・特徴について理解しておきましょう。
12回	<b>授業内容</b> ：物価水準の決定(2)：物価水準と国民所得の同時決定と、古典派とケインジアン総供給曲線について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキスト214～218ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：総需要曲線と総供給曲線の交点の意味についてしっかり理解しておきましょう。
13回	<b>授業内容</b> ：物価水準の決定(3)：総需要・総供給曲線を用いて財政・金融政策の効果やビッグ効果について説明します。 <b>事前学修</b> ：テキスト218～222ページを予習しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：総需要・総供給曲線モデルでの財政・金融政策の効果と、価格が伸縮的なケース、たとえばビッグ効果についてしっかり理解しておきましょう。
14回	<b>授業内容</b> ：まとめ <b>事前学修</b> ：これまで配布したレジメを最初から復習し、理解できていない箇所を各自、確認しておきましょう。 <b>事後学修</b> ：再度、レジメ全体に目を通し、計算問題も解けるようにしておきましょう。
15回	<b>授業内容</b> ：筆記試験 <b>事前学修</b> ：レジメや練習問題を中心によく復習をしておきましょう。 <b>事後学修</b> ：

- ◆**教科書** 丸淵 中谷 巖「入門マクロ経済学」(第5版) 日本評論社
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点（練習問題等30%）と筆記試験（70%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提に評価します。練習問題を3回行う予定ですので、2回以上の提出がない場合には平常点が0点になります。
- ◆**授業相談（連絡先）**：最初の授業時にお知らせします。

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔情報概論〕

中村 典裕

- ◆**授業概要** 情報機器を用いた知的活動を行うに当たって数的データの取り扱いが極めて重用である。もともとコンピュータは「電子計算機」であり、数的データの取り扱いのために作られた機器である。本講義では表の集計を行う機能が備わった「表計算ソフト」を利用して、電子集計のさまざまな機能を学ぶ。さらに、ソフトウェアの動作手順を記述する「プログラミング手法」について、体験を通じて学習する。
- ◆**学修到達目標** 表計算ソフトとして、Microsoft Excelを用い、操作を通じて電子的にデータを取り扱う手法を習得する。最終的に次の内容を習得することを目標とする。
  1. 表の作成、データ集計、グラフ作成といったデータ処理技術を習得する。
  2. またデータの内容に応じて適切な処理を行う手法について習得する。
  3. 更にExcelのマクロ機能やプログラミングについてもその概要を学ぶ。
- ◆**授業方法** 本講義の中では、講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの歴史、構造、コンピュータセキュリティ、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。ほぼ毎回課題を課し提出する。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス・ICTと情報技術社会 事前学修：日頃から情報通信技術（ICT）に関わるテレビ報道や新聞記事などに興味や関心を持って接する態度を期待する。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
2回	授業内容：ウェブページの原理とHTMLの基礎 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
3回	授業内容：プログラミングの歴史 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
4回	授業内容：表計算ソフトとは、Excelの概要 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
5回	授業内容：Excel入門1 平均・四則演算 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
6回	授業内容：Excel入門2 グラフの活用 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
7回	授業内容：Excel入門3 書式、条件付書式 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
8回	授業内容：Excel演習1 関数入門 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
9回	授業内容：Excel演習2 if関数・表参照関数 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
10回	授業内容：Excel演習3 フィルタ/データベース 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
11回	授業内容：Excel演習4 ピボットテーブル 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
12回	授業内容：Excel演習5 グループ化・3D集計 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
13回	授業内容：Excel演習6 Excelマクロの概要 事前学修：授業Webの内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
14回	授業内容：総合演習 事前学修：前回までの授業内容を確認し、総合演習に備える。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業Webにアクセスし、授業内容を確認する。
15回	授業内容：最終課題 事前学修：前回までの授業内容を確認し、最終課題に備える。 事後学修：最終課題の結果を整理し、結果について再確認する。

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 授業時に指示する。
- ◆**成績評価基準** 平常点（20%）、平常課題（30%）、最終課題レポート（50%）。毎回出席する事を前提として評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔哲学〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本授業は、近代から現代までの西洋の哲学の歴史を通して、哲学の一般的な知識を習得することを目的とした授業である。
- ◆**学修到達目標** この授業は、代表的な近現代の西洋の哲学者の考え方を説明することができるようになること、哲学者の観点を理解し、批判的な視点を持つことができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 授業動画を視聴し、課題を提出する。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 ガイダンス (授業内容の説明の他、成績評価や出席についての説明があるので必ず聞くこと)、哲学とはどのような学問なのか、近現代までの西洋哲学の概要
	事前学修 近現代までの西洋哲学にどのようなものがあるか簡単に調べる。
	事後学修 他の人が哲学についてどのように説明しているか、関連する文献や記事を読み、哲学とはどのような学問かについて、自分なりの流れを作って説明できるようにする。
2回	授業内容 近代哲学—デカルトの考え方を中心に
	事前学修 デカルトはどのような思想を展開したか調べる。
	事後学修 参考文献 小林道夫 2006『デカルト入門』筑摩書房、富田恭彦 2019『デカルト入門講義』筑摩書房 などを読み、デカルトについて説明できるようにする。
3回	授業内容 近代哲学—経験論の考え方を中心に
	事前学修 経験論について調べる。
	事後学修 参考文献 一ノ瀬正樹 2016『英米哲学史講義』筑摩書房、富田恭彦 2017『ロック入門講義 イギリス経験論の原点』筑摩書房などを読み、経験論について説明できるようにする。
4回	授業内容 近代哲学—カントの哲学を中心に 1
	事前学修 カントについて調べる。
	事後学修 参考文献 御子柴善之 2015『自分で考える勇気—カント哲学入門』岩波書店などを読み、カントの思想の特徴を整理する。
5回	授業内容 近代哲学—カントの哲学を中心に 2
	事前学修 前回の内容を復習しておく。
	事後学修 参考文献 黒崎政男 2000『カント『純粋理性批判』入門』講談社 などを読み、カントの思想について説明できるようにする。
6回	授業内容 近代哲学—カントの哲学を中心に 3
	事前学修 カントの倫理学とはどのようなものが確認しておく。
	事後学修 カントについては、NHKの「100分 de 名著」で取り上げられた際の紹介ページも参考になります→ <a href="https://www.nhk.or.jp/meicho/famousbook/98_kant/index.html">https://www.nhk.or.jp/meicho/famousbook/98_kant/index.html</a>
7回	授業内容 近代哲学—功利主義を中心に
	事前学修 功利主義について調べる。
	事後学修 参考文献 児玉聡 2012『功利主義入門—はじめての倫理学』筑摩書房などを読み、功利主義の思想の特徴を整理する。
8回	授業内容 自分で考えてみる 1—動物の命
	事前学修 功利主義者ピーター・シンガーについて調べておく
	事後学修 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
9回	授業内容 現代哲学—分析哲学、科学哲学を中心に
	事前学修 分析哲学、科学哲学について調べる。
	事後学修 参考文献 飯田隆 2020『分析哲学 これからとこれまで』勁草書房、伊勢田哲治 2003『疑似科学と科学の哲学』名古屋大学出版会などを読み、分析哲学について整理する。
10回	授業内容 現代哲学—実存主義を中心に
	事前学修 実存主義について確認しておく。
	事後学修 参考文献 澤田直 2002『新・サルトル講義—未完の思想、実存から倫理へ』などを読み、実存主義の思想について調べる。
11回	授業内容 現代哲学—ボーヴォワールを中心に
	事前学修 ボーヴォワールの思想について確認しておく。
	事後学修 参考文献 トリル・モイ (大橋洋一他訳) 2003『ボーヴォワール—女性知識人の誕生』平凡社 (残念ながら入手困難。興味のある方は図書館で) などを読み、ボーヴォワールらの思想について調べる。
12回	授業内容 現代哲学—ロールズを中心に
	事前学修 ロールズについて調べておく。
	事後学修 参考文献 神島裕子 2018『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』中央公論社などを読んだり、授業内で提示された問題について考えてみる。
13回	授業内容 自分で考えてみる 2—人種
	事前学修 人種と聞いてなにを自分がイメージするか、それについてどのような考えをもっているかを考える。
	事後学修 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
14回	授業内容 自分で考えてみる 2—親子
	事前学修 親子関係についての自分の考え方を整理する。
	事後学修 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
15回	授業内容 まとめ
	事前学修 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12回の授業内容を復習しておく。
	事後学修 授業内容を振り返りし、それぞれの哲学者の要点を復習する。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 授業計画に記載した文献の他、授業中に紹介。  
小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
- ◆**成績評価基準** 課題の提出 (40%)、レポート試験 (60%) により総合的に評価する。毎回出席票を提出していることを前提として評価の対象とする。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 初回授業時に案内する

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔民法 I (後半)〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 民法総則の後半部分を学修する。具体的には、民法の意義、法源 (存在形式)、沿革、指導原理、私権の社会性、私権の主体、私権の客体、意思表示と法律行為、代理、無効と取消し、条件と期限、期間、時効、のうち、意思表示と法律行為から時効までを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における民法総則の位置づけ、民法総則の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所を示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス (授業計画) どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法 I、および根本の民法 I (前半) との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1回	授業内容: 法律行為と意思表示 事前学修: 民法 I (前半) 最終授業時の板書事項の再確認 (後半から履修する学生は、これをする必要なし) 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容: 意思表示、サヴィニーの意思理論、意思の不存在と意思表示の瑕疵の区別、無効と取消し、意思主義と表示主義、改正民法による変更箇所など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容: 【意思の不存在】心裡留保 第三者保護規定について 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容: 通謀虚偽表示 改正点なし 民法 94 条 2 項の類推適用 (判例理論) など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
5回	授業内容: 錯誤 無効から取消しへ 第三者保護規定について 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
6回	授業内容: 【意思表示の瑕疵】詐欺・強迫 第三者の詐欺についての変更点 第三者保護規定について 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
7回	授業内容: 法律行為と意思表示まとめ 心裡留保・通謀虚偽表示における第三者と錯誤・詐欺における第三者の保護要件の違い、詐欺と強迫における第三者保護規定の有無など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
8回	授業内容: 代理制度、私的自治の補充と拡大、顕名主義、代理の三面関係など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
9回	授業内容: 代理人の能力と権限、代理行為の効果帰属、任意代理と法定代理、復代理、自己契約と双方代理の禁止など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
10回	授業内容: 無権代理 (広義)、狭義の無権代理、本人への効果不帰属、無権代理人の責任、表見代理は有権代理ではなく無権代理、表見代理の諸類型など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
11回	授業内容: 代理権授与の表示による表見代理、代理権超越 (代理権限外) の表見代理、代理権消滅後の表見代理など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
12回	授業内容: 狭義の無権代理と表見代理の関係、相手方の保護など。法律行為の付款について、条件と期限、条件と不確定期限の区別、期間計算など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
13回	授業内容: 時効、除斥期間との区別、取得時効と消滅時効、時効制度の趣旨、民法改正の影響など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
14回	授業内容: 時効の援用と放棄、時効の効果と私的自治の調和、時効の中断と停止、取得時効と登記、占有の承継など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
15回	授業内容: 消滅時効、民法改正との関係、民法 I (後半) 全体の補遺とおさらいなど 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 民法 I (通信教育教材)
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔国文学演習〕

近藤 健史

◆**授業概要** 演習のテーマは、メディアが創った宮沢賢治である。大正期から昭和初期における新聞・雑誌・演劇・映画・ラジオ・レコードというメディアは、その機能を大いに発揮して詩人・童話作家「宮沢賢治」を創ったといえる。受講生は、賢治の生前と没後の作品とメディアとの関わりについてテーマを決め、調査・研究して口頭発表する。

◆**学習到達目標** 文学作品は、作家が創造し、読者が読む。その間にメディアが介在する。出版社が作家や作品を育てることもある。そのメカニズムについて学ぶことにより作家活動や作品の受容を知ることができる。このような基礎的知識を身につけ、作品を理解し、説明できることを目標とする。また、調査・研究・口頭発表することで、プレゼンテーションやディスカッションができるようになる。

◆**授業方法** 前半は、演習の基礎、賢治の生前の作品の在り方、没後の作品の在り方について講義する。後半は、受講生各自による研究成果の口頭発表である。発表後は、全体討論・質疑応答で理解を深める。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：授業の進め方、演習の基礎などについて。 事前学修：演習の基礎的なことを調べておくこと。 事後学修：演習の基礎的なことを確認し、理解を深める。
2回	授業内容：宮沢賢治の生涯と作品。 事前学修：賢治の生涯について、入門書などで調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深める。
3回	授業内容：賢治の作品の特徴などについて。 事前学修：賢治の文学活動や代表作について調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容を確認して、理解を深める。
4回	授業内容：生前の賢治とメディアとの関わりについて。 事前学修：教材第6章を読んでおくこと。 事後学修：事前学修と授業内容を確認して、理解を深める。
5回	授業内容：没後の賢治作品とメディアとの関わりについて。 事前学修：賢治全集の出版事情について調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容を確認して、理解を深めておくこと。
6回	授業内容：テーマ(問題点)の選定、調査や資料収集方法について。 事前学修：テーマの案と構想を練っておくこと。 事後学修：資料や先行研究論文の収集など、準備に取り掛かる。
7回	授業内容：テーマについての報告(進捗状況)と情報交換 事前学修：報告のための構想や資料など準備しておくこと。 事後学修：意見や指摘を踏まえて、発表の構成など再検討する。
8回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、レジメなど作成して準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
9回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。 事後学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。
10回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
11回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
12回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
13回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
14回	授業内容：口頭発表と全体討論 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討し、理解を深める。
15回	授業内容：口頭発表と全体討論、まとめ、レポート提出 事前学修：発表者は、準備。他は、発表者のテーマに関して調べて全体討論に備えておくこと。また、提出レポートの作成。 事後学修：まとめを踏まえ、授業内容を再確認しておく。

◆**教科書** 『メディア活用能力とコミュニケーション』柴岡信一郎編、大学図書出版、2016年

◆**参考書** 『宮沢賢治』(年表作家読本)山内修、河出書房新社、1989年  
『図説 宮澤賢治』(ちくま学芸文庫)天沢退二郎 他2名、筑摩書房、2011年

◆**成績評価基準** 発表・全体討論 60%、レポート 40%

◆**授業相談 (連絡先)**：初回授業時に案内します。

注意

## 講座内容（シラバス）

## 〔英米文学概説〕

鈴木 ふさ子

- ◆**授業概要** イギリスにおいて小説の黄金期であるヴィクトリア時代の代表的作家の生涯とその作品の概要や作品のハイライトを抜粋して読み、イギリス文学の豊かな作品世界を味わう土台を築く。またこの時代に豊かな実を結んだ児童文学、推理小説、世紀末に出てきた唯美主義など分野別にそれぞれの作品の特徴を紹介する。扱う作家は Dickens を皮切りに Brontë 姉妹、Kingsley、Carroll、Conan Doyle、Wilde など。
- ◆**学修到達目標** ヴィクトリア時代のイギリス小説にはどのような分野の作品があり、どのように発展していったのかその過程について知り、説明できるようになる事を目的とする。代表的作家の生涯と作品について知識を身につけ、説明できるようになる事を目的とする。作品の内容について考察し、文学の批評ができるようになる事を目的とする。
- ◆**授業方法** テキストとプリント、映像を用いてヴィクトリア時代の代表的な作家の生涯と作品の概要を紹介する。代表作の原文のハイライトを抜粋して読む。重要な作品は映像で作品を鑑賞する。作品についてコメントを書いてもらって提出してもらうこともある。
- ◆**履修条件** ● 2019 年度後期の同授業の単位取得者は受講不可  
● 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容 ガイダンス、オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法等の確認、後期で扱う作家や作品を紹介する。 事前学修 自分が興味のある作家と作品を考えてくる。 事後学修 後期に学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品があるのか調べる。
2 回	授業内容 前期の復習（ヴィクトリア時代までのイギリス小説を概観する） 事前学修 ヴィクトリア時代までのイギリスの小説家について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、18 世紀、19 世紀前半のイギリス小説について調べる。
3 回	授業内容 ヴィクトリア時代の小説と社会(1)ヴィクトリア時代の小説の特徴、時代背景について解説。Charles Dickens の David Copperfield について解説。映像で作品を鑑賞する。原文の抜粋を読む。 事前学修 テキストの 100.101 頁を読み、Dickens、David Copperfield について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Dickens、David Copperfield についてまとめる。
4 回	授業内容 Charles Dickens の David Copperfield を映像で鑑賞する。原文の抜粋を読む。 事前学修 David Copperfield に登場する様々な人物を把握しておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、David Copperfield の原文の抜粋を読んでみる。
5 回	授業内容 ヴィクトリア時代の小説と社会(2)ヴィクトリア時代の女性の生き方、職業について解説。Brontë 姉妹の生涯を映像等でたどる。Charlotte Brontë の Jane Eyre について解説。 事前学修 テキストの 94.95 頁を読み、Charlotte Brontë の Jane Eyre について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Brontë 姉妹の生涯と Jane Eyre についてまとめ、原文の抜粋を読んでみる。
6 回	授業内容 ヴィクトリア時代の小説と社会(3)イギリス北部の荒野と Emily Brontë の関係について解説。Wuthering Heights について解説し、原文の抜粋を読む。 事前学修 テキストの 96.97 頁を読み、Emily Brontë の Wuthering Heights について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Emily Brontë と Wuthering Heights についてまとめ、原文の抜粋を読んでみる。
7 回	授業内容 児童文学(1)イギリス児童文学の伝統と発展について解説。Charles Kingsley の The Water-Babies の解説。原文の抜粋を読む。 事前学修 イギリスの児童文学にはどのようなものがあるのか調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Charles Kingsley の The Water-Babies についてまとめ、原文の抜粋を読んでみる。
8 回	授業内容 児童文学(2)新しい児童文学、Lewis Carroll について解説。Alice's Adventure in Wonderland について解説し、原文からの抜粋を読む。 事前学修 テキストの 108.109 頁を読み、Lewis Carroll の Alice's Adventure in Wonderland について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Lewis Carroll の Alice's Adventure in Wonderland についてまとめ、原文の抜粋を読んでみる。
9 回	授業内容 児童文学(3)児童文学と挿絵について解説。Kate Greenaway、Walter Crane、Charles Ricketts の挿絵、Mother Goose、Oscar Wilde の童話 "The Happy Prince" について解説。原文からの抜粋を読む。 事前学修 イギリス児童文学と挿絵について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、Mother Goose、Oscar Wilde の童話 "The Happy Prince" を読んでみる。
10 回	授業内容 推理小説(1)推理小説の系譜、Wilkie Collins と The Moonstone について解説。Arthur Conan Doyle、Sherlock Holmes 像について解説。 事前学修 テキスト 110、111、124、125 頁を読み、Wilkie Collins と The Moonstone について、Arthur Conan Doyle の A Study in Scarlet について調べておく。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、推理小説の系譜、Wilkie Collins と The Moonstone、Arthur Conan Doyle と Sherlock Holmes 像についてまとめる。
11 回	授業内容 推理小説(2) Arthur Conan Doyle の Sherlock Holmes シリーズの短編を映像で見る。英文を読み、映像との相違を考える。 事前学修 Sherlock Holmes シリーズにはどのようなものがあるのか調べる。気になった作品を読んでみる。 事後学修 映像でとりあげた短編小説を原文で読む。
12 回	授業内容 唯美主義の小説(1)唯美主義とは何かについて解説。Oscar Wilde の生涯をたどる。 事前学修 120、121、130、131 頁を読み、唯美主義と関わりのある作家について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、唯美主義や Oscar Wilde についてまとめる。
13 回	授業内容 唯美主義の小説(2)長編小説 The Picture of Dorian Gray について解説。原文を読む。 事前学修 132、133 頁を読み、The Picture of Dorian Gray や世紀末文学について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、The Picture of Dorian Gray からの抜粋の原文を読んでみる。
14 回	授業内容 ヴィクトリア時代のクリスマスと文学 (1)ヴィクトリア時代のクリスマス、Dickens のクリスマス・ブック、Mother Goose など 後期のまとめ 事前学修 ヴィクトリア時代にはクリスマスはどのようなものだと考えられていたか。クリスマスにちなんだ文学にはどのようなものがあるのか考えてくる。 事後学修 ヴィクトリア時代のクリスマス、Dickens のクリスマス・ブックや Mother Goose などを読む。後期の総復習。
15 回	授業内容 試験とその解説を行う。 事前学修 後期に学んだこと、読んだ英文を復習する。 事後学修 試験でできなかったところを確認し、その部分を復習する。

- ◆**教科書** 関沼『たのしく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）
- ◆**参考書** 関沼『英語文学事典』（ミネルヴァ書房）  
関沼『The Oxford Literary Terms (Oxford Quick Reference)』  
※参考文献は自習用であり、授業では使用しません。
- ◆**成績評価基準** 課題（45%）、試験（55%）  
授業には毎回の課題提出を前提として評価を行います。
- ◆**授業相談（連絡先）**：基本的には授業終了時に対応します。  
事前に相談内容と話していただいた上でアポイントメントをとることが望ましい。

注意

## 講座内容 (シラバス)

### 【経済原論 / 経済学原論】 オープン受講：不可

藤本 訓利

- ◆**授業概要** マクロ経済学の基礎理論をベースにして、IS-LMモデルやAD-AS曲線を用いて、財政金融政策の効果について考察します。
- ◆**学修到達目標** マクロ経済学の理論を学習し、いわゆる「経済を見る目」を養い、今日の経済の動きや経済政策について自分なりの考えを述べるができるようになります。
- ◆**授業方法** パワーポイントを用いて、講義レジメを配付し、テキストに沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。(テキストの第6章と第9を中心に講義しますが、そこでの理論を理解できるようにするために、第4章と第5章の必要な箇所について、まず説明をします。)
- ◆**履修条件** この講義では、「経済学」や「経済学概論」等でマクロ経済学の基礎理論をすでに学習したことのある学生を対象に講義を進めます。
- ◆**授業計画 (各 90分)**

1回	<p><b>授業内容</b> マクロ経済学とはどのような学問か：経済学の歴史、マクロ経済学の誕生、マクロ経済学の分析手法について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの第1章を予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 専門用語をノートに整理し、理解しましょう。</p>
2回	<p><b>授業内容</b> 国民所得の決定理論(1)：消費関数・貯蓄関数について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの75 - 80ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 消費関数・貯蓄関数の数値例が解けるように復習しておきましょう。</p>
3回	<p><b>授業内容</b> 国民所得の決定理論(2)：有効需要の原理とその特徴について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの76 - 84ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 均衡国民所得の求め方を理解し、計算問題も解けるようにしておきましょう。</p>
4回	<p><b>授業内容</b> 財政政策と乗数理論：総需要管理政策、とくに政府支出乗数の効果について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの84 - 91ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 乗数効果の意味を理解すると同時に、簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。</p>
5回	<p><b>授業内容</b> 投資量の決定：民間企業の投資決定理論(ケインズ型投資関数)について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの80 - 82ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 投資の決定メカニズムとケインズ型投資関数の特徴について理解しましょう。</p>
6回	<p><b>授業内容</b> 貨幣の需給と利子率(1)：貨幣の機能と定義、マネーサプライの概念、通貨乗数など、貨幣の供給面に焦点をあて説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの99 - 120ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 貨幣の3大機能や通貨乗数にマネーサプライの変化について理解しましょう。</p>
7回	<p><b>授業内容</b> 貨幣の需給と利子率(2)：貨幣の保有動機や貨幣需要関数と、貨幣市場の均衡(利子率の決定)メカニズムについて説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの126 - 127ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や、「流動性のわな」について理解しましょう。</p>
8回	<p><b>授業内容</b> IS-LM分析と財政金融政策(1)：IS曲線の導出とシフト、LM曲線の導出とシフトについて説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの131 - 137ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> IS曲線やLM曲線の定義・特徴・シフト要因について整理しておきましょう。</p>
9回	<p><b>授業内容</b> IS-LM分析と財政金融政策(2)：利子率と国民所得の同時決定、IS-LMモデルを用いて財政政策の効果について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキストの137 - 142ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 拡張的財政政策の効果(とくに、クラウドディング・アウト効果)についてIS-LMモデルで説明できるように整理しておきましょう。</p>
10回	<p><b>授業内容</b> IS-LM分析と財政金融政策(3)：IS-LMモデルを用いて金融政策の効果について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキスト143 - 145ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 金融政策が無効のケースについて理解しておきましょう。</p>
11回	<p><b>授業内容</b> 物価水準の決定(1)：労働者錯覚モデルを用いて総供給曲線を導出します。総需要曲線の導出とシフトについて説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキスト207 - 213ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 総供給曲線の定義・特徴について理解しておきましょう。</p>
12回	<p><b>授業内容</b> 物価水準の決定(2)：物価水準と国民所得の同時決定と、古典派とケインジアン総供給曲線について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキスト214 - 218ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 総需要曲線と総供給曲線の交点の意味についてしっかり理解しておきましょう。</p>
13回	<p><b>授業内容</b> 物価水準の決定(3)：総需要・総供給曲線を用いて財政・金融政策の効果やピグー効果について説明します。</p> <p><b>事前学修</b> テキスト218 - 222ページを予習しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 総需要・総供給曲線モデルでの財政・金融政策の効果と、価格が伸縮的なケース、たとえばピグー効果についてしっかり理解しておきましょう。</p>
14回	<p><b>授業内容</b> まとめ</p> <p><b>事前学修</b> これまで配布したレジメを最初から復習し、理解できていない箇所を各自、確認しておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b> 再度、レジメ全体に目を通し、計算問題も解けるようにしておきましょう。</p>
15回	<p><b>授業内容</b> 筆記試験</p> <p><b>事前学修</b> レジメや練習問題を中心によく復習をしておきましょう。</p> <p><b>事後学修</b></p>

◆**教科書** 関沼 中谷 巖『入門マクロ経済学』(第5版)日本評論社

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 平常点(練習問題等30%)と筆記試験(70%)で総合的に評価します。毎回出席することを前提に評価します。練習問題を3回行う予定ですので、2回以上の提出がない場合には平常点が0点になります。

◆**授業相談(連絡先)**：最初の授業時にお知らせします。

注意



## 講座内容 (シラバス)

【情報概論】 オープン受講：不可

荒関 仁志

- ◆**授業概要** 表計算ソフト (MS エクセル) を用いて、アンケート調査などに必要な仮説検定と多変量解析 (重回帰分析) の基礎を理解する。また、仮説検定の理論的前提条件 (大数の定理、中心極限定理、分散、正規性と線形性、信頼区間など) を理解する。統計学の課題を通じて表計算ソフトの活用法を学習していきます。
- ◆**学修到達目標** 仮説検定や多変量解析 (重回帰分析) の基礎を理解し、その前提条件を正確に説明できる。また、様々なデータの適切な統計処理を提案することができる。
- ◆**授業方法** 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、表計算ソフト (MS エクセル) の必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。
- ◆**履修条件** 表計算ソフトの基本的操作 (相対参照・絶対参照、ファイル操作、グラフ作成) を行えること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。令和元年度昼間・土曜スクーリング「情報概論」の前期、もしくは後期のみの受講も可能ですが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。令和元年度夜間スクーリング (秋期)「情報概論」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画** (各 90 分)

1 回	<p><b>授業内容</b>：統計計算の基本 (平均と分散) と利用範囲を理解します。</p> <p><b>事前学修</b>：統計計算は何を目的としているかを各自調べておいてください。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき基本関数統計処理の必要性について理解すること。</p>
2 回	<p><b>授業内容</b>：表計算ソフトの基本操作と表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。</p> <p><b>事前学修</b>：表計算ソフトの基本 (相対参照・絶対参照) について確認しておくこと。また、表計算ソフトの基本関数 (平均、合計、順位等) について確認しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき基本関数の使い方について理解すること。</p>
3 回	<p><b>授業内容</b>：表計算ソフトを使った統計の基本を理解することを目指します。</p> <p><b>事前学修</b>：大数の定理と中心極限定理について調べて、その内容を確認しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき大数の定理と中心極限定理を理解すること。</p>
4 回	<p><b>授業内容</b>：統計分布について理解することを目指します。</p> <p><b>事前学修</b>：様々な統計分布について調査しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、各統計分布の意味を理解すること。</p>
5 回	<p><b>授業内容</b>：統計分布の信頼区間の考えを理解し、仮説検定の基本を習得すること。</p> <p><b>事前学修</b>：統計分布における信頼区間と棄却域の考えを調査しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、信頼区間と棄却域を理解し、仮説検定の基本的考えを習得すること。</p>
6 回	<p><b>授業内容</b>：対応のある <math>t</math> 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p><b>事前学修</b>：対応のある <math>t</math> 検定について調査し、帰無仮説の考え方を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、対応のある <math>t</math> 検定を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
7 回	<p><b>授業内容</b>：対応のない <math>t</math> 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p><b>事前学修</b>：対応のない <math>t</math> 検定について調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、対応のない <math>t</math> 検定を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
8 回	<p><b>授業内容</b>：分散分析について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p><b>事前学修</b>：分散分析について調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、分散分析を理解し、エクセルでの処理方法を習得すること。</p>
9 回	<p><b>授業内容</b>：相関係数を理解し、その処理方法を取得する。また、無相関検定についても理解する。</p> <p><b>事前学修</b>：相関係数を調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、相関係数を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。</p>
10 回	<p><b>授業内容</b>：共分散を理解し、その処理方法を取得する。また、偏相関係数についても理解する。</p> <p><b>事前学修</b>：共分散と偏相関係数を調査し、その考え方を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、共分散と偏相関係数を理解し、その処理方法を習得すること。</p>
11 回	<p><b>授業内容</b>：重回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。</p> <p><b>事前学修</b>：重回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。また、重回帰分析の背景にある最小二乗法についても調査しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、重回帰分析処理を取得する。</p>
12 回	<p><b>授業内容</b>：重回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。</p> <p><b>事前学修</b>：重回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。特に、偏相関係数との関係で、偏重回帰係数を理解しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、重回帰分析処理を取得する。</p>
13 回	<p><b>授業内容</b>：主成分分析と因子分析について理解する。</p> <p><b>事前学修</b>：主成分分析と因子分析とはどのような統計手法であるかを調査しておく。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、主成分分析と因子分析の違いを理解する。</p>
14 回	<p><b>授業内容</b>：他の多変量解析について理解する。</p> <p><b>事前学修</b>：多変量解析を調査し、どのような統計方法があるか理解する。</p> <p><b>事後学修</b>：配布資料に基づき、目的に応じた適切な多変量解析の利用範囲を理解する。</p>
15 回	<p><b>授業内容</b>：確認試験、および解説</p> <p><b>事前学修</b>：前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。</p> <p><b>事後学修</b>：授業内容を確認・理解し、表計算ソフトの活用法について再確認すること。</p>

◆**教科書** 当日資料配布

◆**参考書** 丸沼「統計学がわかる (ファーストブック)」 向後 千春、富永 敦子 技術評論社 2007 年  
 丸沼「統計学がわかる【重回帰分析・因子分析編】 (ファーストブック)」 向後 千春、富永 敦子 技術評論社 2008 年

◆**成績評価基準** 授業参加度 (30%)、平常課題 (50%)、授業内試験 (20%) により総合的に評価します。  
 ※ 演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

◆**授業相談 (連絡先)**：通信教育部 3 号館 3 階 302 研究室  
 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。  
 例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔英語基礎〕

中村 則子

- ◆**授業概要** この科目では忘れていた英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで英文の読解力を身につけていく。英語の基礎力を養うためには、演習問題を繰り返し説くことで、英文の構造を理解することが肝要である。当該科目では、英語文法の基礎的な問題を根気強く解答していく。
- ◆**学修到達目標** 英語の基礎的な文法を理解できるようにする。テキストの演習問題の中にある長文問題程度の英文であれば、読めるようにする。簡単な短文の英語であれば、ジャーナル等が書けるくらいの英語力を身につける。
- ◆**授業方法** テキストに沿って、解説を読み、演習問題を行うことで、英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容や演習問題の解答を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス（授業の進め方や参考書等を説明する） 事前学修：シラバスを読み、できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。 事後学修：シラバスで指示されたとおり、次回の授業に向けて準備する。
2 回	授業内容：Unit 7 名詞・冠詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
3 回	授業内容：Unit 7 名詞・冠詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
4 回	授業内容：Unit 8 代名詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
5 回	授業内容：Unit 8 代名詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
6 回	授業内容：Unit 9 前置詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
7 回	授業内容：Unit 9 前置詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
8 回	授業内容：Unit 10 形容詞・副詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
9 回	授業内容：Unit 10 形容詞・副詞 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
10 回	授業内容：Unit 11 比較 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
11 回	授業内容：Unit 11 比較 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
12 回	授業内容：Unit 12 命令文・感嘆文 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
13 回	授業内容：Unit 12 命令文・感嘆文 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
14 回	授業内容：復習、試験前準備 事前学修：今まで学習した部分のノートを整理し、質問事項等があればまとめておく。 事後学修：学習した部分のノートを確認暗記する。
15 回	授業内容：試験と解説 事前学修：試験範囲の演習問題等を確認し、解答できるようにする。 事後学修：試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか、確認する。

- ◆**教科書** 丸窓 English Primer (Revised Edition) 南雲堂 1900 円 (税別)
- ◆**参考書** 授業ガイダンスにて指示
- ◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。
- ◆**授業相談 (連絡先)**：出講日に講師室の外か教室にて行う。

注意

〔英語史〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。
- ◆**学修到達目標** テキストⅡ章「音韻論」・Ⅳ章「語形論」を、『学習指導書』を併用しながら、読む予定です。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。
- ◆**授業方法** 毎回、テキスト（英文）の重要部分を読み、『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容: Ⅱ章・母音交替(1) 母音交替とは? 事前学修: 母音交替とは何か、大まかに調べてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
2 回	授業内容: Ⅱ章・母音交替(2) 英語の実例 事前学修: 現在どのような語が残っているか、該当例を調べる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
3 回	授業内容: Ⅱ章・グリムの法則(1) グリムの法則とは? 事前学修: グリムの法則とは何か、大まかに調べてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
4 回	授業内容: Ⅱ章・グリムの法則(2) 英語の実例 事前学修: 現在どのような語が残っているか、該当例を調べる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
5 回	授業内容: Ⅱ章・母音変異(1) 母音変異とは? 事前学修: 母音変異とは何か、大まかに調べてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
6 回	授業内容: Ⅱ章・母音変異(2) 英語の実例 事前学修: 現在どのような語が残っているか、該当例を調べる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
7 回	授業内容: Ⅱ章・大母音推移(1) 大母音推移とは? 事前学修: 大母音推移とは何か、大まかに調べてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
8 回	授業内容: Ⅱ章・大母音推移(2) その影響 事前学修: 大母音推移が今日どのような影響を現代の英語に残しているか、ちょっと考えてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
9 回	授業内容: Ⅳ章・名詞(1) 性・数・格の変化 事前学修: 古英語、中英語、近代英語のを比較してみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
10 回	授業内容: Ⅳ章・名詞(2) 不規則複数形 事前学修: どのような語が不規則なのか、またどうして不規則なのか、ちょっと考えてみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
11 回	授業内容: Ⅳ章・代名詞(1) 人称代名詞 事前学修: 古英語、中英語、近代英語のを比較してみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
12 回	授業内容: Ⅳ章・代名詞(2) 指示代名詞と定冠詞 事前学修: 古英語、中英語、近代英語の人称代名詞を比較してみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
13 回	授業内容: Ⅳ章・動詞(1) 強変化動詞 事前学修: 古英語、中英語、近代英語の強変化動詞を比較してみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
14 回	授業内容: Ⅳ章・動詞(2) 弱変化動詞 事前学修: 古英語、中英語、近代英語の弱変化動詞を比較してみる。 事後学修: テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
15 回	授業内容: 試験とその解説 事前学修: 今までの授業の総復習をする。 事後学修: 特に試験問題で間違えたところを確認する。

- ◆**教科書** 『英語史 0441』通信教育部教材(教材コード 0001117)
- ◆**参考書** 『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤 盾著 中公新書 1971  
『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958  
他の参考書については、初回授業時に紹介  
(※自学用で、授業中に参照することはありません。)
- ◆**成績評価基準** 試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。6回以上の欠席者は受験資格を失います。(試験は途中退学なしです)
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔史学概論〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 歴史学の論文（卒論）を作成するための基礎的知識—史料論及び史料批判の方法、論文を作成するための方法と作法などについて講述する。
- ◆**学修到達目標** 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学を学んでいく上で必要不可欠な基礎的・技術的な知識を学修することを目標とする。
- ◆**授業方法** 歴史学の史料論及び技法と作法について論述し、授業中に配布した資料を解説しながら行う。後期には受講生全員に卒業論文のテーマの概要と研究計画について報告してもらう。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修：参考書『歴史学ってなんだ？』を読んでおくこと。 事後学修：『歴史学』とは何かを再確認しておくこと。
2回	授業内容：時代区分論 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
3回	授業内容：地域区分論 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
4回	授業内容：歴史学の史料論(1)—歴史学における史料とは 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
5回	授業内容：歴史学の史料論(2)—史料の分類・整理 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
6回	授業内容：歴史学の史料論(3)—史料批判入門 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
7回	授業内容：歴史学の史料論(4)—史料の外的批判 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
8回	授業内容：歴史学の史料論(5)—史料の内的批判 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
9回	授業内容：歴史学論文の技法と作法(1)—テーマの決め方 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
10回	授業内容：歴史学論文の技法と作法(2)—参考文献の作成法 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
11回	授業内容：歴史学論文の技法と作法(3)—歴史学の論文要件 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
12回	授業内容：歴史学論文の技法と作法(4)—論文構成法 事前学修：配布資料を読んでおくこと。 事後学修：配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
13回	授業内容：卒論構想報告(1) 事前学修：卒論構想のレジユメを作成。 事後学修：卒論構想案を再検討する。
14回	授業内容：卒論構想報告(2) 事前学修：卒論構想のレジユメを作成。 事後学修：卒論構想案を再検討する。
15回	授業内容：卒論構想報告(3) 事前学修：卒論構想のレジユメを作成。 事後学修：卒論構想案を再検討する。

- ◆**教科書** 当日資料配布 配布資料を使用し教科書は指定しない。
- ◆**参考書** 丸沼『歴史学ってなんだ？』小田中直樹 PHP 新書
- ◆**成績評価基準** レポート（30%）、卒論構想報告（70%）。
- ◆**授業相談（連絡先）**：takatsuna.hirofumi@nihon-u.ac.jp（連絡する際には学科・学生番号・氏名を明記）

注意

# 講座内容 (シラバス)

※令和元年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【教育の方法・技術論 B】

古賀 徹

◆**授業概要** この授業は、教員としての授業実践力を修得することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために、先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び、実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ、指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT 活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆**学修到達目標** 学修者は次の事項について理解を深め、技能・指導技術を身につけることができる。①教授法の歴史の変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し、実践するアイデアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ、学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ ICT 活用や e ラーニング等の学習形態について、その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。①から⑥の知識・技能を身につけ、授業やカリキュラムをデザインすることができる。

◆**授業方法** 講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をとり入れる。能動的学習の形式としては、単純グループワーク (バズ学習)、ジグソー法、シミュレーション学習、プロジェクト学習、完全修得学習、模擬授業と相互評価、ウェビングを予定している。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 「教育方法」とは何か? 「教える」と「学ぶ」こと。 事前学修: 教職課程における学習内容 (各科目) について意味を調べておく。 事後学修: 新学習指導要領の「ねらい」について調べ、説明文としてまとめる。
2 回	授業内容: 教育方法論の歴史 (西洋教育方法史)。 事前学修: コメニウス、ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイについて文献を読む。 事後学修: 本日の学修内容についてレポート作成 (次回提出)。
3 回	授業内容: 教育方法論の歴史 (日本の教育方法・内容論の変遷)。 事前学修: 日本特有の教育方法について、イメージすることを複数メモしておく。 事後学修: 日本と西洋の「近代化」の関係性について、短い文章でまとめる。
4 回	授業内容: 新しい「学習」概念 (ヴィゴツキーの活動理論と現在の学習)。 事前学修: 「PISA 型学力」等の新しい学力観について資料を通読しておく。 事後学修: 講義で体験的学習により学んだ内容を言語化して説明文としてまとめる。
5 回	授業内容: 授業形態を個別化に対応させる (バズ学習, T, T, 完全修得学習)。 事前学修: 個別の差 (個人) への対応という難しさについて意見をまとめておく。 事後学修: 世界各国の地域差からくる教育観の違いについて説明文を書く。
6 回	授業内容: 問題解決学習と系統学習。 事前学修: 自身の体験的な学びについて具体例をあげ、その効果について記す。 事後学修: 自身の担当科目における能動的な学習を設計する。
7 回	授業内容: 指導技術: 「はなす」ことと「きく」こと。 事前学修: 自身のキャリア教育体験について他者に説明できるようまとめておく。 事後学修: ウェビング, KJ 法等の可視化技能を高めるよう自身で練習する。
8 回	授業内容: 「はなす・きく・かく・まとめる」(言語活動・技能の習得)。 事前学修: 各科目において必須とされる技能について調べ、まとめる。 事後学修: 本を数冊読み、その内容をウェビングで記す。
9 回	授業内容: カリキュラム構成の方法 (「ねらい」のある学習をつくる)。 事前学修: 学習指導要領でカリキュラムマネジメントの箇所を読んでメモしておく。 事後学修: カリキュラム構成方法を応用して「ある学校」のプランをつくる。
10 回	授業内容: シミュレーション学習, プロジェクト学習。 事前学修: 学校数校のホームページ等をみてカリキュラム構成を確認しておく。 事後学修: 自身の科目においてどのようにプロジェクト学習が組めるか構想する。
11 回	授業内容: 一時間の学習指導案を構成する。 事前学修: 自身の科目ごとに自由に範囲を選び、授業を構想しておく。 事後学修: 指導案 (学習指導計画) を複数構想する (次回提出)。
12 回	授業内容: 学習実践のロールプレイ。 事前学修: 一冊以上の本を読み「朝読書」指導案を考案する。 事後学修: 既習のウェビング, カリキュラム, 指導案を組み合わせる授業設計を行う。
13 回	授業内容: ICT 機器を活用した新しい学習法。 事前学修: メディア授業を試験しレポートを用意する。 事後学修: 新しい時代のメディア教材や、その功罪についてレポートをまとめる。
14 回	授業内容: 教材研究・教育評価の方法。 事前学修: これまでの授業内容について、自身でまとめる (授業で使用する)。 事後学修: 逆向きの設計から「自身の科目で習得する力」を設定。
15 回	授業内容: 「主体的・対話的で深い学び」の構成方法。 事前学修: 最終講義の課題について、自身で資料を集め、まとめておく。 事後学修: 様々な授業形態により授業をデザインできるようトレーニングを継続する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 〔教材〕『教育の方法・技術論 T21700』通信教育教材 (教材コード 000341)  
学習指導要領

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加 (グループ学習含む)、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行わない。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22193999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

## 〔法学（後半）〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 法学（前半）において学んだ法学の基礎的理解を前提として、日本の基本法令である「六法」、すなわち、日本国憲法、民法、刑法、商法（会社法を含む）、民事訴訟法、刑事訴訟法について学修する。なお、「法学」の履修内容として、日本国憲法を含む、との指導があることから、日本国憲法を中心に履修する。
- ◆**学修到達目標** 法（濃）や法律（法学や法律学）の意義、沿革、機能、主要な法令の種類や内容がわかるようになる。併せて、社会生活において必然的に生起する諸問題の解決策を、法律を通して考えられるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の法学、および根本の法学・前半との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容：わが国の主要な法令の種類や内容など 事前学修：法学（前半）最終授業回の板書事項の再確認（前半を受講した学生のみ、その他の学生は不要） 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容：【国家と法】最高法規としての日本国憲法、総論 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容：統治機構、国を治める仕組み、国会（立法権）、内閣（行政権）、議院内閣制、大統領制との違いなど 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容：裁判所（司法権）、違憲立法審査権、人権保障の最後の砦、憲法保障、法の支配など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
5回	授業内容：基本的人権、総論、人権の類型論、国民の基本的義務、自由権など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
6回	授業内容：自由権、社会権など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
7回	授業内容：受益権、参政権など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
8回	授業内容：【財産と法】取引法としての民法の「財産法」部分、権利能力平等の原則など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
9回	授業内容：【財産と法】取引法としての商法、民法の特別法、商行為の特則、特別法は一般法に優先して適用される、など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
10回	授業内容：【家族と法】身分関係を規律する民法の「親族法」部分、遺産相続を規律する民法の「相続法」部分、祭祀承継など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
11回	授業内容：【犯罪と法】罪と罰の法律、刑法総論、罪刑法定主義、犯罪構成要件該当性、違法性、有責性など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
12回	授業内容：刑法各論、個人的法益に対する罪、社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
13回	授業内容：【裁判と法】実体法と手続法、裁判の種類、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政事件訴訟法、私的紛争の解決を目的とする民事訴訟法など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
14回	授業内容：実体的真実発見と被疑者・被告人の人権保障を目的とする刑事訴訟法など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
15回	授業内容：国や自治体の行政処分の違法性を審査する手続きとしての行政事件訴訟法、法学（後半）全体について補遺とおさらいなど 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 法学（通信教育教材）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。
- ◆**授業相談（連絡先）：**

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔歴史学〕

渡邊 浩史

◆**授業概要** 日本の代表的な絵画芸術である絵巻物を通して日本の歴史を学ぶ。具体的には『一遍聖絵』・『たま瀑のまへ』・『粉河寺縁起絵巻』の三つの絵巻物を題材としたい。

◆**学修到達目標** 過去の歴史を知るためのものを「史料」というが、これは基本的に文献などの文字に頼ったものであった。しかしそれだけでは歴史の復元は不十分である。そこで考古学や民俗学の成果も利用されてきた。ここではそのようにして文献以外の「史料」として注目された絵画のうち、絵巻物を取り上げることで、文献だけに頼らない新しい歴史学のあり方を理解できるようにする。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆**履修条件**◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容: はじめに なぜ絵画史料をあつかうのか 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容: 絵巻物について 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容: 『一遍聖絵』とは 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容: 『一遍聖絵』四天王寺の門前 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容: 『一遍聖絵』高野山 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容: 『一遍聖絵』熊野三山 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容: 『たま瀑のまへ』とは 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容: 『たま瀑のまへ』姐己から玉瀑の前 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容: 『たま瀑のまへ』正体を現す 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容: 『たま瀑のまへ』九尾との死闘 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容: 『たま瀑のまへ』後日談 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容: 『粉河寺縁起絵巻』とは 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容: 『粉河寺縁起絵巻』千手観音堂の建立 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容: 『粉河寺縁起絵巻』長者の娘の恋 事前学修: 授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容: まとめと試験 事前学修: これまでの授業内容をまとめておくこと 事後学修: 授業と試験の内容を自分でまとめること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 適宜授業中に資料プリントを配布する。◆**参考書**◆**成績評価基準** 平常点 20%, 試験 80%◆**授業相談** (連絡先):

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔英語 I～IV（初級）〕

中村 則子

- ◆**授業概要** 英語の初級者向けの、英文読解を中心とした科目である。今年、開催される東京オリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。この科目では易しい英文で書かれたスポーツのトピックを読解し、演習問題を解くことで楽しく英語を身につけていく。
- ◆**学修到達目標** 英語の総合学習向けのテキストを使用し、英語の4技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）を無理なく学習できるようにする。基本的な文法が抜け落ちていて感じている受講者には苦手な部分を自分で補うために、簡単な文法のドリル等を授業と並行して、自宅学習することをお奨めする。授業では、短めの英文を読んでいき、日常生活に不自由しない程度の英語力（例えば、英語の広告文が理解できる、英語で書かれた取説が理解できる、SNSの英文を理解できる、発信できる等）を身につけたい。
- ◆**授業方法** テキストに沿って、英文を読み、演習問題を行うことで、英語の4技能のうち、主に reading のスキルを習得していく。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1回	授業内容：ガイダンス（授業の進め方や参考書等を説明する） 事前学修：シラバスを読み、できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。 事後学修：ガイダンスで指示されたとおり、次回の授業に向けて準備する。
2回	授業内容：Unit 7 Helping Your Opponent 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
3回	授業内容：Unit 7 Helping Your Opponent 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
4回	授業内容：Unit 8 Ghost Goals 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
5回	授業内容：Unit 8 Ghost Goals 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
6回	授業内容：Unit 9 Rituals and Superstitions 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
7回	授業内容：Unit 9 Rituals and Superstitions 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
8回	授業内容：Unit 10 The Cutting Edge 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
9回	授業内容：Unit 10 The Cutting Edge 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
10回	授業内容：Unit 11 Match-Fixing 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
11回	授業内容：Unit 11 Match-Fixing 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
12回	授業内容：Unit 12 Heroes Inspire Heroes 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
13回	授業内容：Unit 12 Heroes Inspire Heroes 事前学修：上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修：授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
14回	授業内容：復習、試験前準備 事前学修：今まで学習した部分のノートを整理し、質問事項等があればまとめておく。 事後学修：学習した部分のノートを確認暗記する。
15回	授業内容：試験と解説 事前学修：試験範囲の演習問題等を確認し、解答できるようにする。 事後学修：試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか、確認する。

- ◆**教科書** 丸窓 Spotlight on Sports 金星堂 1900円（税別）
- ◆**参考書** 授業ガイダンスにて指示
- ◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。
- ◆**授業相談（連絡先）**：出講日に講師室の外か教室にて行う。

注意



# 講座内容 (シラバス)

## (TOEIC (初級))

八木 茂那子

- ◆**授業概要** TOEIC L&R は初級レベルから上級レベルに至るまでの英語運用能力を一度に global な基準で測ることのできる「ものさし」である。Listening Section 45 分 100 問、Reading Section 75 分 100 問の問題を休憩なしで解くのは容易なことではないように思われる。が高等学校 1 年修了レベルの文法力と中学～高等学校 2 年レベルの語力と速読のスキルがあれば初級レベルでも正答が得られる問題の数は多くある。本講座では長年培ってきた TOEIC trainer としての実務経験を授業に反映している。本講座では取って (初) 中級者向けのテキストを使用する。初級者向けのテキストでは本試験とのギャップが大きすぎるためである。初級者でも対応可能な Listening Section を中心に英語 4 技能のスキルアップを図るのに効果的な種々のトレーニング方法を体得することできる。
- ◆**学修到達目標** 講座修了後 TOEIC L&R test で 495 点突破できる基本的な英語の理解運用能力を身に付けることができる。また更に長期的な展望に立ち、4 技能 (読む・聴く・話す・書く) の skill up に効果的な種々の training 方法を身に付けることできる。
- ◆**授業方法** CD・OHC・黒板を使った対面形式の斉声授業の形態をとるが演習中心の授業を行う。テキストの全 12 Units の Unit を 2 回づつに分け(1)では Listening Section、(2)では Reading Section を Listening Section と Reading Section 交互に扱う。授業の前半では Vocabulary building を行う。次に問題の解答・解説をします。更に skill up するために self-work, pair-work, group activity を取り入れた色々な activity を行います。尚学期中に 6 回の単語テストと mini TOEIC test を予定しています。
- ◆**履修条件** 前後期を通して出席することが望ましい。(全回出席することが前提である。)各自自分のテキストを購入すること。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 ガイダンス (自己紹介、TOEIC L&R test とは? 学習目標の立て方、授業の進め方、教科書について、成績評価について 他) 現在地を知る mini-test 解答と解説 事前学修 事後学修	事前にシラバスの内容をよく読み履修が決まったならなるべく早くにテキストを入手しておくこと。 講義内容の確認と quiz の準備
2 回	授業内容 UNIT 7 (1) 機能疑問文を聞き取る (現在完了形) を聞き取ろう! (機能疑問文) を聞き取ろう! (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 7 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 授業内容の確認と quiz の準備
3 回	授業内容 UNIT 7 (2) テスト形式を知る Reading Section (Part 5~7) の問題について。Quiz 7 事前学修 事後学修	UNIT 7 (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などを参照しながら解く。) 授業内容の確認と quiz の準備
4 回	授業内容 UNIT 8 (1) 動詞の時制を見極める (受動態) を聞き取ろう! (選択疑問文) を聞き取ろう! Listening Section (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 8 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 授業内容の確認と quiz の準備
5 回	授業内容 UNIT 8 (2) Reading Section (Part 5~7) の問題について。Quiz 8 事前学修 事後学修	UNIT 8 (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などを参照しながら解く。)、quiz の準備 授業内容の確認と quiz の準備
6 回	授業内容 UNIT 9 (1) 接続詞 vs. 前置詞 (種類の名詞) を聞き取ろう! (付加疑問文) と (否定疑問文) を聞き取ろう! Listening Section (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 9 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 授業内容の確認と quiz の準備
7 回	授業内容 UNIT 9 (2) (Part 5~7) の問題について。Quiz 9 事前学修 事後学修	UNIT 9 (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、文法書や辞書などを参照しながら解く。) これまでに学修したことの見直し
8 回	授業内容 mini TOEIC と授業 (解答解説) 事前学修 事後学修	これまでに学修したことの見直しをする。 授業内容の確認と quiz の準備
9 回	授業内容 UNIT 10 (1) 複数パッセージの攻略 (行為の目的) を推測しよう! (平叙文) を聞き取ろう! Listening Section (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 10 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 授業内容の確認と quiz の準備
10 回	授業内容 UNIT 10 (2) Reading Section (Part 5~7) の問題について。Quiz 10 事前学修 事後学修	UNIT 10 Reading Section (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、文法書や辞書などを参照しながら解く。) 授業内容の確認と quiz の準備
11 回	授業内容 UNIT 11 (1) 接続副詞に強くなる (意外な正解) を聞き取ろう! (あいまいな応答) を聞き取ろう! Listening Section (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 11 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 授業内容の確認と quiz の準備
12 回	授業内容 UNIT 11 (2) Reading Section (Part 5~7) について。Quiz 11 事前学修 事後学修	UNIT 11 Reading Section (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、文法書や辞書などを参照しながら解く。) 授業内容の確認と quiz の準備
13 回	授業内容 UNIT 12 (1) NOT 型設問のコツ been と being を聞き分けよう! (質問で返す応答) を聞き取ろう! Listening Section (Part 1~4) 事前学修 事後学修	UNIT 12 に出てくる単語・熟語の意味を調べる。の Listening Section (Part 1~4) の問題を 2 回解く。(1 回目は参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、辞書などの参照可) 講義内容の確認、と quiz の準備
14 回	授業内容 UNIT 12 (2) Reading Section (Part 5~7) について。Quiz 12 事前学修 事後学修	UNIT 12 Reading Section (Part 5~7) の問題を 2 回解く。(1 回目は時間を計り、参照物をなしで、2 回目はペンの色を変え、文法書や辞書などを参照しながら解く。) これまでに学修したことの見直しと期末試験の準備
15 回	授業内容 期末試験と授業 (解答・解説) 事前学修 事後学修	これまでに学修したことの見直しをする。 これまでに学修したことの見直しをする。

- ◆**教科書** 英訳 『LEVEL-UP TRAINER FOR THE TOEIC TEST』改訂版 横川 綾子 Tony Cook  
英訳 『DataBase 3000』第 5 版桐原書店編集部編 桐原書店 2016
- ◆**参考書** 英訳 『ロイヤル英文法』綿貫陽也著 旺文社  
英訳 『公式 TOEIC L&R 問題集 Vol. 1~5』国際ビジネスコミュニケーション協会
- ◆**成績評価基準** Quiz (6 回) 30% + 平常点 (発表や課題提出などを含む授業参加度) 10% + (筆記試験) 60% + mini TOEIC test による総合評価 (クラスのレベルを考慮し、一定の基準になるよう調整を加えることがあります。)
- ◆**授業相談 (連絡先)** : なるべく授業中か授業後にお願いします。

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔民法Ⅳ（後半）〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 債権各論の後半部分、すなわち、事務管理・不当利得・不法行為について学修する。これらは、契約と同じく債権発生原因であるが、契約が合意を発生原因とする約定債権（私的自治）であるのに対して、民法典が規定する一定の要件を備えると、当事者の合意なしに発生する法定債権である。各々、当事者の合意なしに債権債務を発生させる特別の政策的な理由（趣旨）がある点に特徴がある。
- ◆**学修到達目標** 民法学における債権法の位置づけ、債権総論と債権各論の関係、債権各論の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所を示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法Ⅳ、および根本の民法Ⅳ・前半との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容	【契約各論】典型契約と非典型契約、契約自由の原則と関係、典型契約の類型論、権利移転型、貸借型、労務供給型、互譲型、その他など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
2回	授業内容	権利移転型について、贈与・売買・交換、その異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
3回	授業内容	売買契約の意義、諾成不要式、有償双務、再売買の予約と買戻しの異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
4回	授業内容	手付の意義と効力など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
5回	授業内容	売買契約の有償性と担保責任、担保責任の種類、売買以外の有償契約への準用など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
6回	授業内容	改正民法の留意点、瑕疵担保責任から契約不適合責任へ、その解説
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
7回	授業内容	改正民法の留意点、契約不適合責任と債務不履行責任との関係、その解説
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
8回	授業内容	貸借型について、使用貸借、質貸借、消費貸借、その異同など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
9回	授業内容	質貸借の意義、不動産質貸借の特則としての借地借家法、不動産質借権の対抗力、売買は質貸借を破る（物権の債権に対する優先的効力）質借権の物権化現象、存続期間と更新、定期借家・定期借地、敷金・権利金の取扱い
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
10回	授業内容	売買は質貸借を破る（物権の債権に対する優先的効力）質借権の物権化現象など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
11回	授業内容	存続期間と更新、定期借家・定期借地、敷金・権利金の取扱いなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
12回	授業内容	労務供給型、雇用、委任、請負、その異同、その他の典型契約など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
13回	授業内容	【法定債権】事務管理、不当利得、その意義と効力など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
14回	授業内容	不法行為の意義、民事責任と刑事責任、過失責任主義と無過失責任論、一般的不法行為の成立要件と効果など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
15回	授業内容	特殊的不法行為の成立要件と効果、責任無能力者の監督者の責任、使用者責任、土地工作物責任、共同不法行為、債権各論全体の補遺とおさらいなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 民法Ⅳ（通信教育教材）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点80%、授業態度や質疑応答20%。
- ◆**授業相談（連絡先）**：

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔西洋史特講Ⅰ〕

青山 由美子

- ◆**授業概要** 私たち日本人に大きな影響を与えているヨーロッパ文明のルーツは中世にある。ヨーロッパ中世史上の大きなトピックについて理解を深める。
- ◆**学修到達目標** ヨーロッパ中世後半（西暦 1000 年から 1500 年まで）の歴史について、重要なテーマに関する資料と関連映像を通して学び、各テーマのポイントを理解し、自分のコメントを書けるようになる。
- ◆**授業方法** 授業の最初にテーマについて解説し、その後に資料や映像に触れ、最後に各自コメントを書きます。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ヨーロッパ中世後半の歴史について、ポイントと特質を学びます。 事前学修：世界史の教科書や資料集を読み返してきて下さい。 事後学修：プリントやノートを読み返して、内容を再確認してください。
2 回	授業内容：イギリスのルーツとして、ノルマン征服について学びます。 事前学修：ノルマン征服について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ノルマン征服について自分のイメージをつくって下さい。
3 回	授業内容：中世ヨーロッパ封建社会のセレモニーについて学びます。 事前学修：封建制について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、授業で学んだ儀礼の意味について考えて下さい。
4 回	授業内容：騎士道文化としての馬上槍試合について学びます。 事前学修：馬上槍試合について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、騎士道について自分のイメージをつくって下さい。
5 回	授業内容：十字軍について、西ヨーロッパ側からキリスト教側から、学びます。 事前学修：十字軍について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、十字軍について考えてみて下さい。
6 回	授業内容：商業都市同盟であるハンザについて学びます。 事前学修：ハンザについて調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ハンザについて自分のイメージをつくって下さい。
7 回	授業内容：中世中頃の農村・農業について学びます。 事前学修：ヨーロッパ中世の農業革命について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、農業の変化のプロセスについて理解して下さい。
8 回	授業内容：スペインの聖地への巡礼について学びます。 事前学修：キリスト教の巡礼について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、巡礼の意味について考えて下さい。
9 回	授業内容：中世スコットランドの独立戦争について学びます。 事前学修：スコットランドの独立や自治について調べてきて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、スコットランドの独自性について自分のイメージをつくって下さい。
10 回	授業内容：英仏百年戦争とジャンヌ・ダルクについて学びます。 事前学修：ジャンヌ・ダルクについて調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ジャンヌ・ダルクについて自分のイメージをつくって下さい。
11 回	授業内容：異端信仰の弾圧（魔女狩り）について学びます。 事前学修：異端審問について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、いわゆる「魔女狩り」について自分のイメージをつくって下さい。
12 回	授業内容：ヨーロッパからのユダヤ人の追放について学びます。 事前学修：ユダヤ教やユダヤ人について調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ユダヤ人について自分のイメージをつくって下さい。
13 回	授業内容：都市民の書いた日記や遺言について学びます。 事前学修：日記や遺言の一般的な意味について考えてきて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ヨーロッパ中世の都市民の死生観などを理解して下さい。
14 回	授業内容：新しい時代ルネサンスの始まりについて学びます。 事前学修：ルネサンスについて調べて概要をつかんできて下さい。 事後学修：資料と映像を思い返して、ルネサンスについて自分のイメージをつくって下さい。
15 回	授業内容：毎回の資料と映像をふり振り返り、まとめコメントを書きます。 事前学修：今までのプリントやノートを読み返しておいて下さい。 事後学修：中世後期ヨーロッパについて、自分の時代像をつくって下さい。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日にプリントを配布します。
- ◆**参考書** 丸沼『中世ヨーロッパ入門』アンドリュー・ラングリー著 あすなる書房 2006 年
- ◆**成績評価基準** 毎回の授業の最後に書くコメントによって評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：yummyaoyama@icloud.com

注意

## 講座内容（シラバス）

## 〔英語科教育法Ⅲ〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、理論的で効果的な授業活動を協働作業（グループワーク）を通して考えてもらいます。4技能（5領域）すべてが統合された授業が理想的ではありますが、それは「1+1⇒2+1⇒3+1⇒4+1⇒…」のように積み重なっていくことで到達するものであるため、本授業では欲張らずに1つの活動に焦点をあてます。毎授業、授業担当者の実務経験に基づいたアドバイスを各グループあるいはクラス全体に行います。

◆**学修到達目標** 本授業では、以下の点を目標とします。

- ① 英語教授に関する理論を自ら学ぶことができる（個の大切さ）
- ② それどう4技能（5領域）指導に活かすかをみんなで考えることができる（輪の大切さ）
- ③ それを実践することができる

良い授業を行なうためにはどうすれば良いのか、どのようなことが求められているのか、どのような方法論が存在し、効果的であるのかなどを日々考える態度・姿勢は本授業では特に重要となります。

◆**授業方法** モデル授業案の中から1つ活動を選び、その活動がより理論的かつ効果的となるよう、協働作業を通して独自の授業活動を考案してもらいます。説明者と模擬授業者をそれぞれ1つずつ（計2名）選定し、発表してもらいます。計3回（予定）の模擬授業では、毎回扱う学年・単元・指導活動を変えて行ないます。

◆**履修条件** 英語科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅳのいずれかの単位を1つでも修得していること

◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容：ガイダンス（本授業の進め方、学習指導案作成の意義について、グループ分け） 事前学修：本授業のシラバスを熟読しておくこと 事後学修：学習指導案作成の意義について正しく理解しておくこと
2回	授業内容：授業の組み立て方について、グループ内討議（第1回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと
3回	授業内容：グループ内討議（第1回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと
4回	授業内容：グループ内討議（第1回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：発表資料を作成し、期日までに提出すること
5回	授業内容：第1回模擬授業（初日） 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと
6回	授業内容：第1回模擬授業（2日目）、グループ分け 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと
7回	授業内容：グループ内討議（第2回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと
8回	授業内容：グループ内討議（第2回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと
9回	授業内容：グループ内討議（第2回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：発表資料を作成し、期日までに提出すること
10回	授業内容：第2回模擬授業（初日） 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと
11回	授業内容：第2回模擬授業（2日目）、グループ分け 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと
12回	授業内容：グループ内討議（第3回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと
13回	授業内容：グループ内討議（第3回模擬授業準備） 事前学修：有益な案を考えたり、自らの案を支える理論を収集しておくこと 事後学修：発表資料を作成し、期日までに提出すること
14回	授業内容：第3回模擬授業（初日） 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと
15回	授業内容：第3回模擬授業（2日目） 事前学修：発表練習をしておくこと 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと

◆**教科書** 丸窓『英語授業ハンドブック 中学校編』金谷憲（編集代表）大修館書店 2009年

◆**参考書** 丸窓『SUNSHINE ENGLISH COURSE 各1-3』開隆堂 平成28年度版

※検定教科書販売店にて購入可能

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』文部科学省

※開隆堂から出版されているものを購入するか、文部科学省のHPからダウンロードすることが可能

◆**成績評価基準** 授業参画度（100%）

※すべての授業に出席することを前提として評価する。よって、特別な理由（教育実習・介護等体験・感染症など）なく欠席した場合、大幅な減点とする。

◆**授業相談**（連絡先）：授業の前後ないし授業中に質問を受け付けます。

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔文化史A〕

渡邊 浩史

- ◆**授業概要** はじめに近世の各時代の文化の概観を各々述べた上で、各論的にいくつかのトピックについて講義する。その後、各地に残る日本の伝統文化について、いくつかを選んで講義する。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: はじめに 近世の文化 (安土桃山文化) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容: 近世の文化 (江戸時代) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容: 聖地巡礼 (富士信仰) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容: 聖地巡礼 (富士講) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東大寺お水取りと名張市の松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (長者伝説と松明調進) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進ルート) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (松明調進と東大寺支配の記憶) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りとは) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの実際) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (花祭りの継承) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (東日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容: 地域に残る伝統文化 (西日本) 事前学修: 高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修: 授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容: まとめと試験 事前学修: 1～14回の内容をよく復習すること 事後学修: 試験の内容を含めてよく復習し理解を深めること

- ◆**教科書** 当日資料配布 適宜授業中に資料プリントを配布する。
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%, 試験 80%
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英語 I ~IV (初級)〕

八木 茂那子

- ◆**授業概要** 英語の運用能力を高めるためには音を掴むことと意味をとることを同時に行うことが必須である。このスキルを修得するために効果的な training 方法は長年にわたり培ってきた English trainer としてまた高等学校の教壇に立った実務経験を授業に反映している。本講座では Reading Sections (Listening, Speaking を含む) を中心に英文を読み進めながら英語 4 技能のスキルアップを図るようとするものである。
- ◆**学修到達目標** 講座修了後に基本的な英語の理解運用できるようになる。特に英文の文構造を口頭で文法的な説明ができるようになる。また意味のまとまりごとに区切って読む slash reading の skill を身に付けることにより reading の速度をあげることできる。
- ◆**授業方法** CD・OHC・黒板を使用した対面式の一斉授業と演習形式を中心に self-training, pair work, group activity 等いろいろ取り込みながら楽しくトレーニングをしていく予定です。(受講者の人数, 理解度, 進度などの理由により, 授業内容を変更することがあります。) 学期中に6回の単語の小テストと中間・期末試験, 学期末に音読のテストを実施します。
- ◆**履修条件** 前後期を通して出席することが望ましい。(全回出席することが前提である。) 各自自分のテキストを購入すること。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 事前にシラバスをよく読んでおくこと。 事前学修: ガイダンス (自己紹介), 授業の進め方, 教科書について, 成績評価について 事後学修: 講義内容の確認
2回	授業内容: 基本動詞について(1) <Grammar Sections> Unit 3 基本動詞は英語表現の泉(1) 事前学修: 英語基本動詞について(1) <Grammar Sections> Unit 3 基本動詞は英語表現の泉(1) p.p.71-75 をよく読み, 内容を理解すること。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 1 (DataBase 3000 level 1) の準備
3回	授業内容: <Grammar Sections> Unit 4 基本動詞は英語表現の泉(2) quiz 1 事前学修: <Grammar Sections> Unit 4 基本動詞は英語表現の泉(2) p.p.79-84 をよく読み, 内容を理解すること。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。
4回	授業内容: <Reading Sections> Unit 8(1) Sowing Seeds of Medical Science Health: Medical Science p.p.32-33 事前学修: <Reading Sections> Unit 8(2) Sowing Seeds of Medical Science Health: Medical Science をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 2 (DataBase 3000 level 2) の準備
5回	授業内容: <Reading Sections> Unit 9(1) Sowing Seeds of Psychology: Resilience Sections p.p.36-37 quiz 2 事前学修: <Reading Sections> Unit 9(2) Sowing Seeds of Psychology: Resilience をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 3 (DataBase 3000 level 3) の準備
6回	授業内容: <Reading Sections> Unit 10(1) Sowing Seeds of Facts: Efforts to Flag Fake-News 事前学修: <Reading Sections> Unit 10(2) Sowing Seeds of Facts: Efforts to Flag Fake-news をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 3 (DataBase 3000 level 3) の準備
7回	授業内容: Review & Drills quiz 3 事前学修: これまでに学修したことの見直しをする。 事後学修: 中間試験の準備
8回	授業内容: 中間試験と授業 (解答解説を行う) 事前学修: これまでに学修したことの見直しをする。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 4 (DataBase 3000 level 4) の準備
9回	授業内容: <Grammar Sections> Unit 5 助動詞は面倒? でも, 感情表現の宝庫! (1) quiz 4 事前学修: <Grammar Sections> Unit 5 助動詞は面倒? でも, 感情表現の宝庫! (1) をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 5 (DataBase 3000 level 5) の準備
10回	授業内容: <Reading Sections> Unit 11(1) Sowing Seeds of Intelligence: Brain Development 事前学修: <Reading Sections> Unit 11(2) Sowing Seeds of Intelligence: Brain Development をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と quiz 5 (DataBase 3000 level 5) の準備
11回	授業内容: <Reading Sections> Unit 12(1) Sowing Seeds of Friendship: Yosegaki Hinomaru p.p. 48-49 quiz 5 事前学修: <Reading Sections> Unit 12(2) Sowing Seeds of Friendship: Yosegaki Hinomaru をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と本文の音読を3回行う。
12回	授業内容: <Reading Sections> Unit 13(1) Sowing Seeds of Humanity: A Hero 事前学修: <Reading Sections> Unit 13(2) Sowing Seeds of Humanity: A Hero をよく読み, 練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の確認と基本文の音読筆写を行う。quiz 6 (DataBase 3000 level 6) の準備
13回	授業内容: Review & Drills quiz 6 事前学修: これまでに学修したことの見直しをする。 事後学修: 授業内容の確認と音読, の準備
14回	授業内容: Group Activity & Oral test 事前学修: Oral test (音読テストの準備), 音読の練習をする。 事後学修: これまでに学修したことの見直しをする。(期末試験の準備)
15回	授業内容: 期末試験&解答解説 事前学修: これまでに学修したことの見直しをする。 事後学修: これまでに学修したことの見直しをする。

- ◆**教科書** 丸沼『Dear Learners』永本 義弘・町田 純子・八木 2020  
丸沼『DataBase 3000』第5版桐原書店編集部編 桐原書店 2016
- ◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』綿貫陽也著 旺文社
- ◆**成績評価基準** Quiz (6回) 20% + 平常点 (発表や課題提出などを含む授業参加度) 10% + (筆記試験) 60% + Oral test 10%による総合評価 (クラスのレベルを考慮し, 一定の基準になるよう調整を加えることがあります。)
- ◆**授業相談 (連絡先)**: なるべく授業中か授業後をお願いします。

注意

## 講座内容（シラバス）

## 〔哲学演習Ⅰ・Ⅱ〕

中澤 瞳

◆**授業概要** 本演習は、論文を執筆するために必要と考えられる基本的知識を、実践を通して、修得する。文献の要約、批評、そして発表を中心に行う。

◆**学修到達目標** この演習を通して、受講生は論文制作のための技術を学ぶことができる。またこの演習を通して、卒業論文の制作がよりよく進められる。すでに卒業論文に着手している受講生の場合は、演習を通して、現在製作中の卒業論文を練り上げることができる。

◆**授業方法** 授業動画を視聴し、課題を提出する。また、受講生各自が発表を行う。授業中に使用する予定の課題テキストは授業内で指示する。なお、受講生の人数によって、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、随時指示する。

◆**履修条件**

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容	授業のガイダンス、卒論について、論文について。（なおガイダンスでは、成績評価、出席票の提出期限、使用文献、発表資料作成方法、そして発表方法などの説明も行うので必ず確認すること）
	事前学修	卒論のためにどのような本を、どのように読んでいるか振り返ってみる。
	事後学修	授業を復習し、論文について理解を深める。
2回	授業内容	注について、参考文献表について
	事前学修	注、参考文献表とはどのようなものか調べる。
	事後学修	注、参考文献表を作成できるようにして、卒論制作で使用する。
3回	授業内容	要約について
	事前学修	文章を短くすること、要約との違いを考える。
	事後学修	自分の卒論のために集めた先行研究（参考文献）から要約を作る練習をする。
4回	授業内容	批判的読解について
	事前学修	批判的読解はどのようにしたらうまくできるか考える。
	事後学修	自分が卒論で扱う文献を批判的に読解できるように読み込む。
5回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
6回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
7回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
8回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
9回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
10回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
11回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
12回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
13回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
14回	授業内容	文献の要約・批評・発表
	事前学修	課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
	事後学修	課題文献を自分なりに読み込む。
15回	授業内容	まとめ
	事前学修	これまでの授業を振り返る。
	事後学修	今回の授業を土台として、卒業論文の制作を進める。

◆**教科書** 丸沼 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー

◆**参考書** 丸沼

◆**成績評価基準** 課題提出および発表（100%）により総合的に評価する。なお、毎回出席票を提出することを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内。

注意

## 講座内容 (シラバス)

〔経済史総論〕 オープン受講：不可

下斗米 秀之

- ◆**授業概要** われわれの生きるグローバルな資本主義経済の現在の状況を的確に理解し、未来を展望するためには、経済史の知識が不可欠である。経済史とは現在と過去、そして経済と歴史を結び学問である。現在の経済は過去の遺産であり、その形成過程を知ることによって、われわれの立っている現在の位置を確かめることができる。現代の支配的な社会経済システムである近代資本主義や市場経済の成立・発展・変質の過程の把握を目指す。
- ◆**学修到達目標** 西洋経済史にあらわれた諸問題の過程と原因、その帰結を学ぶことを通じて、現代社会を生きるための鋭い洞察力と論理的思考力を身につける。西洋経済の歩みを概観しながら、現在の経済における諸問題との関連やそれらを読み解く力を身につける。
- ◆**授業方法** 毎回の講義ではレジュメを配布し、授業計画通りに進めていくが、適宜、映像資料や新聞・雑誌記事なども利用する。また、担当者の専門であるアメリカ経済史に関しては隣接諸分野との関連や最新の研究動向も併せて紹介していく。映像資料を鑑賞する際にはコメントペーパーを書いてもらい、翌週の授業で頂いたコメントを紹介しつつ質問に答える。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 第二次産業革命の時代 事前学修: シラバスをよく読んで授業内容の流れを確認しておく。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
2回	授業内容: 20世紀転換期のヨーロッパ経済 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
3回	授業内容: 20世紀転換期のアメリカ経済 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
4回	授業内容: 第一次世界大戦と戦時経済体制 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
5回	授業内容: アメリカの大量生産体制と大衆消費社会 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
6回	授業内容: ヨーロッパの戦後復興と相対的安定 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
7回	授業内容: 大恐慌とニューディール 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
8回	授業内容: 両大戦間期のヨーロッパ経済 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
9回	授業内容: 第二次世界大戦と戦時経済体制 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
10回	授業内容: 第二次世界大戦後のアメリカ経済(1) 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
11回	授業内容: 第二次世界大戦後のヨーロッパ経済(1) 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
12回	授業内容: 第二次世界大戦後のアメリカ経済(2) 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
13回	授業内容: 第二次世界大戦後のヨーロッパ経済(2) 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
14回	授業内容: 経済史から考える 21世紀のグローバル経済 事前学修: 参考文献を読んで単元についての理解を深める。 事後学修: レジュメを利用して講義内容のポイントをおさえ、重要語句等について調べる。
15回	授業内容: 試験と解説 事前学修: これまでの各内容のポイントをまとめて復習しておく。 事後学修: 課題の意図を理解して論理的な記述ができていたかどうかを確認する。

◆**教科書** 当日資料配布

- ◆**参考書** 丸沼『エレメンタル欧米経済史』馬場哲・山本通・廣田功・須藤功 晃洋書店 2012年  
丸沼『あなたが歴史と出会うときー経済の視点から』堺憲一 名古屋大学出版会 2009年  
丸沼『入門アメリカ経済 Q & A100』坂出健・秋元英一・加藤一誠 中央経済社 2019年

◆**成績評価基準** 定期試験を中心に評価するが、授業の中でリアクションペーパーの提出を求めることもある。毎回出席することを前提として評価する。  
授業態度、提出課題 (30%) 定期試験 (70%)

◆**授業相談 (連絡先):**

注意



## 〔商業政策〕

花田 哲郎

- ◆**授業概要** 前期の商業政策の授業を受けて、さらに「町おこし」や「地域活性化」を行う際に利用すべきマーケティング以外の経営学の考え方や手法などについて学んでいきます。また「町おこし」や「地域活性化」でコンセプトとなるエネルギー資源や環境、農業や水産業などのテーマについて、学ぶとともに、実際に町おこしに取り組んでいる事例を複数取り上げ、受講生の議論を通じて、実態を学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 「町おこし」や「地域活性化」を実行する際に利用できる経営学の考え方や手法も理解できるようになること。また、実際に推進されている「町おこし」や「地域活性化」の事例について、その成功理由などを理解し、説明できるようになること。
- ◆**授業方法** パワーポイントで作成した講義資料をスクリーンに投影しながら講義を進めます。また中間と最終の2回、授業内テストを実施します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介-組織の運営のための経営管理論(1) 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
2回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介-組織運営のための経営管理論(2) 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
3回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介-経営戦略 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
4回	授業内容: 町おこしのための経営学-組織倫理とコンプライアンス 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
5回	授業内容: 町おこしにおける商業と信とリスク 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
6回	授業内容: 町おこしのための商業集積 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
7回	授業内容: 前半のまとめ + 中間テスト 事前学修: 1~6回の授業で学んだことを整理し理解を確かなものにしておくこと。 事後学修: テストで正解でなかったところについて、関係する授業で配布された資料やメモしたノートを読み返し知識や考え方を整理しておくこと。
8回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマ-農業。水産 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
9回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマ-エネルギー資源 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
10回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマ-新エネルギー 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
11回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマ-環境 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
12回	授業内容: 事例紹介(1) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
13回	授業内容: 事例紹介(2) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
14回	授業内容: 事例紹介(3) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
15回	授業内容: 後半のまとめ + 最終テスト 事前学修: 1~14回の授業で学んだことを整理し理解を確かなものにしておくこと。 事後学修: テストで正解でなかったところについて、関係する授業で配布された資料やメモしたノートを読み返し知識や考え方を整理しておくこと。

- ◆**教科書** 特になし
- ◆**参考書** 丸沼『さまざまな資源』 花田哲郎・中村玲子 桜門書房
- ◆**成績評価基準** 平常点評価 100%  
<内訳>授業内テスト: 100% (中間: 50% / 最終: 50%)
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意

## 講座内容（シラバス）

〔教育原論 / 教育の思想〕 オープン受講：不可

古賀 徹

- ◆**授業概要** 「教育」とは何か？ 人間が社会の中で生きていく上で、なぜ教育が必要なのか。現在のように公教育が当たり前を実現されるようになってくるのには紆余曲折があったのだが、その歴史の変遷を理解する。その公教育実現のための強い光となったのが様々な教育思想である。本講義ではこの教育思想の歴史の変遷について学んでいく。
- ◆**学修到達目標** 本講義では以下の知識を習得するとともに、教育思想を現実の教育の糧（かて）として活かしていけるような考え方も養っていく。それにより学修者は、教育に関する基礎理論を身につけ、教育実践との関係づけのもとに理解を深めることで、自身の教育指導の礎として役立て、活かしていくことができる。大きく4つに分けて講義を進めるが、学生は自身の「学校理解」をも深めることができる。①コメニウスからペスタロッチまでの事物の教授法の誕生の意義。②ルソーやデューイ等の教育による社会改造主義的な考え方。③フレーベルやヘルバルト等による子どもの発達段階に照射した学習方法の構想。④教育の脱構築的な試みの誕生とその意味。
- ◆**授業方法** 前半はテキストに記された思想家（人物）に関する講義を（教員が）行う。後半はグループで担当箇所を決めて人物の思想上の特色について調査・研究する。その報告と質疑により互いに学び深める授業とする。思考力、発信力と深い教材研究力・解釈が進むように構成している。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容：教育の歴史・思想とは？ 事前学修：教職課程でこの科目（基礎理論）がもつ意味についてイメージしておく。 事後学修：テキストに登場する人物について年譜を作成する。
2回	授業内容：世界の教育思想の歴史の変遷。 事前学修：序章（1～10頁）を読み、流れを理解しておく。 事後学修：近代教育のパラドックスについてレポートをまとめる（次回提出）。
3回	授業内容：コメニウスの教授学。 事前学修：第1章（11～23頁）を読み、コメニウスの業績について学んでくる。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
4回	授業内容：ロックの自立論。 事前学修：第2章（24～32頁）を読み、難しい部分に下線を引き質問をつくる。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
5回	授業内容：ルソーの市民教育（子どもの発見）。 事前学修：第3章を読み、ルソーの何が優れているのか自身の感想をまとめる。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
6回	授業内容：ペスタロッチの人間教育（直観教授）。 事前学修：第4章を読む。「日本のペスタロッチ」について検索しリストをまとめる。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
7回	授業内容：ヘルバルトの科学的教育学（段階教授）。 事前学修：第5章を読む。現在の授業における展開（指導計画）について調べておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
8回	授業内容：報告1：フレーベルの幼児教育思想。 事前学修：第6章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
9回	授業内容：報告2：マンの公教育普及論。 事前学修：第7章を読み、疑問点や質問事項を考えてリストを作成する。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
10回	授業内容：報告3：デューイの新教育思想・新教育運動。 事前学修：第8章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
11回	授業内容：報告4：ニールの自由主義教育論。 事前学修：第9章を読む。とくに「フリースクール」について疑問点をまとめておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
12回	授業内容：報告5：ブーパーの教育的出会い論。 事前学修：第10章を読み、疑問点や質問事項を考えてリストを作成する。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
13回	授業内容：報告6：アリエスの心性史研究（子どもの誕生）。 事前学修：第11章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
14回	授業内容：報告7：イリイチの脱学校論。 事前学修：第12章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修：テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
15回	授業内容：現代教育と教育の課題、そして教育の基礎理論としての教育思想。 事前学修：報告した思想家についてレポートをまとめる（提出する）。 事後学修：教職課程において「理論」を学修する意味・意義についてまとめる。

◆教科書 随材

◆参考書 随材

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行わない。

◆**授業相談（連絡先）**：授業の前後の時間およびオフィスアワーでも質問を受け付けている。メールアドレスは授業時に知らせる。

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔経済学〕

谷川 孝美

- ◆**授業概要** 日々のニュースでは、GDP、経済成長率、国際収支など、さまざまな経済に関する事柄が報じられています。この講義では、経済学概論などの経済学関連の科目の入門および基礎として、一国における経済を対象とする国民所得の決定、金融財政政策の有効性などについて、基本的な事柄や内容および基礎理論を理解し、現代の社会問題について、経済を通して考える基礎を養うことを目的とします。
- ◆**学修到達目標** 経済学関連の基礎および入門として、マクロ経済学に関する基本的な事柄や基礎理論に関連する以下のことを目標とする。
  1. 経済学の基本的な見方、考え方を理解し、説明できるようになる。
  2. GDP、失業、インフレーションなどマクロ経済に関する基礎を理解し、説明できるようになる。
  3. 金融政策、財政政策による経済への影響に関する基本的な考えを理解し、説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、マクロ経済学を中心としますので、ミクロ経済学の詳細については取り扱いません。
- ◆**履修条件** 令和元年、2年昼間スクーリング（後期）「経済学」との積み重ね不可。  
前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	<p>授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・経済学の対象と課題</p> <p>事前学修：新聞の経済欄などをよく読み、経済時事問題に注目しておくこと。また、参考書に指定している『スティグリッツ入門経済学第4版』の第1章第1節をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。</p>
2 回	<p>授業内容：経済学の主要な概念 トレードオフ、インセンティブ、交換</p> <p>事前学修：配付資料および参考書第1章第1節をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
3 回	<p>授業内容：ミクロ経済学とマクロ経済学</p> <p>事前学修：参考書第1章第2、3節をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
4 回	<p>授業内容：GDP（国内総生産）、国内総生産における三面等価の原則</p> <p>事前学修：参考書第8章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
5 回	<p>授業内容：総需要と総供給</p> <p>事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、前回の講義を再確認すること。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
6 回	<p>授業内容：貯蓄、投資、資本市場</p> <p>事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、第4、5回の講義を再確認すること。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
7 回	<p>授業内容：一般均衡モデル</p> <p>事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、第4、5、6回の講義を再確認すること。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
8 回	<p>授業内容：経済成長、生産性</p> <p>事前学修：参考書第9章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
9 回	<p>授業内容：失業とマクロ経済学</p> <p>事前学修：参考書第10章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
10 回	<p>授業内容：インフレーションと金融政策</p> <p>事前学修：参考書第11章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
11 回	<p>授業内容：金融政策のマクロ経済への影響</p> <p>事前学修：参考書第11章をよく読むこと。また、第10回の講義を再確認すること。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
12 回	<p>授業内容：財政政策のマクロ経済への影響</p> <p>事前学修：参考書第11章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
13 回	<p>授業内容：グローバル危機、世界的な金融経済危機</p> <p>事前学修：参考書第12章をよく読んでおくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。</p>
14 回	<p>授業内容：理解度の確認</p> <p>事前学修：予め配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。</p> <p>事後学修：配付資料や参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。</p>
15 回	<p>授業内容：試験および解説</p> <p>事前学修：前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。</p> <p>事後学修：前期の授業内容を再確認し、理解を深めること。</p>

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 凡例『スティグリッツ入門経済学第4版』  
ジョセフ・E・スティグリッツ、カール・E・ウォルシュ著、数下史郎訳、東洋経済新報社、2012年  
講義時に適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：講義前後 10 分程度、講師室にて対応します。また、それ以外の時間ではメールにて対応します。  
tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

[英語]

大庭 香江

◆**授業概要** 映画というオーセンティックな教材を用いて、自然な英語を聞き、話せるようになるよう、英語字幕を活用して、語彙を確認し、Role-playで、リスニングとスピーキングの練習を効果的に行います。

◆**学修到達目標** 映画の自然な英語に触れることで、聞く、理解する、話す、能力を習得する。

◆**授業方法** 1. テキスト付属のDVDを用い (Vocabulary Flash), 語彙を確認します  
 2. 映像を英語字幕付きで視聴します  
 3. DVDで理解問題を行います (Comprehension Check)  
 4. DVDに収録された、登場人物のセリフの字幕に合わせ、Role-playを行います

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容	Scene 1
	事前学修	DVDでScene 1のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 1のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
2回	授業内容	Scene 2
	事前学修	DVDでScene 2のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 2のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
3回	授業内容	Scene 3
	事前学修	DVDでScene 3のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 3のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
4回	授業内容	Scene 4
	事前学修	DVDでScene 4のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 4のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
5回	授業内容	Scene 5
	事前学修	DVDでScene 5のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 5のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
6回	授業内容	Scene 6
	事前学修	DVDでScene 6のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 6のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
7回	授業内容	Scene 7
	事前学修	DVDでScene 7のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 7のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
8回	授業内容	Scene 8
	事前学修	DVDでScene 8のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 8のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
9回	授業内容	Scene 9
	事前学修	DVDでScene 9のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 9のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
10回	授業内容	Scene 10
	事前学修	DVDでScene 10のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 10のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
11回	授業内容	Scene 11
	事前学修	DVDでScene 11のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 11のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
12回	授業内容	Scene 12
	事前学修	DVDでScene 12のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 12のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
13回	授業内容	Scene 13
	事前学修	DVDでScene 13のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 13のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
14回	授業内容	Scene 14
	事前学修	DVDでScene 14のVocabulary Flashを行っておくこと(DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。
	事後学修	DVDでScene 14のComprehension Checkを行っておくこと (DVDは授業時にも視聴するが、必ず予習を行っておくこと)。次回授業で解説を行う。
15回	授業内容	まとめと試験、及び解説
	事前学修	テキストとDVDで、これまで学修した語彙を復習し、映像を通して視聴し、内容を確認しておくこと。
	事後学修	全ての学修事項を確認し、映像を視聴して理解を深めること。

◆**教科書** 『Roman Holiday DVDで学ぶ「ローマの休日」』 渡辺 他著 南雲堂

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験50%、授業参画度50%

◆**授業相談 (連絡先) :**

**注意**

## 講座内容 (シラバス)

## 〔イギリス文学史Ⅱ〕

猪野 恵也

- ◆**授業概要** E.M.Forster から現代に至るまでの代表的な作家及び作品を紹介し、考察する。時と場所があまりにも違うので作品鑑賞に必要な想像力を育むために映画化された作品を一部観ていく。
- ◆**学修到達目標** 1. 時代における代表的な作家と作品について知り、触れることができる。2. 英文の抜粋を少し読むので様々な文体の英語に触れることができる。3. 作品の解釈の仕方を知ることができる。
- ◆**授業方法** プリントを用いて (枚数多し) 時代背景、各作家の生涯及び代表的な作品に触れ、作品の一つを選択し、読んでいく。最後に感想を書いてもらい、次の授業で一部を紹介する。
- ◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画** [各 90 分]

1回	授業内容：E.M.Forster 及び <i>Howards End</i> (1910) 事前学修：イギリス文学史において E.M.Forster を学修する。 事後学修： <i>Howards End</i> を原文で読む。
2回	授業内容：D.H.Lawrence 及び <i>Lady Chatterley's Lover</i> (1928) 事前学修：イギリス文学史において D.H.Lawrence を学修しておく。 事後学修： <i>Lady Chatterley's Lover</i> を原文で読む。
3回	授業内容：George Orwell 及び <i>1984</i> (1949) 事前学修：イギリス文学史において George Orwell について学修しておく。 事後学修： <i>1984</i> を原文で読む。
4回	授業内容：Virginia Woolf 及び <i>Mrs. Dalloway</i> (1925) 事前学修：イギリス文学史において Virginia Woolf について学修しておく。 事後学修： <i>Mrs. Dalloway</i> を原文で読む。
5回	授業内容：James Joyce 及び <i>Ulysses</i> (1922) など 事前学修：イギリス文学史において James Joyce について学修しておく。 事後学修： <i>Dubliners</i> (1914) を原文で読む。
6回	授業内容：H.G.Wells 及び <i>The Invisible Man</i> (1897) など 事前学修：イギリス文学史において H.G.Wells について学修しておく。 事後学修： <i>The Invisible Man</i> などを原文で読む。
7回	授業内容：T.S.Eliot 及び <i>The Waste Land</i> (1922) 事前学修：イギリス文学史において T.S.Eliot について学修しておく。 事後学修： <i>The Waste Land</i> や T.S.Eliot による批評を原文で読む。
8回	授業内容：William Somerset Maugham 及び <i>The Moon and Six Pence</i> (1919) 事前学修：イギリス文学史において Maugham について学修しておく。 事後学修： <i>The Moon and Six Pence</i> を原文で読む。
9回	授業内容：Evelyn Waugh 及び <i>Brideshead Revisited</i> (1945) 事前学修：イギリス文学史において Evelyn Waugh について学修しておく。 事後学修： <i>Brideshead Revisited</i> を原文で読む。
10回	授業内容：Graham Greene 及び <i>Brighton Rock</i> (1938) 事前学修：イギリス文学史において Graham Greene について学修しておく。 事後学修： <i>Brighton Rock</i> などを原文で読む。映画「第三の男」を観る。
11回	授業内容：William Golding 及び <i>Lord of Flies</i> (1954) 事前学修：イギリス文学史において William Golding について学修しておく。 事後学修： <i>Lord of Flies</i> を原文で読む。
12回	授業内容：Kazuo Ishiguro 及び <i>Never Let Me Go</i> (2005) 事前学修：イギリス文学史において Kazuo Ishiguro について学修しておく。 事後学修： <i>Never Let Me Go</i> を原文で読む。
13回	授業内容：John McGahern 及び <i>Amongst Women</i> (1990) 事前学修：イギリス文学史において John McGahern について学修しておく。 事後学修： <i>Amongst Women</i> を原文で読む。短編集もあるのでそれらを読む。
14回	授業内容：Ian McEwan 及び <i>Atonement</i> (2001) 事前学修：イギリス文学史において Ian McEwan について学修しておく。 事後学修： <i>Atonement</i> を原文で読む。
15回	授業内容：試験 事前学修：今までの授業内容をじゅうぶん時間をかけて復習する。 事後学修：イギリス文学史を改めて読み、再読したい作品や読んでいない作品を読む。

- ◆**教科書** [当日資料配布] プリントを当日配布する。  
[図説]「イギリス文学史」川崎寿彦著 成美堂
- ◆**参考書** 授業中指示する。
- ◆**成績評価基準** 試験 (70%) 授業への取り組み等 (30%) 毎回出席することを前提として評価します。
- ◆**授業相談** (連絡先)：ino0703@hotmail.co.jp (平日のみ受け付ける)

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔東洋思想史Ⅰ〕

本間 直人

- ◆**授業概要** 中国古代の哲学思想について概観します。授業で取り上げる書物は、中国古代の哲学思想において、極めて重要な思想を展開しています。また、それぞれの哲学思想相互の内容的なつながりに留意しつつ、それぞれの哲学思想の特質を理解できることを心掛けます。
- ◆**学修到達目標** 中国古代の哲学思想を概観しながら、荀子、老子、荘子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代を生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。
- ◆**授業方法** 中国古代の哲学者・思想家たち、それぞれの哲学思想の特質をつかむことに留意しながら、発表形式で授業を行います。また、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めていきます。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。
- ◆**履修条件** 2019年度昼間スクーリング（後期）「東洋思想史Ⅰ」との積み重ね不可。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

#### ◆授業計画（各90分）

1回	授業内容：ガイダンス 東洋思想史とは何か 荀子の思想について（人物・生涯） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
2回	授業内容：荀子の思想について（理論的思惟） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
3回	授業内容：荀子の思想について（定命論） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
4回	授業内容：荀子の思想について（礼） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
5回	授業内容：荀子の思想について（定命論的礼理論と宿命論的現象） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
6回	授業内容：荀子の思想について（定命論的礼理論の限界） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、ノート、プリントなどで、荀子の思想についてまとめておくこと。
7回	授業内容：老子の思想について（〈道〉—真理・力—） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
8回	授業内容：老子の思想について（〈道〉への道程—修行—） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
9回	授業内容：老子の思想について（〈道〉の体現） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
10回	授業内容：老子の思想について（〈道〉の展開—市中の隠者—） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
11回	授業内容：老子の思想について（〈道〉の行為—〈無為〉—） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、ノート、プリントなどで、老子の思想についてまとめておくこと。
12回	授業内容：荘子の思想について（人物・生涯） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
13回	授業内容：荘子の思想について（万物斉同） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
14回	授業内容：荘子の思想について（その人となり） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、ノート、プリントなどで、荘子の思想についてまとめておくこと。
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでにまとめた、荀子の思想、老子の思想、荘子の思想について再確認すること。 事後学修：改めて、東洋思想史を学ぶ意義について考えてみる。

- ◆**教科書** 図録『東洋思想史Ⅰ P20300』 通信教育教材（教材コード000392）  
[当日資料配布] 当日プリント配布 漢和辞典を用意してください。

#### ◆参考書

- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔西洋史入門〕

高草木 邦人

◆**授業概要** 本科目では、西洋の地理的特徴を踏まえながら、①「外国史 (西洋史)」学修の意義、②原始・古代から現代に至る史実や解釈への様々なアプローチ、③資料を使った「外国史 (西洋史)」学修と研究方法の知識の習得を通じて、「外国史 (西洋史)」研究に対する知識や態度を身につけます。

◆**学修到達目標** 本講義は、西洋史を学ぶ上で必要とされる知識と技術の基礎を学習します。本講義の学習により、受講生は自立的に西洋史を研究するためのスタート地点に立つことができます。後期においては、文献の集め方、専門書・研究論文の読み方、外国語文献の収集・読解などについて学習します。なお、前期と後期は内容が異なります。半期だけの受講も可能ですが、学習効果をあげるためには、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆**授業方法** 基本的に講義形式をとりますが、演習的な要素も盛り込みます。具体的には、研究文献や史料の講読、学習した知識・技術に関する報告など予定しています (報告は第4回・第8回・第12回を予定)。報告と合わせて、講義で学習したことを自分自身で実践するために、4回のレポートを課する予定です。1回目から3回目のレポートについては、提出した次の回に、講評を付けて返却します。また、学習した内容の理解度を高めるために、各講義の最後にリアクション・ペーパーを作成してもらいます。リアクション・ペーパーのフィードバックは次の回で回答します。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干修正することがあります。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: ガイダンス: 西洋史の文献を読むために 事前学修: 高等学校の世界史の教科書を復習しておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
2回	授業内容: 研究文献を集める: 概要 (研究テーマを考える) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
3回	授業内容: 研究文献を集める: 実践 (文献を集める) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
4回	授業内容: 研究文献を集める: 報告 (文献の情報を報告する) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
5回	授業内容: 専門書を読む: 概要 (専門書を構造) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
6回	授業内容: 専門書を読む: 実践① (西洋古典古代史の専門書を読む) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
7回	授業内容: 専門書を読む: 実践② (西洋近現代史の専門書を読む) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
8回	授業内容: 専門書を読む: 報告 (研究テーマの専門書の要点を報告する) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
9回	授業内容: 註から論文を読む: 概要 (註に何が書いているか) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
10回	授業内容: 註から論文を読む: 実践① (西洋中世・近世史の論文を読む) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
11回	授業内容: 註から論文を読む: 実践② (西洋近現代史の論文を読む) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
12回	授業内容: 註から論文を読む: 報告 (研究テーマの論文の論拠を報告する) 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
13回	授業内容: 外国語文献に触れる: 外国語文献を読む意義 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
14回	授業内容: 外国語文献に触れる: 外国語文献の集め方 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
15回	授業内容: 外国語文献に触れる: 外国語文献を読む 事前学修: 予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修: 本講義の内容を確認・理解して、歴史学の研究書や論文を講読すること

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 講義では、プリントを配布します。

◆**参考書**  
 〔函〕 井上浩一『私もできる西洋史研究—仮想大学に学ぶ』和泉出版、2012年  
 〔函〕 服部良久ほか編『人文学への接近法—西洋史を学ぶ』京都大学学術出版会、2010年  
 〔函〕 大学の歴史教育を考える会 (編)『わかる・身につく歴史学の学び方』大月書店、2016年

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、レポート (60%)、授業への参画度 (40%) です。レポートを4回ほど課する予定です。参画度は、授業中に配布するリアクション・ペーパー、学習内容に関する報告、そして授業態度などを参考に評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔日本史概説 / 日本史概論〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学び、「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。社会経済や文化を中心に掘えながら、政治・外交の影響に関わる理解を深めます。また、史料専門調査員としての経験を活かし、各時代の史料を使った歴史復原や意義付けの方法について指導します。

◆**学修到達目標** 1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。  
2. 各時代の社会運動や文化形成の背景や意義、着眼点について説明できるようにする。  
3. 各時代の歴史事実を裏づける歴史資料の読解や歴史学的考察の成果を理解できるようにする。  
4. 将来卒業論文を書く、あるいは教壇に立つ者としての必要な知識と姿勢を身につける。

◆**授業方法** 適宜高等学校の日本史Bの教科書内容、スクリーン投影資料、音声・映像資料、文献資料の原本、デジタル・アーカイブスなどを併用しながら、教科書の内容を掘り下げ、プリント内容を説明します。各回終了前に理解度チェック（小テスト）と理解度自己評価をおこない、次回授業の冒頭でテストと自己評価を踏まえて講評します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合があります。

◆**履修条件** 令和元年度夏間スクーリング（後期）・令和元年度夏期スクーリング「日本史概説」修得済の学生は積み重ね不可

◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容：日本史概説の参考文献と辞典 事前学修：シラバスを熟読し、講義全体の流れをおさえておく。 事後学修：各回の意図を振り返り、今後の自身の学修目標を立てる。
2回	授業内容：倭五王に至るまで 事前学修：教科書の倭王権の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
3回	授業内容：冊封体制と列島 ～倭五王と飛鳥～ 事前学修：教科書の冊封に関わる範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
4回	授業内容：古代の歴史認識 ～記紀の成立～ 事前学修：教科書の古代文化の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
5回	授業内容：荘園制度と武士団の形成 ～平氏政権～ 事前学修：教科書の平安時代政治史を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
6回	授業内容：元寇と徳宗体制 ～徳政～ 事前学修：教科書の鎌倉時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
7回	授業内容：室町幕府と「日本国王」～政治と外交～ 事前学修：教科書の中世後期アジアと日本の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
8回	授業内容：中世文化 ～鎌倉・室町～ 事前学修：教科書の中世文化の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
9回	授業内容：戦国社会と近世社会 ～中世から近世へ～ 事前学修：教科書の近世朝廷に関わる範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
10回	授業内容：三大改革と江戸文化 ～幕府政治と社会の変容～ 事前学修：教科書の幕藩体制の確立・動揺の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
11回	授業内容：明治時代の政治・社会運動 ～自由民権運動の展開～ 事前学修：教科書の自由民権運動と議会の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
12回	授業内容：米騒動と都市での憂い ～大正の世相～ 事前学修：教科書の近代社会運動に関わる範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
13回	授業内容：太平洋戦争と国民生活 ～国民文化と大衆文化～ 事前学修：教科書の太平洋戦争太平洋戦争の範囲を読み、事前シートに取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
14回	授業内容：新たな日本へ ～東西冷戦と高度経済成長～ 事前学修：教科書の高度経済成長の範囲を読み、事前シートの課題に取り組む。 事後学修：ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートの利用）。
15回	授業内容：講義総括 日本史概説の振り返りと今後の課題 事前学修：第1回から第14回の学修内容の要点をまとめておく。 事後学修：当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する。

◆**教科書** 題材【概論 日本歴史 Q30200】通信教育教材（教材コード 000382）

〔当日資料配布〕参照プリントを1～2枚配付

◆**参考書** 〔当日資料配布〕配布プリントで適宜紹介します

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート（60%）、授業内小テスト（30%）、授業への参画度（10%）の総合評価  
※15回全出席を前提とした評価です。

◆**授業相談**（連絡先）：原則として講義終了後の休憩時間あるいはメール（初回授業で告知します）で受け付けます。

注意



# 講座内容 (シラバス)

## (経営学)

山田 敏之

◆**授業概要** 企業は我々の生活と密接に結びつく必要不可欠な存在です。本講義では、経営学の全体像と基礎的な考え方・方法論の解明に焦点を当てます。後期は経営組織、経営戦略を取り上げます。経営組織では組織設計の原則、組織構造等を扱います。経営戦略では戦略の基礎、資源配分、競争戦略等を扱います。財団法人機械振興協会経済研究所での調査研究の経験を基に、経営学の理論の理解を深めるため、具体例を用いて講義に反映させています。

◆**学修到達目標** 1. 新聞、雑誌、ニュース等で扱われる現実の企業行動を経営学の多角的な視点から分析し、自分の言葉で説明しながら、討議することができる。  
2. 経営組織の理論、考え方、手法を用いて、現代企業が直面する組織的な問題を分析し、自分の言葉で説明しながら、討議することができる。  
3. 経営戦略の理論、考え方、手法を用いて、現代企業が直面する戦略上の問題を分析し、自分の言葉で説明しながら、討議することができる。

◆**授業方法** 概ね指定したテキストに従い、黒板での板書による講義形式の授業を行います。具体的な企業経営の事例やグラフ等の関連資料については配布資料等を使用します。理論の説明と事例を組み合わせることで、より実践性の高い説明をしていきたいと思えます。なお、講義の終了前に、その日の講義の内容あるいは経営の時事的な問題に関する小テストを数回実施します。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 イントロダクション：授業の進め方、評価、経営学とは何か？まずは、本授業の進め方や評価方法等について説明する。次に、経営組織論と経営戦略論の概要、学習の意義等について解説する。 事前学修 テキスト13～17頁を復習しておくと共に、20～34頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業内容をノートにまとめ、テキストの該当部分を復習し、授業内容を理解しておくこと。
2回	授業内容 組織の定義と組織構造の規定要因 組織の定義、組織構造の特徴、組織構造を規定する要因(規模、技術、外部環境の特性)について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認し、テキスト97～113頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、組織の定義、組織構造の特徴、組織構造を規定する要因(規模、技術、外部環境の特性)について説明できるようにしておくこと。
3回	授業内容 組織デザインの基本原則 組織設計の基本原則(分業と調整)を踏まえ、組織設計の際に考慮すべき伝統的な原則について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト113～120頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、組織設計の基本原則である分業と調整及び伝統的な組織設計の諸原理について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
4回	授業内容 職能別組織と事業部制組織 組織構造の基本形として、職能別組織及び事業部制組織を取り上げ、概要、メリット・デメリット等について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト120～134頁をよく読んでおくこと。特に、図3-2及び図3-3で組織構造の基本形を把握しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、職能別組織及び事業部制組織の概要、メリット・デメリット等について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
5回	授業内容 プロジェクト組織とマトリックス組織 組織構造の基本形として、プロジェクト組織とマトリックス組織を取り上げ、概要、メリット・デメリット等について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト120～134頁をよく読んでおくこと。特に、事業部制組織の弊害を復習すると共に、図3-4及び図3-6で組織構造の基本形を把握しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、配布資料も確認しながら、プロジェクト組織とマトリックス組織の概要、メリット・デメリット等について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
6回	授業内容 カンパニー制と持株会社制 新しい組織構造のあり方として、カンパニー制と持株会社制を取り上げ、概要、メリット・デメリット等について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、配布資料に目を通しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、配布資料も確認しながら、カンパニー制と持株会社制の概要、メリット・デメリット等について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
7回	授業内容 組織文化の概念と機能 組織文化とは何か、組織文化の機能・逆機能、組織文化研究の変遷、組織文化の変革等について解説する。 事前学修 組織構造の本質と問題点を復習し、テキスト90～94頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、配布資料も確認しながら、組織文化の概念と機能、組織文化の変革等について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
8回	授業内容 経営戦略論の誕生と意義 経営戦略論の誕生、経営戦略の位置づけと役割、経営戦略の階層性といった経営戦略論の基本的な概念について解説する。 事前学修 テキスト29～46頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、配布資料も確認しながら、経営戦略論の誕生、経営戦略の位置づけと役割、経営戦略の階層性について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
9回	授業内容 企業ドメインの規定と課題 企業の全社戦略の中心テーマである企業ドメインの定義、機能、規定要因、ドメイン・コンセンサス等について解説する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト188～212頁をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、企業ドメインの定義、機能、規定要因、ドメイン・コンセンサス等について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
10回	授業内容 経験曲線の概念と戦略的課題 資源配分戦略の枠組みを構成する経験曲線の概念及び経験曲線に基づく経営戦略の方向性、問題点等について解説する。 事前学修 テキスト154～160頁をよく読んで経験曲線の概要を把握しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、経験曲線の概念、経験曲線効果の源泉を理解すると共に、経験曲線を活用した経営戦略の特徴と問題点について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
11回	授業内容 製品ライフサイクルの概念と戦略的課題 資源配分戦略の枠組みを構成する製品ライフサイクルの概念とライフサイクルの各段階での経営戦略の課題について解説する。 事前学修 配布資料に目を通し、製品ライフサイクルの概要について把握しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、製品ライフサイクルの概要、特に各段階におけるキャッシュ・フローのバランスと戦略的課題について説明できるようにしておくこと。
12回	授業内容 PPMの枠組みと基本戦略 事業ポートフォリオ戦略の枠組み及び基本的な資源配分戦略の考え方について説明する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト160～169頁をよく読んでおくこと。特に、図4-9 事後学修 授業の内容をノートに整理し、事業ポートフォリオ戦略の枠組みを理解すると共に、資源配分の基本的な戦略及び分析的な戦略論の問題点について説明できるようにしておくこと。
13回	授業内容 業界構造分析の枠組み 競争戦略の基本的な考え方を踏まえた上で、ポーターの5つの競争要因を取り上げ、業界構造分析の枠組みと問題点について解説する。 事前学修 テキスト169～174頁をよく読んでおくこと。特に、図4-9により業界構造分析の概要を把握しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、ポーターの5つの競争要因を挙げて業界構造分析の枠組みを説明できるようにしておくこと。さらに、具体的な業界を選び実際に業界構造分析によって特徴を把握できるようにしておくこと。
14回	授業内容 3つの基本戦略とスタック・イン・ザ・ミドル ポーターの3つの基本戦略の概要を解説すると共に、スタック・イン・ザ・ミドル仮説について議論する。 事前学修 前回の授業のノートを確認すると共に、テキスト174～184頁をよく読んでおくこと。特に、図4-10及び図4-11に目を通しておくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、3つの基本戦略の概要について、事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。また、具体的な事例を用いてスタック・イン・ザ・ミドル仮説の妥当性を議論できるようにしておくこと。
15回	授業内容 試験及び解説 事前学修 授業のノート、配布資料を復習し、これまでの学習内容を理解しておくこと。 事後学修 授業内容を再度確認・理解し、自己の学習成果を点検すること。

◆**教科書** 図4 『経営学入門 [上] (第2版)』 柳原清則 日本経済新聞出版社

◆**参考書** 図4 『経営学インバージョン1 経営学入門 第2版』 十川廣國 中央経済社  
図4 『経営学インバージョン3 経営組織論 第2版』 十川廣國編著 中央経済社  
図4 『経営学インバージョン2 経営戦略論 第2版』 十川廣國編著 中央経済社

◆**成績評価基準** 小テスト (10%)、試験 (90%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談 (連絡先)** : 授業等で何か分からない点、質問などあれば、zgak@ic.daito.ac.jp まで連絡してください。

注意

## 講座内容（シラバス）

### 〔経済学〕

谷川 孝美

- ◆**授業概要** 日々のニュースでは、GDP、経済成長率、国際収支など、さまざまな経済に関する事柄が報じられています。この講義では、経済学概論などの経済学関連の科目の入門および基礎として、一国における経済を対象とする国民所得の決定、金融財政政策の有効性などについて、基本的な事柄や内容および基礎理論を理解し、現代の社会問題について、経済を通して考える基礎を養うことを目的とします。
- ◆**学修到達目標** 経済学関連の基礎および入門として、マクロ経済学に関する基本的な事柄や基礎理論に関連する以下のことを目標とする。
  1. 経済学の基本的な見方、考え方を理解し、説明できるようになる。
  2. GDP、失業、インフレーションなどマクロ経済に関する基礎を理解し、説明できるようになる。
  3. 金融政策、財政政策による経済への影響に関する基本的な考えを理解し、説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、マクロ経済学を中心としますので、ミクロ経済学の詳細については取り扱いません。
- ◆**履修条件** 令和元年、2年昼間スクーリング（後期）「経済学」との積み重ね不可。  
前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1回	<b>授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・経済学の対象と課題</b> 事前学修：新聞の経済欄などをよく読み、経済時事問題に注目しておくこと。また、参考書に指定している『スティグリッツ入門経済学第4版』の第1章第1節をよく読んでおくこと。 事後学修：授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	<b>授業内容：経済学の主要な概念 トレードオフ、インセンティブ、交換</b> 事前学修：配付資料および参考書第1章第1節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
3回	<b>授業内容：ミクロ経済学とマクロ経済学</b> 事前学修：参考書第1章第2、3節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4回	<b>授業内容：GDP（国内総生産）、国内総生産における三面等価の原則</b> 事前学修：参考書第8章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
5回	<b>授業内容：総需要と総供給</b> 事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6回	<b>授業内容：貯蓄、投資、資本市場</b> 事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、第4、5回の講義を再確認すること。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
7回	<b>授業内容：一般均衡モデル</b> 事前学修：参考書第8章をよく読むこと。また、第4、5、6回の講義を再確認すること。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
8回	<b>授業内容：経済成長、生産性</b> 事前学修：参考書第9章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
9回	<b>授業内容：失業とマクロ経済学</b> 事前学修：参考書第10章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10回	<b>授業内容：インフレーションと金融政策</b> 事前学修：参考書第11章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
11回	<b>授業内容：金融政策のマクロ経済への影響</b> 事前学修：参考書第11章をよく読むこと。また、第10回の講義を再確認すること。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12回	<b>授業内容：財政政策のマクロ経済への影響</b> 事前学修：参考書第11章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
13回	<b>授業内容：グローバル危機、世界的な金融経済危機</b> 事前学修：参考書第12章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料や参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
14回	<b>授業内容：理解度の確認</b> 事前学修：予め配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修：配付資料や参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15回	<b>授業内容：試験および解説</b> 事前学修：前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：前期の授業内容を再確認し、理解を深めること。

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 凡例『スティグリッツ入門経済学第4版』  
ジョセフ・E・スティグリッツ、カール・E・ウォルシュ著、數下史郎訳、東洋経済新報社、2012年  
講義時に適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：講義前後 10 分程度、講師室にて対応します。また、それ以外の時間ではメールにて対応します。  
tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp

注意

## 〔英語基礎〕

大庭 香江

◆**授業概要** 本授業では、英語学習の土台となる「基礎・基本」を学びます。中学校卒業程度の文法事項を取り上げ、一つ一つ丁寧にみていきます。今後の英語学習につながる、重要な「基礎・基本」事項を、会話文を含む例文や、練習問題を通して学修します。

◆**学修到達目標** 暗記中心の学修から、理解中心の学修を行うことで、実用的で実践的な英語を身に付けることを目標とします。学修内容を実際に活用することが出来るようになることを心がけて参りましょう。

◆**授業方法** 文法事項を毎回一つずつ取り上げ、丁寧に解説します。会話文を含む実用的な例文を通して、適切な理解を図ります。理解を深める為には復習が重要となりますので、テキストの練習問題の一部は授業時に行い、一部は復習の為の問題として使用し、次回授業冒頭で確認、解説を行います。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 過去形 事前学修: テキスト p.2 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.6 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
2回	授業内容: 過去形の否定文 事前学修: テキスト p.8 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.12 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
3回	授業内容: 命令形 事前学修: テキスト p.14 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.18 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
4回	授業内容: to 不定詞 事前学修: テキスト p.20 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.24 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
5回	授業内容: 現在進行形 事前学修: テキスト p.26 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.30 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
6回	授業内容: There is と There are 事前学修: テキスト p.32 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.36 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
7回	授業内容: 形容詞 事前学修: テキスト p.38 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.42 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
8回	授業内容: 比較 事前学修: テキスト p.44 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.48 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
9回	授業内容: 助動詞 can 事前学修: テキスト p.50 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.54 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
10回	授業内容: 未来系① 事前学修: テキスト p.56 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.60 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
11回	授業内容: 未来系② 事前学修: テキスト p.62 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.66 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
12回	授業内容: 丁寧な表現 事前学修: テキスト p.68 の単語の意味調べを行っておくこと。 事後学修: テキスト p.72 の練習問題で復習を行っておくこと。次回授業で解説を行う。
13回	授業内容: 復習テスト① 第1回から第6回迄の学修項目の確認テストと解説を行う 事前学修: 第1回から第6回迄の学修内容を復習しておくこと。 事後学修: 復習テスト①の問題を復習しておくこと。
14回	授業内容: 復習テスト② 第7回から第12回迄の内容の確認テストと解説を行う。 事前学修: 第7回から第12回迄の学修内容を復習しておくこと。 事後学修: 復習テスト②の問題を復習しておくこと。
15回	授業内容: まとめと試験、解説 事前学修: 第1回から第12回迄の学修内容と、復習テスト①、②を復習しておくこと。 事後学修: 全ての学修項目を整理し、確認、復習すること。

◆**教科書** 『Fun Time! ファン・タイム!』 牧野 他著 朝日出版社

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験 50%、授業参画度 50%

◆**授業相談 (連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

大庭 克夫

- ◆**授業概要** 後期は何と言っても「不規則動詞」の活用(大切なもの10数種類)と、「数」(11～100)「月」「曜日」「季節」「男性国名/女性国名」などの基本表現を身に付けるのがメインです。前期に比べて覚えるべき事柄が格段に増えます。溜めないで翌週までに確実に覚えていってください。外国語は「覚える」＝「身に付ける」のが仕事です。
- ◆**学修到達目標** 英語にすれば中学1年～2年レベルの内容が、フランス語でも言えて・書けて・聞き取れるようにするのが目標です。また11月の「実用仏語技能検定試験・5級」にもぜひチャレンジしていただきたいと思います。授業自体は極力「脱落者」を出さないようにごく平均的なペースで進めますが、前期から「指定教材仏語Ⅰ・仏語Ⅱ」などを使って自主的・意欲的に学習されてきた方ならば、<4級>合格も十分可能です。
- ◆**授業方法** 前期同様、授業は<講義形式>ではなく<授業形式>で進めていきます。後期は前期に比べてどうしても受講生が減るので、1回の授業で各人10回位は当てて答えてもらいます。また前期同様、フランス語の習得には授業以外の場での<覚える努力>が必要不可欠です(<覚える努力>を伴わない出席は全くの無意味)。
- ◆**履修条件** 前期スクーリングの単位を取得した者、または「科目修得試験・仏語Ⅰ」の単位を取得しているもの。
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: 後期前半部分のプリントを配布: 1P目「不規則動詞」の活用のしかたの大まかなルールを概括。また1P目後半の「数」(11～100)を説明します。
	事前学修: 授業で説明したプリント1P目の「不規則動詞」の活用ルールをよく理解すること。また「数」(11～100)を覚えること。
	事後学修: 授業で説明したプリント1P目の「不規則動詞」の活用ルールをよく理解すること。また「数」(11～100)を覚えること。
2回	授業内容: プリント2P目前半:「曜日」とその表現方法について説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント2P目前半に目を通してここと。
	事後学修: 授業で扱った「曜日」とその表現方法をしっかりと覚えること。
3回	授業内容: プリント2P目後半:「月」と「日付」、および疑問副詞< combien > (= how much) の用法について説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント2P目後半に目を通してここと。
	事後学修: 授業で扱った「月」と「日付」、および< combien >の用法・用例をしっかりと身に付けること。
4回	授業内容: プリント3P目前半:「疑問形容詞」< Quel >の用法と「季節」、及び「不規則動詞」< aller > (= go) と< venir > (= come) の活用を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント3P目前半に目を通してここと。
	事後学修: 授業で扱った「疑問形容詞」< Quel >の用法と「季節」、及び動詞< aller > (= go) と< venir > (= come) の活用をしっかりと身に付けること。
5回	授業内容: プリント3P目後半～4P目前半:「男性国名/女性国名」と動詞< aller >の用例を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント3P目後半～4P目前半に目を通してここと。
	事後学修: 「男性国名/女性国名」の区別と、動詞< aller >の用法・用例を身に付けること。
6回	授業内容: プリント4P目後半: 動詞< venir >の用例と、「第2群規則動詞」< finir > (= finish) ・< choisir > (= choose) の活用を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント4P目後半に目を通してここと。
	事後学修: 動詞< venir >の用例と、「第2群規則動詞」< finir > ・< choisir >の活用を覚えること。
7回	授業内容: プリント5P目: 不規則動詞< faire > (= do / make) と< voir > (= see) の活用と用例を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント5P目に目を通してここと。
	事後学修: 不規則動詞< faire > (= do / make) と< voir > (= see) の活用と用例をしっかりと覚えること。
8回	授業内容: プリント6P目「補足」部分の説明と、後期中間試験に向けた総復習。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント6P目に目を通してここと。
	事後学修: プリント6P目の内容を含めて、各自後期前半の総復習をすること。
9回	授業内容: 後期中間試験
	事前学修: 中間試験に向け、「数」「曜日」「月」「季節」などの基本表現や、「不規則動詞」の活用を徹底して身に付けて臨むこと。
	事後学修: 試験後「解答」を配布するので、各自間違えた箇所をしっかりとフォローすること。
10回	授業内容: 中間試験返却/解説。後期後半部分のプリントを配布: 1P目「時間表現」と不規則動詞< prendre > (= take) の活用と用例を説明します。
	事前学修: 授業で説明した「時間表現」と不規則動詞< prendre > (= take) の活用と用例を覚えること。
	事後学修: 「時間表現」と不規則動詞< prendre > (= take) の活用と用例を覚えること。
11回	授業内容: プリント2P～3P目: 不規則動詞< mettre > (= put) と< attendre > (= wait for), < partir > (= leave) < sortir > (= go out) の活用と用例を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント2P～3P目に目を通してここと。
	事後学修: < mettre > < attendre >, < partir > < sortir >の活用と用例を覚えること。
12回	授業内容: プリント4P目: 不規則動詞< pouvoir > (= can) と< vouloir > (= want), < devoir > (= must) の活用と用例を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント4P目の内容に目を通してここと。
	事後学修: 動詞< pouvoir > < vouloir > < devoir >の活用と用例を覚えること。
13回	授業内容: プリント5P～6P目前半: 不規則動詞< savoir >と< connaitre > (=とも)に know) 活用・用法と、「複合過去形」の築り方を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント5P～6P目前半の内容に目を通してここと。
	事後学修: プリント5P～6P目前半の内容をしっかりと身に付けること。
14回	授業内容: プリント6P後半～7P:「複合過去形」の用法と用例を説明します。
	事前学修: 付属のCDを聞きながら、プリント6P後半～7Pの内容に目を通してここと。
	事後学修: 授業で説明した「複合過去形」の用法と用例をしっかりと身に付けること。
15回	授業内容: 後期期末試験
	事前学修: 期末試験に向け、各自後期の内容を総復習してここと。
	事後学修: 試験後「解答」を配布するので、各自間違えた箇所をしっかりとフォローすること。

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 前期同様、初回授業時に後期フランス語Ⅱの前半部分の学習内容を分かりやすくまとめたB4判プリント(6P綴り)を配布します[当然CD付き]。  
**〔当日資料配布〕** 10回目授業時に、後期の後半部分の内容をまとめた7P綴りのプリントを配布します[これも当然CD付き]。  
**〔丸印〕** 前期同様授業時には必ず仏和辞典を1冊持参してください。
- ◆**参考書** **〔教材〕** 「フランス語Ⅰ E10100」通信教育教材(教材コード000372) ※この教材は市販の「新・ゼフィール」E.E.F.L.E.U.K(早美出版社)と同一です。スクーリングの授業レベルを超えて<仏検4級>以上を目指そうとする人には文法面でお薦めです。  
**〔教材〕** 「フランス語Ⅱ E10200」通信教育教材(教材コード000373) ※この教材は市販の「フランス語基本500語」(財)フランス語教育振興協会(朝日出版社)と同一です。同じく<仏検4級>以上を目指そうとする人には単語面で非常に有用な参考書です[添えられたイラストがとても可愛い]。
- ◆**成績評価基準** 試験は中間と期末の2回行い、成績はこの試験の結果で判定します。なお試験は全問<和文仏訳>と<ヒヤリング形式> (= 原文を書き取ったのち和訳) で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一などは出題しません。
- ◆**授業相談 (連絡先):** E-Mail : katsufran@biglobe.ne.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## [英語学演習]

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、「卒業論文」作成の一助となるよう、以下の項目を扱います。

- ① 論文とは何かを知る。
- ② Had better に関する文献資料を精読する。
- ③ 疑問点等を整理する。
- ④ 受講者同士で意見を交わし合う。
- ⑤ Had better の意味的・語用論的特徴を理解する。

◆**学修到達目標** 本授業では、次の能力育成を目指します。

- (a) 論文の構成を理解し、説明することができる。
- (b) 文献を正確に読み解き、まとめることができる。
- (c) 疑問を捻出することができる。
- (d) 協働作業 (グループワーク) を通して解決策 (案) を創出することができる。
- (e) 体裁の整った読みやすいレポートを作成することができる。

◆**授業方法** 輪読形式でテキスト (プリント) を読み進めていきます。適宜、受講者を指名します。テキスト (プリント) には、英語で書かれた文献が多数ありますので、事前に精読および適切な (日本語として変ではない) 日本語に訳しておいてください。きれいな日本語にすることも重要ですが、書かれている内容の理解をより重視してください。音読はとも重要です。既知の単語でも発音とアクセント (特にアクセント) はしっかり調べ、発音できるようにしておいてください。なお、受講者の様子 (理解度) を見ながら授業を進めていきますので、全 15 回の「授業計画」はあくまで「目安」とお考えください。

◆**履修条件** 令和元年 (2019 年) 度夜間スクーリング (秋期) 「英語学演習 D」 (小澤賢司) とは積み重ね不可。

◆**授業計画** [各 90 分]

1 回	授業内容: ガイダンス (授業概要等の確認、テキスト等の確認、レポートについて、辞書について)、論文とは何かを知る 事前学修: 本授業のシラバスを熟読しておくこと 事後学修: 手持ちの辞書や文法書で、had better の意味を確認しておくこと (ミニレポート作成準備)
2 回	授業内容: 論文を読む (可能性を表す can と may) 事前学修: 可能性を表す can と may について、手持ちの辞書や文法書などで調べてくること 事後学修: ①論文の構成 (話の展開や論法) を再度確認しておくこと、②ミニレポート作成準備 (次週提出)
3 回	授業内容: (終わっていないならば) 論文の続きを読む、had better に関する辞書・文法書による説明記述 事前学修: 「語用論的特徴」と「語用論的特徴」の違いを再度確認しておくこと 事後学修: 文献精読のための「類似と相違」について正しく理解しておくこと
4 回	授業内容: 「悪い結果」の含意 (OR 節との共起) 事前学修: ① 3.1 節、3.2 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 1 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 1 回レポート作成準備
5 回	授業内容: 「悪い結果」の非含意? 事前学修: ① 3.3 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 2 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 1 回レポート作成準備
6 回	授業内容: 発話環境 (特定の事態) 事前学修: ① 4.1 節、4.2 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 3 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 1 回レポート作成準備 (次週提出)
7 回	授業内容: 非過去性条件 事前学修: ① 5.1 節、5.2 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 5 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 2 回レポート作成準備
8 回	授業内容: 主観性・客観性 事前学修: ① 6 節、6.1 節、6.2 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 6 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 2 回レポート作成準備
9 回	授業内容: had better の 'had' 事前学修: ① 7 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 7 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 2 回レポート作成準備 (次週提出)
10 回	授業内容: 不可避性・早急性・特定性 事前学修: ① 8.1 節、8.2 節、8.3 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 8 を考えておくこと 事後学修: 学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと
11 回	授業内容: 比較としての had better (量的分析) 事前学修: ① 9 節を精読 (和訳) しておくこと。② Question 9 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 3 回レポート作成準備
12 回	授業内容: 比較としての had better (質的分析) 事前学修: Question 10, 11 を考えておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 3 回レポート作成準備
13 回	授業内容: これまでの復習 (予備日) 事前学修: これまでの学修内容を復習しておくこと 事後学修: ①学修した内容を整理し、疑問点を含め、しっかりまとめておくこと。②第 3 回レポート作成準備 (次週提出)
14 回	授業内容: 論文を読む (had better) 事前学修: これまでの学修内容を復習しておくこと 事後学修: 漏れのある学修内容を確認しておくこと
15 回	授業内容: 試験 (持ち込みナシ) およびまとめ 事前学修: これまでの学修内容をすべて復習しておくこと 事後学修: 卒業論文作成に努めること

◆**教科書** [当日資料配布] プリントを配布します

◆**参考書** 大学生・社会人向けの辞書を必ず持参してください。2003 年以降に発行された辞書が望ましいです。新しい辞書の購入をお考えの方には授業中にいくつかご紹介いたします。

◆**成績評価基準** 試験 (40%)、授業参画度 (20%)、レポート (40%)

※いわゆる出席点はない。3 分の 2 以上の出席と 2 回以上のレポート提出を前提として総合的に評価する。

◆**授業相談 (連絡先)**: 授業の前後ないし授業中に (用紙に書いていただいて) 質問を受け付けます。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔西洋思想史Ⅰ〕

関谷 雄磨

◆**授業概要** 「西洋思想史Ⅰ」では、西洋の学問の原点ともいえる古代ギリシア・ローマの思想、およびそれと密接な関連にある中世の思想を歴史的展開に沿って学びます。彼らが一体どのような問題意識を持ち、どのような答えを見出してきたのかを学んでいきます。なお、それらの思想は西洋文化全般の要となる基礎的な教養となっており、それらを学ぶことによって、価値観が多様化する現代を見つめる視座を獲得する一助となるよう心掛けます。

◆**学修到達目標** 古代ギリシア（古典期以降）・ローマおよび中世の思想を、主に「幸福」の問題を軸として歴史的展開に沿って学びます。私たちの多くは漠然と「幸福になりたい」と考えて生きているように思いますが、その一方で、「そもそも幸福とは一体どのようなことなのか」という根本的なことについては、あまり突き詰めて考えないように思います。本講座では主に、この問いに対して古代の思想家たちがどのような答えを見出してきたのかを学び、皆さん自身が「幸福とはどのようなことなのか」を自主的に考えられるようになるための基礎作りを目標とします。

◆**授業方法** 授業は配布プリントを用いて講義形式で行います。本講座では様々な思想家をご紹介しますが、理論としての思想だけでなく、彼らのエピソードや人物像をできるかぎり紹介し、なるべくリアリティのある授業を行いたいと思います。なお、後期は前期とは方針を変更し、1回（1トピック）につき90分（45分×2本）の動画を配信します。休憩を入れつつ、できるだけリラックスして視聴して下さい。

◆**履修条件** 前期のみ、後期のみを受講も認めますが、学習効果を上げるため、なるべく前期・後期と通じて受講してください。また、平成31年度（令和元年度）後期昼間スクーリング「西洋思想史Ⅰ」（関谷担当）との積み重ねを不可とします。

### ◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：ガイダンスおよび古典期までのギリシア 事前学修：哲学史の参考書を用いて、ソクラテス登場以前までの思想の流れを大まかに把握しておくこと 事後学修：配布プリントに基づいて、古典期までのギリシアの歴史と思想を振り返ること
2回	授業内容：ソクラテス・プラトン<魂の思想> 事前学修：哲学史の参考書の「ソクラテス」および「プラトン」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、ソクラテスおよびプラトンの思想を振り返ること
3回	授業内容：アリストテレス<目的論的世界観と活動説> 事前学修：哲学史の参考書の「アリストテレス」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、アリストテレスの思想を振り返ること
4回	授業内容：キュレネ派<快楽主義の哲学> 事前学修：哲学史の参考書の「キュレネ派」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、キュレネ派の思想を振り返ること
5回	授業内容：キュニコス派<質実剛健と自足の哲学> 事前学修：哲学史の参考書の「キュニコス派」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、キュニコス派の思想を振り返ること
6回	授業内容：エピクロス派<心の平安の哲学> 事前学修：哲学史の参考書の「エピクロス派」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、エピクロス派の思想を振り返ること
7回	授業内容：古期ストア派<不動心の哲学> 事前学修：哲学史の参考書の「古期ストア派」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、古期ストア派の思想を振り返ること
8回	授業内容：古代ローマの哲学1<古代ローマとセネカ> 事前学修：哲学史の参考書の「セネカ」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、古代ローマの文化およびセネカの思想を振り返ること
9回	授業内容：古代ローマの哲学2<エピクテトス、マルクス・アウレリウス、プロティノス> 事前学修：哲学史の参考書の「エピクテトス、マルクス・アウレリウス、プロティノス」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、エピクテトス、マルクス・アウレリウス、プロティノスの思想を振り返ること
10回	授業内容：キリスト教<「愛」の思想> 事前学修：哲学史の参考書の「キリスト教」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、キリスト教の思想を振り返ること
11回	授業内容：アウグスティヌス<「罪」からの救い> 事前学修：哲学史の参考書の「アウグスティヌス」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、アウグスティヌスの思想を振り返ること
12回	授業内容：中世哲学概説<信仰と理性の問題> 事前学修：哲学史の参考書の「中世哲学」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、中世の思想の流れを振り返ること
13回	授業内容：ルネッサンス<エビローグー神々中心の世界観から人間中心の世界観へ> 事前学修：哲学史の参考書の「ルネッサンス」の箇所を読むこと 事後学修：配布プリントに基づいて、ルネッサンスの文化について振り返ること
14回	授業内容：期末レポート課題 事前学修：これまでの講義の内容を振り返り、特に関心のある回について理解を深めておくこと 事後学修：指示された課題に対して考察すること
15回	授業内容：総まとめ（zoomを用いた質問コーナー） 事前学修：全回を振り返り、疑問点を整理しておくこと 事後学修：話題になったことがらを振り返り、理解を深めておくこと

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 『西洋思想史ⅠP20200』通信教育教材（教材コード000569）  
『哲学B10700』通信教育教材（教材コード000404）  
（例えば上記二書のような哲学史の参考書が一冊手元にあるとよいでしょう。）

◆**成績評価基準** 期末レポート（100%）によって評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：philosophy\_gr\_sekiya@yahoo.co.jp

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔道德教育の理論と方法 / 道德教育の研究〕 オープン受講：不可

李 吉魯

- ◆**授業概要** この授業では、道德の意義や原理などを踏まえ、学校における道德教育の目標や内容を理解する。また、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育及びその要となる道德科における指導計画や指導方法などを幅広く理解する。さらに、授業中に配布する資料や各種のデータ・映像などを用いて教育の問題に対する理解を深めるとともに、受講生どうしの「話し合い」を通じて、多様な考え方を共有する場としたい。
- ◆**学修到達目標** 1. 道德及び道德教育、道德性、道德科の指導、評価等の意義を理解し、学校教育の中でこれらが、どのように位置づけられているのかを説明できる。  
2. 学習指導要領に基づいて道德に関する諸概念の検討、道德教育の歴史的背景、道德教育の指導計画など、道德の授業実践に役立つ基本的な事項について知り、説明することができる。  
3. 学習指導案の作成を通して、教師としての求められる資質・能力を養うことができる。
- ◆**授業方法** 授業方法は講義形式による説明と、模擬授業・グループワークで行う。模擬授業は30分程度で全員必ず行う。また授業時に作成したリアクションペーパーを含め、課題やレポートについてはフィードバックを行う。そのため、受講生には積極的な意見や考え方を求める。受講者は教職への強い志をもって受講してほしい。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 ガイダンス (授業の進め方・道德や道德教育とは何か) まずは、授業の進め方を説明する。次に、道德や道德教育とは何かを整理し、学校における道德教育の重要性について理解を深める。 事前学修 事後学修	シラバスをよく読んでおくこと。 授業の復習。配布資料を読んで、道德教育の目標と内容を理解しておくこと。
2回	授業内容 道德教育の必要性 教育の役割を踏まえて、道德性とは何か、人間が道德性の涵養によって何ができるか、どう生きるべきかを考える。 事前学修 事後学修	道德と学校教育との関係について把握しておくこと。 授業の復習。道德性と人間発達との関連性について整理しておくこと。
3回	授業内容 道德性の発達理論 ピアジェ (Piaget, Jean 1896-1980) やコールバーグ (Kohlberg, Lawrence 1927-1987) などの道德性発達理論について検討する。 事前学修 事後学修	道德性の発達理論について、その意義と内容を把握しておくこと。 授業の復習。コールバーグと日本の道德教育との関係について整理しておくこと。
4回	授業内容 道德教育の指導計画と実践 教育基本法と学校教育法に基づく道德教育の役割を説明するとともに、道德教育の全体計画と年間指導計画等を理解する。 事前学修 事後学修	教育基本法と学校教育法の内容を把握しておくこと。 授業の復習。学校教育における道德教育の意義及び位置づけについて整理しておくこと。
5回	授業内容 戦前の道德教育 教育道德教育を担った「修身」が天皇制国家主義にもとづいた戦前の教育を根底から支えるに至った過程について検討する。 事前学修 事後学修	特設された「道德の時間」の内容を把握しておくこと。 授業の復習。天皇制公教育と修身との関係について理解しておくこと。
6回	授業内容 戦後の道德教育 「道德の時間」が特設された経緯や、道德教育を積極的に推進することをめぐる見解の対立等について検討する。 事前学修 事後学修	学習指導要領の変遷と道德教育の位置づけについて把握しておくこと。 授業の復習。道德教育の改革と「道德の時間」の設け方と関連性について整理しておくこと。
7回	授業内容 「道德の時間」から「特別の教科 道德」へ 最近、道德教育は日本国憲法や教育基本法の理念に基づく新しいあり方が構築され、「道德の時間」から「特別の教科 道德」へと変更された。ここでは、その背景と経緯、そして内容について検討する。 事前学修 事後学修	道德教育と関連する学習指導要領の改正点について把握しておくこと。 授業の復習。「特別の教科 道德」の教育観について整理しておくこと。
8回	授業内容 道德科の学習指導案づくり① 学習指導案の構成と作成、その留意事項などを理解する。 事前学修 事後学修	道德科の学習指導案の作成にあたり、参考資料等をよく読んで確認しておくこと。 授業の復習。道德科の学習指導案作成にあたって、その基本的な枠組みと要点を整理しておくこと。
9回	授業内容 道德科の学習指導案づくり② 道德科とは何をやる時間なのか、作成された学習指導案の見直し、指導方法の問題点などを理解する。 事前学修 事後学修	道德科の指導方法と改善点について把握しておくこと。 授業の復習。道德科と他の教育活動との関連性について把握しておくこと。
10回	授業内容 道德科の評価のための具体的な工夫 ①道德科における評価の意義と基本的な考え方 (数値による評価ではなく、記述式であること等)、②評価の方法 (ポートフォリオ評価、パフォーマンス評価、エピソード評価等)。 事前学修 事後学修	道德授業改善の方向性について、一部改正の学習指導要領及び解説における評価の内容を確認しておくこと。 授業の復習。学校教育における道德科の位置づけについて整理しておくこと。
11回	授業内容 道德教育の実践① 模擬授業と検討会 (グループによる発表及び質疑応答) 事前学修 事後学修	どうしたら良い授業ができるか、をお互いに情報交換をしておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
12回	授業内容 道德教育の実践② 模擬授業と検討会 (グループによる発表及び質疑応答) 事前学修 事後学修	前回の模擬授業の内容を確認し、学習指導案に目を通しておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
13回	授業内容 道德教育の実践③ 模擬授業と検討会 (グループによる発表及び質疑応答) 事前学修 事後学修	前回の模擬授業の内容を確認し、学習指導案に目を通しておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
14回	授業内容 授業のまとめ 本当に「道德に答えはない」のか、教師はどのように道德教育をすべきか。これまでの学習内容を確認し、道德科の評価のあり方等を含む道德教育の具体的な授業改善の方向性について総括する。 事前学修 事後学修	配布資料や参考資料などを熟読し、該当する内容を事前に整理しておくこと。 授業の復習。要点項目として配布された資料などを、再確認し授業内容を整理しておくこと。
15回	授業内容 試験及び解説 事前学修 事後学修	前回の授業内で指摘した、教師はどのように道德教育をすべきかを考えておくこと。 授業 (試験を含む) を通して、その内容を十分理解しているかどうかを再確認すること。

- ◆**教科書** 〔汎用〕『小学校学習指導要領解説 道德編』文部科学省 東洋館出版 2008年  
〔汎用〕『中学校学習指導要領解説 道德編』文部科学省 日本文教出版 2008年  
〔汎用〕『中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説「特別の教科 道德編」』文部科学省 教育出版 2017年
- ◆**参考書** 〔汎用〕『道德教育の理論と方法 / 道德教育の研究 T21300 / T21400』通信教育教材 (教材コード000543) (この教材は市販の『道德教育の理論と方法』羽田稔男・関川悦雄編 弘文堂 2016年) と同様。  
〔汎用〕『教科化された道德への向き合い方』碓井敏正著 かまがわ出版 2017年  
〔汎用〕『考える道德教育「道德科」の授業づくり』笹田博通・山口匡・相澤伸幸編 福村出版 2018年  
〔汎用〕『私たちの道德 中学校』廣済堂あかつき 2014年
- ◆**成績評価基準** 試験 (40%)、レポートおよび課題 (20%)、模擬授業 (20%)、授業への取り組み (20%) により総合的に評価する。
- ◆**授業相談 (Eメール先)**：授業に関する相談は、以下のメールでご相談ください。メールアドレス：onkochishin6@hotmail.com

**注意**

## 講座内容（シラバス）

### 〔英語 I～IV（初級）〕

石川 勝

- ◆**授業概要** 初級レベルだが、あくまで大学レベルである。基本的な文法を理解したうえで、英文を読んでいく。テキストはヨーロッパの文化について書かれたものである。
- ◆**学修到達目標** 基本的な文法を理解したうえでそれを活用し、比較的容易な英文を訳せるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 先に文法の説明を行い、そのあとでテキストを読み進めていく。アトランダムに指名するので必ず予習したうえで出席すること。2回予習していないと不可とする。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：五文型 事前学修：テキストの購入 事後学修：授業内容の整理
2回	授業内容：五文型とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
3回	授業内容：不定詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
4回	授業内容：関係詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
5回	授業内容：that 節とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
6回	授業内容：ing とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
7回	授業内容：テキストの訳、小テスト 事前学修：試験の準備 事後学修：問題の復習
8回	授業内容：仮定法とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
9回	授業内容：過去分詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
10回	授業内容：発音記号とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
11回	授業内容：五文型の復習とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
12回	授業内容：五文型の復習とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
13回	授業内容：文法のおさらいとテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
14回	授業内容：テキストの訳、小テスト 事前学修：試験勉強 事後学修：問題の復習
15回	授業内容：個々の課題に関する質疑応答 事前学修：自分の課題を見つける 事後学修：課題の復習

- ◆**教科書** 丸潤 ヨーロッパの国と人々（金星堂）
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 2回の小テストの結果で決める。理由のない欠席は認めない。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業の前後に質問に答える。

注意



# 講座内容 (シラバス)

南部 篤

## (刑法 I)

- ◆**授業概要** 犯罪と刑罰に関する基本法である刑法について、その目的としての社会秩序維持および人権保障の機能に関する知識を学修する。また、人権とせめぎ合う統制手段特有の性格を有する刑罰に関する理念についての理解を深めながら、刑法の基本的原理と仕組みを把握し、その理論的側面とリアルな現実的側面に関する知識を学修する。
- ◆**学修到達目標** 犯罪論・刑罰論の重要テーマを体系的に学び、刑法学の堅牢な基礎を築くことにより、犯罪論と刑罰制度の基礎的理解および刑法固有の法的思考能力を発揮することができる。加えて個別の事案を読み解き、論点を抽出・整理して法の適用を論ずる法的処理能力を使いこなすことができる。最終的到達目標としては、刑法理論が直面する今日的課題・立法論と自ら取り組み問題解決を行うことができる。
- ◆**授業方法** 基本的に教科書に沿って進めるが、テーマの重要度、難易度、理解度等に配慮し、割愛・補足を行う。必要に応じて適宜教材資料を配付し、参考資料を示すなど受講生の理解を助ける方法を採る。適切な区切り回数授業内試験を実施し、必要に応じてレポート提出を求めるなど受講生の理解度を測りつつ進める。もとより授業全般を通じて「能動的学修」によるよう導くことはいうまでもない。

### 履修条件

### 授業計画 [各 90分]

1回	授業内容 刑罰制度と「刑法」の意義、刑法はどのような役割をはたしているのか、他の法分野とのちがいは何か、刑事法の中の刑法の位置について考える。 事前学修 六法を聞き、刑事法分野に属する法令を確認し、それらがどのように分類され、体系的に整理配列されているかを考えたうえで授業に臨むこと。 事後学修 刑事実体法、刑事手続法、矯正保護法の三分類に属する各種法律を確認し、刑法総則と各則の関係、刑法総則の地位について確認する。
2回	授業内容 刑罰とは何かについて、また他の法的統制手段との関係を学び、国家はなぜ刑罰の名の下に犯罪者の生命や自由、財産を奪うことができるのかについて考察する。 事前学修 国家の手による刑罰も、犯人の生命・自由・財産という利益を奪う点で「法益の侵害」と共通の性格を有する。これをどう説明するか、自分なりの見解をまとめて授業に臨むこと。 事後学修 行政処分や損害賠償等と比べ、刑罰の最も大きな特徴は何か、また各種刑罰の性格について文章にまとめて確認する。
3回	授業内容 刑罰制度の政策的基礎について検討する。まず、刑法を支配する基本原則としての罪刑法定主義について、その自由主義的側面と民主主義的側面に焦点をあわせ検討する。 事前学修 罪刑法定主義の否定が何をもたらすか、それが私たちをどんな世界に置くことになるかを考察した上で授業に臨むこと。 事後学修 罪刑法定主義の背景にある自由主義的要求と民主主義的要求、マグナカルタ以来の歴史的沿革、各種の派生原則などにつき整理・確認を行う。
4回	授業内容 刑法の基本原則として、法益保護の原則、罪刑法定主義と並ぶ保障原則である責任主義を検討する。あわせて、刑法理論の発展と学説の動向を概観する。 事前学修 犯罪は行為者の悪い性格の表れに過ぎず、未遂と既遂も本質的違いはなく、実行、器物損壊、公務執行妨害も区別して論じる必要はないとの考えをどう思うか、考察を試みること。 事後学修 結果責任主義と団体責任主義に基づく責任追及が行われた前近代と比べ、非難可能性を刑罰の不可欠の要件とし、個人責任主義を徹底する今日の考え方を対比し、確認しておく。
5回	授業内容 自然犯と法定犯とは何か、また非犯罪化論の是非、法人の犯罪と法人の処罰についての現状と展望について考察する。 事前学修 さまざまな犯罪の中には、今日、あえて刑罰の対象とする必要性が乏しくなったものもあるとの指摘が行われたことがある。刑法典中のどの犯罪がそれにあたるかを考えてみる。 事後学修 各種犯罪を自然犯と法定犯とに分けて論じる見解に合理性はあるか、また、自然人のみを刑罰の老犯人とする現行刑法典のあり方は妥当か、自身の見解をまとめてみる。
6回	授業内容 犯罪成立要件の構造と特徴、他の法分野との著しい違いの意味をふまえ、構成要件理論の骨格を学修する。 事前学修 いかなる場合に犯罪は成立し、成立が妨げられるのか、刑法がきわめて慎重な判断をすることとしている理由は何かを考察した上で授業に臨むこと。 事後学修 三分体系のメリットとデメリットについて整理し確認する。
7回	授業内容 構成要件の構造、要素について学んだ上で、構成要件該当性が問題となる場面として、不作為犯、因果関係について考察する。 事前学修 不作為犯、とりわけ不真正不作為犯の成立要件について整理・確認し、放火罪に関する判例を検討しておく。 事後学修 客観的構成要件要素および主観的構成要件要素をなすものをすべて挙げ、一覽表にするなどして整理確認する。
8回	授業内容 違法性とは何か、主観的違法性論と客観的違法性論、結果無価値論と行為無価値論、違法性阻却事由と違法性阻却の原理についての諸テーマを解明する。 事前学修 法に違反する性質を意味する「違法性」とは実質的には何を意味するのか、考察した上で授業に臨むこと。 事後学修 形式的違法・実質的違法、主観的違法正論・客観的違法正論、行為無価値論・結果無価値論、これらの違法性の本質をめぐって議論を整理しておく。
9回	授業内容 正当防衛と緊急避難、これら二つの違法阻却事由の共通点と相違点、それらはどこから来るのかを考える。 事前学修 正当防衛が認められやすい社会状況と、認められにくい状況とを対比して、どのような点かその違いをもちろすかを検討してみる。 事後学修 違法性阻却事由に関する刑法35条・36条・37条の規定の意義と内容を整理し確認する。
10回	授業内容 故意と過失・責任能力・刑事未成年について検討し、次いで故意の体系的地位・確定的故意と不確定的故意・概括的故意と択一的故意、未必的故意について検討を加える。 事前学修 どんなに凶悪悪質な態様で多数の人命を奪う等しても、心神喪失にあたる場合は絶対に処罰できない。なぜか、自分なりの答えに到達するまで考えてみる。 事後学修 心神喪失・心神耗弱の意義、刑事未成年の意義、原因において自由な行為、これらの意義と問題点について整理し、まとめる。
11回	授業内容 錯誤論について、具体的事実の錯誤と抽象的事実の錯誤、客体の錯誤と方法の錯誤、因果関係の錯誤、および法律の錯誤の処理について考察する。 事前学修 犯人が、①殺そうとした人を誤って別人と取り違え撃ち殺してしまったときと、②撃った弾が盗れ物陰の別人にあたって死亡させてしまったときとで罪責に違いがあるかを考えてみる。 事後学修 法律の錯誤により違法性の意識を欠いた場合のうち、錯誤に無理もない(相当な)事情があり処罰が妨げられる場合とは具体的にどんなときか、判例を挙げて論じてみる。
12回	授業内容 過失犯をめぐる諸問題、とくに過失犯の構造と予見可能性の内容・程度、旧過失論から新過失論、危険感説への展開について検討する。 事前学修 わざとやったわけではないが、過失による人の死傷等の意識は処罰される。なぜか、考えた上で授業に臨むこと。 事後学修 旧過失論から新過失論、危険感説へと発展する刑事過失理論と判例の動向を検討してみる。
13回	授業内容 犯罪遂行のプロセスを確認した上で、実行の着手の意義、障害未遂と中止未遂、中止未遂の意義と要件を検討し、不能犯について考察する。 事前学修 殺人の用途でピストルを準備した段階(予備)と、それを被害者に向け引き金を引こうとした時点(未遂)とを比べると刑罰の重さに著しい違いがある。なぜかを考えてみること。 事後学修 中止未遂が重大に扱われる理由は何か、中止が認められる要件はどうか、整理しておく。
14回	授業内容 正犯と共犯、共同正犯・教唆犯・幫助犯についての検討をふまえ、共犯論の諸問題、とくに共犯の従属性について、承継的共犯、片面的共犯等について検討する。 事前学修 盗みをするよう唆したが、①相手が応じなかった、②いつたん決意したが思い返し実行しなかった、③実行に出たが盗めなかった、これら各場合の罪責はどうか、考えてみること。 事後学修 共犯の従属性につき、実行・罪名・要素の各従属性を説明し、それぞれ判例がどう考えているかを確認しておく。
15回	授業内容 罪数論と科刑処理について検討し、刑罰の意義と種類、刑罰の執行についての諸問題を検討する。 事前学修 泥棒がA宅に侵入し、書斎のAの財布を盗り、次いで子供Bの貯金箱を、さらに妻Cのハンカチ5万円を盗んだとき、窃盗罪は何個成立するか、考えてみること。 事後学修 単純一罪、法条競合、包括一罪、科刑上一罪、併合罪、単純数罪、これらの分類・整理を確認し、体系的な理解を確かなものにしておく。

- ◆**教科書** 国図『Next 刑法総論』 設楽裕文＝南部篤編 弘文堂 2018
- ◆**参考書** 国図 開講時に紹介する。また、講義時に質問に応じて、あるいはテーマに関連して随時紹介する。
- ◆**成績評価基準** 成績評価は、複数回実施する授業内筆記試験(70%)、質問、意見等の積極的発言、簡単な発表、または課題レポート提出等(30%)、を総合して行う。評価基準は、目標を完璧に達成した場合をS、十分に達成A、概ね達成B、最低限達成C、不達成Dとする。
- ◆**授業相談(連絡先)**：授業内容その他について、電子メールでの相談を受けつける。面談希望の場合もメールでの申込みとする。授業担当者のメールアドレスは、開講時(初回授業時)に開示する。

注意

## 〔政治学原論〕

吉野 篤

- ◆**授業概要** 現代の政治過程に関するアクター分析および20世紀の政治研究の進化について概説し、政治学の学問的性格をフォローする
- ◆**学修到達目標** 政治研究のターゲットがいかなるものなのか、また、政治学の他の社会科学との違い、特異性を理解し、合わせて政治をどのように理解すればいいのかを修得することを目標とする
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式で行い、時宜に応じて主として新聞報道を素材として現在のジャーナルな政治問題を取り上げ、ともに考える機会を設ける
- ◆**履修条件** 前期に履修していることが望ましい
- ◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容: 政治過程論の概説 事前学修: 大衆社会での政治状況に関して知識を確認すること 事後学修: 論点を整理し、ノートを整序すること
2回	授業内容: 政治過程のアクター分析 政党 事前学修: テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修: 論点を確認しノートを改めて整理すること
3回	授業内容: 政党システムの類型 事前学修: テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修: 論点を整理してノートを整序すること
4回	授業内容: 選挙と選挙制度 事前学修: テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修: 論点を改めて確認し、ノートを整序すること
5回	授業内容: 20世紀アメリカの政治研究概論 事前学修: テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修: 論点整理を行うこと
6回	授業内容: ベントレーの政治過程論 事前学修: 20世紀初頭のアメリカの状況について知識を仕入れること 事後学修: 論点を整理すること
7回	授業内容: シカゴ学派の立場と研究例 事前学修: テキストの該当箇所を確認すること 事後学修: 論点を整理しノートを整序すること
8回	授業内容: 行動論政治学の特徴 事前学修: テキストの該当箇所を確認し熟読すること 事後学修: 論点を整理しノートを改めて確認すること
9回	授業内容: イーストンの政治システム論 事前学修: 政治システムの考え方について事前に調べること 事後学修: 全体像を整理すること
10回	授業内容: 脱行動論革命 事前学修: テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修: 論点を整理すること
11回	授業内容: 行動論以後の政治研究の傾向 事前学修: テキストの該当箇所を事前にチェックすること 事後学修: ノートを改めて整序すること
12回	授業内容: 新制度論の総論 事前学修: テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修: 政治制度について改めて調べ考察すること
13回	授業内容: 歴史的制度論の展開 事前学修: テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修: 論点を改めて整理すること
14回	授業内容: 合理的選択制度論の概要 事前学修: テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修: 論点を改めて整理すること
15回	授業内容: 社会学的制度論の概要 事前学修: テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修: 制度論全体について改めて整理すること

- ◆**教科書** 丸沼 吉野 篤編『政治学 第2版』弘文堂 2018年
- ◆**参考書** 講義の際に適宜 指示する
- ◆**成績評価基準** 定期試験が基本 場合によって出席を加味する
- ◆**授業相談（連絡先）:**

注意

## 〔国文学講義V〕

榎本 正樹

- ◆**授業概要** 新海誠作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形, 言い換えれば「文学」への強い視線です。繊細なコミュニケーションを丁寧な筆致で描くその筆致は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能のものです。同時代の先端的な表現者である新海監督の最初期作品から最新作『天気の子』までを分析的に解説する経験を通して、作品批評の技術を獲得します。
- ◆**学修到達目標** アニメーション作品を分析的に解説し、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるようになります。関連資料を参照し、他者のコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所について考えを深め、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について考察することを目的とします。
- ◆**授業方法** 講義形式です。新海誠作品について、過去作から最近作まで（場合によっては一部）順を追って観賞した上で、解説と考察を加えていきます。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容 事前学修 事後学修
2回	授業内容 事前学修 事後学修
3回	授業内容 事前学修 事後学修
4回	授業内容 事前学修 事後学修
5回	授業内容 事前学修 事後学修
6回	授業内容 事前学修 事後学修
7回	授業内容 事前学修 事後学修
8回	授業内容 事前学修 事後学修
9回	授業内容 事前学修 事後学修
10回	授業内容 事前学修 事後学修
11回	授業内容 事前学修 事後学修
12回	授業内容 事前学修 事後学修
13回	授業内容 事前学修 事後学修
14回	授業内容 事前学修 事後学修
15回	授業内容 事前学修 事後学修

- ◆**教科書** 新海誠とその作品世界について論じた書き下ろしの評論を現在、出版準備中です。後期授業開始前には刊行される予定なので、正式にアナウンスができる状況になった段階で告知します。  
当日資料配布 プリント
- ◆**参考書** 授業時にお知らせします。
- ◆**成績評価基準** 授業への参加度（20%）とレポート提出（80%）で評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：ツイッター（@enmt） メール（eno@mar.email.ne.jp）

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔英作文 I〕

大庭 香江

◆**授業概要** プレゼンテーションの原稿の書き方を、10の型：列挙型プレゼンテーション、分類型プレゼンテーション、プロセス型プレゼンテーション、調査型プレゼンテーション、報告型プレゼンテーション、説得型プレゼンテーション、問題解決型プレゼンテーション、原因・結果型プレゼンテーション、比較対照型プレゼンテーション、説得型・提案型プレゼンテーションに分類して学び、それぞれの型に合わせてプレゼンテーション原稿を書きます。

◆**学修到達目標** コミュニケーションのツールとしてのプレゼンテーションの基本や型を分析し、理解することで、オーディエンスに分かりやすい英文原稿を作成できるようになることを目標とします。

◆**授業方法** まず、DVDに英語字幕を付けて、プレゼンテーションの模様を視聴します。次に、そのプレゼンテーションの原稿を模範例文として読み、内容理解問題を解きます。毎回違った型のプレゼンテーションを取り上げ、その構造について学び、10項目に分けられたプレゼンテーションの型に合わせた原稿を書いていきます。

◆**履修条件**

◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容：プレゼンテーションの構造 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
2回	授業内容：プレゼンテーションのスキル 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
3回	授業内容：情報収集と情報倫理 事前学修：プレゼンテーションのテーマを考える。プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
4回	授業内容：プレゼンテーションの環境の準備 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
5回	授業内容：列挙型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
6回	授業内容：分類型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
7回	授業内容：プロセス型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
8回	授業内容：調査型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
9回	授業内容：報告型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
10回	授業内容：説得型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
11回	授業内容：問題解決型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
12回	授業内容：原因・結果型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
13回	授業内容：比較対照型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
14回	授業内容：説得型・提案型プレゼンテーション 事前学修：プレゼンテーションの模様を、DVDの英語字幕付きで視聴しておくこと。 事後学修：授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVDを字幕無しで視聴する。
15回	授業内容：プレゼンテーション原稿の書き方についてのまとめと、試験、解説 事前学修：これまでに学修したプレゼンテーションの模様を全てDVDで視聴して復習し、提出する原稿の下書きを行っておくこと。 事後学修：プレゼンテーションの原稿を作成する

◆**教科書** [Winning Presentations] Bill Benfield 他著 成美堂 2,700円

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験50%、授業参画度50%

◆**授業相談** (連絡先)：

注意

## 〔哲学基礎講読〕

石井 友人

◆**授業概要** 17世紀西洋思想の古典であるアルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』第四部「方法」を読んでいます。私たちにあって、確実に知っていると言える事柄はどのくらいあるのでしょうか。むしろ多くの事柄について、よく知らないままに、何とか折り合いをつけてやっていく、というのが普段の私たちの姿なのではないでしょうか。絶対的な知識を求めたデカルトに対し、アルノーたちは、不確実性に常に付きまといられる人間的な出来事の論理を探究しました。同書第四部を通して、確実な知識とは何か、不確実な事柄について私たちは何を知らうのか、という問題を考えていきます。

◆**学修到達目標** 西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、基礎的な哲学書を独力で読んでいくための力を身につけていく事を目的とします。また、併せて、近代的な人間の思考法の特徴を理解することを目的とします。

◆**授業方法** 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講者からの積極的な参加を期待します。最初は、内容を大づかみにしながら読んでいきます。本文が分かりにくい場合は、部分的に、デカルトたちのより分かりやすいテキストに切り替えるなど、内容把握を優先します。何回かは、教科書を離れて、哲学史的な背景を説明する事になるでしょう(講読の進度によっては授業計画を変更することもある)。

### ◆履修条件

### ◆授業計画〔各90分〕

1回	<b>授業内容</b> 確実な知識と蓋然的な知識、学的知識とは何か？ <b>事前学修</b> 『論理学、別名思考の技法』第一序説、および第四部第一章を読んでおくこと。また第四部第一章がいくつかの話題から成るか、段落分けしておくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
2回	<b>授業内容</b> 学的知識は存在するのか？ 懐疑論について、精神と感覚について。 <b>事前学修</b> 教科書の当該部分を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
3回	<b>授業内容</b> 学的知識に限界はあるか？ 学的知識の分類について。 <b>事前学修</b> 教科書の当該部分を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
4回	<b>授業内容</b> 独力で獲得できる知識から保証者への信頼に依拠する知識へ 即ち、学的知識から生を導く知識へ。 <b>事前学修</b> 第四部第十二章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
5回	<b>授業内容</b> 神への信頼に依拠する知識。 神への信頼(信仰)に関して、理性が果たすべき仕事について。 <b>事前学修</b> 第四部第十二章、十三章、十四章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
6回	<b>授業内容</b> 人間への信頼に依拠する知識、すなわち出来事についての知識の諸規則Ⅰ。 必然的真理と偶然的真理について。 <b>事前学修</b> 第四部第十三章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 授業内容を確認しておくこと。
7回	<b>授業内容</b> アルノー・ライブニッツ論争Ⅰ。 理性の真理と事実の真理について。 <b>事前学修</b> ライブニッツの哲学について、新書などで基本的な事柄を確認しておくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
8回	<b>授業内容</b> アルノー・ライブニッツ論争Ⅱ。 可能世界論について。 <b>事前学修</b> アルノーとライブニッツの差異点について考えておくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
9回	<b>授業内容</b> 過去の出来事についての判断、内的事情と外的事情について。 <b>事前学修</b> 第四部第十三章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
10回	<b>授業内容</b> 信仰と理性Ⅰ。 盲信と懐疑(不信)について。 <b>事前学修</b> 前文、および第四部第十四章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
11回	<b>授業内容</b> 信仰と理性Ⅱ。 奇跡の真偽判断について。歴史と同じ基準で過去の奇跡について信憑できるのか？ <b>事前学修</b> 前文、および第四部第十四章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
12回	<b>授業内容</b> 出来事についての知識の諸規則Ⅱ。 共通事情と特殊事情について。 <b>事前学修</b> 第四部第十五章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
13回	<b>授業内容</b> 出来事についての知識の諸規則Ⅲ。 未来の出来事について。比例(確率)について。 <b>事前学修</b> 第四部第十六章を読んでおくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
14回	<b>授業内容</b> 比例(確率)について。 比例的知識の例外について。 <b>事前学修</b> 第四部第十六章を読んで、前半と後半の議論の関係を考えておくこと。 <b>事後学修</b> 配布プリント等、授業内容を確認しておくこと。
15回	<b>授業内容</b> 試験(通常授業へ変更することもある) <b>事前学修</b> 試験は記述式で行い、範囲、問題はあらかじめ告知する。ノートに要点をあらかじめまとめておくことが望ましい。 <b>事後学修</b> アルノーの特色は、デカルトが考えなかった信頼による知識の方法を考えたとにあります。歴史的な出来事の真偽やネット上の話題など実例を考えてみて下さい。

◆**教科書** 通材『哲学基礎講読 P20100』通信教育教材(教材コード000042)

当日資料配布 当日プリント配布

### ◆参考書

◆**成績評価基準** 三分の二以上の出席を前提に、試験(80%)と授業への参加度(20%)により評価。尚、試験はレポートへの変更の場合もある

◆**授業相談(連絡先):**

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔宗教学概論〕

合田 秀行

- ◆**授業概要** 異文化を理解する上で、その宗教文化を理解することは、重要な要素と言えます。この講義では世界における五大宗教の理解を軸として、それぞれの開祖・主要な教義・聖典・歴史的展開を概説していきます。その過程で、諸宗教に共通して見られる概念について理解を深め、宗教学という学問の特徴や宗教学における基本的な概念・専門用語について取り上げます。
- ◆**学修到達目標** 主にセム系一神教と称されるユダヤ教・キリスト教・イスラム教（イスラーム）に関する歴史や教義について理解を深めることを主眼とします。さらに、総括として宗教学という学問領域の特徴や宗教学に特有の概念・専門用語の正確な理解を踏まえ、宗教学という学問について説明することができる。
- ◆**授業方法** 指定した市販教科書に基づいて講義形式で進めます。第3章「ユダヤ教」、第4章「キリスト教」、第5章「イスラム教」、第7章「宗教学」を取り上げます。テキストの内容によっては、補足資料を用いて、より理解を深めています。また、適時、関連する映像資料「ユダヤ教」「キリスト教」「イスラーム」などを鑑賞してもらい理解を深めます。2～3回程度、小テストを実施します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	<b>授業内容</b> 講義の進め方全般に関してガイダンスを行う。ユダヤ教① ユダヤ人・ユダヤ教徒を理解し、その現代に至る歴史的展開を概観する。 <b>事前学修</b> テキストの 122～133 ページを読み、ユダヤ教の概観を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、ユダヤ教の概観を整理して確認しておくこと。
2回	<b>授業内容</b> ユダヤ教② ユダヤ教の主要な教義である律法・安息日などを解説する。 <b>事前学修</b> テキストの 134～143 ページを予め読み、ユダヤ教の教義を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、ユダヤ教の教義を整理して確認しておくこと。
3回	<b>授業内容</b> ユダヤ教③ 聖書のエピソードを講読して、ユダヤ教の理解を深める。 <b>事前学修</b> テキストの 144～155 ページを予め読み、聖書について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、聖書のエピソードを整理して確認しておくこと。
4回	<b>授業内容</b> キリスト教① キリスト教の概観とイエスという人物伝について詳述します。 <b>事前学修</b> テキストの 158～171 ページを予め読み、イエスの生涯について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、イエスの生涯について整理して確認しておくこと。
5回	<b>授業内容</b> キリスト教② イエスの言葉（山上の垂訓・とんち問答・謎めいた言葉）を概説します。 <b>事前学修</b> テキストの 172～183 ページを予め読み、イエスの言葉について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、イエスの言葉について整理して確認しておくこと。
6回	<b>授業内容</b> キリスト教③ 使徒たちの言行録とパウロによる贖罪の神学・死と復活を概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 184～197 ページを予め読み、使徒とパウロについて予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、使徒とパウロについて整理して確認しておくこと。
7回	<b>授業内容</b> キリスト教④ 救いと裁き、洗礼と聖餐、クリスマスと復活祭、修道会について説明する。 <b>事前学修</b> テキストの 198～207 ページを予め読み、教理と儀礼について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、教理と儀礼について整理して確認しておくこと。
8回	<b>授業内容</b> キリスト教⑤ 東方正教会・ローマカトリック教会・プロテスタント諸教会を概観します。 <b>事前学修</b> テキストの 208～215 ページを予め読み、キリスト教諸宗派について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、諸教会について比較して理解を深めて確認しておくこと。
9回	<b>授業内容</b> キリスト教⑥ 十字軍・宗教改革などの教会の歴史について概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 216～227 ページを予め読み、教会の歴史を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、教会の歴史について整理して確認しておくこと。
10回	<b>授業内容</b> イスラム教① ムハンマドの生涯と「コーラン（クルアーン）」について概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 230～245 ページを予め読み、イスラム教の概観を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、ムハンマドと「クルアーン」を整理して確認しておくこと。
11回	<b>授業内容</b> イスラム教② イスラム帝国の発展と宗派分裂、イスラム過激派の動向を概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 246～253 ページを予め読み、イスラム教の歴史について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、各時代の特徴について整理して確認しておくこと。
12回	<b>授業内容</b> イスラム教③ 六信・五行・礼拝・巡礼・イスラム法を概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 254～263 ページを予め読み、イスラム教の主要な教理を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、イスラム教の主要な教理を整理して確認しておくこと。
13回	<b>授業内容</b> 宗教学① 宗教学という学問の特徴、宗教の定義などについて概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 288～301 ページを予め読み、宗教と宗教学の特徴を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、宗教学の特徴について整理して確認しておくこと。
14回	<b>授業内容</b> 宗教学② 修行・戒律・儀礼・組織・神話・呪術などの主要な概念を概説する。 <b>事前学修</b> テキストの 302～315 ページを予め読み、宗教学の基本概念について予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、宗教学の基本概念について整理して確認しておくこと。
15回	<b>授業内容</b> 宗教学③ 宗教学が扱う諸問題を概説する。授業内レポート提出。 <b>事前学修</b> テキストの 316～329 ページを予め読み、宗教学が扱う諸問題を予習しておくこと。 <b>事後学修</b> テキストと講義内容を踏まえ、宗教学が扱う諸問題について整理して確認しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『図解世界5大宗教全史』中村圭志著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2,376 円 (税込)
- ◆**参考書** 丸沼『宗教学 B11000』通信教育教材 (教材コード 000004)  
丸沼『宗教学概論 P30400』通信教育教材 (教材コード 000139)
- ◆**成績評価基準** 講義内で実施する小テスト (30%) と後期末に講義内で提出してもらった 2000 字程度のレポート (70%) とによって総合的に評価する。レポートは、後期に取り上げた内容の中から、各自がテーマを決めて作成してもらいます。
- ◆**授業相談 (連絡先)** : goda@chs.nihon-u.ac.jp

注意

## 講座内容 (シラバス)

## 〔哲学〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本授業は、近代から現代までの西洋の哲学の歴史を通して、哲学の一般的な知識を習得することを目的とした授業である。
- ◆**学修到達目標** この授業は、代表的な近現代の西洋の哲学者の考え方を説明することができるようになること、哲学者の観点を理解し、批判的な視点を持つことができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 授業動画を視聴し、課題を提出する。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス (授業内容の説明の他、成績評価や出席についての説明があるので必ず聞くこと)、哲学とはどのような学問なのか、近現代までの西洋哲学の概要 近現代までの西洋哲学にどのようなものがあるか簡単に調べる。 他の人が哲学についてどのように説明しているか、関連する文献や記事を読み、哲学とはどのような学問かについて、自分なりの流れを作って説明できるようにする。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—デカルトの考え方を中心に デカルトはどのような思想を展開したか調べる。 参考文献 小林道夫 2006『デカルト入門』筑摩書房、富田恭彦 2019『デカルト入門講義』筑摩書房 などを読み、デカルトについて説明できるようにする。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—経験論の考え方を中心に 経験論について調べる。 参考文献 一ノ瀬正樹 2016『英米哲学史講義』筑摩書房、富田恭彦 2017『ロック入門講義 イギリス経験論の原点』筑摩書房などを読み、経験論について説明できるようにする。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—カントの哲学を中心に 1 カントについて調べる。 参考文献 御子柴善之 2015『自分で考える勇気—カント哲学入門』岩波書店などを読み、カントの思想の特徴を整理する。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—カントの哲学を中心に 2 前回の内容を復習しておく。 参考文献 黒崎政男 2000『カント『純粋理性批判』入門』講談社 などを読み、カントの思想について説明できるようにする。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—カントの哲学を中心に 3 カントの倫理学とはどのようなものが確認しておく。 カントについては、NHKの「100分 de 名著」で取り上げられた際の紹介ページも参考になります→ <a href="https://www.nhk.or.jp/meicho/famousbook/98_kant/index.html">https://www.nhk.or.jp/meicho/famousbook/98_kant/index.html</a>
7回	授業内容 事前学修 事後学修	近代哲学—功利主義を中心に 功利主義について調べる。 参考文献 児玉聡 2012『功利主義入門—はじめての倫理学』筑摩書房などを読み、功利主義の思想の特徴を整理する。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	自分で考えてみる 1—動物の命 功利主義者ピーター・シンガーについて調べておく 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
9回	授業内容 事前学修 事後学修	現代哲学—分析哲学、科学哲学を中心に 分析哲学、科学哲学について調べる。 参考文献 飯田隆 2020『分析哲学 これからとこれまで』勁草書房、伊勢田哲治 2003『疑似科学と科学の哲学』名古屋大学出版会などを読み、分析哲学について整理する。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	現代哲学—実存主義を中心に 実存主義について確認しておく。 参考文献 澤田直 2002『新・サルトル講義—未完の思想、実存から倫理へ』などを読み、実存主義の思想について調べる。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	現代哲学—ボーヴォワールを中心に ボーヴォワールの思想について確認しておく。 参考文献 トリル・モイ (大橋洋一他訳) 2003『ボーヴォワール—女性知識人の誕生』平凡社 (残念ながら入手困難書。興味のある方は図書館で) などを読み、ボーヴォワールらの思想について調べる。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	現代哲学—ロールズを中心に ロールズについて調べておく。 参考文献 神島裕子 2018『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』中央公論社などを読んだり、授業内で提示された問題について考えてみる。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	自分で考えてみる 2—人種 人種と聞いてなにを自分がイメージするか、それについてどのような考えをもっているかを考える。 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
14回	授業内容 事前学修 事後学修	自分で考えてみる 2—親子 親子関係についての自分の考え方を整理する。 授業内容を参考に自分でさらに考える。参考文献 小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
15回	授業内容 事前学修 事後学修	まとめ 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12回の授業内容を復習しておく。 授業内容を振り返りし、それぞれの哲学者の要点を復習する。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 授業計画に記載した文献の他、授業中に紹介。  
小手川正二郎 2020『現実を解きほぐすための哲学』トランスビュー
- ◆**成績評価基準** 課題の提出 (40%)、レポート試験 (60%) により総合的に評価する。毎回出席票を提出していることを前提として評価の対象とする。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: 初回授業時に案内する

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔ドイツ語 I・II〕

中島 伸

◆**授業概要** ドイツ語文を書くために必要な中級レベルのドイツ語文法と語順(ドイツ語文の語順は日本語とよく似ています)を習得することによって、前期に扱ったドイツ語文よりも多少複雑なドイツ語文が書けるようになることを目標とします。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**学修到達目標** 1.正しいドイツ語の発音ができる。2.語彙力が身に付くようになる。3.中級レベルのドイツ語文法と語順の理解によって、前期に扱ったドイツ語文よりも多少複雑なドイツ語文が書ける。

◆**授業方法** 授業計画で挙げられている文法事項の説明後、練習問題で定着させていきます。更に、ドイツ語の語順を理解してもらうために、該当する文法事項を含む独作文の問題プリントを解いてもらいます。また、毎回授業終了直前にリアクションペーパー(授業の感想や質問事項等)を書いてもらい、これを基にして次の授業を進めていきます。そして、授業時に中間テストを行い、間違えた箇所と確認のために個別に解説を添えて答案を返却いたします。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件**

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	授業の進め方・オリエンテーション・再帰代名詞；まず、本授業の進め方を説明する。次に、再帰代名詞の形式と用法について説明する。 前期に説明した人称代名詞の用法と変化形を確認しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	再帰動詞；再帰代名詞と用いられる再帰動詞の種類について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 32～33 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	語法の助動詞(1)；動詞が2つ使われる構文(枠構造)、そして語法の助動詞の種類と意味について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 35～36 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	語法の助動詞(2)；語法の助動詞の用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	未来形・動詞の三基本形；未来形の形式と用法、そして動詞の三基本形の種類と形式について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 39～41 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	動詞の過去人称変化；動詞の過去人称変化とそれを含む過去形の文の用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 42～43 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	現在完了形；現在完了形の形式と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 45～46 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	受動態；受動態の形式と用法、そして状態受動の形式と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 47～48 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	複合動詞；2つの複合動詞(分離動詞・非分離動詞)の形式と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 49～50 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	形容詞；形容詞の用法、特に付加語的用法と比較級・最高級の用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 52～56 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	zu 不定詞；zu 不定詞の形式と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 57～58 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	接続詞；2つの接続詞(並列の接続詞・従属の接続詞)の種類と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 59～60 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	関係代名詞；2つの関係代名詞(定関係代名詞・不定関係代名詞)の種類と用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 61～63 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	接続法；接続法の形式と人称変化、そして接続法の用法について説明する。 前回の授業内容を整理したノートを確認し、前回の授業時に配布したプリントの問題を再度確認しておくこと。そして、教科書 65～68 頁を読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。そして、授業時に配布したプリントの問題を解いておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 予め配布された資料を熟読し、デキスト・プリントの該当箇所をまとめておくこと。 授業内容を確認し理解して、自身が解いた問題の解答が適切かどうかを再確認すること。

◆**教科書** 関淵『必要最低限のドイツ語文法 改訂版』中島伸著 DTP 出版 2019年

◆**参考書** 独和辞典が必要となります。推奨独和辞典は初回授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** 試験(50%)、中間テスト(30%)、授業参画度(20%)により総合的に評価します。

◆**授業相談(連絡先)**：

注意



# 講座内容 (シラバス)

## 〔国文学概論〕

山崎 泉

- ◆**授業概要** グローバル化の中、国文学の定義も徐々に変容しつつあります。本講義では国文学とは何かに関する概説を行った後、近世小説を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』の中から「白峰」を講読します。一つの作品とじっくり向き合う中で、国文学の神髄に触れ、国文学とは何かについて具体的に考察することを主眼とします。
- ◆**学修到達目標** 古典作品の読解力が向上し、国文学に対する理解が深まります。近世文学と先行する時代の文学との関連性が理解できるようになります。国文学を学ぶ上での基本的なスキルが向上します。
- ◆**授業方法** 主に講義形式で行います。まず、国文学の定義について考察した後、近世小説のジャンルとおおまかな歴史を学びます。その上で、上田秋成と『雨月物語』に関する概説を行い、「白峰」の本文を読み進めていきます。講読に際しては、原文の音読を受講生の皆さんにそれぞれ担当して頂く予定です。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・国文学とは何か？ 授業の進め方について説明します。その上で、国文学の定義について考察し、多様化する国文学の現在に関する解説を行います。
	事前学修	テキストに一通り目を通してください。
	事後学修	再度テキストに目を通してください。
2回	授業内容	近世小説 その歴史とジャンル 配布するレジュメを参照しつつ、多種多様なジャンルを生み出した近世小説の流れ及び代表的な作品について解説します。
	事前学修	前回の授業内容をノートにまとめてください。
	事後学修	レジュメの内容を再確認してください。
3回	授業内容	上田秋成 その生涯と作品 『雨月物語』の作者である上田秋成の人物像及び代表的な作品について解説します。
	事前学修	テキストの解説を読んでください。
	事後学修	配布したレジュメの内容を元に、これまでの授業内容を再確認してください。
4回	授業内容	「白峰」講読(1)「白峰」の本文を講読します。まず原文を読んだ後、現代語訳を参照、再び原文に戻って作品内容の解説を行います。
	事前学修	原文が読めるように予め準備しておいてください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
5回	授業内容	「白峰」講読(2)前回講読した内容を確認した後、引き続き「白峰」の本文を講読します。逐一、現代語訳も参照し、的確に内容を把握しながら読み進めていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
6回	授業内容	「白峰」講読(3)引き続き「白峰」の本文を講読します。講読と同時に、本文中に引用される和歌や先行文学作品に関する調査も行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
7回	授業内容	「白峰」講読(4)引き続き「白峰」の本文を講読します。講読と同時に、典拠とされた先行文学作品に関する学修も行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
8回	授業内容	「白峰」講読(5)引き続き「白峰」の本文を講読します。現代語訳に頼る比率を少しずつ下げ、原文のみで読み進めることができるようにしていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
9回	授業内容	「白峰」講読(6)引き続き「白峰」の本文を講読します。主人公の人物造形等、作品内容の深い部分にまで考察しながら、講読を進めていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
10回	授業内容	「白峰」講読(7)引き続き「白峰」の本文を講読します。自分なりに疑問点、問題点を見つけ、それらについて考察しながら読み進めることができるようにしていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
11回	授業内容	「白峰」講読(8)引き続き「白峰」の本文を講読します。最後まで講読した後、全体の内容確認を行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認してください。
	事後学修	前回講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめてください。
12回	授業内容	『雨月物語』その他の章について(1)『雨月物語』のその他の章について解説します。
	事前学修	『雨月物語』のその他の章の内容を確認してください。
	事後学修	口語訳でよいので、その他の章に目を通してください。
13回	授業内容	『雨月物語』その他の章について(2)引き続き、『雨月物語』のその他の章について解説します。
	事前学修	その他の章に目を通し、その内容を確認してください。
	事後学修	『雨月物語』各章の連関について理解してください。
14回	授業内容	まとめ・理解度の確認 これまで学修してきた内容の総括を行い、試験に備えます。
	事前学修	これまで学修してきた内容を改めて確認してください。
	事後学修	ノートの内容を確認し、問題点を整理してください。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	試験に備えた資料収集を行ってください。
	事後学修	授業で学んだことを振り返り、その内容をもう一度確認してください。

- ◆**教科書** 丸窓『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』上田秋成著 鷗月洋訳注 角川学芸出版(角川ソフィア文庫) 864円(税込)  
〔当日資料配布〕当日プリントを配布します。
- ◆**参考書** 丸窓 授業時に紹介します。
- ◆**成績評価基準** 平常点(20%)、試験(80%)により、総合的に評価します。毎回出席することを前提として採点します。
- ◆**授業相談**(連絡先): 初回授業時に案内します。

注意

# 講座内容 (シラバス)

## 〔宗教学概論〕

合田 秀行

- ◆**授業概要** 異文化を理解する上で、その宗教文化を理解することは、重要な要素と言えます。この講義では世界における五大宗教の理解を軸として、それぞれの開祖・主要な教義・聖典・歴史的展開を概説していきます。その過程で、諸宗教に共通して見られる概念について理解を深め、宗教学という学問の特徴や宗教学における基本的な概念・専門用語について取り上げます。
- ◆**学修到達目標** 主にセム系一神教と称されるユダヤ教・キリスト教・イスラム教（イスラーム）に関する歴史や教義について理解を深めることを主眼とします。さらに、総括として宗教学という学問領域の特徴や宗教学に特有の概念・専門用語の正確な理解を踏まえ、宗教学という学問について説明することができる。
- ◆**授業方法** 指定した市販教科書に基づいて講義形式で進めます。第3章「ユダヤ教」、第4章「キリスト教」、第5章「イスラム教」、第7章「宗教学」を取り上げます。テキストの内容によっては、補足資料を用いて、より理解を深めています。また、適時、関連する映像資料「ユダヤ教」「キリスト教」「イスラーム」などを鑑賞してもらい理解を深めます。2～3回程度、小テストを実施します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 講義の進め方全般に関してガイダンスを行う。ユダヤ教① ユダヤ人・ユダヤ教徒を理解し、その現代に至る歴史的展開を概観する。
	事前学修: テキストの 122～133 ページを読み、ユダヤ教の概観を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、ユダヤ教の概観を整理して確認しておくこと。
2回	授業内容: ユダヤ教② ユダヤ教の主要な教義である律法・安息日などを解説する。
	事前学修: テキストの 134～143 ページを予め読み、ユダヤ教の教義を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、ユダヤ教の教義を整理して確認しておくこと。
3回	授業内容: ユダヤ教③ 聖書のエピソードを講読して、ユダヤ教の理解を深める。
	事前学修: テキストの 144～155 ページを予め読み、聖書について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、聖書のエピソードを整理して確認しておくこと。
4回	授業内容: キリスト教① キリスト教の概観とイエスという人物伝について詳述します。
	事前学修: テキストの 158～171 ページを予め読み、イエスの生涯について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、イエスの生涯について整理して確認しておくこと。
5回	授業内容: キリスト教② イエスの言葉（山上の垂訓・とんち問答・謎めいた言葉）を概説します。
	事前学修: テキストの 172～183 ページを予め読み、イエスの言葉について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、イエスの言葉について整理して確認しておくこと。
6回	授業内容: キリスト教③ 使徒たちの言行録とパウロによる贖罪の神学・死と復活を概説する。
	事前学修: テキストの 184～197 ページを予め読み、使徒とパウロについて予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、使徒とパウロについて整理して確認しておくこと。
7回	授業内容: キリスト教④ 救いと裁き、洗礼と聖餐、クリスマスと復活祭、修道会について説明する。
	事前学修: テキストの 198～207 ページを予め読み、教理と儀礼について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、教理と儀礼について整理して確認しておくこと。
8回	授業内容: キリスト教⑤ 東方正教会・ローマカトリック教会・プロテスタント 諸教会を概観します。
	事前学修: テキストの 208～215 ページを予め読み、キリスト教諸宗派について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、諸教会について比較して理解を深めて確認しておくこと。
9回	授業内容: キリスト教⑥ 十字軍・宗教改革などの教会の歴史について概説する。
	事前学修: テキストの 216～227 ページを予め読み、教会の歴史を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、教会の歴史について整理して確認しておくこと。
10回	授業内容: イスラム教① ムハンマドの生涯と『コーラン（クルアーン）』について概説する。
	事前学修: テキストの 230～245 ページを予め読み、イスラム教の概観を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、ムハンマドと『クルアーン』を整理して確認しておくこと。
11回	授業内容: イスラム教② イスラム帝国の発展と宗派分裂、イスラム過激派の動向を概説する。
	事前学修: テキストの 246～253 ページを予め読み、イスラム教の歴史について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、各時代の特徴について整理して確認しておくこと。
12回	授業内容: イスラム教③ 六信・五行・礼拝・巡礼・イスラム法を概説する。
	事前学修: テキストの 254～263 ページを予め読み、イスラム教の主要な教理を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、イスラム教の主要な教理を整理して確認しておくこと。
13回	授業内容: 宗教学① 宗教学という学問の特徴、宗教の定義などについて概説する。
	事前学修: テキストの 288～301 ページを予め読み、宗教と宗教学の特徴を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、宗教学の特徴について整理して確認しておくこと。
14回	授業内容: 宗教学② 修行・戒律・儀礼・組織・神話・呪術などの主要な概念を概説する。
	事前学修: テキストの 302～315 ページを予め読み、宗教学の基本概念について予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、宗教学の基本概念について整理して確認しておくこと。
15回	授業内容: 宗教学③ 宗教学が扱う諸問題を概説する。授業内レポート提出。
	事前学修: テキストの 316～329 ページを予め読み、宗教学が扱う諸問題を予習しておくこと。
	事後学修: テキストと講義内容を踏まえ、宗教学が扱う諸問題について整理して確認しておくこと。

- ◆**教科書** 丸函『図解世界5大宗教全史』中村圭志著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2,376 円 (税込)
- ◆**参考書** 通材『宗教学 B11000』通信教育教材 (教材コード 000004)  
通材『宗教学概論 P30400』通信教育教材 (教材コード 000139)
- ◆**成績評価基準** 講義内で実施する小テスト (30%) と後期末に講義内で提出してもらう 2000 字程度のレポート (70%) とによって総合的に評価する。レポートは、後期に取り上げた内容の中から、各自がテーマを決めて作成してもらいます。
- ◆**授業相談 (連絡先)**: goda@chs.nihon-u.ac.jp

**注意**

# 講座内容 (シラバス)

## 〔経営学〕

所 伸之

- ◆**授業概要** 後期の経営学は応用分野を中心に授業を行う。すなわち、非営利組織の経営、環境問題と企業、CSR、CSV、イノベーション等、企業活動を展開する上で重要なテーマを重点的に取り上げて企業との関わりを考察する。とりわけ環境問題は企業活動に大きな影響を与える要因となっているため、自動車業界や金融業界といった個別の業界の取り組みを取り上げて、新製品開発や競争優位などの視点から掘り下げていくことにする。
- ◆**学修到達目標** 1. 環境問題が企業活動に与える影響について理論的な説明ができる。 2. トリプル・ボトムライン等、企業評価の新しい流れについて具体的な説明ができる。 3. イノベーションに関する基本的な考え方を説明できる。
- ◆**授業方法** 授業はパワーポイントを用いて行う。90分の授業を2つのパートに分け、前半部分(70分)はパワーポイントを用いた授業、後半部分(20分)は授業内容に関連した小テストを実施する。小テストの目的は、授業内容をより深く理解することであり、授業ノート等、全て参照可で行う。またDVDを教材として3回ほど使用する予定である。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90分)**

1回	授業内容	ガイダンス：授業の進め方、評価の仕方、授業で取り上げる内容について説明する。経営学の対象・方法について基本的な考え方を解説する。
	事前学修	事前にシラバスに目を通し、全体の流れ、授業で取り上げる内容の概要について把握しておくこと。
	事後学修	経営学の対象・方法についての授業ノートを整理し、理解を深めておくこと。
2回	授業内容	株主主権論：株式会社の仕組み、株主主権論について解説し、問題点を考える。
	事前学修	株式会社の仕組みや株主主権論の考え方について事前に関連する資料に当たっておくこと。
	事後学修	株主主権論とステークホルダーアプローチの考え方を整理し、各々のメリット、デメリットについてまとめておくこと。
3回	授業内容	コーポレートガバナンス：コーポレートガバナンスに関する日米比較を行い、各々の特徴について解説する。
	事前学修	監査役会制度、委員会設置会社について事前に調べておくこと。
	事後学修	コーポレートガバナンスに関する考え方について授業ノートを整理し、理解を深めておくこと。
4回	授業内容	循環型社会の構築と企業：循環型社会への移行が企業活動に及ぼす影響について解説する。
	事前学修	リサイクル法などについて事前に調べておくこと。
	事後学修	3Rの実践が企業の活動にどのような影響を与えているかについて整理しておくこと。
5回	授業内容	自動車メーカーの戦略と環境問題：次世代カーの開発やリサイクルへの取り組み等、自動車メーカーの環境問題への取り組みを経営戦略の視点に立って解説する。
	事前学修	ハイブリッドカーや電気自動車の開発、販売状況について自動車メーカー各社の取り組みを調べておくこと。
	事後学修	電気自動車の今後の動向について関連する資料に当たってみること。
6回	授業内容	DVD「自動車革命」：トヨタのPHV開発を追ったDVDを視聴し、環境問題と自動車メーカーの経営戦略について考える。
	事前学修	トヨタのエコカー開発の歴史について調べておくこと。
	事後学修	ガソリンから電気へという自動車市場をめぐる動きについて、今後の展開を考えてみること。
7回	授業内容	金融業界と環境問題：エコファンド、SRI、ESG投資等、金融業界と環境問題の関係について解説する。
	事前学修	金融業界と環境問題の関りの歴史について調べておくこと。
	事後学修	ESG投資の今後の動向について関連資料に当たってみること。
8回	授業内容	非営利組織の経営：NPOの類型、NPOと企業の関係、NPOの財源等、非営利組織の経営の現状について解説する。
	事前学修	営利組織と非営利組織の違いについて事前に調べておくこと。
	事後学修	NPOの財源確保をどのように行うかについて成功事例を調べてみること。
9回	授業内容	企業内教育と環境問題：コンプライアンスやリスクマネジメントの視点から企業内教育と環境問題について解説する。
	事前学修	企業内「教育の実態を企業が公表している資料に基づいて調べておくこと。
	事後学修	企業内教育において環境問題を扱う意義について授業ノートを整理しておくこと。
10回	授業内容	低炭素社会の構築とイノベーション：イノベーションによる社会変革のプロセスについてシュンペーターの理論に基づきながら解説する。
	事前学修	シュンペーターのイノベーション論について基本的な考え方を理解しておくこと。
	事後学修	地球温暖化問題をイノベーションにより解決できるか否かについて予想してみること。
11回	授業内容	CSR、CSVの実践：CSRやCSVの考え方を解説し、具体的な企業活動に落とし込んで説明する。
	事前学修	CSR、CSVについて調べておくこと。
	事後学修	CSR、CSVの可能性と問題点について授業ノートを整理しておくこと。
12回	授業内容	DVD「ダッカ 奇跡を呼ぶ融資」：バングラディッシュの貧困問題に取り組むBOPビジネスを通じてCSVの可能性について考える。
	事前学修	BOPビジネスの内容について事前に調べておくこと。
	事後学修	BOPビジネスの今後の可能性について関連資料に当たってみること。
13回	授業内容	持続可能性とマネジメントの新潮流：サステナビリティと企業経営の関係について国際的な動きを視野に入れながら解説する。
	事前学修	サステナビリティをめぐる国連のこれまでの活動を調べておくこと。
	事後学修	持続可能な経営とはいかなる経営を指すのかについて整理しておくこと。
14回	授業内容	DVD「煙とカネと沈む島」：温暖化問題を巡る先進国、途上国、島嶼国の立場の違いを理解し、企業活動に及ぼす影響について考える。
	事前学修	温暖化防止に関する国際条約「パリ協定」について調べておくこと。
	事後学修	温暖化問題をめぐる各国の利害対立が企業活動に与える影響について整理しておくこと。
15回	授業内容	期末試験
	事前学修	過去14回の授業について内容を再度、復習しておくこと。
	事後学修	期末試験を含めて授業全体の総括を行うこと。

- ◆**教科書** [当日資料配布] 教科書は特に使用しない。必要な資料は適宜、授業時に配布する。
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 期末試験(70%)、平常点(30%)により総合的に評価する。
- ◆**授業相談 (連絡先)** :

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔市場調査論〕

最上 健児

- ◆**授業概要** 線型回帰分析を踏まえ、その拡張として理解することのできる、非線型回帰分析を紹介する。具体的には累乗モデル、ロジスティック回帰分析を取り扱い、最終的にはロジットモデルを紹介する。ロジットモデルはマーケティング固有のモデルであり、市場調査において極めて重要なモデルとなる。本講義では「仮定」をもたらす「結論」への影響を意識し、ロジットモデルの優位性を確認していく。
- ◆**学修到達目標** 仮定により結論が異なることを知る。  
指数モデルの推定を行える。  
ロジスティック回帰分析の推定が行える。  
ロジットモデルを数学的に理解する。
- ◆**授業方法** 授業は数回ごとにまとまった内容の講義となっている。ある程度区切りのいい部分で毎回の授業を構成するが、前回の内容を踏まえ当日の授業を進める形式をとるため当日の資料を入手するだけにとどまらず前回の内容を確認しておくことが好ましい。提示している資料を配信するが、併せてノートを取ることを強く勧める。ノートは資料は写すのではなく、式の変換などを自ら行い、資料と同じ結果が導かれていることを確認していくようにしてください。

◆**履修条件**

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容： $x^n$ の導関数 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
2 回	授業内容： 指数と対数 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
3 回	授業内容： 仮定と結論の関係 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
4 回	授業内容： ロジスティック曲線の紹介 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
5 回	授業内容： ロジスティック曲線と線形回帰分析の関係 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
6 回	授業内容： 尤度と最尤推定 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
7 回	授業内容： ロジスティック回帰分析におけるパラメータの解釈 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
8 回	授業内容： ロジスティック回帰分析の多変数化 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
9 回	授業内容： 対数変換時の注意事項 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
10 回	授業内容： 完全分離 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
11 回	授業内容： 第一種極値分布の分布関数と密度関数 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
12 回	授業内容： ロジットモデルの確率的部分 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
13 回	授業内容： ロジットモデルの確定的部分 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
14 回	授業内容： ロジットモデルとロジスティック回帰分析の関係 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。
15 回	授業内容： ロジットモデルの多変数化 事前学修：「最上資料館」から資料を入手し内容を確認する。 事後学修：「ゆっくり市場調査論」の該当する動画を視聴し、授業内容と照らし合わせる。

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 「最上資料館」より配信。閲覧には PowerPoint Keynote を使用してください。  
URL <http://mogami-labo.sakura.ne.jp/>  
**〔事前資料送付〕** 「最上資料館」より配信。閲覧には PowerPoint Keynote を使用してください。  
URL <http://mogami-labo.sakura.ne.jp/>

◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** 最終レポート（100%）によって評価する。

- ◆**授業相談（連絡先）**：大学・学籍番号・氏名を、明示し、電子メールで問い合わせてください。  
e-mail address : kenji.mogami@gmail.com

**注意**

## 講座内容（シラバス）

〔商業史〕 オープン受講：不可

竹内 真人

◆**授業概要** 商業史（後期）では、商業史・帝国史における主要な学説・理論を紹介・整理する。ホブスン・レーニン・シュンペーターの古典的帝国主義論、ギャラハーとロビンソンの自由貿易帝国主義論、ケインとホブキンスのジェントルマン資本主義論、ウォーラー・ステインの近代世界システム論等について解説する。現代世界の諸問題を歴史学的に考察するための知的枠組みを構築できるようにすることを目的としている。

◆**学修到達目標** 1. 商業と帝国主義の関係について説明できる。  
2. 様々な帝国主義論（古典的帝国主義論、自由貿易帝国主義論、ジェントルマン資本主義論、近代世界システム論等）の内容について説明できる。  
3. オランダ、イギリス、アメリカ合衆国という近代の覇権国家が果たした役割と歴史の変遷について説明できる。

◆**授業方法** プリント（資料）や映像資料（DVD、パワーポイント）を活用して授業を行う。第1～3回目では、プリント（資料）を活用しながら、資本主義的世界体制の成立過程を考察する。第4～13回目では、プリント（資料）に沿いながら、様々な帝国主義論の内容とそれらの帝国主義論の違いを解説する。第14回目では、映像資料を活用しながら、脱植民地化がいかに進展してきたのかについて説明する。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。令和元年度屋間スクーリング（後期）『商業史』（竹内真人）とは積み重ね不可。

◆**授業計画**〔各90分〕

1回	授業内容：「商業史（後期）」の課題と方法 事前学修：世界史事典等を活用して、帝国主義について調べておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理しておくこと。
2回	授業内容：資本主義的世界体制の成立 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
3回	授業内容：重商主義、自由貿易主義、帝国主義 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理しておくこと。
4回	授業内容：ホブスン・レーニンの帝国主義論 事前学修：前回までの授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
5回	授業内容：シュンペーターの帝国主義論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理しておくこと。
6回	授業内容：自由貿易帝国主義論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
7回	授業内容：周辺理論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
8回	授業内容：ジェントルマン資本主義論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
9回	授業内容：ジェントルマン資本主義論への諸批判 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
10回	授業内容：ブローデル「地中海」の方法 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
11回	授業内容：近代世界システム論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
12回	授業内容：文化帝国主義論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
13回	授業内容：ブリティッシュ・ワールド論 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理しておくこと。
14回	授業内容：脱植民地化とグローバリゼーション 事前学修：前回の授業のノートを確認し、授業内容を理解しておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理しておくこと。
15回	授業内容：試験及びまとめ 事前学修：これまでの授業内容を確認し、ノートをよく復習しておくこと。 事後学修：授業内容を確認・理解すること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕特に教科書は指定せず、当日にプリント（資料）を配布する。

◆**参考書** 〔選定〕『商業史 S32100』 通信教育教材（教材コード000555）

◆**成績評価基準** 試験の結果（80%）、授業への取り組み（授業内レポート等、20%）をもって総合的に評価する。

◆**授業相談**（連絡先）：takeuchi.mahito@nihon-u.ac.jp

注意

## 講座内容 (シラバス)

### 〔社会学B〕

服部 慶巨

- ◆**授業概要** 前期の講義内容を応用し、日本における人間関係の特徴について解説する。日本人特有の社会観の現実や基礎的部分を、できるだけ具体例を挙げて説明する。なお、前期同様に担当者が中学・高校の教員として接してきた生徒たちの学校生活や進路選択、および担当者自身の人生経験をふまえた上で、受講者自身がその人生や人間関係を理論的に分析できるよう講義を進めてゆく。展開は、後期から履修開始する学生にも配慮される。
- ◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、社会(科)学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。
- ◆**授業方法** 教科書・プリント・板書(パワーポイント)などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料(CD、DVD、マンガ、その他)を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が求められる。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は、各2時間を目安とする。
- ◆**履修条件** 同時期(後期)開講の「社会学A」との積み重ね履修不可。
- ◆**授業計画** [各 90分]

1回	授業内容：後期ガイダンス(講義の方針、展開方法、目標などを確認する) 事前学修：シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。 事後学修：キストを入手し、「もくじ」に目を通しておく。
2回	授業内容：「社会」とは何か？(前期の振り返り) 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
3回	授業内容：場の理論 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
4回	授業内容：農耕民族と狩猟民族 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
5回	授業内容：タテ社会① 序列 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、自身の「今まで」を振り返っておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
6回	授業内容：タテ社会② 資格性 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
7回	授業内容：タテ社会③ we と they 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
8回	授業内容：日本(人)的社会観① 間人主義 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
9回	授業内容：日本(人)的社会観② 縁(えにし) 事前学修：日常生活において「気にしていること」「気になること」を説明できるようにしておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
10回	授業内容：日本(人)的社会観③ 日本人と異人 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
11回	授業内容：日本(人)的社会観④ 外国人とガイジン 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
12回	授業内容：日本(人)的社会観⑤ 相互依存理論 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
13回	授業内容：日本(人)的社会観⑥ 浪花節的人間関係 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。その際、日本で生活してく上で「人間関係」の何を重視すべきか考えてみる。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
14回	授業内容：理解度確認(まとめ) 事前学修：これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。 事後学修：試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：これまでの講義内容について、テキストやノート、資料を読んで、自身でまとめておく。 事後学修：今後の受講、または日常生活改善に向けて、講義内容を再確認する。

- ◆**教科書** 関沼『人間生活の理論と構造』夏川康男(ほか) 学文社  
関沼『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社  
(他の講座でこの本を入手済みの人は、それを使います。なお、再販時期が未定のため、未入手の人には後日指示します)
- ◆**参考書** [当日資料配布] 必要に応じてプリント配布
- ◆**成績評価基準** 終講試験(70%)、授業参加度(20%)、レポート類(10%)で評価する。なお、全講義回数の3分の2以上の出席が原則(欠欠などは申し出ること)。
- ◆**授業相談(連絡先)**：講義の前後、および hattori.yoshinobu11@nihon-u.ac.jp にて

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔日本史特講Ⅰ〕

坂口 太助

- ◆**授業概要** 全体テーマ：海軍と海運から見た日本の近代  
日本は四面を海に囲まれた島国であり、現在の日本経済や私たちの生活も「海」や「船」を抜きに考えることはできない。過去の日本の見るうえで「海」や「船」に関する問題に注目することは重要となる。本講義では、近代（明治・大正・昭和戦前期）の日本を海軍・海運という視点から考えていく。
- ◆**学修到達目標** 1. 日本は四面環海の島国であり、「海」や「船」という視点から日本の近代史を理解する。  
2. 結果を見るだけでなく「過程」を考えることで、歴史学的（実証的）な考え方・分析を行う力を養う。  
3. 国際環境を把握し、そのうえで日本が選択した対応や進路について考えることで、「世界の中の日本」という視点から物事を見る力を養う。
- ◆**授業方法** プリントを配布して講義形式で行い、要点については板書する。筆記試験は実施せず、課題（レポート）とアンケート（小テストではなく感想シートのようなもの）を授業の進行に応じて複数回実施し、その内容を総合的に判断し成績を算定する。なお、受講者の状況（受講者数等）によっては授業の内容・方法を変更する場合もある。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容 ガイダンス及び総論：この講義の目的・到達目標・評価方法等について解説するとともに、総論として日本の「近代」という時代の概要・特徴を確認する。
	事前学修 これまでに近代史関係の講義を受講していた場合には、その内容を簡単に振り返っておくこと。
	事後学修 歴史は話が続いていくので確認・復習が大切となる。プリント・教科書をもとに授業内容を整理しておくこと。
2回	授業内容 日本軍の制度・組織と特徴①：導入・前提として、旧日本軍の制度・組織や特徴について考えていく。
	事前学修 教科書の32～33、74～76ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
3回	授業内容 日本軍の制度・組織と特徴②：前回に続き、現在の自衛隊と比較しながら日本軍の制度・組織や特徴について考えていく。
	事前学修 視聴したことがある戦争に関する映画やドラマ等について、可能な範囲でタイトルを思い出しておくこと。また、購入した映画のパンフレット等があれば見ておいてほしい。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
4回	授業内容 幕末～明治初期の日本海軍と日本海運①：江戸時代末期、ペリー来航前後の欧米諸国の海軍の状況と、日本の西洋式軍艦・船舶の導入について考えていく。
	事前学修 授業の中で、日本に現存する「歴史遺産」と言える船舶について紹介する予定。機会があれば見学しておいてほしい。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
5回	授業内容 幕末～明治初期の日本海軍と日本海運②：旧幕府軍と明治新政府軍との間で戦われた戊辰戦争を海軍、特に江戸幕府の軍艦「開陽丸」を中心に考えていく。
	事前学修 教科書の26～28ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
6回	授業内容 課題学習①：中間のまとめとして課題を課すので作成・提出すること。
	事前学修 中間のまとめとなるので、第1～5回の内容を整理しておくこと。
	事後学修 ここまでの内容をふまえて中盤に進んでいくので、課題の作成や教員による講評等を通じてポイントを再確認しておくこと。
7回	授業内容 明治期の日本海軍と日本海運①：明治時代中期、日清戦争ころまでの日本の海軍と海運、造船業について考えていく。
	事前学修 教科書の39～42ページ、86～92ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
8回	授業内容 明治期の日本海軍と日本海運②：前回に続き、明治中期までの日本の海軍と海運、造船業について考えていく。
	事前学修 プリントをもとに前回の授業概要や用語等を確認しておくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
9回	授業内容 明治末～大正期の日本海軍と日本海運①：明治時代末期、日露戦争期における日本海軍の発展・拡張について考えていく。
	事前学修 教科書の101～106ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
10回	授業内容 明治末～大正期の日本海軍と日本海運②：第一次世界大戦の「大戦景気」を迎える中での日本の海軍と海運、造船業について考えていく。
	事前学修 教科書の151、160～162、170～173ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
11回	授業内容 課題学習②：中間のまとめとして課題を課すので作成・提出すること。
	事前学修 中間のまとめとなるので、第7～10回の内容を整理しておくこと。
	事後学修 ここまでの内容をふまえて終盤に進んでいくので、課題の作成や教員による講評等を通じてポイントを再確認しておくこと。
12回	授業内容 昭和戦前期の日本海軍と日本海運①：第一次世界大戦後、軍縮と不況の時代の日本の海軍と海運、造船業について考えていく。
	事前学修 教科書の203～207ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
13回	授業内容 昭和戦前期の日本海軍と日本海運②：軍縮条約が失効してから太平洋戦争までの日本海軍について考えていく。
	事前学修 教科書の222～224、242～256ページを読んでおくこと。
	事後学修 プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
14回	授業内容 まとめ：講義のまとめを行うとともに、近代の日本海軍と海運の特徴・問題点について考えていく。
	事前学修 プリントをもとに前回の授業概要や用語等を確認しておくこと。
	事後学修 ここまでの授業内容をよく整理しておくこと。
15回	授業内容 課題学習③：授業の最後のまとめとして課題を課すので作成・提出すること。
	事前学修 最後のまとめとなるので、第12～14回を中心にこれまでの授業内容を復習しておくこと。
	事後学修 課題の作成を通じて授業の要点を再確認しておくこと。

- ◆**教科書** 関沼『もういちど読む山川日本近代史』鳥海靖、山川出版社、2013年。
- ◆**参考書** 関沼『海軍と日本』池田清、中公新書、1981年
- ◆**成績評価基準** 課題（レポート）80%、授業参画度20%。授業参画度は授業内アンケートの内容等から判断する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内する。

**注意**

## 〔商業政策〕

花田 哲郎

- ◆**授業概要** 前期の商業政策の授業を受けて、さらに「町おこし」や「地域活性化」を行う際に利用すべきマーケティング以外の経営学の考え方や手法などについて学んでいきます。また「町おこし」や「地域活性化」でコンセプトとなるエネルギー資源や環境、農業や水産業などのテーマについて、学ぶとともに、実際に町おこしに取り組んでいる事例を複数取り上げ、受講生の議論を通じて、実態を学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 「町おこし」や「地域活性化」を実行する際に利用できる経営学の考え方や手法も理解できるようになること。また、実際に推進されている「町おこし」や「地域活性化」の事例について、その成功理由などを理解し、説明できるようになること。
- ◆**授業方法** パワーポイントで作成した講義資料をスクリーンに投影しながら講義を進めます。また中間と最終の2回、授業内テストを実施します。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介－組織の運営のための経営管理論(1) 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
2回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介－組織運営のための経営管理論(2) 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
3回	授業内容: 町おこしのための経営学紹介－経営戦略 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
4回	授業内容: 町おこしのための経営学－組織倫理とコンプライアンス 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
5回	授業内容: 町おこしにおける商業と信とリスク 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
6回	授業内容: 町おこしのための商業集積 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
7回	授業内容: 前半のまとめ + 中間テスト 事前学修: 1～6回の授業で学んだことを整理し理解を確かなものにしておくこと。 事後学修: テストで正解でなかったところについて、関係する授業で配布された資料やメモしたノートを読み返し知識や考え方を整理しておくこと。
8回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマー農業。水産 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
9回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマーエネルギー資源 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
10回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマー新エネルギー 事前学修: 新聞や雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向にふれること 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
11回	授業内容: 町おこしでコンセプトとなりうるテーマー環境 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
12回	授業内容: 事例紹介(1) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
13回	授業内容: 事例紹介(2) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
14回	授業内容: 事例紹介(3) 事前学修: 参考書などで関連した箇所を読み、整理しておくこと。 事後学修: 講義で学んだ内容について、配布資料やノート見直して整理しておくこと。
15回	授業内容: 後半のまとめ + 最終テスト 事前学修: 1～14回の授業で学んだことを整理し理解を確かなものにしておくこと。 事後学修: テストで正解でなかったところについて、関係する授業で配布された資料やメモしたノートを読み返し知識や考え方を整理しておくこと。

- ◆**教科書** 特になし
- ◆**参考書** 丸沼『さまざまな資源』 花田哲郎・中村玲子 桜門書房
- ◆**成績評価基準** 平常点評価 100%  
<内訳>授業内テスト: 100% (中間: 50% / 最終: 50%)
- ◆**授業相談 (連絡先):**

注意



## 講座内容（シラバス）

〔簿記論Ⅰ〕 オープン受講：不可

青木 隆

- ◆**授業概要** この講義では、主に簿記を初めて学ぶ方を対象として、複式簿記の基礎を学びます。簿記一巡の手続を学修し、特に重要な決算手続に関して理解を深めるとともに、最終的には、日本商工会議所主催の簿記検定3級の合格を目指します。講義内では可能な限り問題演習に時間を割いて、理解度を深めます。
- ◆**学修到達目標** (1)複式簿記に関する基本的な用語や概念を理解できる。(2)簿記一巡の手続を理解し、各手続において帳簿等への記入ができる。(3)精算表や財務諸表(貸借対照表および損益計算書)が作成できる。(4)日本商工会議所主催の簿記検定3級に合格できる。
- ◆**授業方法** 講義形式を基本とします。また問題演習を可能な限り取り入れます。また第2回講義以降、講義の冒頭に前回の講義内容をおさらいする確認テストを行います。問題演習においては電卓が必要ですので用意しておいてください。電卓についてはどのメーカーのでも構いませんが、少なくとも10桁対応の電卓が望ましいです。
- ◆**履修条件**
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：前期の復習 前期の復習を行います。 事前学修：テキスト1～137ページを通読 事後学修：ワークブック2～63ページを復習
2回	授業内容：手形取引の処理 手形取引に関する処理について説明します。 事前学修：テキスト138～148ページを通読 事後学修：ワークブック64～69ページを復習
3回	授業内容：有形固定資産の処理 有形固定資産に関する処理について説明します。 事前学修：テキスト149～164ページを通読 事後学修：ワークブック70～77ページを復習
4回	授業内容：貸倒損失と貸倒引当金 貸倒損失および貸倒引当金に関する処理について説明します。 事前学修：テキスト165～170ページを通読 事後学修：ワークブック78～80ページを復習
5回	授業内容：資本 株式会社の設立や増資、繰越利益剰余金の意義とその配当について説明します。 事前学修：テキスト171～179ページを通読 事後学修：ワークブック81～83ページを復習
6回	授業内容：収益と費用、税金の処理 収益、費用および税金の処理について説明します。 事前学修：テキスト181～199ページを通読 事後学修：ワークブック84～96ページを復習
7回	授業内容：伝票の処理 伝票の処理について説明します。 事前学修：テキスト200～217ページを通読 事後学修：ワークブック97～103ページを復習
8回	授業内容：期中における試算表の作成① 会計期間中における試算表の作成について説明します。 事前学修：テキスト218～223ページを通読 事後学修：ワークブック104～114ページを復習
9回	授業内容：期中における試算表の作成② 前回の授業内容を踏まえて問題演習を中心に授業を行います。 事前学修：テキスト218～223ページを通読 事後学修：ワークブック104～114ページを復習
10回	授業内容：決算整理と精算表の作成① 決算整理の内容と精算表の作成について説明します。 事前学修：テキスト224～231ページを通読 事後学修：ワークブック115～118ページを復習
11回	授業内容：決算整理と精算表の作成② 前回の授業内容を踏まえて問題演習を中心に授業を行います。 事前学修：テキスト224～231ページを通読 事後学修：ワークブック115～118ページを復習
12回	授業内容：財務諸表の作成① 前回の授業内容を踏まえて貸借対照表および損益計算書の作成について説明します。 事前学修：テキスト231～239ページを通読 事後学修：ワークブック119～125ページを復習
13回	授業内容：財務諸表の作成② 前回の授業内容を踏まえて問題演習を中心に授業を行います。 事前学修：テキスト231～239ページを通読 事後学修：ワークブック119～125ページを復習
14回	授業内容：総合問題演習 これまでの授業内容を総括して問題演習(60分)および解説(30分)を行います。 事前学修：テキスト、ワークブックおよびレジュメを参照 事後学修：問題演習の内容およびワークブック126～147ページ復習
15回	授業内容：期末試験 事前学修：テキスト、ワークブックおよびレジュメを参照 事後学修：

- ◆**教科書** 汎用「検定簿記講義3級商業簿記(2020年度版)」 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編 中央経済社  
汎用「検定簿記ワークブック3級商業簿記(最新版)」 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編 中央経済社  
当日資料配布

◆**参考書**

- ◆**成績評価基準** 全体の3分の2以上の出席を前提条件として学修到達目標(1)(2)(3)を評価するための試験 80%、確認テスト 20%

- ◆**授業相談(連絡先)**：担当教員の研究室のメールアドレス aoki.takashi36@nihon-u.ac.jp

注意

# 講座内容（シラバス）

## 〔財政学総論 / 財政学〕

楠谷 清

### ◆授業概要

◆**学修到達目標** 財政を総合的に理解できるようにするため、現代財政の意義、役割の分析を通じて、批判的思考力を習得する。それによって租税概念、公債概念、公債負担、社会保障財政の意義と問題点、地方財政の意義と問題点を説明することができるようにする。

◆**授業方法** テキスト中心に講義形式の授業を行う。適宜、パワーポイントを使用する。必要な資料は講義中に配布する。本授業の事前学修・事後学修は各2時間を目安としている。

◆**履修条件** 経済学概論、経済学原論、財政学総論 / 財政学（前期）を履修していることが望ましい。

### ◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容 事前学修 事後学修	【ガイダンス、導入授業】授業ガイダンス。私たちの生活が財政と深く結びついていることを学修し、財政学の学問体系を理解し説明できる。さらに、日本の租税構造を主要国の構造と比較して日本の租税構造の特徴を学習する。教科書を手し、第1章「財政の三大機能」を読み、財政機能を考察する。また、第4章「租税原則と日本の税制」の「4. 日本の租税構造」を読みその構造と特徴を考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。財政の機能について市場の失敗との関係を自分なりの説明をまとめる。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	【日本の所得税制】わが国の所得税の仕組みと特徴について学習し、日本の所得税構造の特徴を受講生が説明できる。教科書 第4章の「5. 所得税」を読み、その構造と特徴について考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、わが国における所得税の特徴を税率構造、課税最低限、超過累進税などの点から自分なりの説明をまとめる。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	【日本の消費税制】わが国の消費税の仕組みを学習し、日本の消費税構造の特徴を受講生が説明できる。教科書 第4章の「6. 消費税」を読み、その構造と特徴について考察する。さらに、「6. 消費税のメリット・デメリット」を読み、租税原則、日本の財政状況、少子高齢化等を踏まえて、消費税のメリット・デメリットについて考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、付加価値税を導入している諸国の軽減税率採用の比較を考察してみる。また、租税原則、日本の財政状況、少子高齢化、格差拡大の現状等を踏まえて、消費税のメリット・デメリットについて考察する。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	【日本の公債問題1】公債の定義と種類、公債の発行方法および償還方法を学習し、受講生が公債の仕組みや公債の評価を説明できる。教科書 第5章の「1. 公債の定義と種類」、「2. 公債の発行方法および償還方法」を読み、財源調達手段としての租税との相違、公債の種類や発行方法について考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、公債発行に関するわが国の財政規定を確認し、その財政規定の根拠を、自分なりの説明をまとめる。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	【日本の公債問題2】公債負担の問題に関する主要学説（ケインズ派経済学、ポーエン・デービス・コップ、モディリアーニの説、中立命題）を考察し、各学説の意義と相違点を明らかにし、受講生が公債負担に関する各学説を説明できる。教科書 第5章の「3. 公債負担に関する考え方」を読み、負担に関する各学説を考察する。 中立命題の成立可能性に関する理論的論争を参考に、自分なりの説明をまとめる。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	【日本の公債累増の問題】公債発行の累増によって、財政の硬直化、世代間の不公平、経済に損失をもたらす非効率的な大きな政府、民間経済活動への阻害、わが国の財政状況を学習し、累増による問題点を考察し、受講生が説明できる。教科書 第5章の「4. 公債累増の問題点」、「5. 日本の財政状況と公債発行の推移」を読み、わが国の公債発行残高の状況を踏まえて累増の問題点を考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、わが国の財政再建に求められることは何か、自分なりの説明をまとめる。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	【社会保障制度と財政】わが国の社会保障制度の意義と財政との関連を学習し、超高齢社会の進展によって、社会保障給付費が拡大していることを学習し、制度の仕組みと意義、現状を受講生が説明できる。教科書 第6章の「1. 超高齢社会と社会保障」を読み、社会保障の概念と意義について考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、社会保障給付費の概念と一般会計予算の社会保障関係費の概念の違いを確認し、社会保障関係費の一般会計予算に占める推移と現役世代（若年世代）の負担について、自分なりの説明をまとめる。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	【社会保障財政—公的年金制度と財政】わが国の公的年金制度の意義と体系及び現状を学習し、超高齢社会の進展によって年金財政の破綻が危惧されること、制度改革の必要性と方向性を受講生が説明できる。教科書 第6章の「2. 年金保険制度と財政」を読み、公的年金制度の意義と現状について考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、年金の財政方式には2つの方式があるが、それぞれの方式の特徴と問題点について自分なりの説明をまとめる。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	【社会保障財政—医療保険制度と財政】わが国の医療保険制度の概要、意義、課題について学習し、超高齢化の進展とともに厳しい財政状況にあることを理解し、説明できる。教科書 第6章の「3. 医療保険制度と財政」を読み、医療保険制度の仕組みと現状について考察する。 医療保険制度の存在が、医療費を増加させる原因である」とも言われる。この点について、自分なりの説明をまとめる。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	【公的扶助制度と財政】公的扶助の現状、及び日本の生活保護制度の問題点を「負の所得税」の学説から学習し、生活保護制度の問題点と改革案を説明できる。教科書 第6章の「4. 公的扶助」を読み、医療保険制度の仕組みと現状、また、公的扶助の意義と現状について考察する。 ミルトン・フリードマンの「負の所得税」を考察する。 講義ノートとレジュメを見直し、公的扶助の内容と問題点を整理する。公的扶助の予算配分の推移の特徴と要因について、自分なりの説明をまとめる。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	【地方の財政問題1】地方財政の機能の特徴、国と地方政府間財政関係、地方財政計画の役割、地方歳入の構造、地方税体系を学習し、地方財政の特徴点について説明できる。教科書 第8章の「1. 地方財政の課題」、「2. 地方財政の収入」を読み、中央財政と地方財政の関係、地方財政の理論、地方の歳入構造、地方税体系を考察する。 地方公共財の供給において民間手法を活用すべきだという意見について、自分なりの考えをまとめる。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	【地方財政の制度】普通会計と公営事業会計、目的別分類、性質別分類、経常収支比率を学習し、地方公共団体の会計制度について説明できる。教科書 第8章の「3. 地方の歳出構造」を読み、歳出の分類について考察する。 地方分権時代にふさわしい地方税のあり方について、自分なりの説明をまとめる。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	【財政制度と地域間再分配】地方交付税の仕組み、地方交付税の地域間再分配効果、国庫支出金意義、国庫支出金の経済効果等を学習し、地方交付税と国庫支出金の役割と問題点について、受講生が説明できるようにする。教科書 第8章の「4. 地方交付税と財政調整」、「5. 国庫支出金」を読み、各制度の仕組みを考察する。 講義ノートとレジュメを確認して、特定補助金と一般補助金の違いについて説明し、地方住民の厚生水準を引き上げるためには、特定補助金を一般補助金に変えるべきとする主張について、自分なりの説明をまとめる。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	【地方分権の定理】分権化の推進と関連する学説「オーツの地方分権定理」を学習して、資源配分の観点から分権化のメリットを説明できる。教科書 第8章の「6. 分権化の地方財政」を読み、分権化の意味と分権化のメリット・デメリットを考察する。 講義ノートとレジュメを見直し、地方分権定理の意義を整理する。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	【「足による投票」と資源配分の効率性】ティーパーの「足による投票」を学習して、資源配分の効率性の観点から分権化のメリット・デメリットを説明できる。講義のまとめ。教科書 第8章の「6. 分権化の地方財政」を読み、分権化の意味と意義は何であるのが考察する。 高齢化や人口減少により地方消滅が心配されているわが国において、地方分権の意義と推進策について自分なりの考えをまとめる。

◆**教科書** 『財政学入門』楠谷清ほか 八千代出版 2019

### ◆参考書

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提にして、リアクションペーパー（小テスト）40%、期末試験60%で評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：

注意